刺しゅうPRO プロ Ver.5.0

PC刺しゅうデータ作成機

ES913シリーズ

取扱説明書

brother

●ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。
●取扱説明書はなくさないように大切に保管してください。

はじめに

このたびは、刺しゅうプロ Ver.5.0 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機はパソコンに接続しご使用いただくことにより、オリジナル刺しゅうを作成できる刺しゅうデータ作成機です。お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、この取扱説明書をご覧になり、各機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ末永くご愛用ください。（また Readme ファイル、各ソフトのヘルプもご参照ください。）

また、お読みになった後は保証書とともに、お使いになられる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意：この取扱説明書では、お使いのパソコンの Windows および周辺機器の使用方法については説明していません。お使いのパソコンの Windows および周辺機器の使用方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

この装置は、住宅地域での電波障害阻止を目的とした、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、第2種情報処理装置です。この装置は、住宅地域またはその隣接した地域で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

重要：営業目的で、別売の「刺しゅうカード」や新聞・雑誌等から無断で複製し、本機にて使用することとは「著作権法」に触れることになり、法により処罰されることがあります。
本製品に含まれるソフトウエアは、「著作権法」により保護されています。著作権法に従う場合に限り、本ソフトウエアをご使用・複製いただくことができます。
本製品は、一般家庭用のみのご使用を対象としています。

- 本製品は日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
  This machine can not be used in foreign country at designed for Japan.
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容を許可なく無断で複製することは、禁じられておりますのでご了承ください。
- 本書の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容について万一不審な点や誤りなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

安全にお使いになるために

この取扱説明書に使われている表示や絵文字は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになられる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

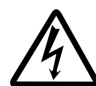
その表示や意味は次のとおりです。

	**この表示を無視して誤った使い方をすると、人が障害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。


特定しない禁止事項


特定しない義務行為


感電の危険があります


分解してはいけません


火災の危険があります


水に濡らしてはいけません

この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

⚠ 注意	
	濡れた手でUSBケーブルのプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	USBケーブルを抜くときは、必ずプラグの部分を持って抜いてください。USBケーブルを引っ張って抜くとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。
	USBケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると USB ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。USB ケーブルまたはプラグが破損したときは使用をやめてお買い上げの販売店または「ミシン 119 番」フリーダイヤル 0120-340-233 にご連絡ください。
	直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。使用温度は 10 ～ 35 ℃です。本体内部の温度が上がったり、本体や電源コードの皮膜が溶けて火災・感電の原因となります。
	スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどや火災の原因となります。
	本体の上に花瓶や水の入った容器を置くなどして、本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水が入った場合は、USB ケーブルのプラグをパソコンから抜いて、お買い上げの販売店または「ミシン 119 番」フリーダイヤル 0120-340-233 にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	本体のカードスロットや内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電の恐れがあります。万一、内部に異物が入った場合は、USB ケーブルのプラグをパソコンから抜いてお買い上げの販売店または「ミシン 119 番」フリーダイヤル 0120-340-233 にご連絡ください。
	お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電およびケガの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お買い上げの販売店または「ミシン 119 番」フリーダイヤル 0120-340-233 にご連絡ください。
	万一、本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお買い上げの販売店または「ミシン 119 番」フリーダイヤル 0120-340-233 にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常音がするなどの状態のときはすぐに USB ケーブルのプラグをパソコンから抜いてお買い上げの販売店または「ミシン 119 番」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
	お子様の玩具として使用しないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用になるときは、お子様がケガをしないよう十分ご注意ください。

オリジナル刺しゅうを美しく作成していただくために

この「刺しゅうプロ Ver.5.0」では、多様な刺しゅうデータの作成が可能となるように、縫い方の様々な設定（糸密度、縫いピッチ等）がサポートされています。

ただし、最終的な仕上がりは、ご使用のミシンの性能や、縫う条件（布、糸など）に依存するところもございますので必ず実際にご使用になるミシン、縫う条件で、試し縫いを行ってください。

刺しゅう文字について

刺しゅう文字は書体によってあまり小さいサイズを設定すると、きれいに縫製できない場合があります。

1 文字のサイズは、日本語書体は 15 mm 以上、欧文書体（アルファベット等）は 10 mm 以上での設定をおすすめします。

また、True Type フォントを使用する場合は、フォントのデザインによってきれいに刺しゅうデータに変換されない場合があります。均一な太めのラインでデザインされた True Type フォントをお選びください。

目次

お使いになる前に

プログラムのインストール

使ってみましょう

デザインセンター

レイアウトセンター

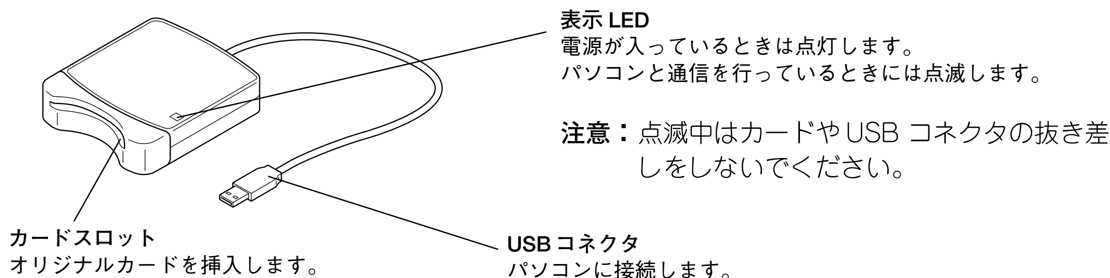
ステッチクリエイター

ショートカット早見表

索 引

お使いになる前に

カードライター各部の説明

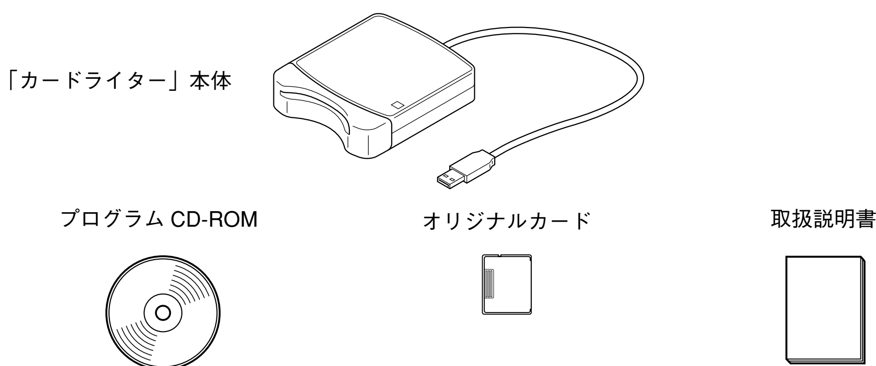


注意： 点滅中はカードや USB コネクタの抜き差しをしないでください。

注意： カードライターは、パソコンの USB コネクタから電源を得るので、電源ケーブル、電源スイッチなどはありません

同梱品の確認

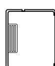
次の同梱品が全部そろっていること、それぞれに損傷のないことをお確かめください。同梱品が足りないときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



注意： 他のモデルからのアップグレードキットには、カードライター本体とオリジナルカードは含まれていません。

別売品について

オリジナルカード
（部品コード：XC0962-001）



注意： 本製品に使用できるオリジナルカードは、同梱のオリジナルカードもしくはそれと同等の別売品のオリジナルカードのみです。

プログラムのインストール

動作環境の確認

プログラムのインストール前に、ご使用になられるパソコンが以下の動作環境を満たしているかどうかご確認ください。

パソコン	USB ポート標準装備の IBM-PC またはその互換機
OS	日本語 Microsoft Windows 98/ME/XP/2000
CPU 速度	Pentium 133MHz 以上推奨
メモリ	32MB 以上 (推奨 64MB 以上)
ハードディスク	100MB 以上の空き容量が必要
ディスプレイ	SVGA (800 × 600) の解像度で、High Color (16 ビット) 表示以上が必要 （True Color 推奨）
インターフェース	USB　Ver.1.1
プリンタ	ご使用のシステムでサポートされているプリンタ （画像を印刷したい場合）
CD-ROM ドライブ	専用ソフトインストールのため CD-ROM ドライブが必要

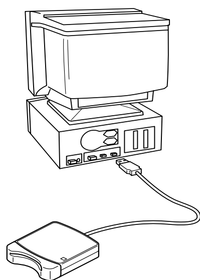
注意： カードライターは、電源を USB コネクタから得ていますので、電源を充分供給することが可能なパソコンの USB コネクタ、もしくは自己電源タイプ（セルフパワータイプ）の USB ハブに接続してください。その他に接続された場合、正しく動作しないことがあります。
自作のパソコン、拡張 USB ボードでは、正しく動作しないことがあります。

プログラムのインストール

付属の CD-ROM を使って、ドライバソフトとプログラムをインストールします。

注意： 必ず、以下の手順でインストール作業を行ってください。インストールの途中でキャンセルを行ったり、手順と違う操作を行うとインストールが正しくできません。
HeartStitches DL をご使用されている場合は、HeartStitches DL のカードライターをパソコンから外した後に付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、最初に手順 ⑨ ～ ⑫ を行いプログラムのインストールを行ってください。その後、手順 ② ～ ⑧ を行い刺しゅう PRO Ver.5 のカードライターのドライバをインストールしてください。今後、HeartStitches DL をご使用される場合は刺しゅう PRO Ver.5 のカードライターをご利用ください。

メモ： インストールの手順は、Windows98 の場合で説明しています。他の OS の場合、画面や手順が若干異なる場合があります。



① パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。
他の Windows アプリケーションは起動しないでください。

② カードライターの USB コネクタをパソコンの USB コネクタに接続します。
コネクタが奥まで挿入されているか確認してください。

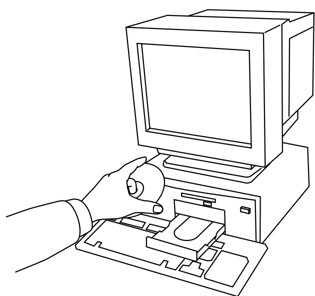


③ しばらくすると、新しいハードウェアの追加ウィザード画面が表示されます。
次へをクリックします。

注意： XPの場合には、ウィザードの最初の画面で「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択してから、**次へ**をクリックします。



④「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、**次へ**をクリックします。



⑤ 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。



⑥「CD-ROMドライブ」を選択し、5～10秒待ってから、**次へ**をクリックします。

注意： OSの種類によっては、⑨のダイアログも表示される場合がありますが、先に ⑧ までを行った後、⑨ に進んでください。

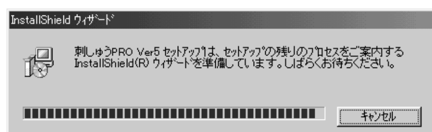


⑦ USB Card Reader Writerと表示されたら、**次へ**をクリックします。

注意： OSの種類によっては、「デジタル署名がありません」というメッセージが表示される場合がありますが、インストールを続行してください。



⑧ 左の画面が表示されたら、**完了**をクリックします。
これで、ドライバソフトのインストールは完了です。



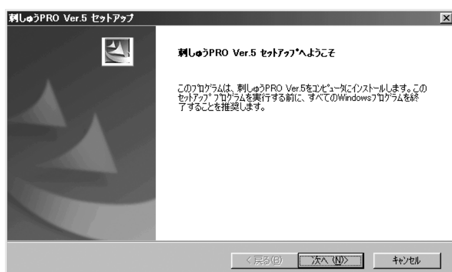
❾ しばらくすると、プログラムのインストールが自動的に始まります。

プログラムのインストールが自動的に始まらない場合：

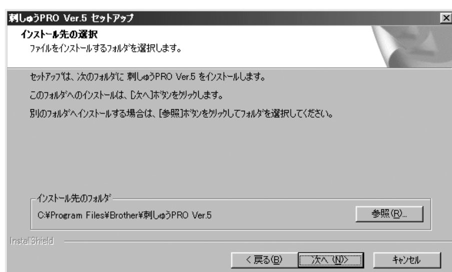
1）**スタート**ボタンをクリックします。

2）**ファイルを指定して実行**メニューをクリックします。
ファイルを指定して実行画面が表示されます。

3）プログラムのフルパス（*）を入力し、**OK** をクリックするとプログラムのインストールが起動します。
（*）例：　**D:¥Setup**（CD-ROM が D ドライブのとき）



❿ セットアップウィザードが表示されたら、**次へ**をクリックします。



⓫ **次へ**をクリックすると、プログラムのインストールが始まります。
通常は、パソコンの標準設定のフォルダにインストールされます。

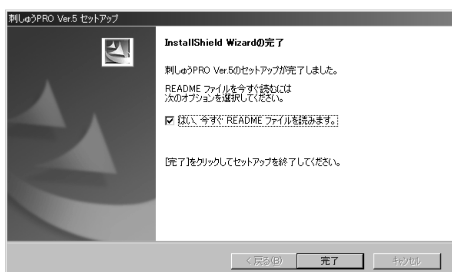
他のフォルダにインストールしたいとき：

1）**参照**をクリックし、ドライブとフォルダを選択します。（必要な場合はフォルダ名を入力します。）

2）希望するフォルダを選択したら、**OK** をクリックします。

3）「インストール先のフォルダ」に、2）で選択したフォルダが表示されたら、**次へ**をクリックします。
2）で選択したフォルダに、プログラムがインストールされます。

- 直前の作業に戻るときは、**戻る**をクリックします。
- 中止するときは、**キャンセル**をクリックします。



⓬ インストールが完了すると、左のダイアログが表示されます。
完了をクリックして、セットアップを終了します。
README ファイルが表示されます。

- README ファイルを表示させたくないときは、チェックボックスをクリックし ✔ マークを外してから、**完了**をクリックします。

注意： README ファイルには重要な事柄が説明されていますので、必ずお読みください。
ここで Windows を再起動する場合があります。
必ず**再起動**をクリックし、セットアップを終了させてください。

オンライン登録

アップグレード等のご連絡や、今後の製品開発・改良の貴重な資料とさせていただくため、本製品は登録手続きを短時間で行えるようにオンラインでユーザー登録できるようになっております。

レイアウトセンターの「ヘルプ」メニューの「オンライン登録」をクリックしますと、インストールされているブラウザが起動し、当社のホームページ「オンライン登録」のページが開きます。

注意： インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続する環境が整っていないと、この機能は使用できません。

プログラムのアンインストール

❶ パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。

❷ タスクバーの「スタート」メニューから**設定→コントロールパネル**を選択します。

❸ 表示された**コントロールパネル**ダイアログで「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

❹ 表示されたアプリケーションの追加と削除のプロパティ画面で、プログラムを選択し**追加と削除**をクリックします。

ユーザーインフォメーション

本製品についてのご質問・ご意見は、「刺しゅうPROユーザーインフォメーション」までお気軽にお申し付けください。

刺しゅう PRO ユーザーインフォメーション

TEL　(052)824-2611

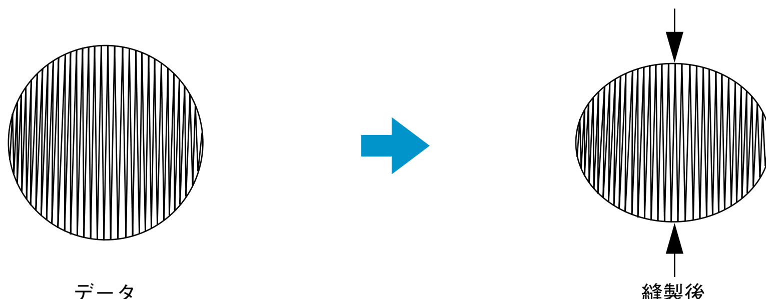
受付時間　10:00 ～ 12:00　13:00 ～ 17:00

営業日　月曜日～金曜日（祝祭日、当社休日はお休みとさせていただきます。）

刺しゅうデータを作成するためのヒントとテクニック

■ 広い範囲を縫うときは

広い範囲でサテン縫いを使うと、布や糸の種類により、縫製後に縫った部分が縮んでしまうことがあります。このような場合にはタタミ縫いを試すかあるいは、布地に接着芯等で裏打をして補強してみてください。



注意：広い範囲でサテン縫いを使うと、ミシンによっては、針の位置が10ｍｍ位ずれてしまうことがあります。

■ 縫い方向について

縫い縮みを抑えるためには、縫う方向を、より大きな辺に直角になるように設定します。



■ 縫い順について

（デザインセンターやレイアウトセンターにより）複数の刺しゅうデータを組み合わせた刺しゅうデータを作成したら、縫い順を確認し、必要に応じてデータを修正してください。
デザインセンターでは、縫い方を設定した順序が標準の縫い順となります。
レイアウトセンターでは、データを描画した順序が標準の縫い順となります。

■ 刺しゅうデータの拡大・縮小

取り込んだ刺しゅうデータ（ステッチデータ）をレイアウトセンターで拡大・縮小するには 2 通りの方法があります。データをそのまま拡大・縮小する方法と、データに STB 機能（P.210 参照）を操作してから拡大・縮小する方法です。

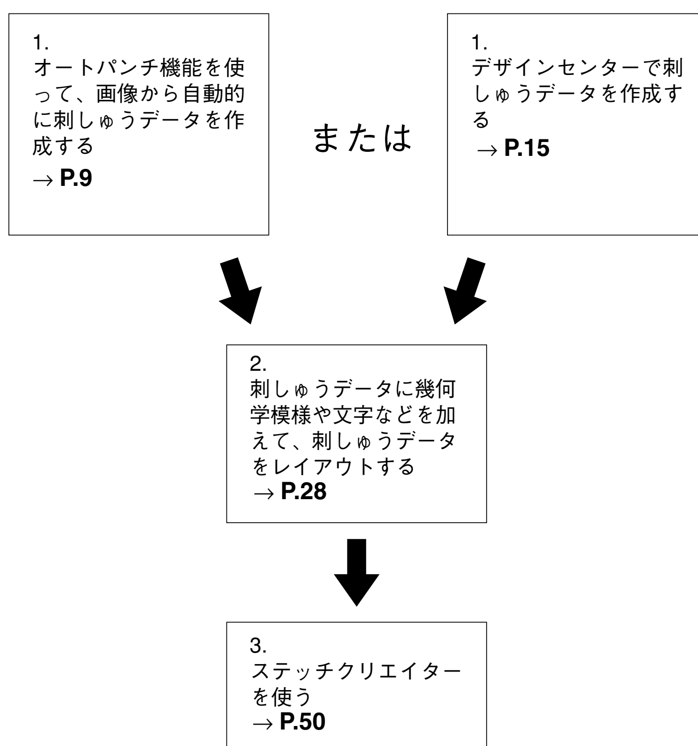
そのまま拡大・縮小すると、縫製される針数は変わらず、縫い目が粗くまたは細かくなり大きさが変わりますので、データのサイズを大きく変化すると、刺しゅう品質が変わってしまいます。
メニューバーから縫い方→ STB 機能を操作してから拡大・縮小すると、縫製される針数が自動的に新しいサイズに合わせて変更されるので、元の刺しゅう品質が維持されます。STB 機能の感度を通常は「普通」に設定すると、刺しゅう品質をほぼ維持できます。
データを少しだけ拡大・縮小するだけなら、STB 機能を操作する必要はありません。

この「刺しゅうプロ」では、オリジナルの刺しゅうデータが作成できるように、様々な縫い方（糸密度、縫いピッチ等）がサポートされています。しかし、最終的な仕上がりは、ご使用のミシンの性能や実際の縫製条件（布、糸など）によって異なる場合がありますので、実際にご使用になるミシン、縫う条件で、必ず試し縫いを行ってください。試し縫いでは、最終的に使用するものと同じ布、針、ミシン刺しゅう糸を使用してください。

使ってみましょう

本章のあらまし

P.9の「オートパンチ機能を使う」、P.15の「デザインセンターを使う」、P.28の「レイアウトセンターを使う」、P.50の「ステッチクリエイターを使う」の内容は、実際の作業を通して本アプリケーションの様々な機能を理解していただけるように構成されています。
まず、レイアウトセンターのオートパンチ機能を使って画像から自動的に刺しゅうデータを作成する方法を説明します。刺しゅうデータはデザインセンターで 4 つのステージを踏むことにより作成することもできます。
次に、その刺しゅうデータをレイアウトセンターで、幾何学模様や文字などを加えてレイアウトする編集方法を説明します。
また、装飾的な刺しゅうを作成するために、ステッチクリエイターパターンを作成します。
最後に、オプション品の「大型枠」用の刺しゅうデータの作成方法を説明します。



はじめに

本パッケージには、3 つのアプリケーションソフトが含まれています。

■ レイアウトセンター

レイアウトセンターは、画像から自動的に刺しゅうデータを作成したり、様々な刺しゅうデータを組み合わせ、オリジナルカードに書き込める刺しゅうデータを作成するために使います。画像は、お手持ちのスキャナで読み込んだ画像ファイルや、ペイントのようなアプリケーションを使用して作成された画像ファイルを使うことができます。使用できる画像データの拡張子は、**.bmp**、**.tif**、**.jpg**、**.j2k**、**.pcx**、**.wmf**、**.png**、**.eps**、**.pcd** と **.fpx** です。

それ以外に組み合わせができる刺しゅうデータは以下のデータです。

- ◆ デザインセンターで作成された刺しゅうデータ
- ◆ 別売の刺しゅうカード内の刺しゅうデータ（刺しゅうプロでは、キャラクターもの、漢字カード等、読み込めない刺しゅうカードもあるのでご注意ください。）
- ◆ **.dst**、**.exp**、**.pcs**、**.hus** のいずれかのファイル形式の刺しゅうデータ
- ◆ レイアウトセンターで作成された刺しゅうデータ（文字、円、長方形、曲線、直線、マニュアルパンチングで作成されたデータ）

刺しゅうデータを構成する様々なデータを集めたら、レイアウト機能を使用して、その相対位置、方向、大きさを修正します。

刺しゅうデータが完成したら、データを保存（拡張子 **.pes**）し、オリジナルカードに書き込みます。そのオリジナルカードを差し込めば、お使いのミシンで刺しゅうすることができます。

■ デザインセンター

デザインセンターは、原画から刺しゅうデータを作成するときに使用します。原画は、お手持ちのスキャナで読み込んだ画像ファイルや、ペイントのようなアプリケーションを使用して作成された画像ファイルを使うことができます。ただし、使用できるファイルの拡張子は、**.bmp**、**.tif**、**.jpg**、**.j2k**、**.pcx**、**.wmf**、**.png**、**.eps**、**.pcd**、**.fpx** のいずれかです。デザインセンターでは、原画の輪郭線を検出し、編集可能な刺しゅうデータを作成します。

手順は 4 つのステージに分かれます。

- ◆ **ステージ 1 ー原画ステージ**：原画の画像ファイルを開き、刺しゅうデータの輪郭線にしたい色を選択するステージです。
- ◆ **ステージ 2 ー輪郭線画ステージ**：ステージ 1 の原画を、白黒のイメージに置き換えるステージです（ステージ 1 で輪郭線として選択した色は黒に、他の色はすべて白に変わります）。このイメージを、太さの異なるペンツールを使って修正することができます。また、ステージ 2 から作業を開始し、ペンツールを使ってイメージをフリーハンドで描くこともできます。
- ◆ **ステージ 3 ー輪郭データステージ**：ステージ2の白黒のイメージを、輪郭データに置き換えるステージです。ポイントを移動、挿入、削除し、輪郭データを編集することができます。
- ◆ **ステージ 4 ー縫い方設定ステージ**：刺しゅうデータの線と面の糸色と縫い方を設定するステージです。

いずれのステージでも、ファイルを保存することができます。ステージ 2 では、拡張子 **.pel** のファイルとして保存され、ステージ 3 と 4 では、拡張子 **.pem** のファイルとして保存されます。ステージを移動するときに保存しておくと、もう一度元のデータを使用したいときに便利です。

ステージ 4 に到達した刺しゅうデータは、レイアウトセンターに取り込むことができます。レイアウトセンターでは、取り込んだデータ（ステッチデータ）を単一のオブジェクトとみなします。そのため、取り込んだデータ（ステッチデータ）の縫い方の設定は変更することができません。ただし、STB 機能を操作した後で、縫い方の設定を変更することができます。

■ ステッチクリエイター

ステッチクリエイターは、プログラムタタミ縫いとモチーフ縫いのパターンの作成、編集、保存ができます。そのパターンは、デザインセンターとレイアウトセンターで利用できます。パターンは、**.pas** または **.pmf** ファイルで保存されます。本アプリケーションには、数多くの **.pas** または **.pmf** ファイルが用意されています。パターンはそのまま使用できますが、編集することもできます。また、最初からパターンを作成することもできます。

オートパンチ機能を使う

下記のステップに従って、自動的に刺しゅうデータを作ってみましょう。刺しゅうデータは、原画を自動的にトレースすることにより作成されます。この刺しゅうデータは、後で複雑な刺しゅうデータを作るときにも使います。

レイアウトセンターには多彩な機能がありますが、ここでは基本的な機能を紹介します。

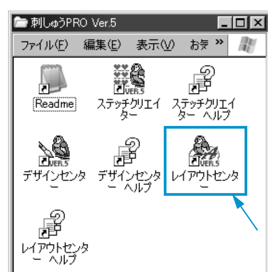
説明されている手順に従って、順に進んでください。

作業を中断する場合は、ファイルを保存しましょう。（「レイアウトセンターを使う」のステップ 18 参照）。保存したファイルを後で呼び出して作業を再開できます。

ステップ 1　レイアウトセンターを起動する

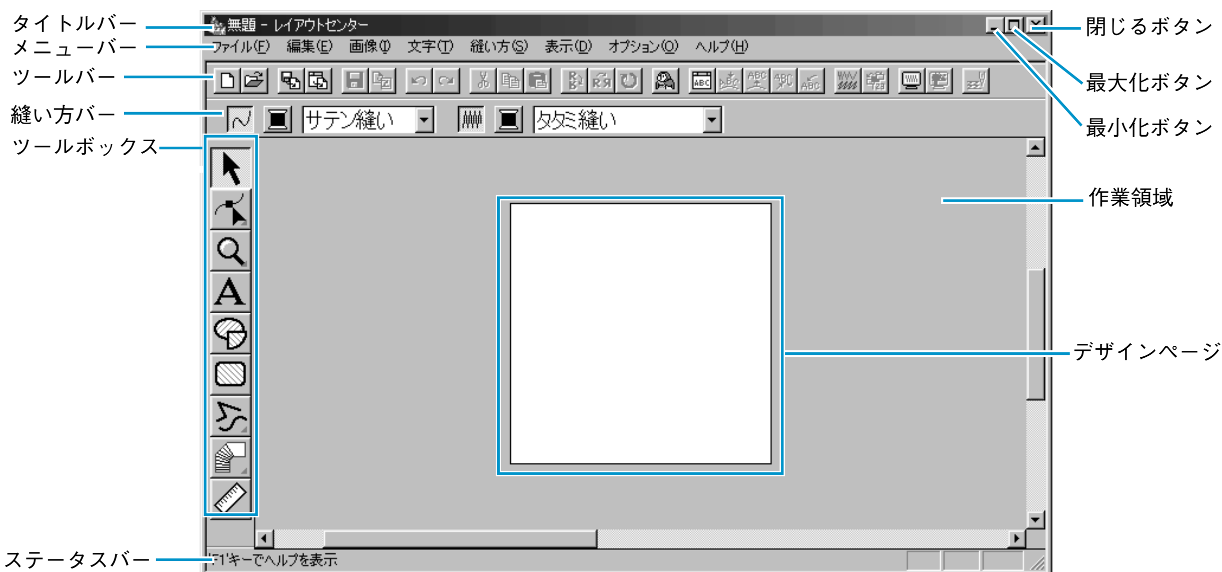
❶ スタートボタン→プログラム→刺しゅう PRO Ver.5 →レイアウトセンターと選択します。レイアウトセンターが起動します。

プログラムグループの中のレイアウトセンターアイコンをダブルクリックしても起動できます。



レイアウトセンターへのショートカットアイコンがデスクトップにある場合は、そのアイコンをダブルクリックしても起動できます。

デザインセンターのメニューバーの**オプション→レイアウトセンターの起動**をクリックしても、レイアウトセンターが起動します。
レイアウトセンター画面が開きます。



表示されるウインドウのサイズは、お使いのパソコンの画面よりも小さくなります。

❷ レイアウトセンター画面をディスプレイ画面いっぱいに拡大するには、タイトルバーの右端にある最大化ボタンをクリックします。
タイトルバーの右端にある最小化ボタンをクリックして、レイアウトセンター画面を一時的に Windows のタスクバーにアイコン化することができます（下記アイコン参照）。



レイアウトセンター画面に戻るには、Windows のタスクバーにあるレイアウトセンターのアイコンをクリックします。

ここで、メニューバーの**オプション→デザインページの設定**をクリックして（**デザインページの設定**ダイアログが開きます）、デザインページの設定を変更することができます。しかし、ここでは設定をそのままにしておきます。

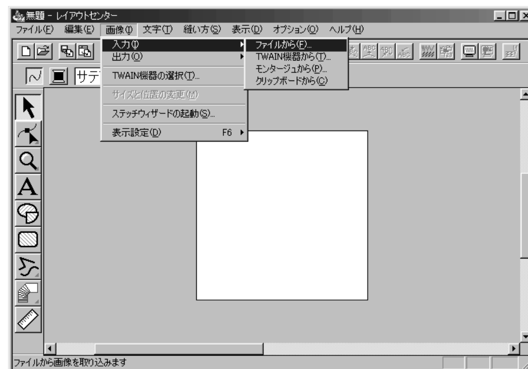
注意：「デザインページの設定」（P.221参照）では、ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲を超えるデザインページの大きさを選択しないでください。

ステップ 2　原画（画像ファイル）を開く

原画（画像ファイル）を開き、それを刺しゅうデータに変換します。

❶ メニューバーの**画像**→**入力**→**ファイルから**をクリックします。

画像を開くダイアログが表示されます。





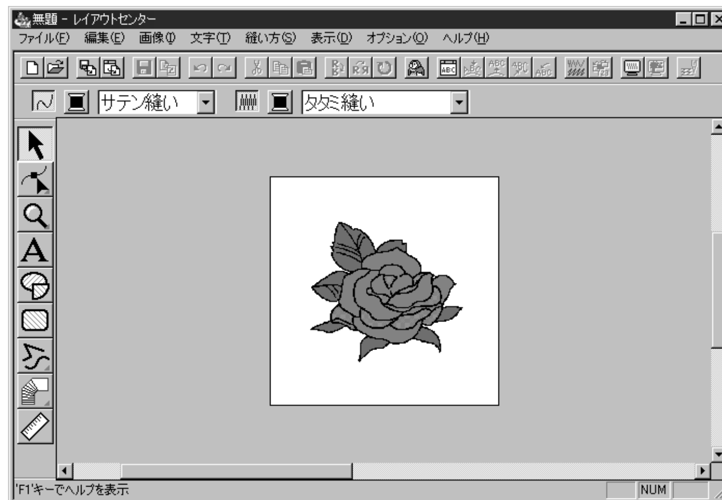
◆ dataフォルダのファイル**Flower.bmp**を選択します。

- **プレビュー**チェックボックスをクリックし、✔が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。

◆ **開く**をクリックしてファイルを開きます。

◆ ファイル名をダブルクリックしてもファイルが開きます。

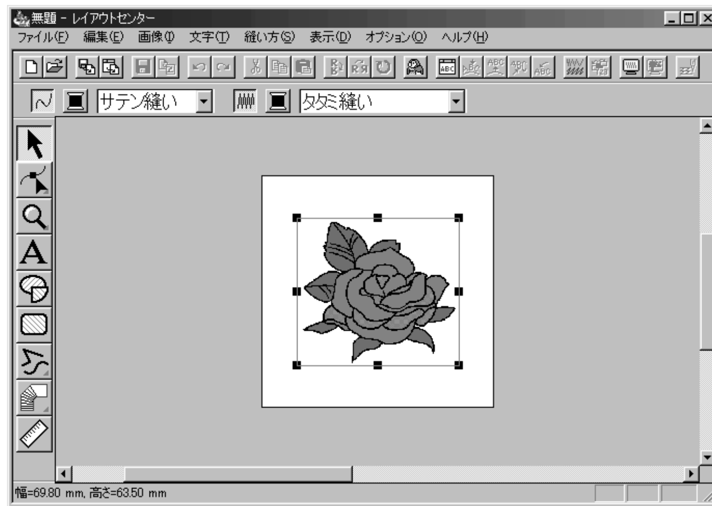
原画（画像ファイル）が表示されます。



ステップ 3　原画を編集する

❶ メニューバーの**画像→サイズと位置の変更**をクリックします。

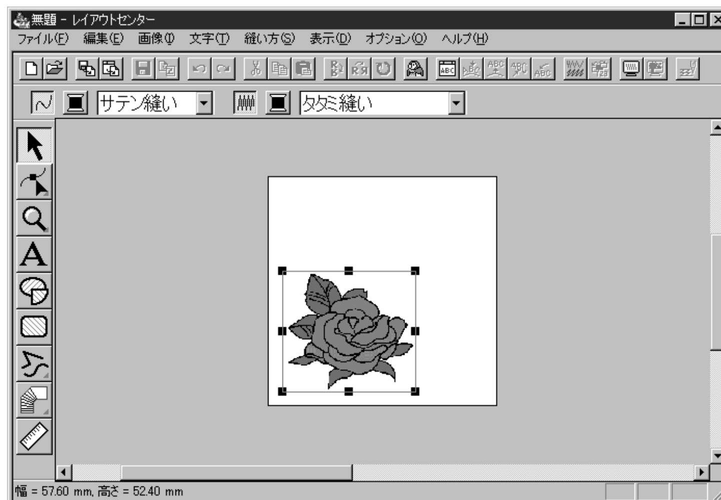
❷ ハンドルが原画の周りに表示されます。



ステータスバーに選択された原画のサイズ（幅と高さ）が表示されます。

❸ 選択された原画の周りにあるハンドル上に、カーソルを移動します。カーソルが 、 、 または に変わります。この状態でハンドルをドラッグすると、原画を拡大縮小できます。

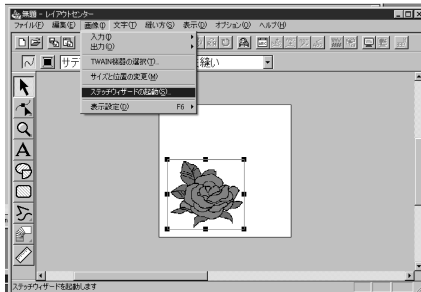
❹ 選択された原画上にカーソルを移動します。カーソルが に変わります。この状態で原画をドラッグすると、原画の位置を移動できます。



ステップ４　ステッチウィザードを使ってオートパンチ機能を選ぶ

❶ メニューバーの**画像→ステッチウィザードの起動**をクリックします。または、ツールバーのステッチウィザードボタンをクリックします。





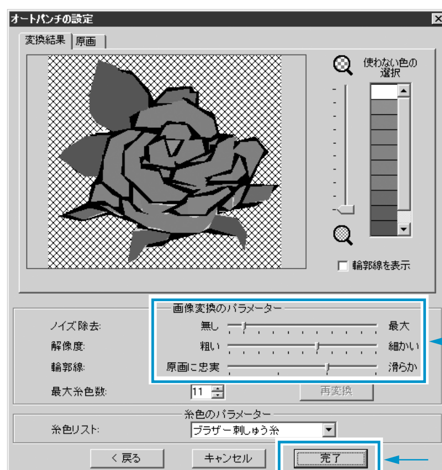
❷ **画像の変換方法の選択**ダイアログが表示されます。**オートパンチ**を選択します。**次へ**をクリックします。



- オートパンチの他に、以下の方法も選択ができます。
  フォトステッチ１（カラーとモノクロ）
  詳しくは P.179 を参照してください。
  フォトステッチ２（カラーとモノクロ）
  詳しくは P.186 を参照してください。
  クロスステッチ
  詳しくは P.192 を参照してください。
  デザインセンター
  デザインセンターを起動します。詳しくは P.15 の「デザインセンターを使う」か、P.61 の「デザインセンター」を参照してください。

ステップ５　輪郭線を自動抽出する

❶ 輪郭線が原画から自動抽出され、**オートパンチの設定**ダイアログが表示されます。

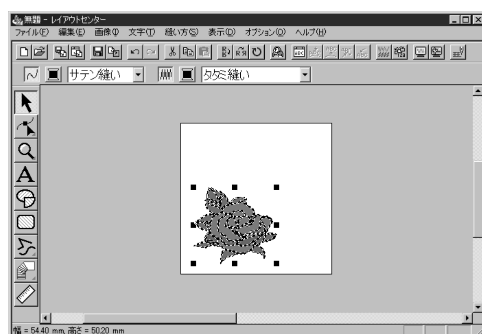


◆ 画像変換のパラメーターの設定ができます。調整後、**再変換**をクリックすると、新しい設定で解析し輪郭線が抽出し直されます。

◆ Xマークで埋められた領域は、面縫いがオフ（縫われない）設定になっていることを表しています。面縫いのオン／オフは、その領域をクリックすると変更できます。

❷ 必要な設定を選択した後、**完了**をクリックします。

ステップ 6　自動で刺しゅうデータを作成する



◆ 刺しゅうデータが表示されます。

◆ 糸色と縫い方は自分の思い通りに修正できます。

◆ 刺しゅうデータの編集を続けたい場合は、P.35 の「レイアウトセンターを使う」のステップ 5 を参照してください。

デザインセンターを使う

下記のステップに従って、刺しゅうデータを作ってみましょう。刺しゅうデータは、画像を自動的にトレースすることにより作成されます。この刺しゅうデータは、後で複雑な刺しゅうデータを作るときにも使います。

デザインセンターには多彩な機能がありますが、ここでは基本的な機能を紹介します。

説明されている手順に従って、順に進んでください。

作業を中断する場合は、ファイルを保存しましょう。（ステップ 9 参照）保存したファイルを後で呼び出して作業を再開できます。

ステップ 1　デザインセンターを起動する

❶ スタートボタン→プログラム→刺しゅう PRO Ver.5 →デザインセンターと選択します。デザインセンターが起動します。

プログラムグループの中のデザインセンターアイコンをダブルクリックしても起動できます。



デザインセンターへのショートカットアイコンがデスクトップにある場合は、そのアイコンをダブルクリックしても起動できます。

レイアウトセンターのメニューバーの**オプション→デザインセンターの起動**をクリックしても、デザインセンターが起動します。

デザインセンター画面が開きます。



表示されるウインドウのサイズは、お使いのパソコンの画面よりも小さくなります。

❷ デザインセンター画面をディスプレイ画面いっぱいに拡大するには、タイトルバーの右端にある最大化ボタンをクリックします。

タイトルバーの右端にある最小化ボタンをクリックして、デザインセンター画面を一時的に Windows のタスクバーにアイコン化することができます（下記アイコン参照）。



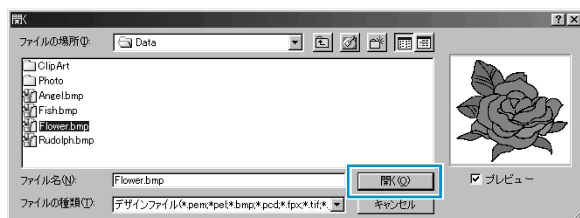
デザインセンター画面に戻るには、Windows のタスクバーにあるデザインセンターのアイコンをクリックします。

ステップ 2　原画（画像ファイル）を開く

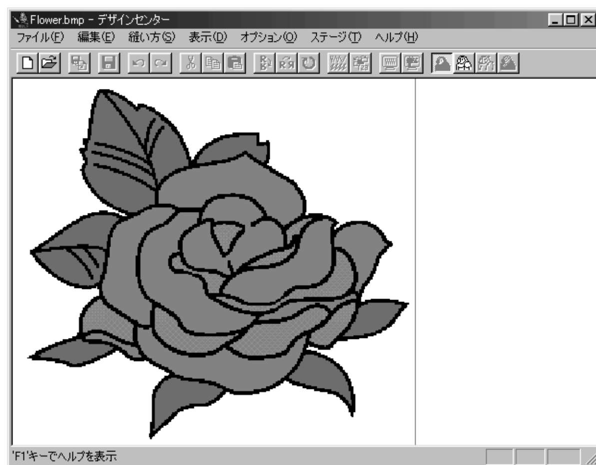
原画（画像ファイル）を開き、それを刺しゅうデータに変換します。**ウィザード**ダイアログが開いているときは、**キャンセル**をクリックしてダイアログを閉じてください。

❶ メニューバーの**ファイル→開く**をクリックします。
開くダイアログが表示されます。





原画（画像ファイル）が表示され、作業領域に合わせて最大化されます。



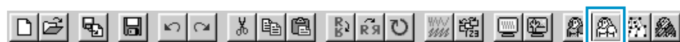
◆ dataフォルダのファイル**Flower.bmp**を選択します。
• **プレビュー**チェックボックスをクリックし、✔が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。

◆ **開く**をクリックしてファイルを開きます。

◆ ファイル名をダブルクリックしてもファイルが開きます。

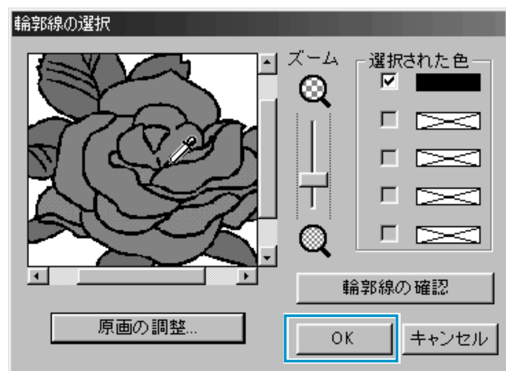
ステップ 3　輪郭線画に変換する

❶ 輪郭線画ステージに移動します。メニューバーの**ステージ→輪郭線画ステージ**をクリックします。または、ツールバーの輪郭線画ステージボタンをクリックします。



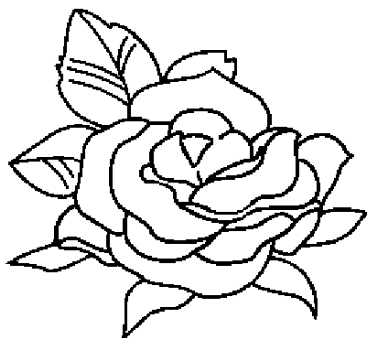
輪郭線画ステージボタン

輪郭線の選択ダイアログが表示されます。このダイアログで、刺しゅうデータの輪郭線に使用する色を選択します。



◆ 必要に応じて、原画をスクロールまたはズームします。

◆ カーソルを原画上に置くとカーソルが に変わります。選択したい色の上でクリックします。その色が**選択された色**ボックスに表示されます。チェックボックスに が表示されてその色が選択されたことを示します。ここでは黒色を選択してください。
  - 複数の色を輪郭線として使用したい場合は、5 色まで選択することができます。それ以上の色を選択しようとするとスクロールダウンされて、下段の色から選択が取り消されます。
  - 間違って色を選択したときは、チェックボックスをクリックして選択を取り消します。



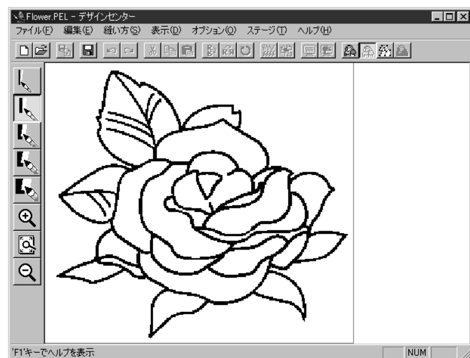
◆ **輪郭線の確認**をクリックして選択した色のイメージを確認します。

◆ イメージのプレビューが左に示すように表示されたら、**OK** をクリックし、輪郭線画に変換します。

◆ この操作を中止し原画に戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

◆ 必要に応じて、**原画の調整**をクリックして、色数やノイズを減らします。（P.109 参照）

❷ **OK** をクリックすると、輪郭線画が表示されます。



- この段階で、データを .pel ファイルで保存できます。

ステップ４　輪郭線画を編集する

面を形成するには、輪郭線が完全につながっている必要があります。輪郭線がつながっていない場合は修正します。輪郭線画を編集したいときや細かいところの追加や消去をしたいときは、ツールボックスのペンや消しゴムを使って修正作業を行います。
実際に消しゴムを使って輪郭線の一部を消去してみましょう。



❶ 編集作業をしやすくするため、ズーム機能を使ってイメージを拡大します。ツールボックスの をクリックします。作業領域上にカーソルを移動すると、カーソルが に変わります。

❷ 輪郭線上でクリックするとその部分が拡大されます。特定部分をズームインするには、その領域を囲むようにドラッグします。ドラッグすると点線の四角が表示されて、マウスを離すと選択された領域が拡大されます。ズーム機能について、詳しくは、P.64 の「ズームインツール」、「ズームアウトツール」と「デザインページズーム」を参照してください。

❸ ツールボックスの をクリックします。作業領域上にカーソルを移動すると、カーソルが に変わります。

❹ 最初に消去したい輪郭線上にカーソルを置きます。マウスの右ボタンを押し続けます。カーソルが に変わります。

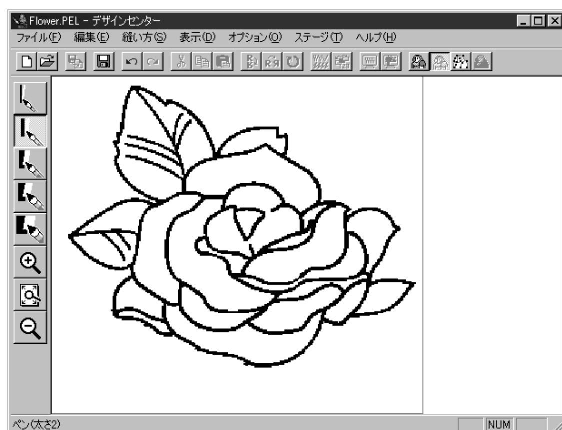
❺ 輪郭線を慎重に消し、次に消す輪郭線までカーソルを移動します。必要に応じてイメージをスクロールします。 この操作を繰り返して、数枚の葉を消去します。

参考：輪郭線の一部を間違って消去したときは、線を書き直すこともできます。その場合は、マウスの左ボタンを押しながら線を引きます。編集結果に満足できないときは、ステージ１に戻ってパターンを変換し、再度、編集することができます。

❻ 編集した後、ズームアウトして全体の絵柄を見直したいときは、２つの方法があります。

ツールボックスの をクリックします。作業領域上にカーソルを移動すると、カーソルが に変わります。デザインページの１点でクリックすると、その点を中心にイメージが縮小されます。この操作を数回繰り返します。

または、ツールボックスの をクリックします。デザインページがデザインセンター画面に自動的に合わせて、次のような画面が表示されます。



ステップ 5　輪郭データに変換する

ステージ 2 の輪郭線は、画像ビットマップ（単なる点とピクセルの集合）にすぎません。この段階での編集は、黒点を移動または消去しているだけです。

ステージ 3（輪郭データステージ）に進む段階で、画像ビットマップを輪郭データに変換します。ここで初めて様々な編集が可能になります。

❶ メニューバーの**ステージ→輪郭データステージ**をクリックします。
または、ツールバーの輪郭データステージボタンをクリックします。



輪郭データステージボタン

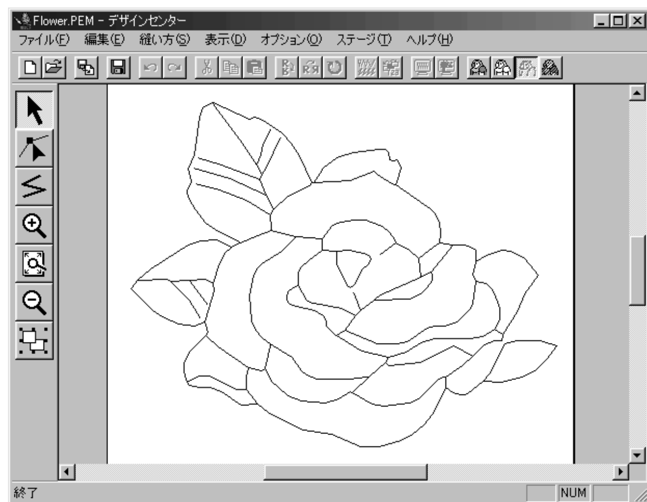
輪郭線変更の設定ダイアログが表示されます。



◆ 設定を一切変更しないまま、**OK**をクリックします。
- 設定の詳細については、P.106の「デザインページの設定」とP.110の「輪郭データステージ」を参照してください。

注意：「デザインページの設定」では、ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲を超えるデザインページの大きさを選択しないでください。

❷ **OK** をクリックすると、変換処理が開始されます。しばらくすると、輪郭データが表示されます。



ツールボックスには、選択ツール、ポイント編集ツール、直線描画ツールといった様々な編集ツールがあり、ズーム用ツールも用意されています。ただし、ここでは輪郭データをそのままにしておきます。輪郭データの編集方法について、詳しくは P.65 の「ステージ 3 のツールボックスの使い方」を参照してください。

参考：メニューバーの**オプション→デザインページの設定**をクリックすると、**デザインページの設定**ダイアログが表示されます。このステージでもデザインページの設定を変更することができます。

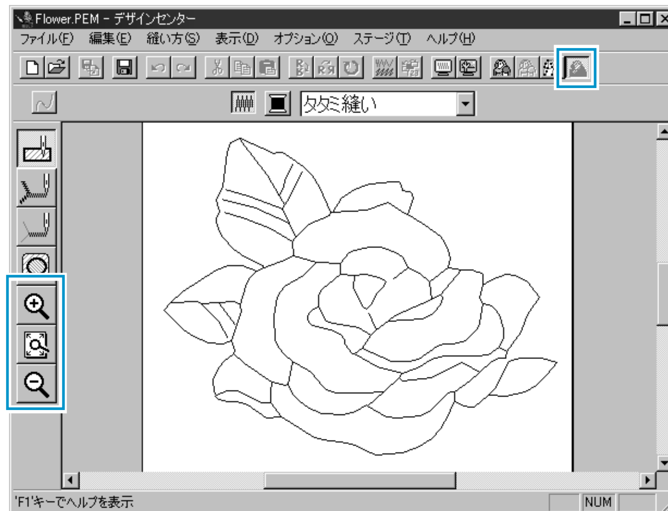
ステップ 6　縫い方設定ステージへ移動する

❶ メニューバーの**ステージ→縫い方設定ステージ**をクリックします。
または、ツールバーの縫い方設定ステージボタンをクリックします。



縫い方設定ステージボタン

縫い方設定画面が表示されます。



この画面で、刺しゅうデータの各部の縫い方を設定し、それを確認できます。二重縫いを防ぐために、他の面に囲まれている面にドーナツ縫いの設定ができます。

❷ ズームインとズームアウトを行うには、ステップ4で行った方法と同様に、 と を使います。

❸ デザインページを画面いっぱいに表示するには、ツールボックスの をクリックします。

ステップ 7　縫い方を設定する

刺しゅうデータの各部分に縫い方を設定します。

■ 輪郭線を設定する

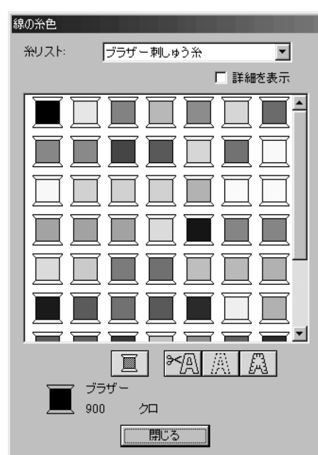


❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。
縫い方バーは以下のように表示されます。



❷ 線の色を設定するには、縫い方バーの**線の色**ボタン をクリックし、**線の糸色**ダイアログを表示させせます。



◆ 黒以外の色を指定したいときは、希望の色をクリックします。

◆ 画面から**線の糸色**ダイアログを消したいときは、**閉じる**をクリックします。

◆ タイトルバーにカーソルを置き、ダイアログボックスをドラッグして、使い易い位置に移動できます。

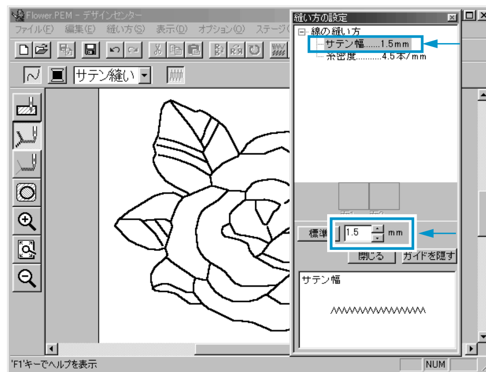
線の色ボタン が選択された色を表示します。

❸ 縫い方の種類を設定するには、縫い方バーの**線の縫い方**セレクタ  をクリックし、リストボックスから**縫い方の種類**を選択します。
ここでは**サテン縫い**を選択します。

❹ サテン縫いの属性を設定するには、メニューバーの**縫い方**→**縫い方の設定**をクリックします。
または、ツールバーの縫い方設定ボタンをクリックします。



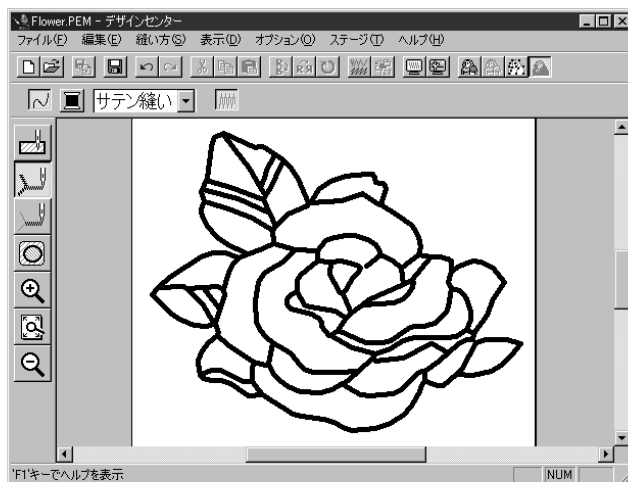
縫い方の設定ダイアログが表示されます。ダイアログでは、線縫いの標準設定が表示されます。（このダイアログの操作方法は、P.96「縫い方の設定」を参照してください。）



◆ サテン幅を 2.0 mm から1.5 mmにするには、直接数値を入力するか、または、その横の矢印をクリックして、値を **1.5** に変更し、 Enter キーを押して確定します。

◆ 画面から縫い方の設定ダイアログを消したいときは、**閉じる**をクリックします。

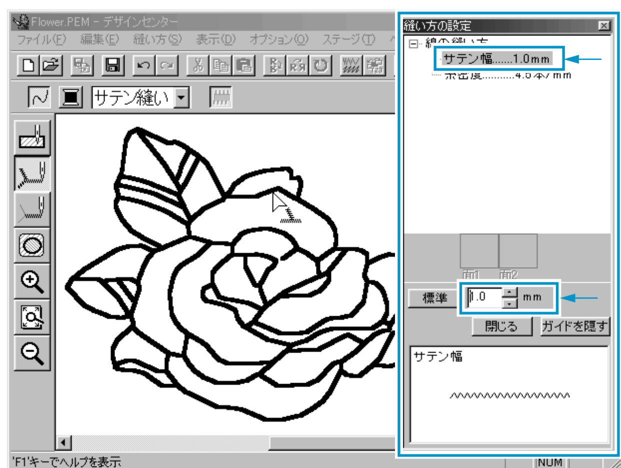
❺ 設定（糸色と縫い方）したい輪郭線をクリックします。
この段階で、イメージは以下のように表示されます。



輪郭線が太すぎるときは、次の手順で変更してください。

❻ 輪郭線のサテン幅を変更するには、まず、変更したい輪郭線の上で右クリックします。
縫い方の設定ダイアログが表示されます。
❹ と同じ方法で、サテン幅を 1.5 mm から 1 mm に変更します。

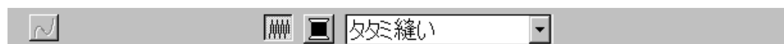
❼ 輪郭線をクリックして、新たな設定内容を設定します。
この段階で、イメージは以下のように表示されます。



■ 面を設定する

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。
縫い方バーは以下のように表示されます。



❷ 葉の設定：

縫い方バーの**面の色**ボタン をクリックすると、**糸色**ダイアログが表示されます。そこでキミドリの糸コマをクリックし、**キミドリ**を選択します。

面の色ボタン が選択された色を表示します。

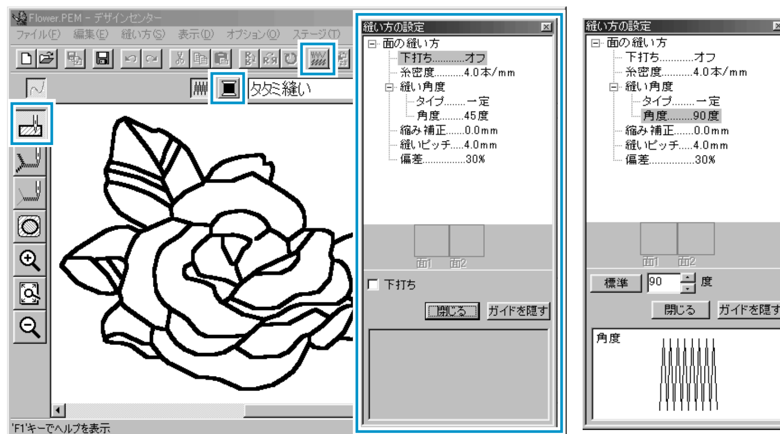
縫い方バーの、**面の縫い方**セレクタ タタミ縫い をクリックし、**タタミ縫い**を選択します。タタミ縫いの属性を設定するには、メニューバーの**縫い方→縫い方の設定**をクリックします。または、ツールバーの縫い方設定ボタンをクリックします。



縫い方設定ボタン

縫い方の設定ダイアログが表示されます。

ダイアログに面の縫い方の標準設定が表示されます。

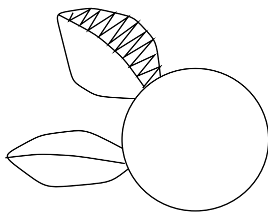


◆ 下記の“参考”に示すように、タタミ縫いの縫い角度を設定します。

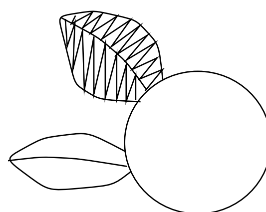
◆ 設定を加えたい葉の面をクリックします。

◆ それぞれの縫い角度で同様の操作を繰り返します。

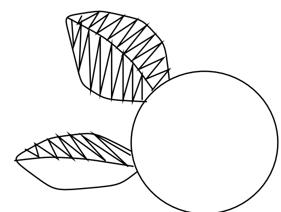
参考： それぞれの面に異なる縫い角度を使うと、コントラストができ、刺しゅうの見栄えが良くなります。



角度を 45 度に設定してクリックします。



角度を 90 度に設定してクリックします。



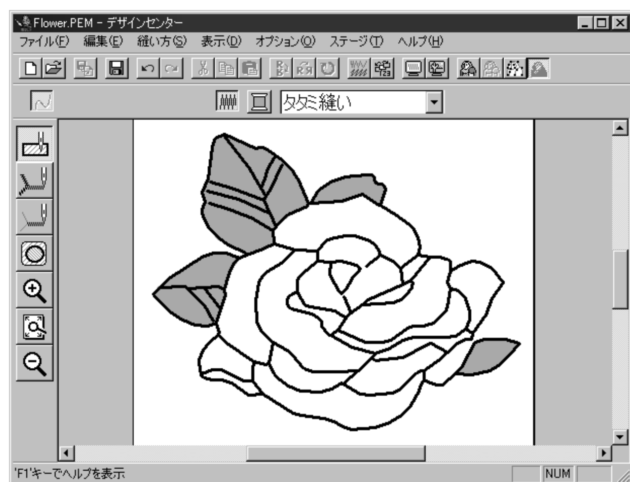
角度を 135 度に設定してクリックします。

注意： 面に縫い方を設定するには、面が閉じて（完全に囲まれて）いなければなりません。設定できないときは面が閉じていませんので、輪郭データステージに戻り、輪郭線をポイント編集ツールで編集し、閉じてください。輪郭データ編集について、詳しくはP.68 の「ポイント編集ツール」を参照してください。



この葉の図のように面縫いの設定を行いたい部分が閉じていない（完全に囲まれていない）と面縫いの設定を割り当てることができません。
ポイント編集ツールで、閉じる（完全に囲まれる）よう編集してください。

葉の縫い方を設定すると、イメージは以下のように表示されます。



❸ 花びらの一部の設定：

色名**ピンク**を選択し、縫い角度を前ページの葉のようにいろいろな角度に設定した後に、設定したい面をクリックします。

糸色ダイアログで**詳細を表示**ボックスをクリックし、✔が表示されると、糸色の情報表示一覧に切り替わり、糸番号、ブランド、糸色名を確認できます。



❹ 残りの花びらの設定：

色名**アカ**を選択し、縫い角度を設定した後に、設定したい面をクリックします。

ステップ８　縫製イメージをプレビューする

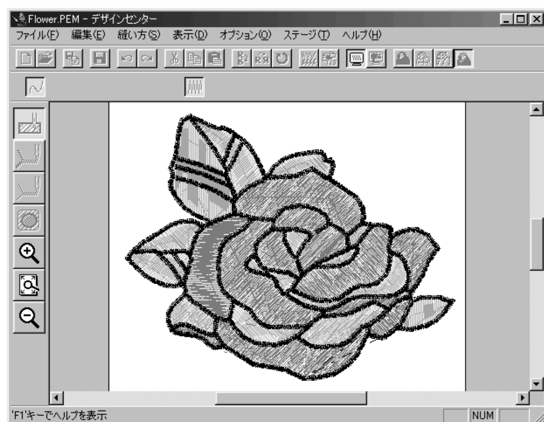
これで、刺しゅうデータが完成しました。仕上がりを見るために、プレビュー機能を使います。

❶ メニューバーの**表示→プレビュー**をクリックします。
または、ツールバーのプレビューボタンをクリックします。



プレビューボタン

作成した刺しゅうデータの縫製イメージが表示されます。



❷ 作業画面に戻るには、再度メニューバーの**表示→プレビュー**をクリックします。
または、ツールバーのプレビューボタンをクリックします。

参考： より実際の縫製後のイメージを確認することができる「リアルプレビュー」（P.103参照）もあります。

ステップ９　刺しゅうデータを保存する

この刺しゅうデータは、次に学ぶレイアウトセンターで、刺しゅうデータの一部として使われます。そのため、この刺しゅうデータを保存する必要があります。

❶ メニューバーの**ファイル→名前を付けて保存**をクリックします。
以下のダイアログが表示されます。



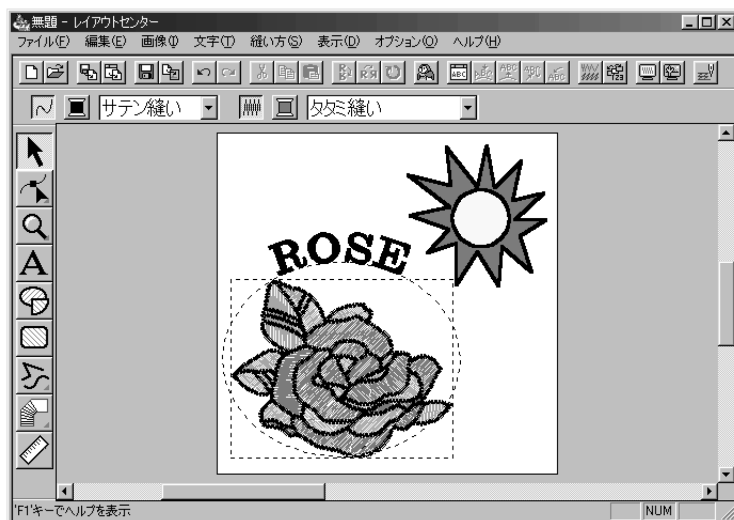
◆ 現在のファイル名 **Flower.PEM** が表示されますので新しいファイル名を入力してください。
◆ 必要に応じて、ドライブとフォルダを変更してください。
◆ **保存**をクリックし、保存します。

注意： プログラムに入っているサンプルファイルは、読み取り専用ファイルですので、上書き保存はできません。

参考： 現在のファイル名で原画の画像ファイルと同じフォルダに保存する場合は、**名前を付けて保存**のかわりに**上書き保存**を使用してもかまいません。
輪郭線画データを保存しなかったときは、**.pel** ファイルで保存するかを尋ねられます。

レイアウトセンターを使う

ここでは、デザインセンターで作成した刺しゅうデータを取り込み、レイアウトセンターで新たに刺しゅうデータ作成し、それらを組み合わせて刺しゅうデータを作成します。レイアウトセンターの通常作業で行う手順を一通り練習しながら、その主な機能について紹介します。最終的には次のような刺しゅう絵ができあがります。



説明されている手順に従って、順に進んでください。
作業を中断する場合は、データを保存しましょう（ステップ18参照）。保存したファイルを後で呼び出して作業を再開できます。

ステップ 1　レイアウトセンターを起動する

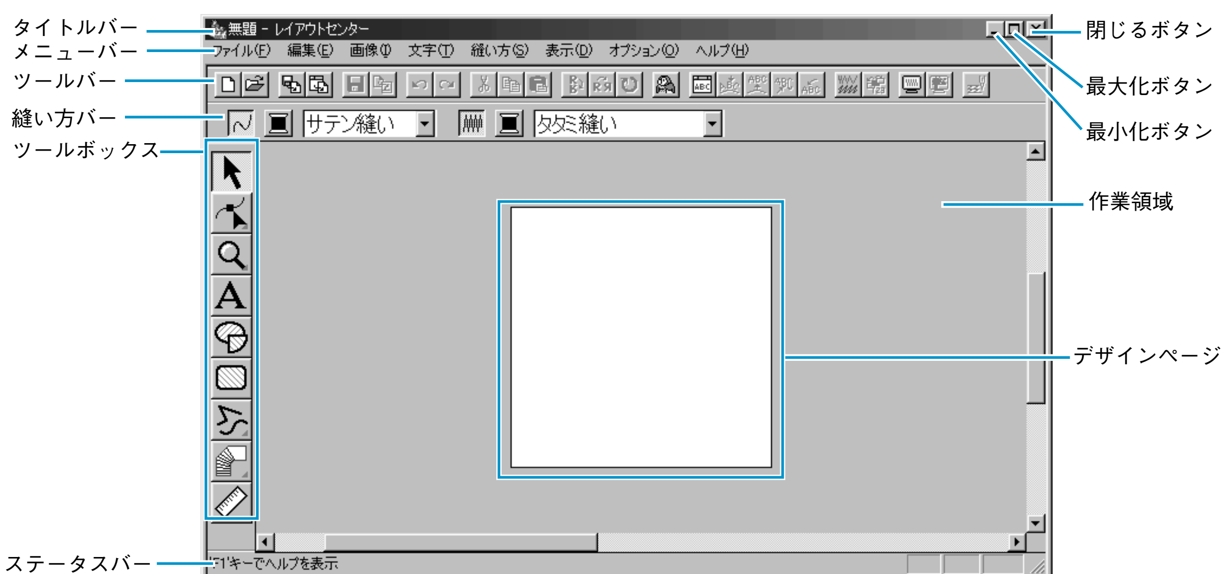
❶ スタートボタン→プログラム→刺しゅう PRO Ver.5 →レイアウトセンターと選択します。レイアウトセンターが起動します。

プログラムグループの中のレイアウトセンターアイコンをダブルクリックしても起動できます。



レイアウトセンターへのショートカットアイコンがデスクトップにある場合は、そのアイコンをダブルクリックしても起動できます。

デザインセンターのメニューバーの**オプション→レイアウトセンターの起動**をクリックしても、レイアウトセンターが起動します。
レイアウトセンター画面が開きます。



表示されるウインドウのサイズは、お使いのパソコンの画面よりも小さくなります。

❷ レイアウトセンター画面をディスプレイ画面いっぱいに拡大するには、タイトルバーの右端にある最大化ボタンをクリックします。
タイトルバーの右端にある最小化ボタンをクリックして、レイアウトセンター画面を一時的に Windows のタスクバーにアイコン化することができます（下記アイコン参照）。



レイアウトセンター画面に戻るには、Windows のタスクバーにあるレイアウトセンターのアイコンをクリックします。

ここで、メニューバーの**オプション→デザインページの設定**をクリックして（**デザインページの設定**ダイアログが開きます）、デザインページの設定を変更することができます。しかし、ここでは設定をそのままにしておきます。

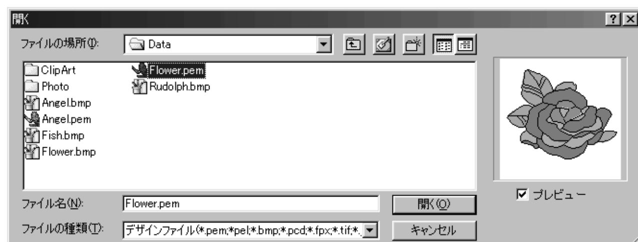
注意：「デザインページの設定」（P.221参照）では、ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲を超えるデザインページの大きさを選択しないでください。

ステップ 2　デザインセンターから刺しゅうデータを取り込む

最初にデザインセンターから刺しゅうデータを取り込みます。練習を中断し、デザインセンター画面を閉じたときは、アプリケーションを起動し、もう一度、保存したファイルを開いてください。

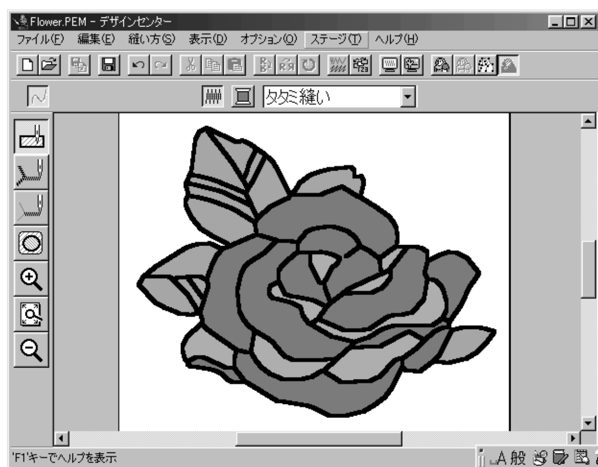
❶ デザインセンターを起動するには、メニューバーの**オプション→デザインセンターの起動**をクリックします。
デザインセンターが起動します。
ウィザードダイアログが開いているときは、**キャンセル**をクリックしてダイアログを閉じてください。

❷ デザインセンターのメニューバーの**ファイル→開く**をクリックします。
開くダイアログが表示されます。



◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名（ここでは**Flower.pem**を使用します。）を選択し、**開く**をクリックします。
- **プレビュー**チェックボックスをクリックして、✔が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。
- 必ずステージ4で保存した**pem**ファイルを選択してください。他の種類のファイルをデザインセンターから取り込むことはできません。

❸ 選択したファイル名の刺しゅうデータが、デザインセンターのデザインページに表示されます。



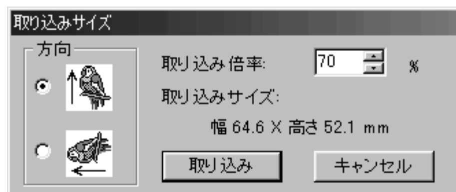
❹ レイアウトセンターのウィンドウをクリックして、レイアウトセンターをアクティブにします。

❺ レイアウトセンターのメニューバーの**ファイル→データ取り込み→デザインセンターから**をクリックします。または、ツールバーの**デザインセンターから取り込み**ボタンをクリックします。



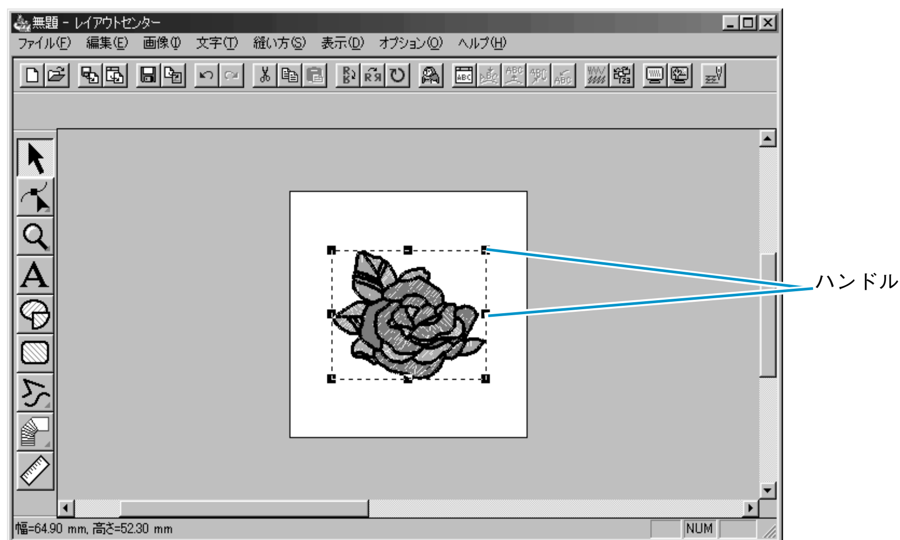
デザインセンターから取り込みボタン

❻ **取り込みサイズ**ダイアログが表示されます。



◆ ここでは **70%**に設定します。
◆ **取り込み**をクリックします。

❼ 刺しゅうデータがレイアウトセンターのデザインページに取り込まれます。



取り込まれた刺しゅうデータを囲む破線は、その刺しゅうデータが取り込まれたもの（ステッチデータ）であることを意味します。またハンドルは、その刺しゅうデータが選択されていることを意味します。
取り込まれた刺しゅうデータ（ステッチデータ）は、常に単一のオブジェクトとして選択されるので、その刺しゅうデータ（ステッチデータ）の一部を選択することはできません。また、縫い方の設定を変更することもできません。

ステップ 3　ズームインとズームアウトを行う

表示品質は、ご使用のパソコンの画面解像度によって異なります。標準設定では、デザインページ全体が見られるように設定されています。デザインの一部分を修正するときなど、一部分を大きく表示するにはズームイン機能を利用します。もう一度デザインページ全体を表示するときは、ズームアウトします。



P.124 の「ズームツール」

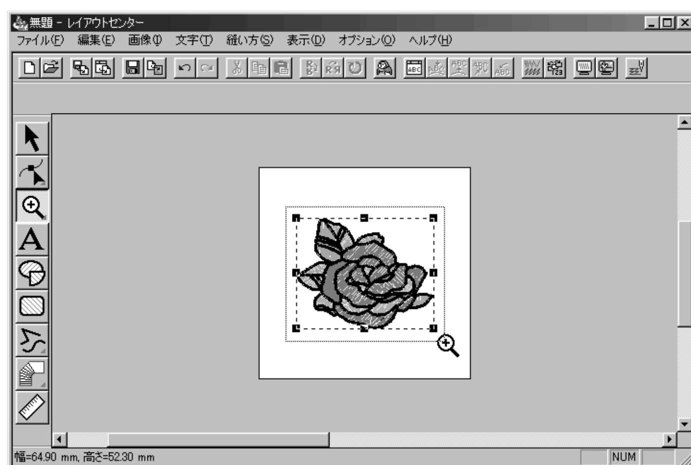
❶ ツールボックスの をクリックします。

5 つのボタン が表示されます。

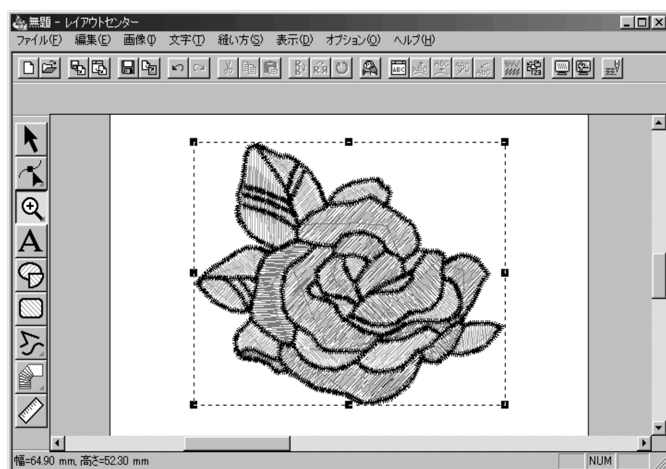
❷ をクリックします。

カーソルが、 に変わります。

❸ 拡大したい部分をクリックします。
または、拡大したい領域を囲むようにドラッグします。選択された領域を示す点線の四角が表示されます。



点線の四角が拡大したい領域に一致したところでマウスボタンを離します。マウスボタンを離すとその領域が拡大されます。

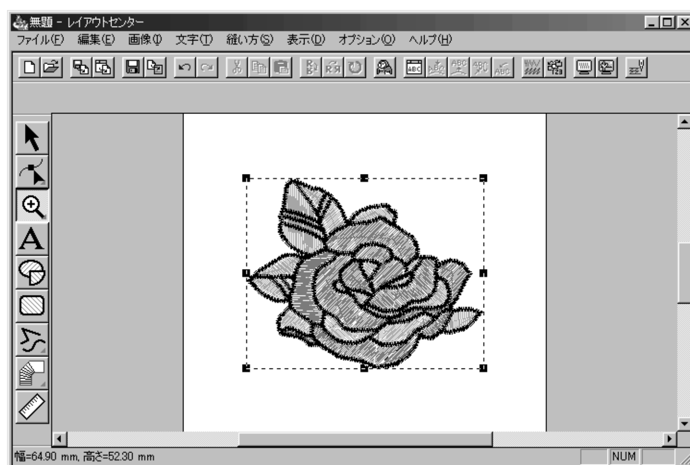


この操作を繰り返し、更に拡大できます。

❹ ほぼ実際のサイズのイメージに表示するには、ツールボックスの をクリックします。

5 つのボタン 1:1 が表示されます。

❺ 1:1 をクリックします。



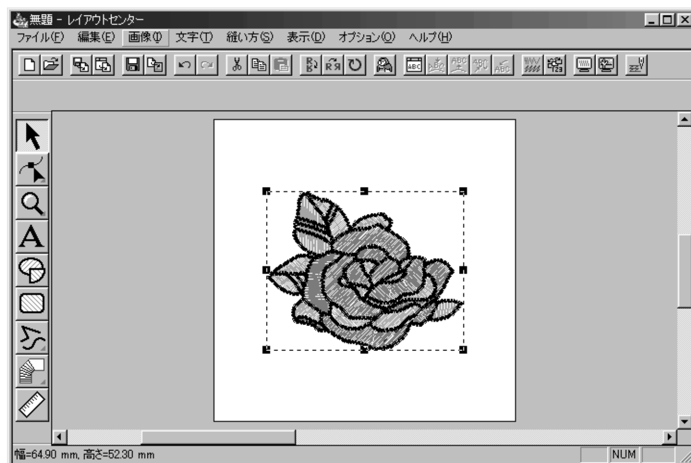
ステップ 4　刺しゅうデータを移動する

デザインセンターから刺しゅうデータを取り込むと、レイアウトセンターのデザインページ中央部に置かれます。ここでは、取り込まれた刺しゅうデータ（ステッチデータ）を移動する方法について説明します。

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが、 に変わります。

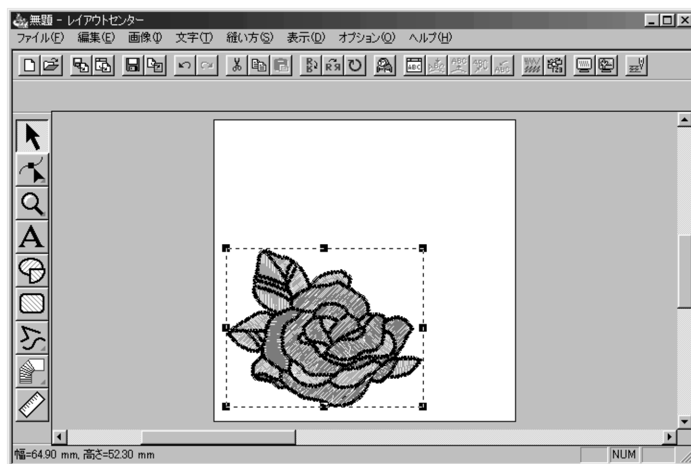
❷ 刺しゅうデータをクリックします。



ステータスバーに、選択された刺しゅうデータのサイズ（幅と高さ）が表示されます。

❸ 選択された刺しゅうデータ上にカーソルを移動します。

カーソルが に変わります。この状態で刺しゅうデータをドラッグすると、別の位置に移動できます。



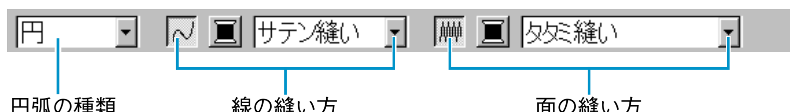
ステップ 5　円を加える

円を加えます。この円は、後で付け加える文字を配列するガイドとして使用するため、あえて縫製しないよう設定します。

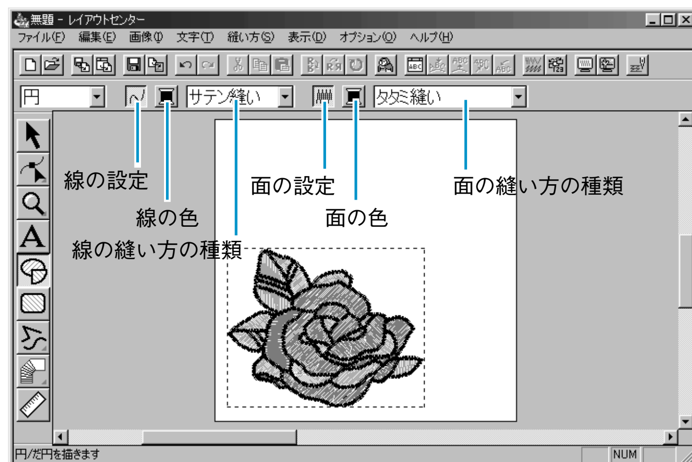
❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが ┼ に変わり、小さな楕円と共に表示されます。

この段階で縫い方バーは、次のように表示されます。



縫い方バーのボタン上またはセレクタ上にカーソルをしばらく置いておくと、ボタンの機能を示す小さなラベルが表示されます。
円弧の種類セレクタで刺しゅうデータの形状を選択できます。例えば、円は、真円や楕円を描画するときに使います。他のオプションは、弧や扇形などを描画するときに使います。詳しくは、P.126 の「円・円弧描画ツール」を参照してください。
線の縫い方グループと面の縫い方グループにあるボタンは、線と面に対するそれぞれの縫い方の種類と糸色の設定に使います。



線の設定ボタンをクリックすると、**線の色**ボタンと**線の縫い方**セレクタが非表示となります。これは、線が縫製されないことを意味します。**線の色**ボタンと**線の縫い方**セレクタを表示させるには、**線の設定**ボタンをもう一度クリックします。

❷ **形状を選択する**：ここでは標準設定の**円**を選択しますので、**円弧の種類**セレクタは変更しません。

注意：円・円弧ツールで刺しゅうデータを描くときは、必ず、描く前に描きたい形状を選択しなければなりません。例えば、円を描いた後に、それを円弧に変更することはできません。

❸ **線を無効化（縫製しないように設定する）**：**線の設定**ボタンをクリックします。**線の色**ボタンと**線の縫い方**セレクタが非表示となります。

❹ **面を無効化（縫製しないように設定する）**：**面の設定**ボタンをクリックします。**面の色**ボタンと**面の縫い方**セレクタが非表示となります。

❺ **円を描く**：カーソルを作業領域内でドラッグします。マウスボタンを離すと、最終的な楕円（輪郭線と面部）が描画されます。（線と面を縫わない設定となっているため、破線で表示されます。）
円の位置、大きさ、縦横比（高さと幅の比）については後で調整します。

描き直したいときは、円を削除してから、もう一度描きます。ツールボックスの をクリックしてから、削除したい円をクリックして選択し、次に Delete キーを押すか、メニューバーの**編集**→**削除**をクリックします。

円を描いた後で、色や縫い方の種類を変更したいときは、ツールボックスの をクリックしてから、変更したい円をクリックして選択します。次に**線の設定**ボタンと**面の設定**ボタンをクリックします。円の縫い方バーに現在の設定内容が表示されるので、それを変更できます。

ステップ 6　円の大きさと位置を調整する

作成した円の大きさと縦横比を調整し、それを配置したい位置に移動します。

■ 円の大きさを変更する

花全体が入る楕円になるように、円の大きさと縦横比を調整します。

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが、 に変わります。

❷ 円をクリックして選択します。カーソルが から に変わります。

❸ カーソルを円の周りにあるハンドルに移動します。

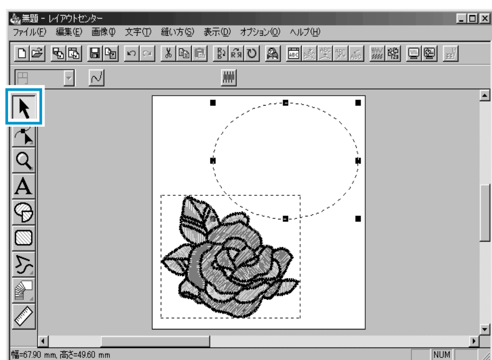
カーソルが、カーソルが接しているハンドルによって、⟷、↕、⤢、⤡ に変わります。

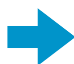
❹ ハンドルを矢印の方向にドラッグし、円を拡大・縮小します。

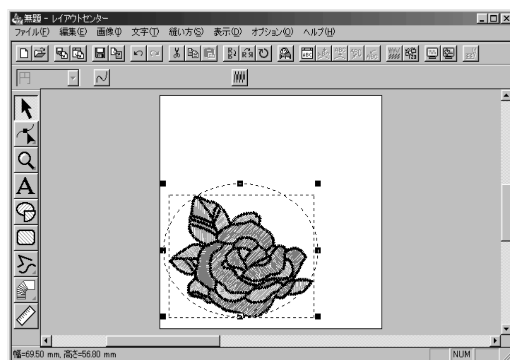
⟷は、幅の拡大・縮小に使います。

↕ は、高さの拡大・縮小に使います。

⤢ と ⤡ は、選択された円の縦横比を変えないで拡大・縮小するときに使います。







■ 円を移動する

花が作成した円の中心にないときは、次の手順に従って移動してください。

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが に変わります。

❷ 円をクリックして選択します。

❸ 選択された円上にカーソルを移動します。

カーソルが に変わります。

❹ ここで円をドラッグして移動します。

ステップ 7　文字を加える

文字を加えます。

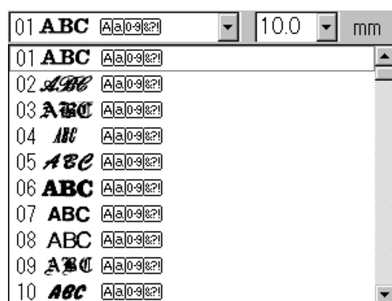
❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。

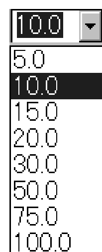


❷ **文字の色を設定する**：この段階で文字の色を設定できます。ここでは、標準設定の黒色を選択します。

❸ **書体を設定する**：この段階で書体を設定できます。**書体**セレクタをクリックし、書体 01 を選択します。



❹ **文字サイズを設定する**：**文字サイズ**セレクタをクリックし、文字のサイズを選択します（ここでは **10.0 mm** を選択）。設定値は、文字の高さを示します。



❺ **文字の縫い方を設定する**：**文字の縫い方**セレクタをクリックし、文字の縫い方を選択します。ここでは、標準設定の縫い方、**サテン縫い**を選択します。





P.194 の「書式設定」

❻ **文字を入力する**：デザインページの適当な場所でクリックします。文字は作成後に移動できますので、ここでは実際の位置を気にする必要はありません。
文字の編集ダイアログが表示されます。



◆ 作成する文字（ここでは **ROSE**）を入力します。

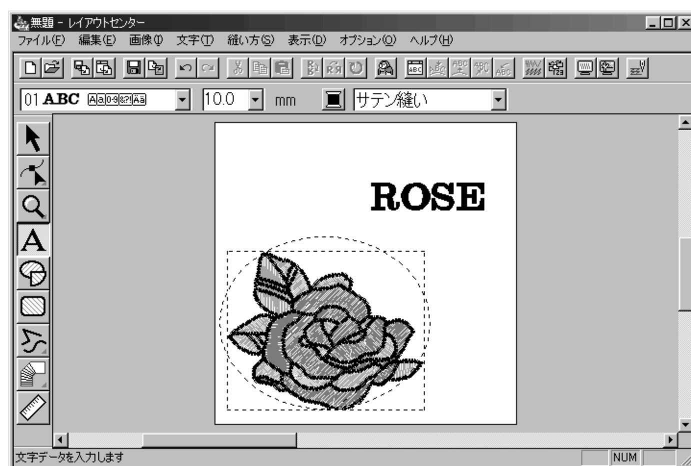
注意： 書体で 01 ～ 35 の書体を選択した場合は英数半角で入力してください。詳しくは、P.125「文字入力ツール」を参照してください。

◆ **文字の編集**ダイアログ内の**選択できる文字**の中の文字をクリックし、**選択**をクリックしても文字の入力ができます。

注意： 選択した書体によっては、選択できる文字は表示されません。詳しくは、P.125「文字入力ツール」を参照してください。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックしてください。

OK をクリックすると、文字がデザインページに表示されます。



入力した文字を編集するには、ツールボックスの をクリックし、次に文字上でクリックして選択します。さらにメニューバーの**文字→文字の編集**を選択して、**文字の編集**ダイアログを開きます。文字を削除するには、削除したい文字を選択し、 Delete キーを押します。文字の入力後に、文字の色、書体、その他の属性を変更したいときは、ツールボックスの をクリックし、変更したい文字をクリックして選択します。文字の縫い方バーに現在の設定内容が表示されるので、ここで変更できます。

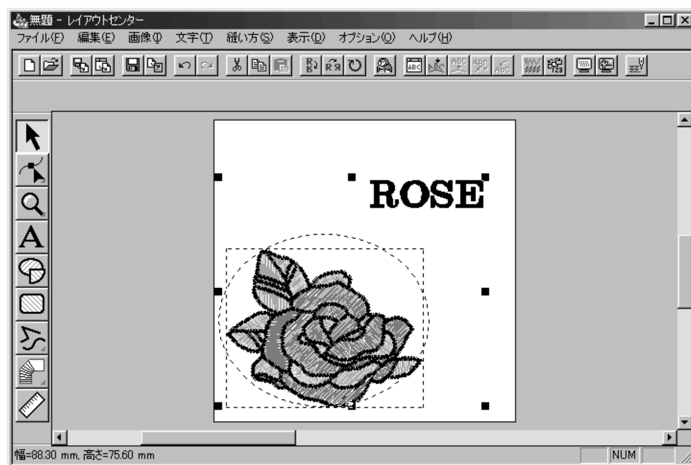
ステップ 8　円の周りに文字を配列する

円に沿って文字を配列します。

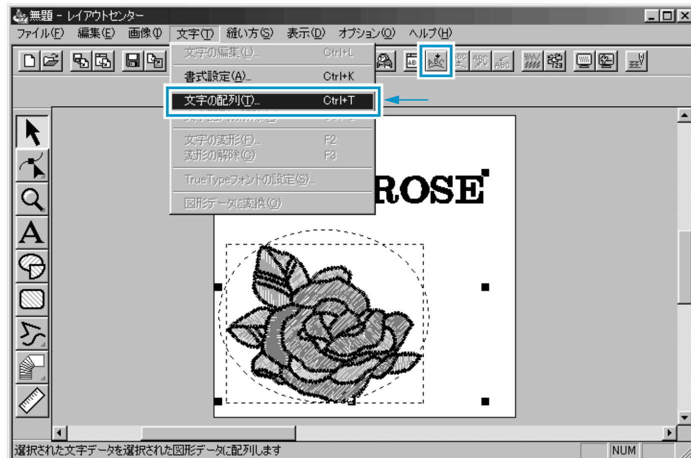
❶ ツールボックスの［選択ツール］をクリックします、カーソルが［矢印］に変わります。

❷ 文字（ROSE）をクリックして、選択します。

❸ Ctrl キーを押しながら、円をクリックします。文字と円の両方が選択できます。



❹ メニューバーの**文字**→**文字の配列**をクリックします。
または、ツールバーの文字の配列ボタンをクリックします。

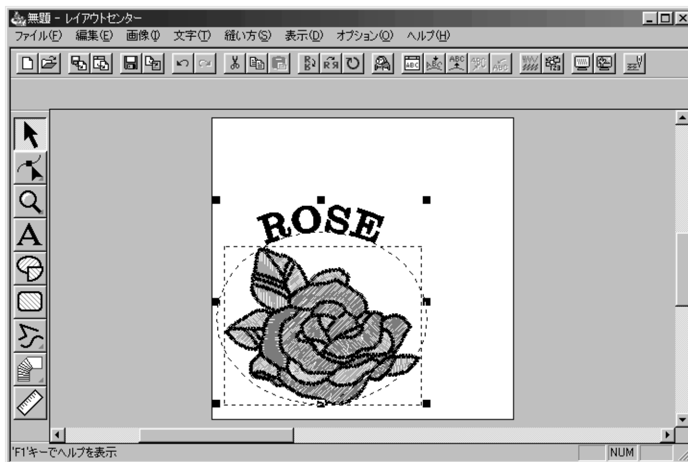


文字の配列の設定ダイアログが表示されます。



◆ ここでは、設定を変更しないで **OK** をクリックします。
- この設定について、詳しくは P.195 の「文字の配列」を参照してください。

❺ これで、作成された文字が円に沿って配列されます。



ステップ 9　文字と円を移動する

文字が円に配列されると、同じグループとなり 1 つの刺しゅうデータとして扱われますので、別々に移動することはできません。ただし、円に沿って文字の位置を移動させることはできます。

■ 文字と円をグループとして移動する

❶ ツールボックスの をクリックしてから、円をクリックして選択します。

❷ 円上にカーソルを移動して、カーソルを に変えます。

❸ 円をドラッグすると、文字が円と共に移動します。

■ 円上で文字を移動する

❶ ツールボックスの をクリックし、文字をクリックして選択します。

❷ 文字上にカーソルを移動し、カーソルを に変えます。

❸ 文字をドラッグすると、円に沿って文字のみを移動することができます。

ステップ 10 太陽を描く円を加える

次に太陽を加えます。まず真円を描いてみましょう。

❶ 真円を描きます。

真円は、Shift キーを押しながらドラッグして、先ほどの円（楕円）と同様に描きます。
円のサイズを変更したいときは、角にあるハンドルの 1 つをドラッグします。

❷ 線の色と縫い方を設定します。

まず、[矢印ボタン]を使って円を選択します。次に**線の設定**ボタン[線の設定]をクリックして、**線の色**ボタン[線の色]と**線の縫い方**セレクタ[サテン縫い]を表示させ、線の色（クロ）と縫い方（サテン縫い）を選択します。

❸ 線縫いの縫い方を設定します。
メニューバーの**縫い方→縫い方の設定**をクリックします。または、ツールバーの縫い方の設定ボタンをクリックします。



縫い方の設定ダイアログが表示されます。

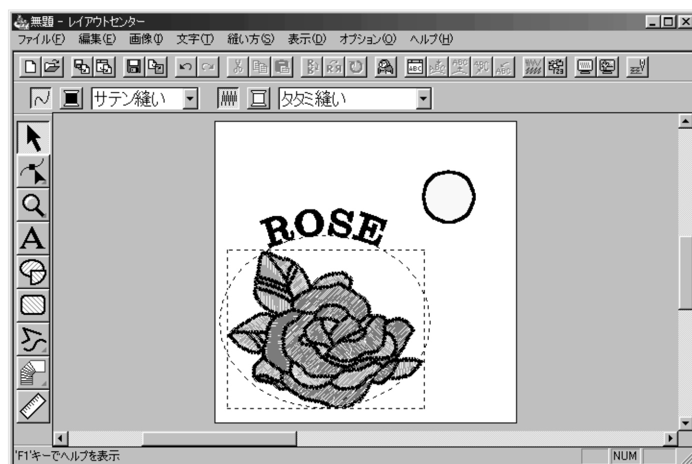


◆ サテン縫いの幅を **1.0 mm** に設定します。

◆ **設定**をクリックします。

❹ 面の縫い方を設定します。

面の設定ボタン[面の設定]をクリックし、**面の色**ボタン[面の色]と**面の縫い方**セレクタ[タタミ縫い]を表示させ、面の色（キイロ）を選択します。次の画面が表示されます。



ステップ 11 プログラムタタミ縫いを選択する

ステッチクリエーターで作成される特殊な刺しゅうデータ（プログラムタタミ縫い）の選択と変更方法を説明します。パターンがタイル状に選択された面に並べられ、非常に装飾的なタタミ縫いが作成されます。

❶ ツールボックスの をクリックしてから、太陽の円を選択します。

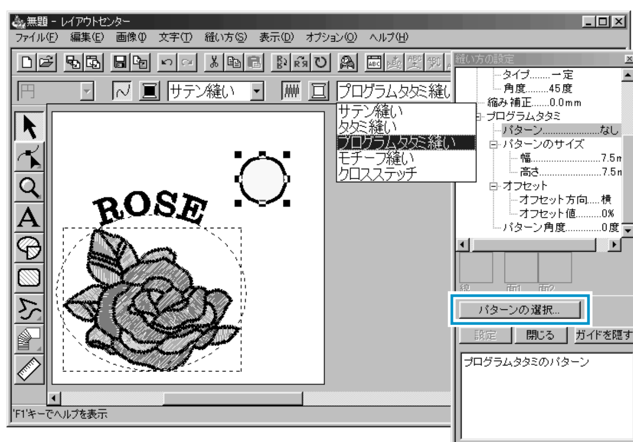
❷ **面の縫い方**セレクタで、プログラムタタミ縫い を選択します。

❸ メニューバーの**縫い方→縫い方の設定**をクリックします。
または、ツールバーの縫い方の設定ボタンをクリックします。



縫い方の設定ボタン

縫い方の設定ダイアログが開きます。

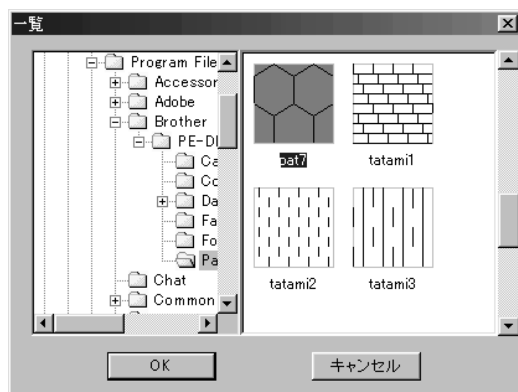


◆ **プログラムタタミのパターン**を選択します。

◆ **パターンの選択**をクリックして、**一覧**ダイアログを開きます。

◆ patternフォルダには、パターンのファイルが含まれています。各ファイルには**.pas**の拡張子が付いています。これから示す**一覧**ダイアログで、既存の .pas ファイルをプレビューを見ながら検索することができます。

注意： "*.pas" ファイルは**プログラムタタミ**用パターンです。"*.pmf" ファイルは、**モチーフ縫い**用パターンです。



◆ ダイアログ右側にある縫い方のアイコンからpat 7をクリックします。pat 7 が反転表示されます。

◆ アイコンをダブルクリックするか、**OK** をクリックして選択します。ダイアログが閉じ、**ガイド画面**で選択された縫い方を確認できます。

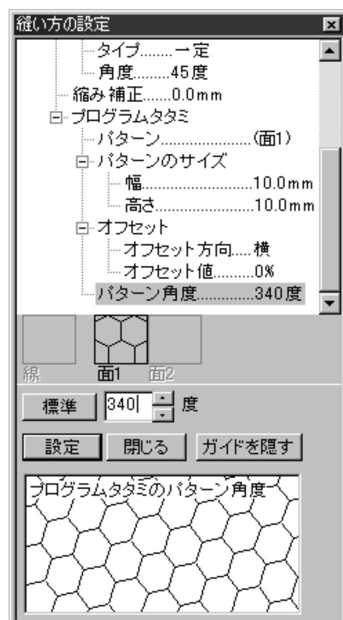
❹ パターンの大きさを変更します。パターンのサイズの幅と高さをそれぞれ 10.0 mm に設定します。

参考： 幅と高さを変更すると、それにともなってダイアログ下部に表示されるガイド画面のパターンのイラストも変わります。変更後の実際の変化をここで確認できます。また、数値を直接入力することもできます。この場合、設定ボタンをクリックするか Enter キーを押すまで、ガイド画面の表示は変化しません。

❺ オフセットを変更します。オフセットのオフセット方向で横を選択し、オフセットのオフセット値で 50%に設定します。

注意：同一のパターンに対して、横、縦の両方を選択することはできません。

❻ パターン角度を変更します。「▼」矢印をクリックして、**340 度**の値が選択されるまで、パターンを右に回転させます。**縫い方の設定**ダイアログが次のように表示されます。



- 縫い方の設定については、P.200 の「縫い方の設定」も参照してください。

❼ **設定**をクリックします。

縫い方が設定されました。縫い方の設定は、他の設定と同様に変更をしないかぎり、これから新しく描かれる面すべてに適用されます。

縫い方の設定ダイアログを閉じる場合は、**閉じる**をクリックします。

ステップ 12 陽光を描く（折れ）線を加える

折れ線で太陽の周りに陽光を描きます。折れ線には色々な描き方があります。 例えば、直線を何本か組み合わせて描くこともできます。ここでは、線描画ツールを使って、1 個の星形模様として作成してみましょう。

❶ ツールボックスの をクリックし をクリックします。カーソルが ＋ に変わり、選択した機能を示す絵柄と共に表示されます。縫い方バーが次のように表示されます。



❷ 必ず、**両端の処理**セレクタで**閉じた線**を選択します。

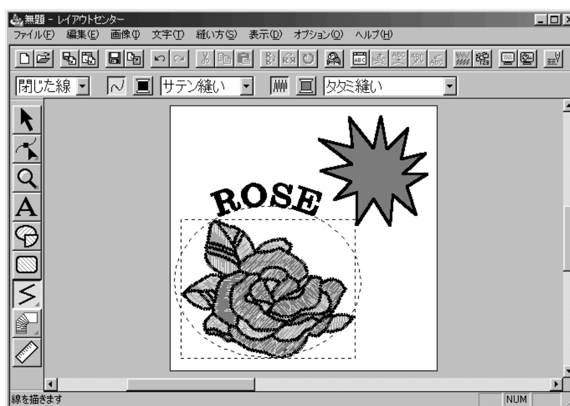
閉じた線を選択すると、最初の点と最後の点は自動的に結合し、1 つの輪になります。そのため作成された刺しゅうデータは、輪郭線と面を持つことになります。**開いた線**を選択すると、最初の点と最後の点は自動的に結合せず、直線は開いたままとなります。そのため、描かれた刺しゅうデータに面がなく、面の縫い方は設定できません。（P.129 参照）

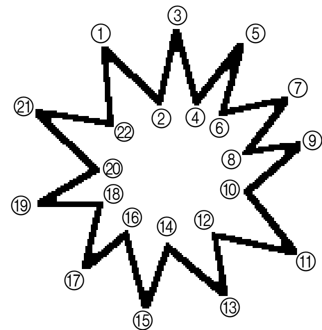
❸ **線の色**ボタン と**線の縫い方** セレクタ サテン縫い を使って、直線の色（クロ）と縫い方（サテン縫い）を設定します。（メニューバーの**縫い方→縫い方設定**をクリックして、縫い方の詳細を設定することもできます。）

❹ **面の色**ボタン と **面の縫い方**セレクタ タタミ縫い を使って、面の色（アカ）と縫い方（タタミ縫い）を設定します。（メニューバーの**縫い方→縫い方設定**をクリックして、縫い方の詳細を設定することもできます。）

❺ 円を目安に、折れ線を描きます。
カーソルを始点に移動し、クリックします。マウスを最初の線の終点に移動し、再度クリックします。
参考：マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

最後の点まで繰り返します。最後の点でダブルクリックします。ダブルクリックすると、次のようになり表示されます。





① を始点としてクリックし、② の位置まで、マウスを移動させそこでクリックします。③～㉑ まで同じ操作を繰り返します。
㉒ の位置が最後の点となりますのでマウスを移動させダブルクリックします。

刺しゅうデータを削除し描き直したいときは、ツールバーの をクリックしてから、削除したい刺しゅうデータをクリックして選択し Delete キーを押すか、メニューバーの**編集→削除**をクリックします。

刺しゅうデータを描いた後で、その両端処理や色、縫い方などを変更したいときは、ツールボックスの をクリックしてから、変更したい刺しゅうデータをクリックして選択します。次に、縫い方バーまたは縫い方設定ダイアログで設定を変更してください。

ステップ 13 太陽と陽光の縫い順を変更する

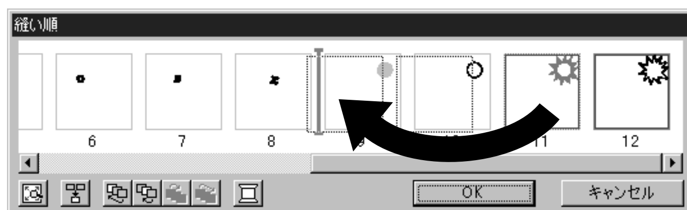
太陽を描いた後に陽光を描いたために、陽光が太陽をかくしてしまっています。上にある刺しゅうデータの方が後に縫製されますので、これでは正しく縫うことができません。縫い順を変更して、目的どおりの太陽の刺しゅうができるようにしましょう。

❶ メニューバーの**縫い方→縫い順**をクリックします。
または、ツールバーの縫い順ボタンをクリックします。

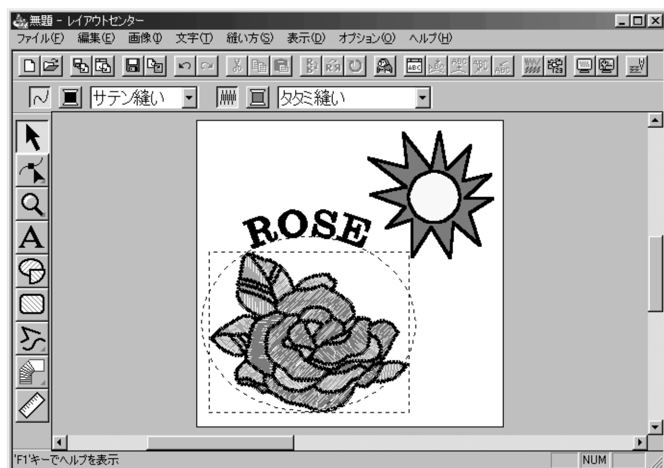


縫い順ボタン

❷ **縫い順**ダイアログが表示されます。縫い順を変更したいデータをドラッグして、希望の位置に移動します。ここでは、陽光部分の面と線を Ctrl キーを押しながらクリックして選択し、太陽の円の面の前に移動します。



これで陽光部分が太陽の後ろ側に移動します。



必要に応じて、太陽の円が陽光の中央に見えるように円を移動してください。

ステップ 14 陽光を調整する

ここでは、陽光を修正してみましょう。陽光の輪郭線上のポイントを移動、削除、追加して行います。

❶ ツールボックスの をクリックし、陽光部分を選択します。

❷ ツールボックスの をクリックします。

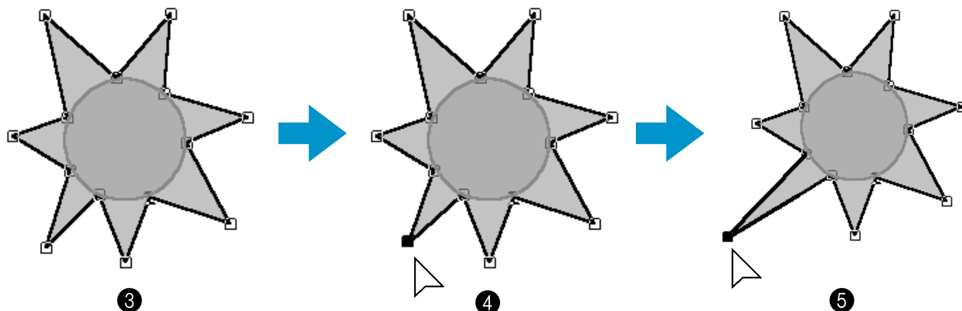
3 つのボタン が表示されます。

❸ をクリックします。

カーソルが に変わり、陽光模様の既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。

❹ 移動したいポイントをクリックします。
選択されたポイントは小さな黒い四角で表示されます。

❺ ポイントを新しい位置へドラッグします。
ポイントは選択されたままですので、再度ドラッグできます。





P.119 の「ポイントを挿入する」、P.120 の「ポイントを削除する」

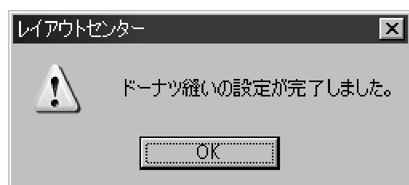
ステップ 15 ドーナツ縫いを設定する

現在の設定に従って縫製が行われると、最初に陽光模様全体が縫われ、その上に太陽の模様が縫われます。このような場合に、同じ部分を二重に縫わないよう、一対の刺しゅうデータ（円と陽光）に対してドーナツ縫いの設定ができます。これにより太陽の背後に隠れている陽光の部分は縫製されません。

❶ ツールボックスの をクリックし、太陽部分をクリックします。

❷ Ctrl キーを押しながら、陽光部分をクリックします。
円と折れ線とが共に選択されます。

❸ メニューバーの**縫い方→ドーナツ縫いの設定**をクリックします。
次のメッセージが表示されます。



◆ **OK** をクリックします。

一対の刺しゅうデータにドーナツ縫いの設定がされると、単独では移動できません。それぞれの位置を単独で調整したい場合は、ドーナツ縫いの設定がされている刺しゅうデータを選択した後、メニューバーの**縫い方→ドーナツ縫いの解除**をクリックして、ドーナツ縫い設定を解除しなければなりません。

注意： ドーナツ縫いは、一対の刺しゅうデータの一方が他方の内側に完全に包含されていないと設定できません。（「ドーナツ縫いの設定」P.208 参照）

ステップ 16 縫製イメージをプレビューする

これで刺しゅうデータが完成しました。実際にどのように縫製されるかは、プレビュー機能で確認できます。例えば、ドーナツ縫いが設定されていると、太陽の後ろにある陽光部分が縫製されないことがはっきりと確認できます。

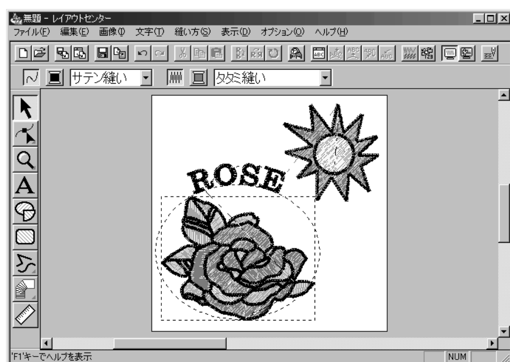
❶ メニューバーの**表示→プレビュー**をクリックします。
または、ツールバーのプレビューボタンをクリックします。

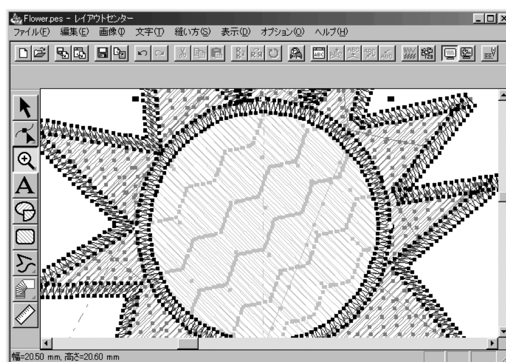


参考：より実際の縫製後のイメージを確認することができる「リアルプレビュー」（P.103参照）もあります。

プレビュー画面が表示されます。

❷ 詳しく見たい部分はズームツールで拡大できます。





❸ 編集のできる画面に戻すには、もう一度 ❶ の操作を行うか、 Esc キーを押します。

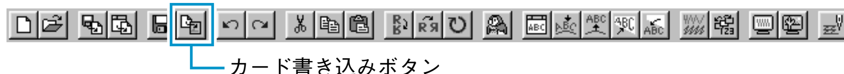
注意：プレビュー画面でも、編集を行うことができます。

ステップ 17 カードへ刺しゅうデータを書き込む

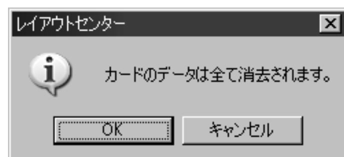
作成した刺しゅうデータをオリジナルカードに転送して、はじめて実際に縫製することができます。

❶ カードライターにオリジナルカードを挿入します。

❷ メニューバーの**ファイル→カード書き込み→デザインページのデータ**をクリックします。
または、ツールバーのカード書き込みボタンをクリックします。



次のダイアログが表示されます。



◆ 既にカードに刺しゅうデータが書き込まれているときは、保存されている刺しゅうデータが削除されてもよいかを確認し、よければ **OK** をクリックします。

◆ 操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

カードライターが正しく接続されていない、カードが挿入されていない、カードに不具合がある等の場合には、エラーメッセージが表示されます。
詳しくは、P.153 の「カード書き込みーデザインページのデータ」を参照してください。

参考： 作成した刺しゅうデータをご使用のハードディスクやフロッピーディスクなどに保存することができます。また、保存された刺しゅうデータは、レイアウトセンターを使ってオリジナルカードに書き込むこともできます。P.154の「カード書き込みー複数 PES ファイル」を参照してください。

ステップ 18 刺しゅうデータを保存する

アプリケーションを終了する前に、刺しゅうデータを後で使えるように保存します。

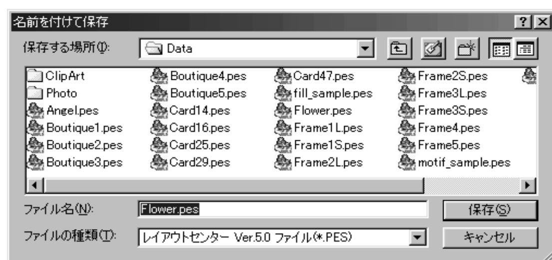
❶ メニューバーの**ファイル→上書き保存**をクリックします。
または、ツールバーの上書き保存ボタンをクリックします。



上書き保存ボタン

すでに、この刺しゅうデータがディスクに存在する（少なくとも一度は保存されている）と、ファイルは直ちに保存されます。

❷ ファイル名がまだ**無題**のときや、何らかの理由によりディスク上でファイルが見つからないときには、アプリケーションがファイル名と保存するフォルダを入力するよう指示してきます。



◆ ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。

◆ **保存**をクリックし、保存します。

◆ 中止したい場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意： プログラムに入っているサンプルファイルは、読み取り専用ファイルですので、上書き保存はできません。

入力した名前のファイルがすでに存在するときは、次のダイアログが表示されます。



◆ 上書きしてもいいときは、**はい**をクリックします。

◆ 上書きしたくないときは、**いいえ**をクリックします。❷の操作に戻ります。

レイアウトセンターのタイトルバー上に新しい名前が表示されます。

ステップ 19 レイアウトセンターを終了する

❶ メニューバーの**ファイル→終了**をクリックし、レイアウトセンターを終了します。
デザインセンターも同様に終了します。

ステッチクリエイターを使う

本アプリケーションでは、デザインセンターとレイアウトセンターで設定するプログラムタタミ縫いとモチーフ縫いに使用するパターンの作成、編集、保存ができます。
これらのパターンを使用した刺しゅうデータはより装飾的になります。

ここでは最も重要な機能を紹介し、既存のパターンの編集方法について説明します。独自のパターンを作成する手順については、ステッチクリエイターの別のステップで説明します。

説明されている手順に従って、順に進んでください。
作業を中断する場合は、ファイルを保存しましょう（ステップ 4 参照）。保存したファイルを後で呼び出して作業を再開できます。

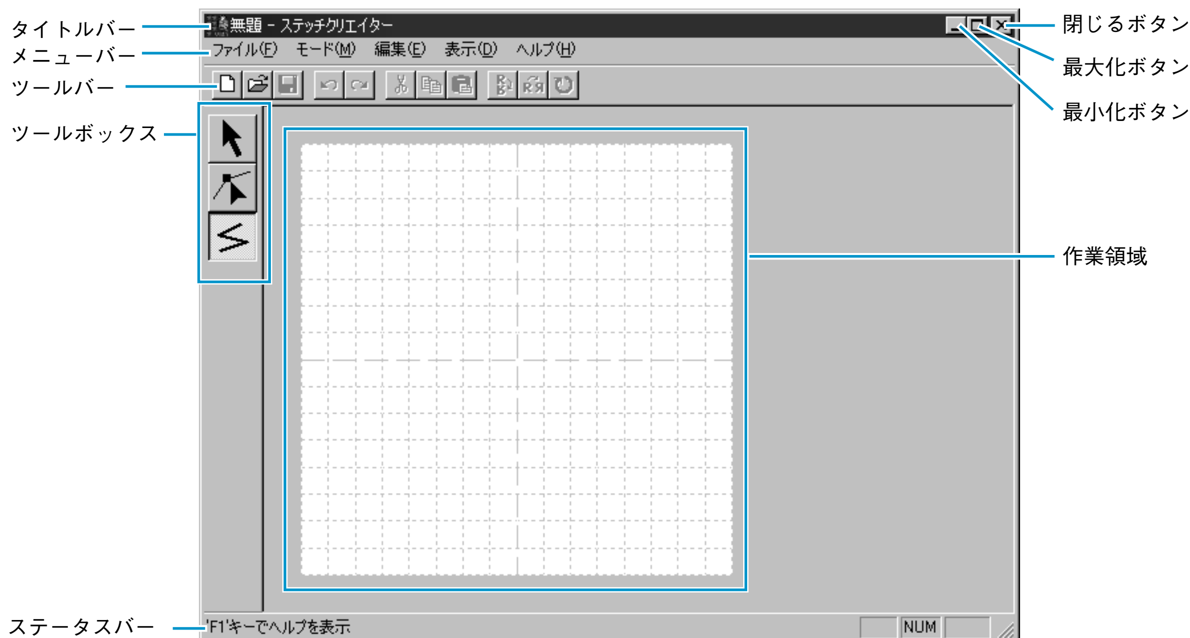
ステップ 1　ステッチクリエイターを起動する

❶ [スタート] ボタン→プログラム→刺しゅうPRO Ver.5 →ステッチクリエイターと選択します。
ステッチクリエイターが起動します。
プログラムグループの中のステッチクリエイターアイコンをダブルクリックしても起動できます。



ステッチクリエイターへのショートカットアイコンがデスクトップにある場合は、そのアイコンをダブルクリックしても起動できます。

デザインセンター、レイアウトセンターのメニューバーの**オプション→ステッチクリエイターの起動**をクリックしても、ステッチクリエイターが起動します。



表示されるウインドウのサイズは、お使いのパソコンの画面よりも小さくなります。

❷ ステッチクリエイター画面をディスプレイ画面いっぱいに拡大するには、タイトルバーの右端にある最大化ボタンをクリックします。
タイトルバーの右端にある最小化ボタンをクリックして、ステッチクリエイター画面を一時的に Windows タスクバーにアイコン化することができます（下記アイコン参照）。



ステッチクリエイター画面を表示するには、Windows のタスクバーのステッチクリエイターアイコンをクリックします。

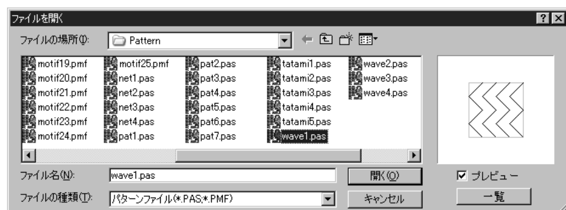
ステップ 2　パターンファイルを開く

❶ メニューバーの**ファイル→開く**をクリックします。
または、ツールバーの**開く**ボタンをクリックします。



開くボタン

ファイルを開くダイアログが表示されます。



ここではプログラムタタミのパターン（wave1.pas）を使って説明します。
開きたいファイル名がわかっているときは：

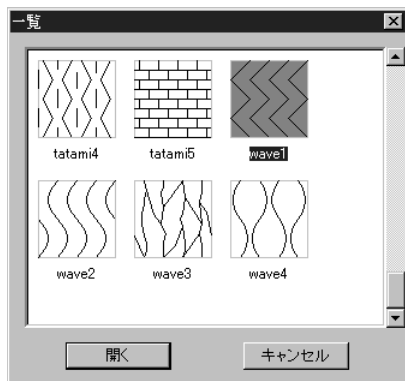
◆ Pattern フォルダの .pas ファイルをクリックして、ファイルを選択します。**プレビュー**チェックボックスをクリックして ✔ が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。

◆ **開く**をクリックするか、選択された .pas ファイルをダブルクリックして、ファイルを開きます。

開く前に、使用可能なファイルを検索したいときは：

◆ **一覧**をクリックして、選択されたフォルダの使用可能なすべてのファイルをプレビューします。

一覧ダイアログが表示されます。



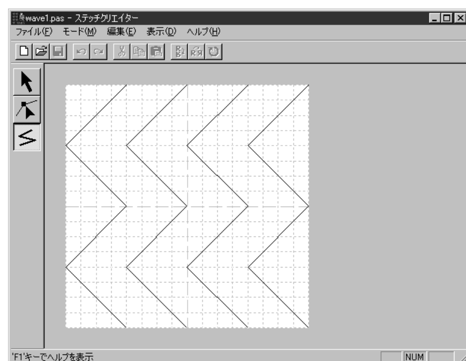
◆ スクロールバーを利用して、ファイルを検索します。

◆ パターンをクリックすると、選択できます。選択されたパターンは反転表示されます。

◆ 選択されたパターンをダブルクリックするか、**開く**をクリックするとファイルが開き、**ファイルを開く**ダイアログと**一覧**ダイアログの両方が閉じます。

参照： “*.pas” ファイルは、**プログラムタタミ**縫い用のパターンです。
“*.pmf” ファイルは、**モチーフ縫い**用のパターンです。
モードメニューは、作成するファイルの種類を変更するためのものです。

パターンが、ステッチクリエイターの作業領域に表示されます。



ステップ 3　直線を描いて、パターンを編集する

ツールボックスの直線描画ツールを使用して、表示された模様の間に波線を引いてみましょう。

参考： グリッドの種類は、描きたい細かさによって選択します。細かな刺しゅうには狭いグリッドを選択し、単純なものには広いグリッドを選択します。

❶ ツールボックスの をクリックし、作業領域上にカーソルを移動します。

カーソルが に変わり、機能を示す絵柄と共に表示されます。

❷ 1 つの波線の始点から横方向に2 つ目のグリッドをクリックします。

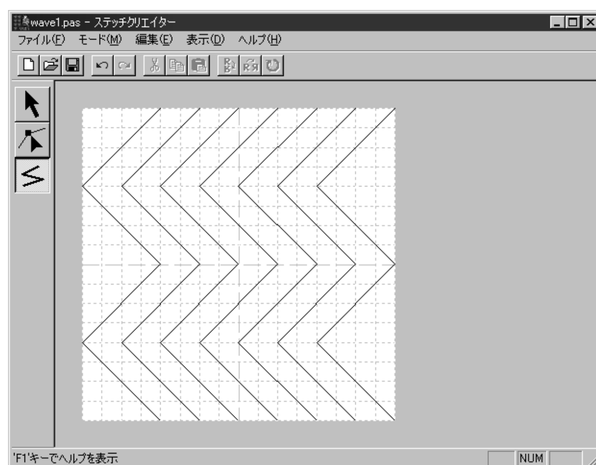
参考： グリッド線が表示されている場合は、必ずグリッド線の交点にポイントが作成されます。

❸ マウスを最初の角まで移動し、再度クリックします。

参考： マウスを右クリックすると、いつでも直前に入力したポイントを削除できます。

❹ この操作を繰り返し、線の終点に到達したら、ダブルクリックします。

❺ この操作を繰り返し、もう 2 本の波線を追加します。
ディスプレイに、次のように表示されます。



描いたパターンの中の、あるポイントを編集したいときは、ポイント編集ツールで行うことができます。ポイント編集ツールでは、ポイントの挿入と削除ができます。（P.231 の「ポイント編集ツール」を参照してください。）

ステップ 4　編集したパターンを保存する

編集したパターンを、レイアウトセンターやデザインセンターで使用するために、編集したパターンを **.pas** ファイルで保存します。

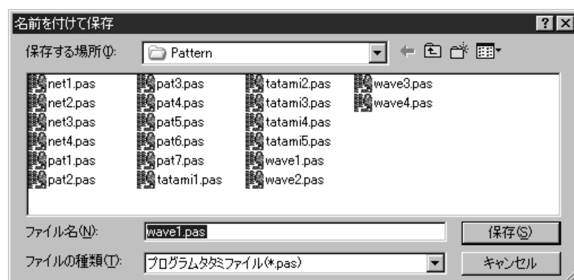
❶ メニューバーの**ファイル→上書き保存**をクリックするか、ツールバーの**上書き保存**ボタンをクリックします。



注意：プログラムに入っている **.pas**、**.pmf** ファイルは、読み取り専用ファイルですので、上書き保存はできません。

名前を付けて保存ダイアログが開きます。

❷ 独自に作成したパターンデータのファイル名を入力し、保存先フォルダを選択します。



◆ ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。
◆ **OK** をクリックし、保存します。
◆ 中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

ステップ 5　ステッチクリエイターを終了する

これでパターンができ上がりました。アプリケーションを終了します。

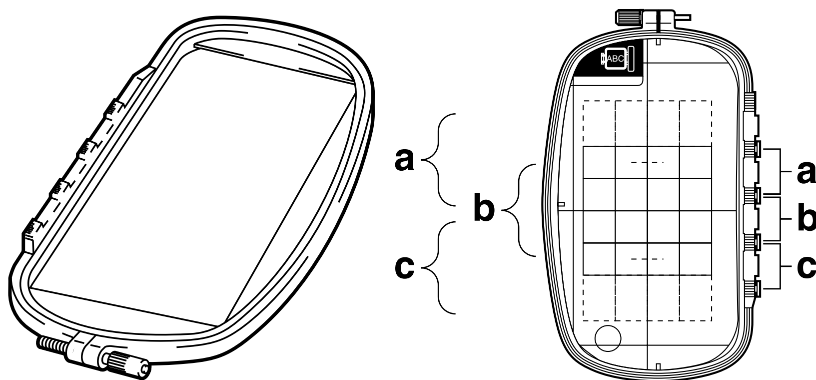
❶ メニューバーの**ファイル→終了**をクリックします。

それまで編集していた **.pas** ファイルを保存していない場合は、ファイルを保存するのかどうかのメッセージが表示されるので、**はい**をクリックして、ステップ 4 の ❷ と同様に保存するとアプリケーションが終了します。

オプション品の大型枠をお持ちの方へ

大型刺しゅう枠用のデータを作成する

ミシンのオプション品の大型枠（ミシンへの取り付け部が、3 ケ所あるもの、枠サイズ：130 mm × 300 mm、100 mm × 172 mm）に対応した刺しゅうデータを作成することができます。

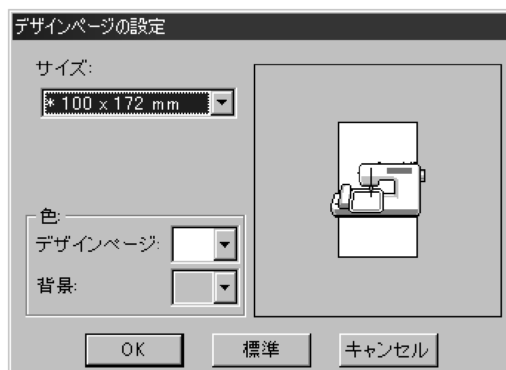


大型枠の例：100 mm × 172 mm サイズの刺しゅう枠

これらの枠を使用するときは、ひとつの刺しゅうデータのサイズが 130 mm × 180 mm（もしくは 100 mm × 100 mm、刺しゅうミシンの縫製サイズによります）で、刺しゅう枠の取り付け位置（上図のa、b、c）を替えたときに位置が合うように、あらかじめ取り付け位置を考慮して刺しゅうデータが配置されている必要があります。次からの機能を使用すると、自動的にその配置を行います。

■ デザインページのサイズを指定する

❶ レイアウトセンターのメニューバーの**オプション→デザインページの設定**をクリックします。



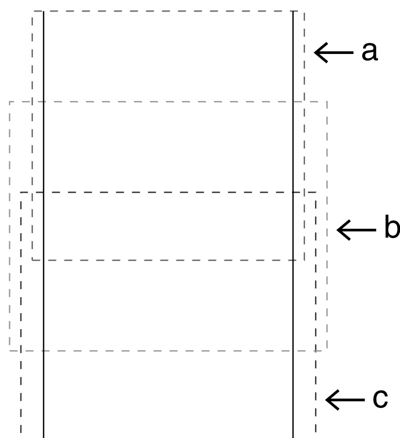
◆ サイズセレクタで、デザインページの**サイズ**を 130 × 300 mm、300 × 130 mm、100 × 172 mm、または 172 × 100 mm の中から選択します。
（大型枠用設定は、数字の前に＊の表示が付いています。）

- ご使用のミシンで使用可能な刺しゅう枠を確認してから設定を行ってください。

注意： デザインセンターで選択できるサイズは、160 × 260 mm、130 × 180 mm、100 × 100 mm のいずれかです。大型枠のデザインページのサイズは、デザインセンターにはありません。

■ 刺しゅうデータを作成する

❶ 画面上のデザインページは次のように示されます。



◆ a、b、c の説明

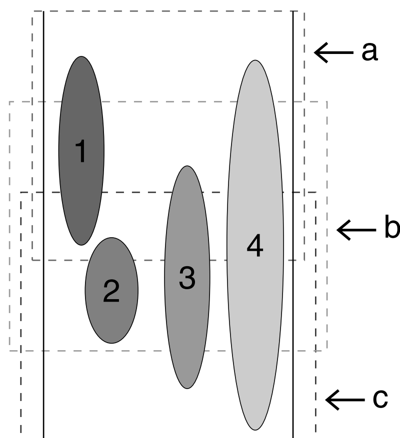
a： 上位の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域

b： 中央の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域

c： 下位の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域

破線がそれぞれの領域（部分デザインシート）の境界を示しています。

❷ 次の条件に適合するように刺しゅうデータを作成します。



◆ 1 つの刺しゅうデータの大きさが、100 × 100 mm（または 130 × 180 mm）以内であること
デザインセンターから模様を取り込む場合、それらのサイズより大きなサイズは指示できません。

◆ それぞれの刺しゅうデータが、各領域（a、b、c のいずれか）に完全に含まれていること
（左図の解説）

1. 領域 a に完全に収まっているので問題ありません。
2. 領域 b または c に完全に収まっているので問題ありません。
3. 大きさは問題ありませんが、どの領域にも完全に収まっていないので、修正が必要です。
4. サイズが大きすぎるので修正が必要です。

注意： 条件を満たしていない刺しゅうデータは、次のステップの縫い順の設定に進むときに警告が表示されます。

◆ 縫い順の設定は、通常の枠と同様に行います。

次に、メニューバーの**縫い方→枠の最適化**をクリックして、実際の縫い順（刺しゅう枠の取り付け位置を含む）を最適化します。

■ 枠の最適化

❶ メニューバーの**縫い方→枠の最適化**を選択します。
（枠の最適化が有効になっていると、メニューの前にチェック ✔ が付きます。）

枠の最適化を有効にすると、ユーザーが設定した縫い順を、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数が最少になるように縫い順を最適化して刺しゅうデータを作成します。
枠の最適化を有効にしていない場合は、デザインページで設定した縫い順通りに、各刺しゅうデータを縫製します。

注意： 刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数が多くなると、縫いズレ、縫い弛み等が起きやすくなりますので、枠の最適化を有効にして刺しゅうデータを作成することお勧めします。
ただし、枠の最適化を行うと設定した縫い順と異なりますので、縫製する前に縫い順をご確認ください。

■ 刺しゅうデータを確認する

刺しゅうデータの確認には、それぞれの枠の情報を確認できる ❶ の方法と、大形枠に入る刺しゅうデータ全体をプレビューする ❷ の方法があります。

注意： 確認の前に、刺しゅうデータが何も選択されていないことを確認してください。選択されていると、その刺しゅうデータの情報のみが表示されます。

❶ メニューバーの**オプション→デザインのプロパティー**をクリックします。
デザインのプロパティーダイアログが表示され、デザインページの表示が自動的にページ全体表示に切り替わります。



◆ ダイアログの最上行は、現在表示されている部分デザインシートの枠の位置番号と、部分デザインシートの総取り付け位置数を表示しています。
  - このとき、デザインページの表示では、ダイアログに表示されている枠の位置番号に対応するデザインのみが表示され、また、対応する刺しゅう枠の取り付け位置の外形は赤線で囲まれて表示されます。

◆ **前**ボタンと**次**ボタンをクリックして、表示内容を現在表示されている取り付け位置に対応するデザインから、前後の取り付け位置に対応するデザインに切り替えます。
  - この時、対応する刺しゅうデータと刺しゅう枠位置がデザインページに表示されます。

注意： どの部分デザインシートにも入らない刺しゅうデータがあるとき（部分デザインシートのサイズより大きい場合、どの部分デザインシートにも内包されていない位置にある場合）には、このダイアログの代わりに、「データのサイズか位置を変更してください。」というエラーメッセージが表示されます。
エラーの表示後、エラーに該当する刺しゅうデータが選択状態になりますので、サイズまたはその位置を調整してください（エラーに該当する刺しゅうデータが複数ある場合は、縫い順が最も早い刺しゅうデータが選択状態になります）。

❷ メニューバーの**表示→プレビュー**をクリックするか、ツールバーの をクリックして、プレビューイメージを確認します。

注意：リアルプレビュー実行時、**オプション**の**デザインのプロパティー**と同様、どの部分デザインシートにも入らない刺しゅうデータがあるとき（部分デザインシートのサイズより大きい場合、どの部分デザインシートにも内包されていない位置にある場合）には、「データのサイズか位置を変更してください。」というエラーメッセージが表示されます。
エラーの表示後、エラーに該当する刺しゅうデータが選択状態になりますので、サイズまたはその位置を調整してください（エラーに該当する刺しゅうデータが複数ある場合は、縫い順が最も早い刺しゅうデータが選択状態になります）。

■ 刺しゅうデータを保存する

❶ メニューバーの**ファイル→上書き保存**か、**名前を付けて保存**のいずれかをクリックして、刺しゅうデータを保存します。
すべての刺しゅうデータが、1 個のファイル（*.pes）に保存されます。
ファイルのサイズ、色替え回数が指定数より大きい場合、または、個々の刺しゅうデータの中にどの部分デザインシートにも入らないものがある場合は、「全てのデータをデザインページの枠内に入れてください。このまま保存されたデータはカードに書き込めません。それでも保存しますか？」という警告メッセージが表示されますので、変更するか、保存するか対応してください。

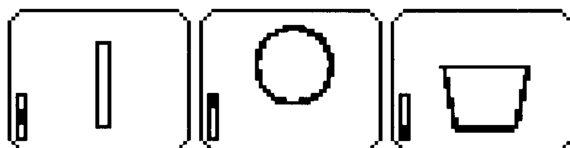
注意：デザインページに大型枠（130 × 300 mm、300 × 130 mm、100 × 172 mm、または 172 × 100 mm）が選択されている場合は、ファイルの種類は「レイアウトセンター Ver.4.0 ファイル」、「レイアウトセンター Ver.5.0 ファイル」のみ選択できます。

■ 刺しゅうデータをオリジナルカードに書き込む

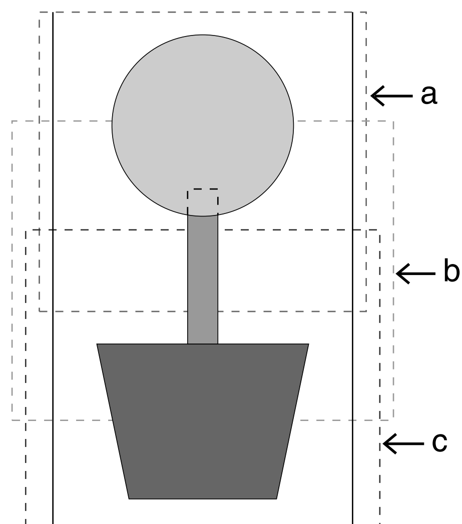
刺しゅうデータをオリジナルカードに書き込むには次の 2 通りの方法があります。

❶ メニューバーの**ファイル→カード書き込み→デザインページのデータ**をクリックするか、ツールバーの をクリックして、刺しゅうデータをオリジナルカードに書き込みます。
大型枠用刺しゅうデータは、1 つの刺しゅう枠の取り付け位置に対応する刺しゅうデータを 1 つの刺しゅうデータとし、それを複数組み合わせて縫製するように構成されています。
書き込みは、1 回の書き込み作業で、1 つの大型枠用の刺しゅうデータのすべてを（複数の刺しゅうデータとして）書き込みます。
（書き込まれる刺しゅうデータの個数についての詳細は、P.57 の「刺しゅうデータを確認する」を参照してください。）

右下の刺しゅうデータをオリジナルカードに書き込んだ場合、ミシン上で刺しゅうデータを確認すると、次のようになります。



- ：刺しゅう枠の上位の取り付け位置（位置 a）で縫う刺しゅうデータ
- ：刺しゅう枠の中央の取り付け位置（位置 b）で縫う刺しゅうデータ
- ：刺しゅう枠の下位の取り付け位置（位置 c）で縫う刺しゅうデータ

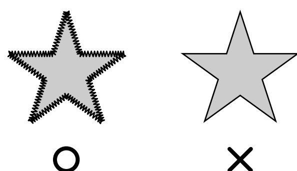


したがって、上記の例では、刺しゅうデータの枠位置の縫い順はb→a→cの順になります。

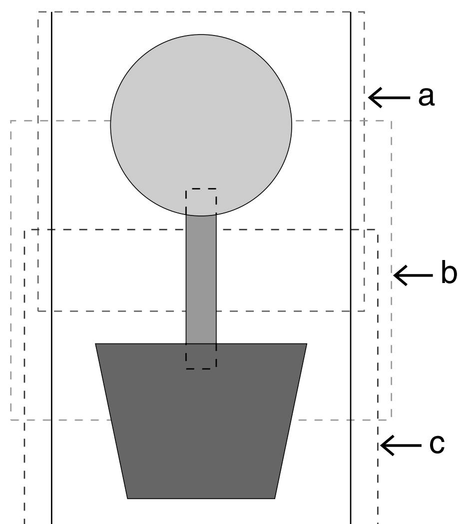
❷ 一旦パソコンに保存した後、メニューバーの**ファイル→カード書き込み→複数 PES ファイル**をクリックして、刺しゅうデータをオリジナルカードに書き込みます。
❶ と同様、一度にすべての刺しゅうデータを書き込みます。
さらに、カードの容量に余裕がある場合は他の刺しゅうデータも同時に書き込むことができます。

大型刺しゅう枠を使用する際の注意点：

- 実際の布地に縫製する前に、同じ布地で試し縫いを行ってください。また、針と糸も実際に使うものと同じものを使用してください。
- 必ず布地の裏に接着芯を貼り、刺しゅう枠にしっかりと張ってください。特に、薄い生地や伸縮地の場合は、接着芯を 2 枚重ねて使用してください。
  接着芯がないと、布が縮み、輪郭線のズレ、布じわが起き、きれいな仕上がりになりません。
- 輪郭線は、サテン縫いを設定してください。走り縫い設定よりも縫いずれを防ぐことができます。



- 刺しゅう枠を異なった枠位置で取り付ける必要のある刺しゅうデータでは、刺しゅうデータの各部（継ぎ目）を重ねてデザインすると、縫いずれを防ぐことができます。



デザインセンター

デザインセンターは、他のアプリケーション等で作成された画像ファイルから、刺しゅうデータを作成するために使用します。作成した刺しゅうデータはレイアウトセンターのデザインページに取り込んで、他の刺しゅうデータと組み合わせることができます。

刺しゅうデータは、次の 4 つのステージで作成します。

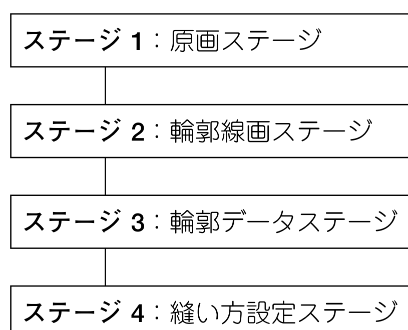
◆ **ステージ 1：原画ステージ**
ペイント等のアプリケーションで作成された画像データや、スキャナや他のソフトウェアで印刷物から取り込んだ画像を原画として開くことができます。
使用できる画像データは、拡張子が **.bmp**、**.tif**、**.jpg**、**.j2k**、**.pcx**、**.wmf**、**.png**、**.eps**、**.pcd**、**.fpx** のいずれかであることが必要です。ステージ 1 では、画像は本来の色で表示され、色を変更することはできません。

◆ **ステージ 2：輪郭線画ステージ**
ステージ 1 からステージ 2 に移動するときに、刺しゅうデータの黒い輪郭線に変換させたい 1 色または複数の色を選択します。選択されない色は白に変換されます。白黒の輪郭線画は、太さの異なるペンツールを使用して、追加、修正することができます。
（ステージ 2 で輪郭線画ファイルを保存する場合、そのファイル名の拡張子は .pel となります。）

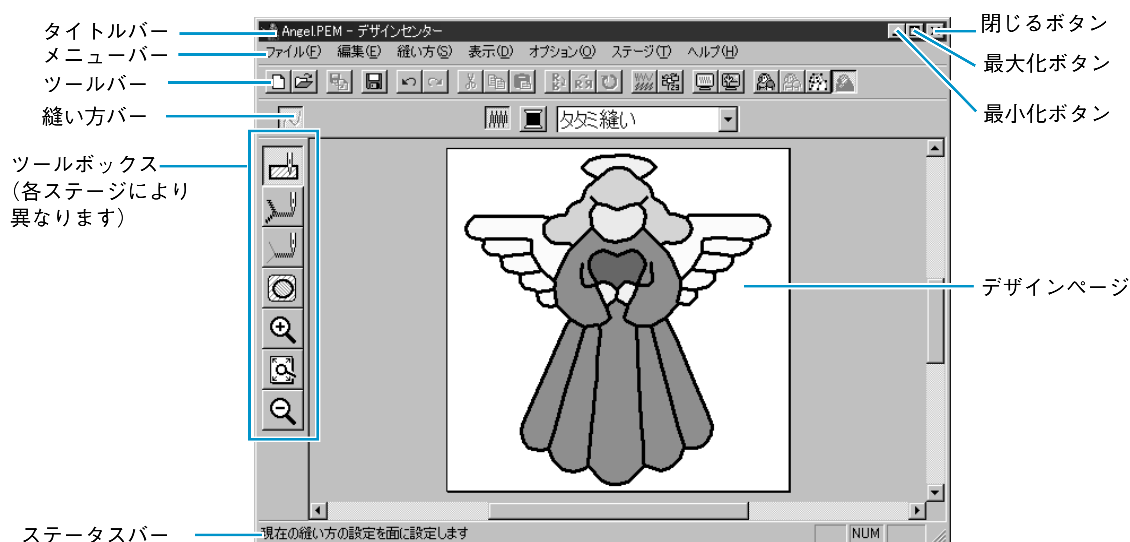
◆ **ステージ 3：輪郭データステージ**
ステージ 3 に移動すると、輪郭線画は自動的に輪郭データに置き換えられます。この輪郭データは、編集（ポイントの移動、削除や新規ポイントの挿入）することができます。
（ステージ 3 で輪郭データを保存する場合、そのファイル名の拡張子は .pem となります。）

◆ **ステージ 4：縫い方設定ステージ**
刺しゅうデータを完成するため輪郭線と面に、縫い方、糸色などの設定を行います。
（ステージ 4 で刺しゅうデータを保存する場合、そのファイル名の拡張子は .pem となります。）

ステージ 2、3、4 で作業を中断しても、ファイルを保存しておけば、後で作業を再開できます。



画面



メニューバー	各機能を実行します。
ツールバー	各メニュー機能へのショートカットです。
縫い方バー	刺しゅうデータの縫い方（糸色、縫い方）を設定します。（ステージ４のみで表示されます。）
ツールボックス	輪郭データ、刺しゅうデータの選択と編集に使用します。（ステージ１にはありません。他のステージでは、それぞれ異なったツールボックスが表示されます。）
ステータスバー	選択されているデータのサイズ等の情報が表示されます。
デザインページ	作業領域です。

ステージ 2 のツールボックスの使い方

ステージ 2 では、ツールボックスは、原画から作成した輪郭線画を修正したり、直接、輪郭線画を描いたりするときに使用します。

	ペン、消しゴムツール 最初の 5 つのボタンは、太さの違うペンと消しゴムとして使用します。 作業領域上で移動またはドラッグしたときのカーソルの形状 ペン　消しゴム アプリケーションを起動すると、2 番目のペンツールが選択されています。
	ズームインツール カーソルが　に変わります。
	デザインページズーム デザインページを画面に合わせて最大化します。
	ズームアウトツール カーソルが　に変わります。

描画と消去のしかた

■ 描画のしかた

❶ ツールボックスの希望する太さのペンをクリックします。カーソルが　になります。

❷ 点を追加するには、クリック、線を引くには、マウスをドラッグします。
Shift キーを押しながらドラッグすると、垂直方向または水平方向に線が引けます。

■ 消去のしかた

❶ ツールボックスの希望する太さのペンをクリックします。カーソルが　になります。

❷ 描画を消去するには、マウスを右クリック、または、右ボタンを押しながらドラッグします。
マウスの右ボタンを押している間、カーソルは　になります。

ズームインツール

より簡単に確認と編集を行なえるように、輪郭線画を拡大表示するときに使います。

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが に変わります。

❷ 拡大したい部分をクリック、または、拡大したい領域を囲むようにカーソルをドラッグします。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

デザインページズーム

デザインページを画面に合わせて最大化します。

❶ ツールボックスの をクリックします。デザインページが画面サイズに合わせて最大化します。

ズームアウトツール

ズームインツールで拡大表示された画面を戻します。

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが に変わります。

❷ 縮小したい部分をクリックします。クリックした部分を中心に縮小表示されます。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

ステージ 3 のツールボックスの使い方

ステージ 3 では、ツールボックスを使うことにより、自動で作成された輪郭データを編集します。ツールボックスのボタンをクリックすると、ツールが切り替わり、カーソルの形が変わります。ステータスバーの左側には選択されているツールでできる操作が表示されます。

注意：このステージで面縫いを設定したい面部分が、輪郭線で完全に囲まれているかどうかも確認できます。（P.25 の注意を参照してください）

	選択ツール ステージ 3 への移行時は、選択ツールが選択されています。 カーソルが に変わります。	P.66
	ポイント編集ツール カーソルが に変わります。	P.68
	直線描画ツール カーソルが に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.69
	ズームインツール カーソルが に変わります。	P.69
	デザインページズーム デザインページを画面に合わせて最大化します。	P.69
	ズームアウトツール カーソルが に変わります。	P.70
	選択データズーム 選択した輪郭データを画面領域いっぱいに拡大します。	P.70

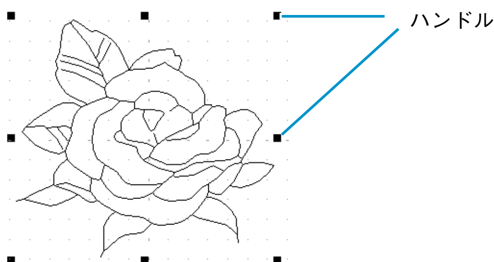
選択ツール

選択ツールは、1 個または複数の輪郭データを選択するときに使います。輪郭データを選択することにより、移動、拡大・縮小、回転または反転による方向変換ができます。

■ 輪郭データを選択する

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが、 に変わります。

❷ 選択したい輪郭データをクリックします。輪郭データが選択されると、ハンドルが表示され、輪郭線が青くなります。
透明部分（輪郭データが無い部分）をクリックすると、選択できません。



❸ 輪郭データの選択を解除するには、他の輪郭データを選択するか、輪郭データが無い部分をクリックするか、ツールボックスのズームツール以外の別のボタンをクリックします。

❹ 複数の輪郭データを選択するには、 Ctrl キーを押しながら、輪郭データをクリックします。

参考： 選択したい輪郭データ全体を囲むようにカーソルをドラッグしても選択できます。ドラッグすると、点線の長方形が表示されます。マウスボタンを離すと、その長方形内にある輪郭データがすべて選択されます。
選択したくない輪郭データまで選択してしまったときは、輪郭データの無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

■ 輪郭データを移動する

❶ 選択した輪郭データ上にカーソルを移動します。カーソルが に変わります。

❷ クリックすると輪郭データの周りに点線の長方形が表示されますので、これをドラッグすると移動します。
Shift キーを押しながらドラッグすると、輪郭データは水平方向または垂直方向に移動します。

参考： 矢印キーを押すと、選択した輪郭データを矢印キーの方向に 0.5 mm（約 0.02 インチ）ずつ移動ができます。

■ 輪郭データを拡大・縮小する

❶ 選択した輪郭データまたはグループのハンドル上にカーソルを移動します。

ハンドルにより、カーソルが、↔、↕、⤡または⤢に変わります。

❷ ハンドルを矢印の方向にドラッグして拡大・縮小します。カーソルの形状により、拡大、縮小する方向が異なります。

↔は、幅を拡大・縮小します。

↕は、高さを拡大・縮小します。

⤡と⤢は、幅と高さを同時に拡大・縮小します。（幅と高さの比率が保たれます。）



P.94 の「数値設定ーサイズ」

■ 輪郭データを上下または左右に反転する

❶ 反転したい輪郭データを選択します。

❷ 上下に反転するには、メニューバーの**編集**→**反転**→**上下**をクリックするか、ツールバーのをクリックします。

左右に反転するには、メニューバーの**編集**→**反転**→**左右**をクリックするか、ツールバーのをクリックします。

■ 輪郭データを回転する

❶ 回転したい輪郭データを選択します。

❷ メニューバーの**編集**→**回転**をクリックするか、ツールバーのをクリックします。選択した輪郭データの四隅のハンドルが、白い四角に変わります。

❸ 輪郭データを回転するには、回転ハンドルをドラッグします。回転ハンドルに触れるとカーソルがに変わります。ドラッグすると、右または左に 1 度単位で回転します。

Shift キーを押しながらドラッグすると 15 度単位で回転します。



P.95 の「数値設定ー回転」

■ 輪郭データを削除する

❶ 削除したいデータを選択します。

❷ Delete キーを押すか、メニューバーの**編集**→**削除**をクリックしてデータを削除します。

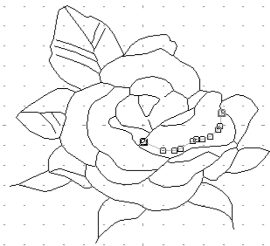
ポイント編集ツール

ポイント編集ツールでは輪郭データ内のポイントの移動、挿入、削除ができます。

■ ポイントを移動する

❶ ツールボックスの をクリックします。 カーソルが に変わります。

❷ 編集したい輪郭データをクリックします。
線がピンクで表示され、線の既存ポイントが小さな四角で表示されます。線の始点と終点は大きめの四角で表示されます。



❸ 移動したいポイントをクリックします。
選択されたポイントは、黒い四角で表示されます。
複数のポイントを選択するには、 Ctrl キーを押しながら、ポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

❹ ポイントを移動したい場所にドラッグします。選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。 Shift キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動します。
参考：矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印キーの方向に0.1 mmずつ移動できます。

■ ポイントを挿入する

❶ ツールボックスの をクリックします。 カーソルが に変わります。

❷ 編集したい輪郭データをクリックします。
線がピンクで表示され、線の既存ポイントが小さな四角で表示されます。線の始点と終点は大きめの四角で表示されます。

❸ ポイントを挿入したい輪郭データの上でクリックします。新しいポイントが黒い四角形で表示されます。挿入されたポイントは、すぐに編集できます。

■ ポイントを削除する

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが に変わります。

❷ 編集したい輪郭データをクリックします。
線がピンクで表示され、線の既存ポイントが小さな四角で表示されます。線の始点と終点は、大きめの四角で表示されます。

❸ 削除したいポイントをクリックします。
選択されたポイントは黒い四角で表示されます。
複数のポイントを選択するには、 Ctrl キーを押しながら、ポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

❹ Delete キーを押すか、メニューバーの**編集**→**削除**をクリックしてポイントを削除します。
注意：赤い四角で表示されたポイントは、削除できません。

直線描画ツール

直線描画ツールにより、線を追加することができます。線は一本の直線または折線で描くことができます。このツールで描いた線には、ステージ 4 で縫い方と糸色が設定できます。また、このツールで描いた線で囲まれた面にもステージ 4 で縫い方と糸色が設定できます。
すでにある面にこのツールで線を追加し、面を分割すると、分割されたそれぞれの面に個別の縫い方・糸色が設定できます。



■ 直線を描く

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが ＋ に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。

❷ 直線を描きます。
カーソルを始点に移動し、クリックします。
カーソルを次の点に移動し、再度クリックします。

参考： マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。
グリッドを入力の補助線にすると便利です。
グリッドは、表示／非表示の切り替えができます。グリッドについて、詳しくはP.102 の「グリッド」を参照してください。
Shift キーを押しながらマウスを移動すると、水平または垂直方向に線が引けます。

❸ 最後の点まで繰り返し、最後の点でダブルクリックします。

ズームインツール

より簡単に確認と編集を行えるように、輪郭データを拡大表示するときに使います。

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが に変わります。

❷ 拡大したい部分をクリック、または、拡大したい領域を囲むようにドラッグします。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

デザインページズーム

デザインページを画面に合わせて最大化します。

❶ ツールボックスの をクリックします。デザインページが画面サイズに合わせて最大化します。

ズームアウトツール

ズームインツールで拡大表示された画面を元に戻すことができます。

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが に変わります。

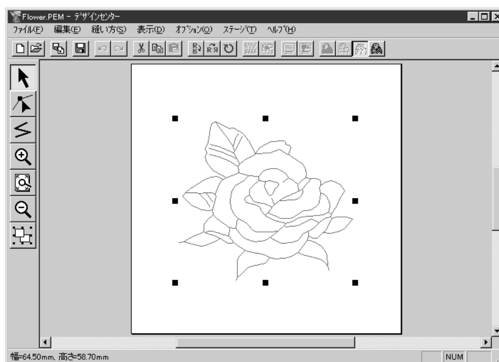
❷ 縮小したい部分をクリックします。クリックした部分を中心に縮小表示されます。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

選択データズーム

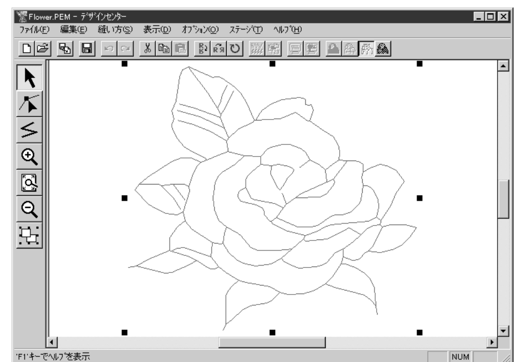
選択された輪郭データを画面いっぱいに拡大表示できます。

❶ 1 個または複数の輪郭データを選択します。

❷ ツールボックスの をクリックします。
選択された輪郭データが、利用可能な画面スペースいっぱいに表示されます。







ステージ４のツールボックスの使い方

ステージ４では、ステージ３で編集された輪郭データに、線の縫い方と面の縫い方の設定をします。この作業はツールボックスと縫い方バーを使って行います。ツールボックスのボタンをクリックするとツールが切り替り、カーソルの形が変わります。ステータスバーの左側に選択されているツールでできる操作が表示されます。

	面の設定ツール アプリケーションを起動すると、このツールが選択されています。 カーソルが ▷ に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.72
	輪郭線の設定ツール（全体） カーソルが ▷ に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.73
	輪郭線の設定ツール（部分） カーソルが ▷ に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.75
	ドーナツ縫いツール カーソルが ▷ に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.76
	ズームインツール カーソルが ⊕ に変わります。	P.77
	デザインページズーム デザインページを画面に合わせて最大化します。	P.77
	ズームアウトツール カーソルが ⊖ に変わります。	P.77

面の設定ツール

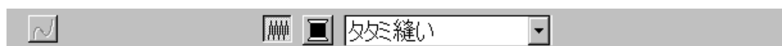
このツールでは、線で囲まれた面に現在選択されている縫い方を設定することができます。すでに面に設定されている縫い方を変更することもできます。

■ 縫い方を面に設定する

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが に変わり、選択された機能を示す絵柄とともに表示されます。

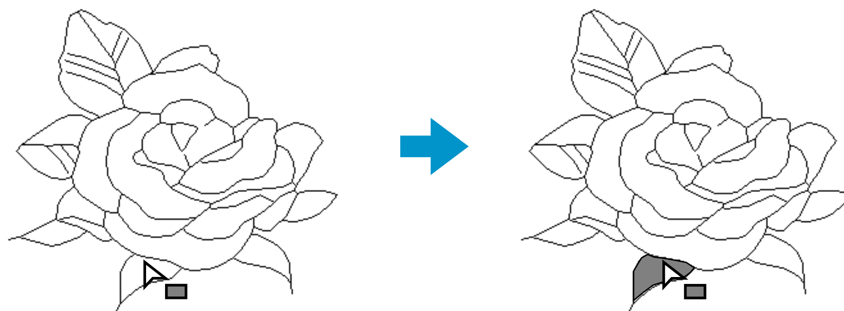
縫い方バーは次のように表示されます。



この縫い方バーで、面の色と縫い方を選択します。P.80 の「糸色」と「縫い方」を参照してください。

糸密度や他の縫い方は、メニュー（P.96 の「縫い方の設定」を参照）や次に説明する方法で選択することもできます。この選択を行わないと、現在選択されている内容が設定されます。設定された縫い方は後で変更できます。

❷ 設定したい面をクリックします。縫い方バーで選択された色と縫い方がその面に設定されます。



注意： 設定したい面に設定できないときは、ステージ3に戻り、その設定する面が輪郭データで囲まれるようにポイントを移動したりして修正してください。（P.21、P.65 参照）

■ 面の縫い方を確認する

❶ ツールボックスの［アイコン］をクリックします。

カーソルが［カーソル］に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。

❷ 縫い方が設定されている面を右クリックします。
縫い方バーに色と縫い方が表示されます。この縫い方バーで色と縫い方を変更できます。
選択された面の縫い方が**縫い方の設定**ダイアログに表示されます。



◆ 必要に応じて、設定を変更します。
P.96 の「縫い方の設定」を参照してください。
- 各設定を標準値に戻すには、**標準**ボタンをクリックします。

◆ 新しい縫い方を面に設定する場合は、設定したい面をクリックします。

◆ ダイアログを画面から消す場合は、**閉じる**をクリックしてください。

線の設定ツール（全体）

このツールでは、輪郭線に現在選択されている縫い方を設定することができます。すでに輪郭線に設定されている縫い方を変更することもできます。

■ 縫い方を輪郭線に設定する

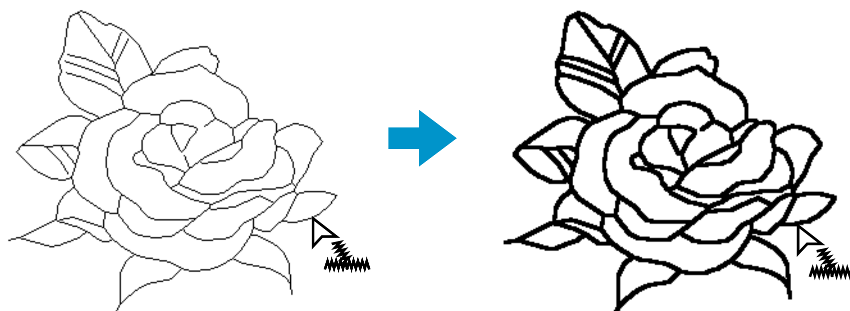
❶ ツールボックスの［アイコン］をクリックします。

カーソルが［カーソル］に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。
縫い方バーは次のように表示されます。



この縫い方バーで、輪郭線の色と縫い方を選択します。P.80 の「糸色」と「縫い方」を参照してください。
糸密度や他の縫い方は、メニュー（P.96 の「縫い方の設定」を参照）や次に説明する方法で選択することもできます。これらの選択を行わないと、現在選択されている内容が設定されます。設定された縫い方は後で変更できます。

❷ 設定したい輪郭線をクリックします。
縫い方バーで選択された色と縫い方がその輪郭線に設定されます。

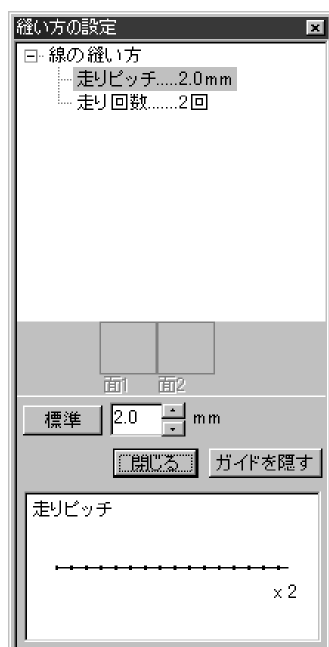


■ 輪郭線の縫い方を確認する

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。

❷ 縫い方が設定されている輪郭線を右クリックします。
縫い方バーに色と縫い方が表示されます。この縫い方バーで色と縫い方を変更できます（P.73 の「縫い方を輪郭線に設定する」を参照）。
選択された輪郭線の縫い方が**縫い方の設定**ダイアログに表示されます。



◆ 必要に応じて、設定を変更します。
P.96 の「縫い方の設定」を参照してください。
- 各設定を標準値に戻すには、**標準**ボタンをクリックします。

◆ 新しい縫い方を輪郭線に設定する場合は、設定したい輪郭線をクリックします。

◆ ダイアログを画面から消す場合は、**閉じる**をクリックしてください。

線の設定ツール（部分）

このツールでは、輪郭線の一部に現在選択されている縫い方を設定することができます。すでに設定されている縫い方を変更することもできます。
このツールで変更できる輪郭線の一部とは、輪郭線の分岐点と分岐点の間のことです。

■ 縫い方を輪郭線の一部に設定する

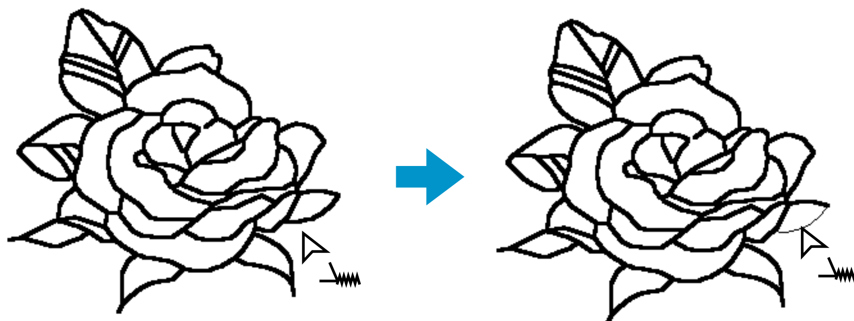
❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。
縫い方バーは次のようになります。



この縫い方バーで、輪郭線の一部の縫い方を選択します。P.80 の「縫い方」を参照してください。
1 つの輪郭線に複数の色を設定することはできません。輪郭線の一部に、すでに輪郭線に設定されている色と異なる色を設定すると、輪郭線全体の色が変更されます。
メニュー（P.96 の「縫い方の設定」を参照）や次で説明する方法（輪郭線の一部の縫い方設定を確認する）で、縫い方を選択することもできます。この選択をここで行わないと、現在選択されている内容が設定されます。設定された縫い方は後で変更できます。

❷ 設定したい輪郭線の一部をクリックします。
縫い方バーで選択された縫い方が輪郭線の一部に設定されます。

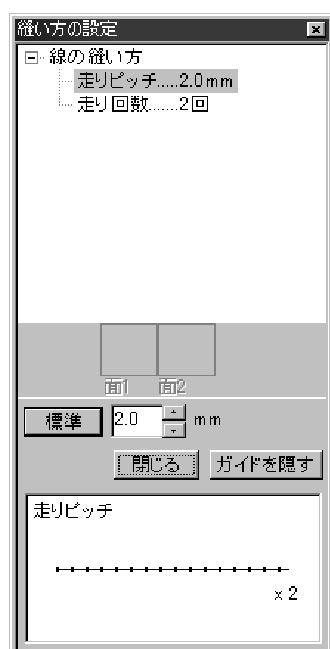


■ 輪郭線の一部の縫い方設定を確認する

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。

❷ 縫い方が設定されている輪郭線の一部を右クリックします。
縫い方バーに色と縫い方が表示されます。この縫い方バーで縫い方を変更できます（P.73 の「縫い方を輪郭線に設定する」を参照）。
選択された輪郭線の一部の縫い方が**縫い方の設定**ダイアログに表示されます。



◆ 必要に応じて、設定を変更します。
P.96 の「縫い方の設定」を参照してください。
• 各設定を標準値に戻すには、**標準**ボタンをクリックします。

◆ 新しい縫い方を輪郭線の一部に設定する場合は、設定したい輪郭線の一部をクリックします。

◆ ダイアログを画面から消す場合は、**閉じる**をクリックしてください。

ドーナツ縫いツール

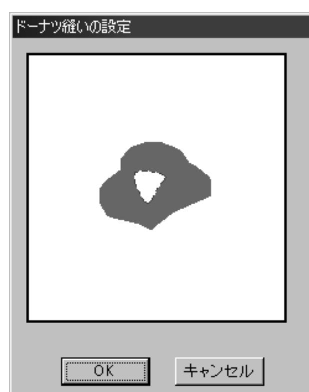
ドーナツ縫いツールは、刺しゅうデータの重なった部分に二重縫いをするかどうかを設定します。1 つの刺しゅうデータが他の刺しゅうデータに完全に含まれる場合にのみ設定できます。

❶ ツールボックスの をクリックします。
カーソルが に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。

❷ 他の刺しゅうデータを完全に囲んでいる刺しゅうデータをクリックします。



❸ 次のダイアログが表示されます。



◆ 刺しゅうデータの中央部をクリックして、ドーナツ縫いをするかしないかを切り替えます。

◆ **OK** をクリックして、切り替えた設定を確定します。

◆ 操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

ズームインツール

より簡単に確認と編集を行えるように、刺しゅうデータを拡大表示するときに使います。

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが に変わります。

❷ 拡大したい部分をクリック、または、拡大したい領域を囲むようにドラッグします。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

デザインページズーム

デザインページを画面に合わせて最大化します。

❶ ツールボックスの をクリックします。デザインページが画面サイズに合わせて最大化します。

ズームアウトツール

ズームインツールで拡大表示された画面を元に戻すことができます。

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが に変わります。

❷ 縮小したい部分をクリックします。クリックした部分を中心に縮小表示されます。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

縫い方バーの使い方

ステージ4で表示される縫い方バーを用いて、選択された面または輪郭線の色と縫い方を設定します。選択されているツールによって表示される縫い方は異なります。

例1：面の設定ツールの場合



例2：線の設定ツールの場合



カーソルを縫い方バーの各ボタンに合わせると、内容を示すラベルが表示されます。

ボタン／セレクタ	機　能	参照ページ
	面の設定ボタン：面縫いのオン／オフを切り替えます。	P.78
	線の設定ボタン：輪郭線縫いのオン／オフを切り替えます。	P.79
	糸色の設定ボタン：輪郭線または面の糸色を設定します。	P.80
タタミ縫い 走り縫い	縫い方の設定：輪郭線または面の縫い方を設定します。	P.80

糸色と縫い方を設定する

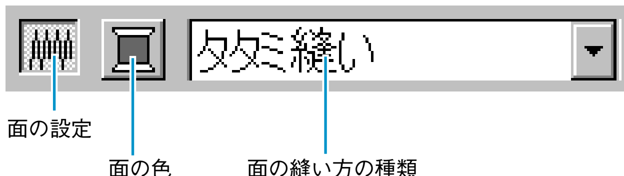
■ 面の設定

機　能　：面縫いのオン／オフを切り替えます。
オフのときは、縫製は行われず、その糸色や縫い方の設定はできません。

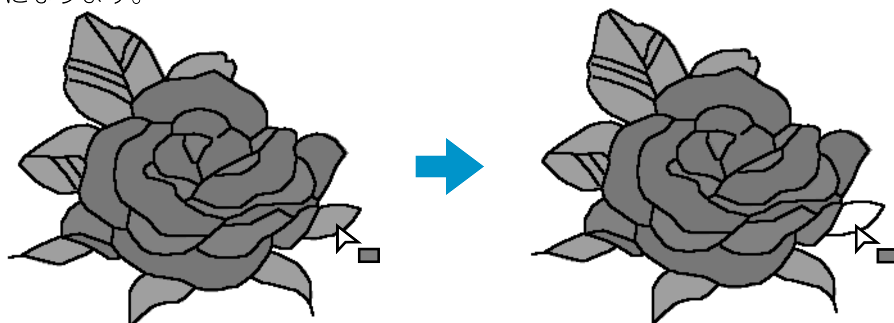
条　件　：ツールボックスの をクリックして、面の設定ツールになっているとき。

操　作

❶ **面の設定**ボタンをクリックします。
オン／オフにより、表示が変わります。
オン： **面の色**ボタンと**面の縫い方**セレクタが表示されます。
オフ： **面の色**ボタンと**面の縫い方**セレクタが表示されません。



❷ 面の設定ボタンをクリックして、オン／オフを切り替えます。
面の設定ボタンをオフにして面をクリックすると、その面は白く表示され、縫わない設定になります。



面の設定ボタンをオンにして面をクリックすると、その面は縫い方バーに表示されている**色**、**縫い方**に設定されます。



P.80 の「糸色」と「縫い方」

■ 線の設定

機　能　：輪郭線縫いのオン／オフを切り替えます。
オフのときは、縫製は行われず、その糸色や縫い方の設定はできません。

条　件　：ツールボックスの または をクリックして線（全体または部分）の設定ツールになっているとき。

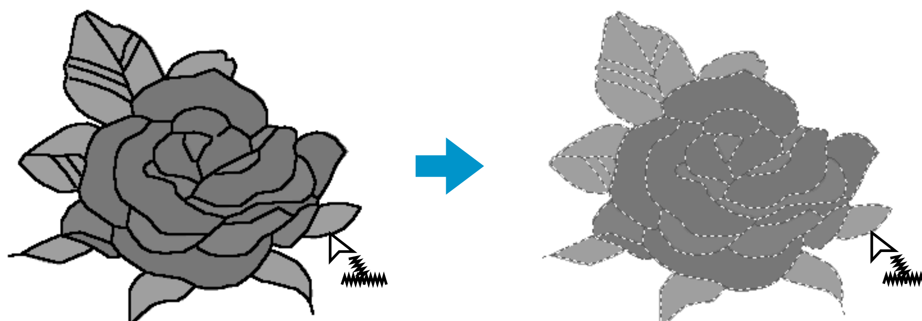
操　作

❶ **線の設定**ボタンをクリックします。
オン／オフにより、表示が変わります。
オン：　**線の色**ボタンと**線の縫い方**セレクタが表示されます。
オフ：　**線の色**ボタンと**線の縫い方**セレクタが表示されません。



線の設定　線の色　線の縫い方の種類

❷ 線の設定ボタンをクリックして、オン／オフを切り替えます。
線の設定ボタンをオフにして線をクリックすると、その輪郭線は破線で表示され縫わない設定になります。



線の設定ボタンをオンにして線をクリックすると、その線は縫い方バーに表示されている**色**、**縫い方**に設定されます。



P.80 の「糸色」と「縫い方」

■ 糸色

機　能　：輪郭線や面の糸色を設定します。

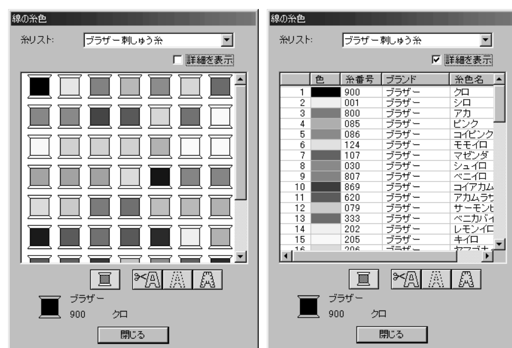
条　件　：面の設定ツールまたは線の設定ツールになっているとき。

操　作

❶ 糸色ボタンをクリックします。

次のような**糸色**ダイアログが表示されます。

詳細を表示にチェックすると、糸色の情報表示一覧に切り替わり、糸番号、ブランド、糸色名を確認できます。



◆ **糸リスト**セレクタのリストボックスに表示されるシステム糸リストまたはユーザー糸リストから、リスト名を選択します。

◆ 選択した糸リストの糸色一覧から糸色を選択し、クリックします。
選択された色は、ダイアログの下方に表示されます。

- 糸色一覧の下の４つのボタンには特別な機能があります。P.143の「特別色」を参照してください。

◆ ダイアログを画面から消す場合は、**閉じる**をクリックしてください。

設定したい色をクリックすると、その色が**面の色**ボタンまたは**線の色**ボタンに表示されます。

注意：ユーザー糸リストの設定方法やミシンでの糸色の扱いについては、P.222 の「ユーザー糸リストの編集」を参照してください。


P.78 の「面の設定」、P.79 の「線の設定」、P.142 の「糸色」

■ 縫い方　サテン縫い　タタミ縫い

機　能　：輪郭線や面の縫い方を設定します。

条　件　：面の設定ツールまたは線の設定ツールになっているとき。

操　作

❶ **縫い方セレクタ**をクリックします。

設定できる縫い方が表示されます。

サテン縫い
サテン縫い
走り縫い

タタミ縫い
サテン縫い
タタミ縫い
プログラムタタミ縫い
モチーフ縫い
クロスステッチ

輪郭線は、サテン縫いまたは走り縫いを設定できます。面は、タタミ縫い、サテン縫い、プログラムタタミ縫い、モチーフ縫い、クロスステッチのいずれかを設定できます。

❷ 設定したい縫い方をクリックします。

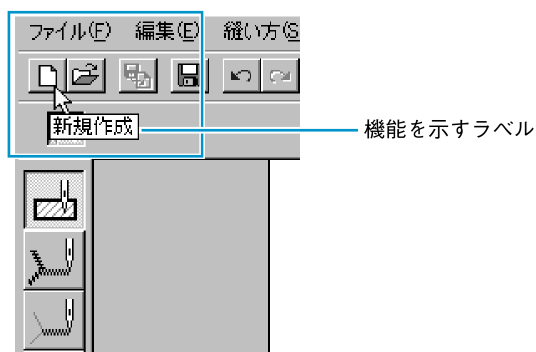
選択された縫い方がセレクタに表示されます。


P.78 の「面の設定」、P.79 の「線の設定」

メニューバーとツールバーの使い方

メニュー	機　能	参照ページ
ファイル	ファイルの入力／出力を処理します。	P.82
編集	切り取りや貼り付けなど、選択された刺しゅうデータに編集操作を行います。	P.91
縫い方	刺しゅうデータの縫い方や縫い順を設定します。	P.96
表示	画面の表示方法を変更します。	P.102
オプション	他のアプリケーションを起動したり、デザインページのサイズや使用する単位等を設定します。	P.105
ステージ	ステージ間を移行します。	P.107
ヘルプ	ヘルプシステムを起動します。	P.112

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタンをクリックしたり、ショートカットキーやキーの組み合せにより操作することができます。
カーソルをツールバーの各ボタン上に置くと、ボタンの機能を示すラベルが表示されます。



ファイルメニュー

開く、保存、印刷などのファイルの入力／出力を処理します。

ファイル	機　能	参照ページ
新規作成（輪郭線画）	新規デザインページを作成し、ステージ２に移動します。	P.82
新規作成（輪郭データ）	新規デザインページを作成し、ステージ３に移動します。	P.83
ウィザード	作成するデータの種類に応じてどのようにデータを作成していくのか、順をおって説明します。	P.84
開く	以前に保存したファイル (*.pem、*.pel) や画像ファイル〔Windows ビットマップ (*.bmp)、Exif (*.tif、*.jpg)、ZSoftPCX (*.pcx)、Windows メタファイル (*.wmf)、Potable Network Graphics (*.png)、Encapsulated PostScript (*.eps)、kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)、JPEG2000 (*.j2k)〕を開きます。	P.86
TWAIN 機器の選択	コンピュータにインストールされているTWAIN 機器から使用するデバイスを選択します。	P.87
TWAIN 機器から入力	TWAIN 規格対応のスキャナ等を操作し、画像を取り込みます。	P.87
クリップボードから入力	ステージ１の新規デザインページを開き、クリップボードにコピーされている画像データを貼り付けます。	P.88
クリップボードに出力	ステージ１の原画をクリップボードにコピーします。	P.88
輪郭データ取り込み	作業中のデザインページに .pem ファイルを追加します。（ステージ３でのみ使用可能）	P.89
上書き保存	作業中のデザインページをハードディスクなどに上書き保存します。	P.89
名前を付けて保存	作業中のデザインページを新しい名前で保存します。保存できるファイル形式は、ステージ1 では Windows ビットマップ(*.bmp)、ステージ2では .pel ファイル、ステージ3 と４では .pel ファイルと .pem ファイルです。	P.89
終了	アプリケーションを終了します。	P.90

■ 新規作成（輪郭線画）

機　能　：新規デザインページを作成し、ステージ２に移動します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ N

ツールバー　：

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→新規作成（輪郭線画）**をクリックします。
デザインページに編集中の刺しゅうデータが無い場合は、直ちに新規のデザインページ（ステージ２）が表示されます。

❷ デザインページに編集中の刺しゅうデータがある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



- ◆ デザインページを上書き保存する場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ デザインページを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。（作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など）

作業中または編集したステージによって、保存されるファイルは異なります。（**.pel** ファイル、**.pem** ファイル、**.bmp** ファイル）

新規ファイルは自動的にステージ 2 で開きます。ステージ 2 では、ペンツールや消しゴムツールを使って白黒の線画を描くことができます。



P.83の「新規作成（輪郭データ）」、P.86の「開く」、P.89の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

■ 新規作成（輪郭データ）

機　能　　　　：新規デザインページを作成し、ステージ３に移動します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→新規作成（輪郭データ）**をクリックします。
デザインページに編集中の刺しゅうデータが無い場合は、直ちに新規のデザインページ（ステージ３）が表示されます。

❷ デザインページに編集中の刺しゅうデータがある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



- ◆ デザインページを上書き保存する場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ デザインページを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。（作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など）

作業中または編集したステージによって、保存されるファイルは異なります。（**.pel** ファイル、**.pem** ファイル、**.bmp** ファイル）

新規ファイルは、自動的にステージ3 で開きます。デザインページのサイズは現在の設定となります。ステージ3では、直線描画ツールを使って線を描くことや、「輪郭データ取り込み」を使って保存されているデータを取り込むことができます。



P.82の「新規作成（輪郭線画）」、P.86の「開く」、P.89の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

■ ウィザード

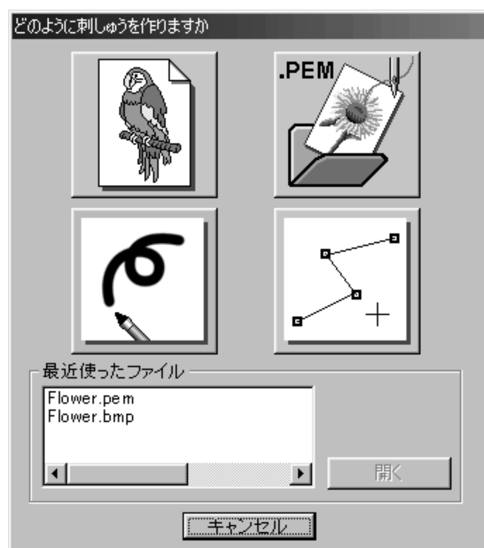
機　能　　：作成するデータの種類に応じてどのようにデータを作成していくのか、順をおって説明します。

ショートカットキー：(F3)

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→ウィザード**をクリックします。
次のような手順選択ダイアログが表示されます。ただし、デザインページに編集中の刺しゅうデータがある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



カーソルを各ボタン上に置くと、各ボタンの動作名称が表示されます。各ボタンの機能は、次のとおりです。

◆ **原画から**
原画から刺しゅうデータを作成する場合に使用します。
ボタンをクリックすると、手順を示す**原画から**ダイアログが表示されます。（P.81 を参照してください。）

◆ **PEM ファイルを開く**
過去に作成し保存されている .pem ファイルを編集したい場合に使用します。
ボタンをクリックすると、.pem ファイルを選択するための開くダイアログが表示されます。詳しくは P.86 の「開く」を参照してください。

◆ **新規作成（輪郭線画）**
ステージ 2 の新しいデザインページを開きます。
白黒のペンツールを使って原画を描き、その原画から刺しゅうデータを作成する場合に使用します。
詳しくは、P.82 の「新規作成（輪郭線画）」を参照してください。

◆ **新規作成（輪郭データ）**
ステージ 3 の新しいデザインページを開きます。
直線描画ツールで初めから作成する場合や既存の .pem ファイルから輪郭データを取り込んでデータを作成する場合に使用します。
詳しくは、P.83 の「新規作成（輪郭データ）」を参照してください。

◆ **最近使ったファイル**
最近作業をしたファイルを開きます。
ファイルリストの編集したいファイル名をクリックし、**開く**をクリックします。

◆ **キャンセル**
このダイアログを閉じます。

「原画から」が選択されたとき：

P.84 のダイアログで**原画から**をクリックすると、次のダイアログが表示されます。



カーソルを各ボタン上に移動すると、各ボタンの動作名称が表示されます。各ボタンの機能は次のとおりです。

◆ **画像ファイルを開く**
既存の画像ファイルを開き、デザインページに貼り付けます。
詳しくは、P.86 の「開く」を参照してください。

◆ **クリップボードから**
クリップボードにコピーされている画像データをデザインページに貼り付けます。クリップボードに画像データがコピーされているときにのみ使用できます。
詳しくは、P.88 の「クリップボードから入力」を参照してください。

◆ **TWAIN 機器から**
TWAIN 機器から画像を取り込み、それをデザインページに貼り付けます。
詳しくは、P.87 の「TWAIN 機器から入力」を参照してください。

◆ **現在のイメージ**
ステージ 1 で開いている原画を使用します。ステージ 1 で原画を開いているときにのみ使用できます。

◆ **戻る**
現在のダイアログを閉じ、1 つ前のダイアログに戻ります。

◆ **キャンセル**
このダイアログを閉じます。

戻る／**キャンセル**以外のボタンをクリックした場合、それぞれの画像の取り込みが開始され、取り込まれた原画（画像データ）がステージ1のデザインページに貼り付けられます。
その後、輪郭線の選択ダイアログが開き、通常の刺しゅうデータを作成する作業である輪郭線の色の選択をします。
詳しくは P.108 の「輪郭線画ステージ」を参照してください。
次に、P.110の「輪郭データステージ」とP.111の「縫い方設定ステージ」の順にステージを移動し、データを作成していきます。詳しくはそれぞれの項目を参照してください。

■ 開く

機　能　：以前に保存したファイル（*. **pem**、***.pel**）や画像ファイル〔Windows　ビットマップ（***.bmp**）、Exif（***.tif**、***.jpg**）、ZSoftPCX（*. **pcx**）、Windows　メタファイル（***.wmf**）、Potable Network Graphics（* **.png**）、Encapsulated PostScript（***.eps**）、kodak PhotoCD（***.pcd**）、FlashPix（***.fpx**）、JPEG2000（***.j2k**）〕を開きます。

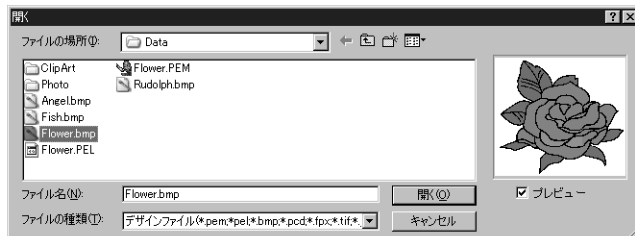
注意： 複数のページで保存した **.pcd** ファイルと **.fpx** ファイルについては、最初のページのみを開くことができます。LZW で圧縮された **.tif** ファイルは開くことができません。

ショートカットキー：Ctrl ＋ O

ツールバー　：

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→開く**をクリックします。
開くダイアログが表示されます。



◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。
- 必ず**ファイルの種類**にある正しい種類の拡張子のファイルを選択してください。
- **プレビュー**チェックボックスをクリックし、✔が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。

◆ ファイル名をクリックしてから**開く**をクリックするか、ファイル名をダブルクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

❷ デザインページに編集中の刺しゅうデータがない場合は、選択したファイルが開きます。
デザインページに編集中の刺しゅうデータがある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



◆ デザインページを保存する場合、**はい**をクリックします。

◆ デザインページを破棄する場合、**いいえ**をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。
（作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など）

作業中または編集したステージによって、保存されるファイルは異なります。（**.pel** ファイル、**.pem** ファイル、**.bmp** ファイル）



P.82 の「新規作成（輪郭線画）」、P.89 の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

TWAIN 機器の選択

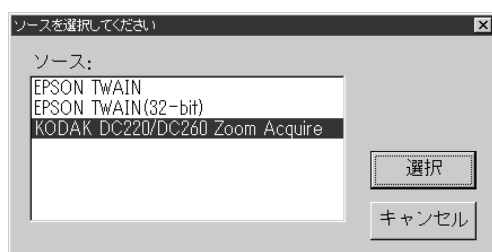
機　能　　　　：コンピュータにインストールされている TWAIN 機器から使用するデバイスを選択します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→ TWAIN 機器の選択**をクリックします。
次のダイアログが表示されます。
ソースリストから使用するデバイスを選択します。



◆ デバイスをクリックし反転表示させ、**選択**をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意： TWAIN 機器が何もインストールされていないときは、ソースリストに何も表示されません。この機能は、使用したい TWAIN 機器のドライバをインストールした後に使用してください。

TWAIN 機器から入力

機　能　　　　：TWAIN 規格対応のスキャナ等を操作し、画像を取り込みます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ スキャナ等の機器が、正しく接続されているか確認します。

❷ メニューバーの**ファイル→ TWAIN 機器から入力**をクリックします。
TWAIN 機器の選択ダイアログで設定したドライバのインターフェイスが表示されます。そのインターフェイスを操作し画像の取り込み設定を行い、画像を取り込みます。

注意： インターフェイスの使い方については、インターフェイスのヘルプマニュアルをご覧になるか、インターフェイスのメーカーにお問い合わせください。

❸ スキャナやその他の機器とドライバとの間の転送が完了すると、取り込んだ画像がステージ 1 に貼り付けられます。
デザインページに編集中のデータがあるときは、転送前に変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



◆ デザインページを保存する場合は、**はい**をクリックします。

◆ デザインページを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。（作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など）

注意： TWAINとは､スキャナ等を制御するソフトウェアのためのアプリケーションインターフェイス（API）の標準規格です。取り込みのソフトウェア自体も TWAIN と呼ばれます。
本ソフトウェアでは TWAIN 規格準拠の機器をサポートしているので、スキャナ等の機器を直接制御し、画像をそのまま取り込むことができます。
この機能を使用する前に、必ず、TWAIN 機器を選択ダイアログを表示させて TWAIN 機器を選択してください。



P.87 の「TWAIN 機器の選択」

■ クリップボードから入力

機　能　　　：ステージ 1 の新規デザインページを開き、クリップボードにコピーされている画像データを貼り付けます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→クリップボードから入力**をクリックします。（この操作は、クリップボードに画像データがコピーされているときにのみ可能です。）
デザインページに編集中の刺しゅうデータがないときは、ステージ 1 のデザインページが開き、クリップボードにある画像データを貼り付けます。

❷ デザインページに編集中の刺しゅうデータがあるときは、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



- ◆ デザインページを保存する場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ デザインページを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。（作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など）

作業中または編集したステージによって、保存されるファイルは異なります。（**.pel** ファイル、**.pem** ファイル、**.bmp** ファイル）



P.86 の「開く」、P.89 の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

■ クリップボードに出力

機　能　　　：ステージ 1 の原画をクリップボードにコピーします。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→クリップボードに出力**をクリックします（この操作は、ステージ 1 のデザインページに原画があるときにのみ可能です）。
デザインページの原画がクリップボードにコピーされます。

■ 輪郭データ取り込み

機　能　　　：作業中のデザインページに**.pem**ファイルを追加します。（ステージ3でのみ使用可能）

ショートカットキー：F8

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→輪郭データ取り込み**をクリックします。
次のダイアログが表示されます。



◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。
◆ 開くときは、**取り込み**をクリックします。
◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

選択した輪郭データが作業中のデザインページに追加されます。



P.86 の「開く」

■ 上書き保存

機　能　　　：作業中のデザインページをハードディスクなどに上書き保存します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ S

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→上書き保存**をクリックします。
ファイルがすでにディスクにあれば（ファイルが、現在作業中のステージと同じステージで、少なくとも一度は保存されていれば）、直ちに上書き保存されます。

❷ ファイルが無題のとき、または、ファイルがディスク上に見つからないとき、自動的に**名前を付けて保存**ダイアログに切り替わります。



P.89 の「名前を付けて保存」

■ 名前を付けて保存

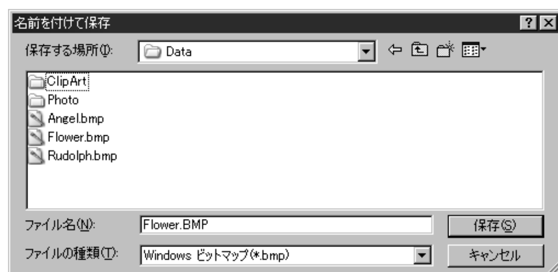
機　能　　　：作業中のデザインページを新しい名前で保存します。
保存できるファイル形式は、ステージ 1 では Windows ビットマップ (*.bmp)、ステージ 2 では .pel ファイル、ステージ 3 と 4 では .pel ファイルと .pem ファイルです。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→名前を付けて保存**をクリックします。
次のような**名前を付けて保存**のダイアログが表示されます。



◆ ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。
  • 正しい拡張子が自動的に付けられます。この拡張子を変更しないでください。
◆ **保存**をクリックして保存します。
◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

ステージ１の画像データは Windows ビットマップ (*.bmp) で保存されます。
ステージ2からステージ4までは、輪郭線画データは.pel ファイルで、輪郭データまたは刺しゅうデータは .pem ファイルで保存されます。

❷ 同じ名前のファイルが既にあるときは、次のダイアログが表示されます。



◆ 上書きする場合は、**はい**をクリックします。
◆ 上書きしたくない場合は、**いいえ**をクリックします。



P.89 の「上書き保存」

参考：ファイルの種類で旧バージョンを選択すると、保存された.pesファイルを旧バージョンのソフトウェアで開くことができます。ただし、情報の一部が失われることもありますのでご注意ください。（詳細は Read me ファイルで参照してください。）

■ 終了

機　能　　　：アプリケーションを終了します。

ショートカットキー：Alt ＋ F4

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→終了**をクリックします。
作業中のデザインページが編集されていない場合は、アプリケーションは直ちに終了します。

❷ 作業中のデザインページが編集されている場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



P.89 の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

編集メニュー

編集メニューでは、選択された輪郭データや刺しゅうデータに対して、切り取り、貼り付けなどの編集操作を行います。

メニュー		機　能	参照ページ
元に戻す		直前の操作を元の状態に戻します。	P.91
やり直し		最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	P.91
切り取り		選択された輪郭データを画面から削除し、クリップボードにコピーします。	P.92
コピー		選択された輪郭データを画面から消去しないで、クリップボードにコピーします。	P.92
複製		選択された輪郭データを複製します。	P.92
貼り付け		クリップボードの内容をデザインページに貼り付けます。	P.92
削除		選択された輪郭データまたはポイントをデザインページから削除します。	P.93
反転	上下	選択された輪郭データを上下に反転させます。	P.93
	左右	選択されたデータを左右に反転させます。	P.94
回転		選択された輪郭データを任意の角度で回転します。	P.94
数値設定	サイズ	選択された輪郭データを任意のサイズにします。	P.94
	回転	選択された輪郭データを任意の角度で回転させます。	P.95
すべて選択		すべてのデータを選択します。	P.95

■ 元に戻す

機　能　：直前の操作を元の状態に戻します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ Z

ツールバー　：

操　作

❶ メニューバーの**編集**→**元に戻す**をクリックします。
自動的に直前の操作を行う前の状態に戻します。
注意：この操作はステージ 2、3、4 で行えます。



P.91 の「やり直し」

■ やり直し

機　能　：最後に行った「**元に戻す**」の操作を解除します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ A

ツールバー　：

操　作

❶ メニューバーの**編集**→**やり直し**をクリックします。
最後に行った「**元に戻す**」の操作を解除します。
注意：この操作はステージ 3、4 で行えます。



P.91 の「元に戻す」

■ 切り取り

機　能　　：選択された輪郭データを画面から削除し、クリップボードにコピーします。

ショートカットキー：Ctrl ＋ X

ツールバー　：

操　作

❶ 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。

❷ メニューバーの**編集→切り取り**をクリックします。
選択された輪郭データが消去されます。データはクリップボードにコピーされるので、**編集→貼り付け**を使って、貼り付けることができます。
注意：この操作はステージ 3 でのみ行えます。



P.92 の「コピー」と「貼り付け」、P.93 の「削除」

■ コピー

機　能　　：選択された輪郭データを画面から消去しないで、クリップボードにコピーします。

ショートカットキー：Ctrl ＋ C

ツールバー　：

操　作

❶ 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。

❷ メニューバーの**編集→コピー**をクリックします。
輪郭データがクリップボードにコピーされ、**編集→貼り付け**を使って貼り付けることができます。
注意：この操作はステージ 3 でのみ行えます。



P.92 の「切り取り」と「複製」と「貼り付け」

■ 複製

機　能　　：選択された輪郭データを複製します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ D

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。

❷ メニューバーの**編集→複製**をクリックします。
選択された輪郭データが複製され、デザインページに表示されます。
注意：この操作はステージ 3 でのみ行えます。



P.92 の「コピー」と「貼り付け」

■ 貼り付け

機　能　　：クリップボードの内容をデザインページに貼り付けます。

ショートカットキー：Ctrl ＋ V

ツールバー　：

操　作

❶ メニューバーの**編集→貼り付け**をクリックします。
切り取りや**コピー**でクリップボードにコピーされた輪郭データが、デザインページに貼り付けられます。
注意：この操作はステージ３でのみ行えます。



P.92 の「切り取り」と「コピー」

■ 削除

機　能　　　　：選択された輪郭データまたはポイントをデザインページから削除します。

ショートカットキー：Delete

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ １つまたは複数の輪郭データまたはポイントを選択します。
❷ メニューバーの**編集→削除**をクリックします。
選択されたデータがデザインページから削除されます。データはクリップボードにコピーされないので、元の状態に戻したい場合は、次の操作をする前に**編集→元に戻す**を使ってください。
注意：この操作はステージ３でのみ行えます。



P.91 の「元に戻す」、P.92 の「切り取り」

■ 反転ー上下

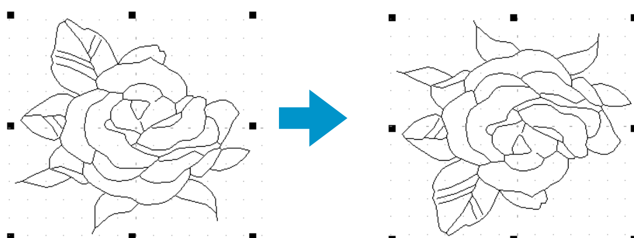
機　能　　　　：選択された輪郭データを上下に反転させます。

ショートカットキー：Ctrl ＋ H

ツールバー　　：

操　作

❶ １つまたは複数の輪郭データを選択します。
❷ メニューバーの**編集→反転→上下**をクリックします。
選択された輪郭データが上下に反転します。
この操作を連続して２度行うと、元の輪郭データに戻ります。



注意：この操作はステージ３でのみ行えます。



P.67 の「輪郭データを上下または左右に反転する」、P.94 の「反転ー左右」

■ 反転ー左右

機　能　　　　：選択されたデータを左右に反転させます。

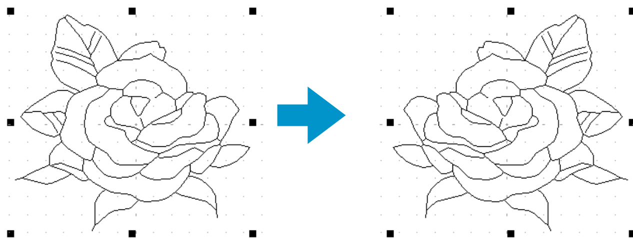
ショートカットキー：Ctrl ＋ J

ツールバー　　：

操　作

❶ 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。

❷ メニューバーの**編集→反転→左右**をクリックします。
選択された輪郭データが左右に反転します。
この操作を連続して 2 度行うと、元の輪郭データに戻ります。



注意：この操作はステージ 3 でのみ行えます。



P.67 の「輪郭データを上下または左右に反転する」、P.93 の「反転ー上下」

■ 回転

機　能　　　　：選択された輪郭データを任意の角度で回転します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ Y

ツールバー　　：

操　作

❶ 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。

❷ メニューバーの**編集→回転**をクリックします。選択された輪郭データの四隅のハンドルが、白い四角に変わります。

❸ カーソルをハンドルの 1 つに移動します。

カーソルが に変わります。ドラッグすると、右または左に 1 度単位で回転します。

Shift キーを押しながらドラッグすると 15 度単位で回転します。

注意：この操作はステージ 3 でのみ行えます。



P.67 の「輪郭データを回転する」

■ 数値設定ーサイズ

機　能　　　　：選択された輪郭データを任意のサイズにします。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。

❷ メニューバーの**編集**→**数値設定**→**サイズ**をクリックします。
サイズダイアログが表示されます。



◆ 縦横比を固定して幅と高さを変更するときは、**縦横比を保持**をチェックします。
◆ **幅**と**高さ**の単位（%または mm ／インチ）を選択します。
◆ **幅**と**高さ**の数値を入力するか、矢印をクリックして選択します。
縦横比を保持をチェックすると、幅と高さの比が固定され、一方の数値を変更するともう一方も自動的に変更されます。
◆ **OK** をクリックして設定を確定し、終了します。
◆ **プレビュー**をクリックすると、変更後の輪郭データのサイズをデザインページ上で確認できます。
◆ 変更しないで終了する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：入力可能な最大値は、輪郭データがデザインページのサイズを超えない値となります。
入力可能な最小値は、1 mm（0.04 インチ）です。
注意：この操作はステージ 3 でのみ行えます。



P.106 の「単位の設定」

数値設定ー回転

機　能　　　　　：選択された輪郭データを任意の角度で回転させます。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。

❷ メニューバーの**編集**→**数値設定**→**回転**をクリックします。
回転ダイアログが表示されます。



◆ 回転角度の数値を入力するか、矢印をクリックして選択します。
◆ **OK** をクリックして設定を確定し、終了します。
◆ **プレビュー**をクリックすると、変更後の輪郭データをデザインページ上で確認できます。
◆ 変更しないで終了する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：入力可能な数値の範囲は、0 から 359 度までで、1 度単位です。
注意：この操作はステージ 3 でのみ行えます。

すべて選択

機　能　　　　　：すべてのデータを選択します。
ショートカットキー：Ctrl ＋ E
ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**編集**→**すべて選択**をクリックします。
注意：この操作はステージ 3 でのみ行えます。

縫い方メニュー

線や面の縫い方や縫い順を設定します。

メニュー	機　能	参照ページ
縫い方の設定	輪郭線と面の縫い方を設定します。	P.96
縫い順	作成した刺しゅうデータの各糸色の縫い順の確認、変更をしたり、さらに各糸色を構成する各部分の縫い順の確認、変更をします。	P.100

■ 縫い方の設定

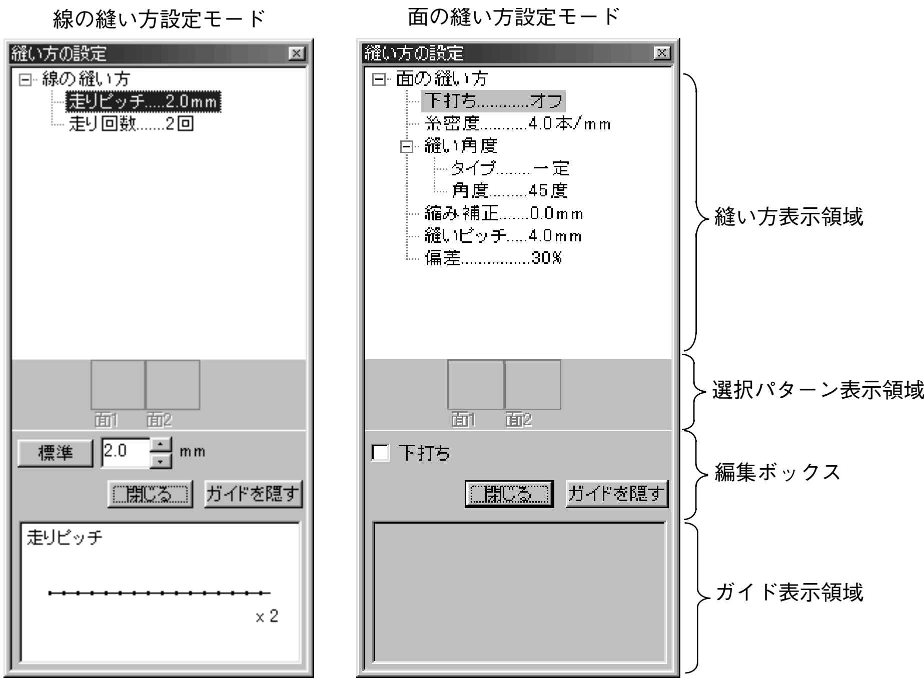
機　能　　　　：輪郭線と面の縫い方を設定します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ W

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**縫い方**→**縫い方の設定**をクリックします。
次の**縫い方の設定**ダイアログが表示されます。
このダイアログの大きさは、ダイアログの端をドラッグすることで自由に変更できます。



◆ 縫い方表示領域で、変更もしくは設定したい項目を選択し、編集ボックスで変更や設定を入力します。

◆ 設定値の入力方法は、項目により異なります。数値の場合は、直接数値を入力するか、矢印をクリックして値を選択します。**標準**ボタンが編集ボックスに表示されている場合は、そのボタンをクリックすると、標準設定値が設定項目に入力されます。

◆ 線の設定ツールで設定した内容を輪郭線に設定するには、輪郭線をクリックします。
面の設定ツールで設定した内容を面に設定するには、面をクリックします。

◆ 終了するには、**閉じる**をクリックします。

◆ **ガイドを隠す**を押すと、ガイドが非表示になります。**ガイドを表示**を押すと、ガイドが再度表示されます。

線の設定ツールのときは、線の設定項目のみが表示されます。面の設定ツールのときは、面の設定項目のみが表示されます。

縫い方表示領域	：現在の各縫い方設定を表示します。
選択パターン表示領域	：プログラムタタミ縫いまたはモチーフ縫いが選択されているとき、そのパターンが表示されます。
編集ボックス	：縫い方表示領域で選択された項目を変更します。
ガイド表示領域	：ガイドを表示するように設定されているとき、編集ボックスの設定する内容のガイドが表示されます。

注意：この操作はステージ 4 でのみ行えます。

線の縫い方

選択された縫い方による設定項目

サテン縫い

- 線の縫い方
  - サテン幅
  - 糸密度

走り縫い

- 線の縫い方
  - 走りピッチ
  - 走り回数

サテン幅	サテン幅を設定します。 範囲：1 ～10 mm（0.04 ～ 0.39 インチ） 標準：2 mm（0.08 インチ）
糸密度	1 mm（1 インチ）当たりの糸数を設定します。 範囲：1 ～7 本／mm（25 ～ 178 本／インチ） 標準：4 本／ mm（102 本／インチ）
走りピッチ	輪郭線縫いのピッチを設定します。 範囲：1 ～10 mm（0.04 ～ 0.39 インチ） 標準：2 mm（0.08 インチ）
走り回数	輪郭として縫われる回数を設定します。 範囲：2、4、6 回 標準：2 回

面の縫い方

選択された縫い方による設定項目

サテン縫い

- 面の縫い方
  - 下打ち
  - 糸密度
  - 縫い角度
    - タイプ
    - 角度
  - 縮み補正

タタミ縫い

- 面の縫い方
  - 下打ち
  - 糸密度
  - 縫い角度
    - タイプ
    - 角度
  - 縮み補正
  - 縫いピッチ
  - 偏差

プログラムタタミ縫い

- 面の縫い方
  - 下打ち
  - 糸密度
  - 縫い角度
    - タイプ
    - 角度
  - 縮み補正
  - プログラムタタミ
    - パターン
    - パターンのサイズ
      - 幅
      - 高さ
    - オフセット
      - オフセット方向
      - オフセット値
    - パターン角度

モチーフ縫い

- 面の縫い方
  - モチーフ
    - 使うパターン
    - パターン 1
      - パターン
      - パターンのサイズ
        - 幅
        - 高さ
      - アレンジ 1
      - アレンジ 2
    - パターン 2
      - パターン
      - パターンのサイズ
        - 幅
        - 高さ
      - アレンジ 1
      - アレンジ 2
    - オフセット量
    - パターン角度
    - 走りピッチ

クロスステッチ

- サイズ
- 縫い方

下打ち		下打ちをする／しないを切り替えます。広い面積を縫う場合、縫い縮みを防ぐために下打ちをしてみてください。 面の形状により、この設定が使用できない場合もあります。 オン：下打ちを行う オフ：下打ちを行わない
糸密度		1 mm（1 インチ）当たりの糸数を設定します。 範囲：1 ～ 7 本／ mm（25 ～178 本／インチ） 標準：4 本／ mm（102 本／インチ）
縫い角度	タイプ	縫い方向の種類を設定します。 一定 : 一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 可変 : オブジェクトの形状に合わせて縫い方向を可変します。
	角度	縫い方向の角度を設定します。 （上記のタイプで可変を指定した場合は、この設定は表示されません。） 範囲 : 0 ～ 179 度 標準 : 45 度 90˚ 135˚ 45˚ 179˚ 0˚
縮み補正		縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲：0 ～ 2 mm（0.00 ～ 0.08 インチ） 標準：0 mm（0.00 インチ）

タタミ縫いのみ：

縫いピッチ	縫いピッチを設定します。 範囲：1 ～ 10 mm（0.04 ～ 0.39 インチ） 標準：4 mm（0.16 インチ） 縫いピッチ
偏差	縫い目のずらし具合を設定します。 範囲：0 ～ 99% 標準：30% 0% 30%

プログラムタタミ縫いのみ：

パターン		プログラムタタミ縫いのパターンを選択します。 **パターンの選択**をクリックすると、**一覧**ダイアログが表示されます。開きたい**pas**ファイルのあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから **OK** をクリックしてパターンを選択します。
パターンのサイズ	**幅**	縫いパターン幅を設定します。 範囲：5 ～ 10 mm（0.20 ～ 0.39 インチ） 標準：7.5 mm（0.30 インチ）
	高さ	縫いパターン高さを設定します。 範囲：5 ～ 10 mm（0.20 ～ 0.39 インチ） 標準：7.5 mm（0.30 インチ）
オフセット	**オフセット方向**	パターン配列の横／縦のオフセット方向を設定します。
	オフセット値	パターン配列のオフセット（ずらし）量を設定します。 範囲：0 ～ 99% 標準：0%
パターン角度		パターン配列の角度を変更します。 範囲：0 ～ 359 度 標準：0 度

モチーフ縫いのみ：

使うパターン		モチーフにパターン 1 とパターン 2 のいずれを使うのかを選択します。パターン 1 と 2 を選んだ場合は、各列で交互に縫製されるようにプログラムされます。 パターン 1 のみ：パターン 1 のみを使います。（標準） パターン 2 のみ：パターン 2 のみを使います。 パターン 1 と 2：パターン 1 と 2 の両方を使います。
パターン		モチーフ縫いのパターンを選択します。 **パターンの選択**をクリックすると、**一覧**ダイアログが表示されます。開きたい **.pmf** ファイルのあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから **OK** をクリックしてパターンを選択します。
パターンのサイズ	**幅**	パターンの幅（線に沿った方向）を設定します。 範囲：2 ～ 10 mm（0.08 ～ 0.39 インチ） 標準：5 mm（0.20 インチ）
	高さ	パターンの高さ（線と垂直な方向）を設定します。 範囲：2 ～ 10 mm（0.08 ～ 0.39 インチ） 標準：5 mm（0.20 インチ）
アレンジ 1（横配列）		パターンの横配列を設定します。 ◇のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。 標準 反転 交互
アレンジ 2（縦配列）		パターンの縦配列を設定します。 ▷のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。 標準 反転 交互
オフセット量		パターン配列の各列のオフセット（ずらし）量を設定します。 範囲：0 ～ 10 mm（0.00 ～ 0.39 インチ） 標準：0 mm（0.00 インチ）
パターン角度		モチーフパターンの角度を変更します。 範囲：0 ～ 359 度 標準：0 度
走りピッチ		走りピッチを設定します。 範囲：1 ～ 10 mm（0.04 ～ 0.39 インチ） 標準：2 mm（0.08 インチ）

クロスステッチのみ：

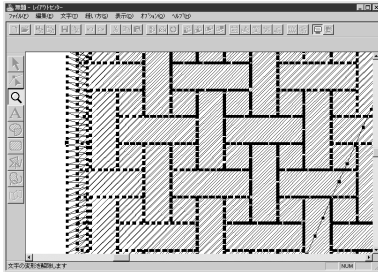
サイズ	格子の縦横のサイズを設定します。 範囲 :1.5 ～ 5.0 mm (0.06 ～ 0.20 インチ) 標準 :2.5 mm (0.10 インチ)
縫い方	縫い回数を設定します。 範囲 :2 重縫い、4 重縫い、6 重縫い 標準 :2 重縫い

[プログラムタタミ縫いについて]

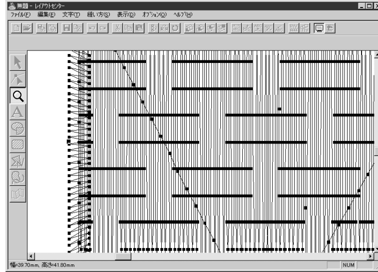
プログラムタタミ縫いの場合、縫い角度とパターン角度の設定によっては、パターンの効果が十分に現れない場合があります。これは、パターンのデータと縫い角度が交わる所に針落ちデータを作成するためです。（下図参照）

したがって、プログラムタタミ縫いを設定する場合は、必ずプレビュー機能を使って縫い角度、パターン角度が正しいか確認してください。

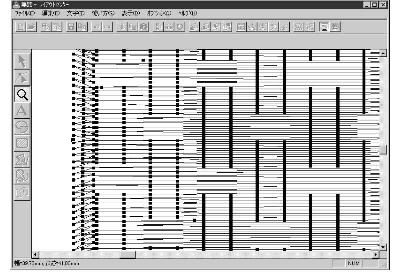
例１：
縫い角度：標準：45°



例２：
縫い角度：90°



例３：
縫い角度：0°





P.103の「プレビュー」、P.229の「ステッチクリエイター」

■ 縫い順

機　能　　：作成した刺しゅうデータの各糸色の縫い順の確認、変更をしたり、さらに各糸色を構成する各部分の縫い順の確認、変更をします。

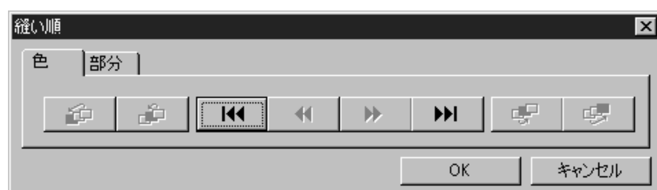
ショートカットキー：F10

ツールバー　：

操　作

❶ メニューバーの**縫い方**→**縫い順の確認**をクリックします。
縫い順ダイアログが開き、**色**タブが表示されます。刺しゅうデータはグレーで表示されます。

❷ 色ごとの縫い順の確認、変更の手順は以下のとおりです。
色タブが表示されていること確認します。



◆ ⏮ をクリックします。最初に縫う色が表示されます。

◆ 次に縫う色、または 1 つ前に縫う色を見るには、⏩ または ⏪ をクリックします。

- ⏮ 、⏭ 、⏩ 、または ⏪ をクリックすると、対応する色が表示されます。

◆ 最後に縫う色を見るには、⏭ をクリックします。

◆ 表示されている色を最後に縫いたいときは、 をクリックします。

◆ 表示されている色を最初に縫いたいときは、 をクリックします。

◆ 表示されている色の縫い順を 1 つ後ろにしたいときは、 をクリックします。

◆ 表示されている色の縫い順を 1 つ前にしたいときは、 をクリックします。

◆ この操作を確定する場合は、**OK** をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

❸ 各色を構成する部分の縫い順を確認、変更するには、**色**タブで目的の色を表示し、**部分**タブをクリックします。
選択された色の部分が、グレーで表示されます。



◆ ⏮ をクリックします。最初に縫う部分が表示されます。

◆ 次に縫う部分、または 1つ前に縫う部分を見るには、⏩ または ⏪ をクリックします。

- ⏮ 、⏭ 、⏩ 、または ⏪ をクリックすると、対応する部分が表示されます。

◆ 最後に縫う部分を見るには、⏭ をクリックします。

◆ 表示されている部分を最後に縫いたいときは、 をクリックします。

◆ 表示されている部分を最初に縫いたいときは、 をクリックします。

◆ 表示されている部分の縫い順を 1つ後ろにしたいときは、 をクリックします。

◆ 表示されている部分の縫い順を 1つ前にしたいときは、 をクリックします。

◆ この操作を確定する場合は、**OK** をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意： 面部は常に輪郭線より先に縫われます。縫い順を最初に設定した輪郭線は輪郭線の中で一番最初に縫われますが、面部すべての縫製の後になります。

注意： この操作はステージ 4 でのみ行えます。



P.103 の「プレビュー」

表示メニュー

画面の表示内容を変更します。

メニュー	機　能	参照ページ
グリッド	グリッドの内容を設定し、グリッドの表示／非表示を切り替えます。	P.102
プレビュー	刺しゅうデータの縫製イメージを表示します。	P.103
画面の再描画	画面を更新します。	P.103
リアルプレビュー	刺しゅうデータの縫製後の仕上がりイメージをリアルに表示します。	P.103
リアルプレビューの設定	リアルプレビューの設定を行います。	P.104
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。	P.104
ステータスバー	ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。	P.104

■ グリッド

機　能　　　　：グリッドの内容を設定し、グリッドの表示／非表示を切り替えます。
ショートカットキー：この機能に対応したショートカットキーはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応したボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示→グリッド**をクリックします。
グリッドの設定ダイアログが表示されます。



◆ 作業中のデザインページにグリッドを表示したいときは、**グリッドを表示**をチェックします。
◆ **グリッドの間隔**の数値を入力するか、矢印をクリックして選択します。
グリッド間隔の範囲：1 ～ 10 mm
（0.04 ～ 0.39 インチ）
◆ **枠で表示**で、グリッドの縦線と横線の表示／非表示を切り替えます。
  - チェックすると、線が表示されます。
  - チェックを外すと、グリッドの交点のみが表示されます。
◆ **OK** をクリックして、確定します。
◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：この操作はステージ 3 でのみ行えます。



P.226 の「単位の設定」

プレビュー

機　能　：刺しゅうデータの縫製イメージを表示します。

ショートカットキー：(F9)

ツールバー　：

操　作

❶ メニューバーの**表示→プレビュー**をクリックします。
作成した刺しゅうデータの縫製イメージが表示されます。
プレビュー中は、その他の設定はできません。

❷ 通常の作業画面に戻るには、再度**表示→プレビュー**をクリックするか、(Esc) キーを押します。

注意：この操作はステージ 4 でのみ行えます。



P.100 の「縫い順」

画面の再描画

機　能　：画面を更新します。

ショートカットキー：(Ctrl) ＋ (R)

ツールバー　：この機能に対応したボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示→画面の再描画**をクリックします。
画面が正常に更新されていないと思われるとき、この機能を使用します。

リアルプレビュー

機　能　：刺しゅうデータの縫製後の仕上がりイメージをリアルに表示します。

ショートカットキー：(Shift) ＋ (F9)

ツールバー　：

操　作

❶ メニューバーの**表示→リアルプレビュー**をクリックします。
リアルプレビューの設定ダイアログの設定内容で、デザインページの刺しゅうデータがリアルに表示されます。

❷ 通常の作業画面に戻るには、再度**表示→リアルプレビュー**をクリックするか、(Esc) キーを押します。

注意：モニタの設定が 256 色以下の場合、正確な色を表示できません。16 ビットハイカラー（65536 色）以上の設定で使用してください。

注意：この操作はステージ 4 でのみ行えます。



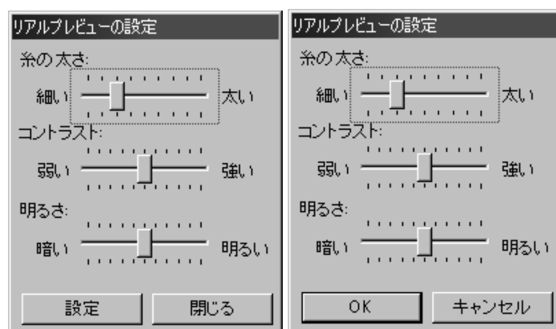
P.104 の「リアルプレビューの設定」

■ リアルプレビューの設定

機　能　　　　：リアルプレビューの設定を行います。
ショートカットキー：この機能に対応したショートカットはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応したボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示→リアルプレビューの設定**をクリックします。
次のダイアログが表示されます。



- ◆ **糸の太さ**で、糸の太さを設定します。
- ◆ **コントラスト**で、コントラストを設定します。
- ◆ **明るさ**で、明るさを設定します。
- ◆ リアルプレビューが表示されているときは、**設定**をクリックし、新たな設定でリアルプレビューを表示させます。リアルプレビューが表示されていないときは、**OK** をクリックして、次回以降の表示のためにその設定を保存します。
- ◆ **閉じる**または**キャンセル**をクリックして、ダイアログを閉じます。

注意：この操作はステージ 4 でのみ行えます。



P.103 の「リアルプレビュー」

■ ツールバー

機　能　　　　：ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
ショートカットキー：この機能に対応したショートカットキーはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応したボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示→ツールバー**をクリックします。
ツールバーの表示と非表示が、交互に切り替わります。



P.104 の「ステータスバー」

■ ステータスバー

機　能　　　　：ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
ショートカットキー：この機能に対応したショートカットキーはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応したボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示→ステータスバー**をクリックします。
ステータスバーの表示と非表示が、交互に切り替わります。



P.104 の「ツールバー」

オプションメニュー

他のアプリケーションを起動したり、デザインページのサイズや単位等の設定ができます。

メニュー	機　能	参照ページ
レイアウトセンターの起動	レイアウトセンターを起動し、前面に表示します。	P.105
ステッチクリエイターの起動	ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。	P.105
デザインページの設定	デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。	P.106
単位の設定	長さの単位（mm またはインチ）を選択します。	P.106

■ レイアウトセンターの起動

機　能　：レイアウトセンターを起動し、前面に表示します。

ショートカットキー：F5

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**オプション→レイアウトセンターの起動**をクリックします。
レイアウトセンターを起動し、前面に表示します。

■ ステッチクリエイターの起動

機　能　：ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**オプション→ステッチクリエイターの起動**をクリックします。
ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。

デザインページの設定

機　能　　　　：デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**オプション→デザインページの設定**をクリックします。
ステージ 3 では、次のダイアログが表示されます。



◆ サイズセレクタをクリックし、サイズを選択します。プレビュー領域で設定内容を確認できます。ミシンの絵が、ミシン上のデザインページ（枠）の方向を示します。
◆ **OK** をクリックして、確定します。
◆ 標準設定に戻すには、**標準**をクリックします。
◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。
注意： ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲を越えるサイズを選択しないでください。

❶ ステージ 4 では、次のダイアログが表示されます。



◆ デザインページセレクタや背景セレクタをクリックして、デザインページの色と背景色を選択します。プレビュー領域で設定された色を確認できます。
◆ **OK** をクリックして、確定します。
◆ 標準設定に戻すには、**標準**をクリックします。
◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。



P.106 の「単位の設定」

単位の設定

機　能　　　　：長さの単位（mm またはインチ）を選択します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**オプション→単位の設定**をクリックします。
次のダイアログが表示されます。



◆ 単位（**mm** または**インチ**）を選択します。
◆ **OK** をクリックして、確定します。
◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

ステージメニュー

ステージメニューで、あるステージから次または前のステージに移動できます。

メニュー	機　能	参照ページ
原画ステージ	ステージ１へ移動します。	P.107
輪郭線画ステージ	ステージ２へ移動します。	P.108
輪郭データステージ	ステージ３へ移動します。	P.110
縫い方設定ステージ	ステージ３からステージ４へ移動します。	P.111

■ 原画ステージ

機　能：ステージ１へ移動します。

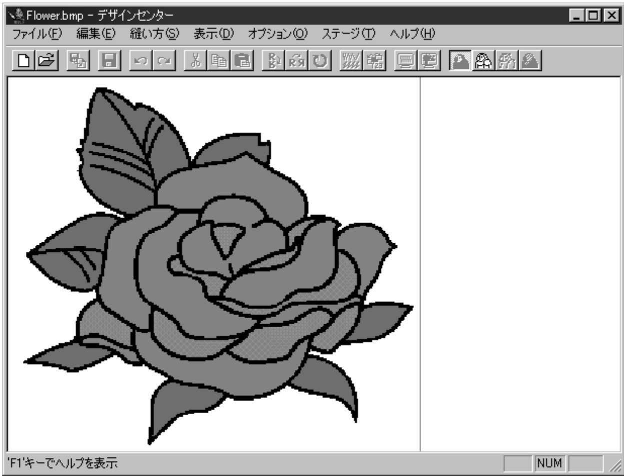
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー：

操　作

❶ メニューバーの**ステージ**→**原画ステージ**をクリックします。
ステージ１（カラー原画が表示されます）に戻ります。作業中のデータがあった場合、そのデータの処理を確認するメッセージが表示されます。

注意： この機能は、ステージ１から作業を開始した場合（画像データを開いたり、画像データをクリップボードから貼り付けた場合など）にのみ有効です。例えば、新規ファイル（ステージ２）で作業を開始した場合、この機能は無効になります。





P.108の「輪郭線画ステージ」、P.110の「輪郭データステージ」、P.111の「縫い方設定ステージ」

■ 輪郭線画ステージ

機　能　　　：ステージ２へ移動します。

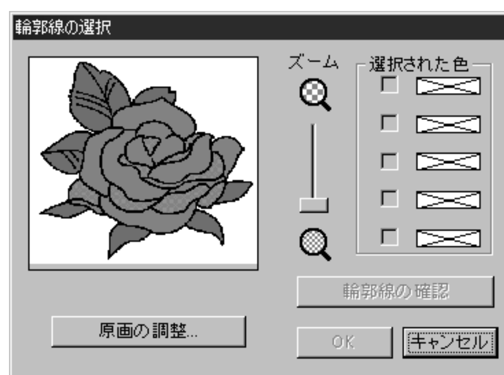
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**ステージ→輪郭線画ステージ**をクリックします。
ステージ 3 で作業している場合は、ステージ 3 での輪郭データを削除するかどうかの確認メッセージが表示されてからステージ２に戻ります。
注意：ステージ 3 またはステージ 4 から作業を開始した場合は、この機能は無効になります。

ステージ 1 で作業している場合は、次の**輪郭線の選択**ダイアログが表示されます。



◆ 必要に応じて、画像をスクロールやズームします。

◆ カーソルを原画上に置くとカーソルが に変わります。輪郭線にしたい色の上でクリックします。その色が**選択された色**ボックスに表示されます。チェックボックスに が表示されてその色が選択されたことを示します。
- 複数の色を輪郭線として使用したい場合は、5 色まで選択することができます。それ以上の色を選択しようとするとスクロールダウンされて、下段の色から選択が取り消されます。
- 間違って色を選択したときは、チェックボックスをクリックして選択を取り消します。

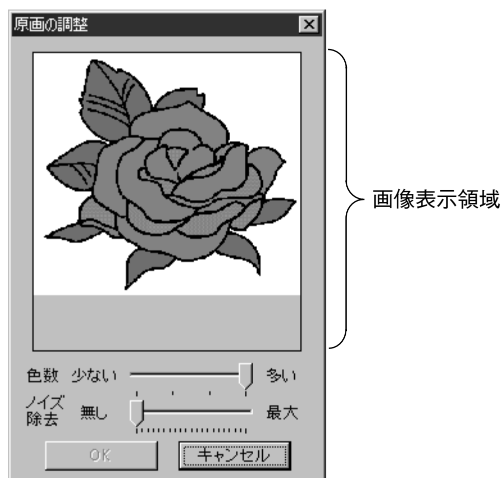
◆ **輪郭線の確認**をクリックし、希望の輪郭線になっているか確認します。イメージが異なる場合は、輪郭線の色を選択し直してください。

◆ **OK** をクリックして確定します。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

減色処理機能

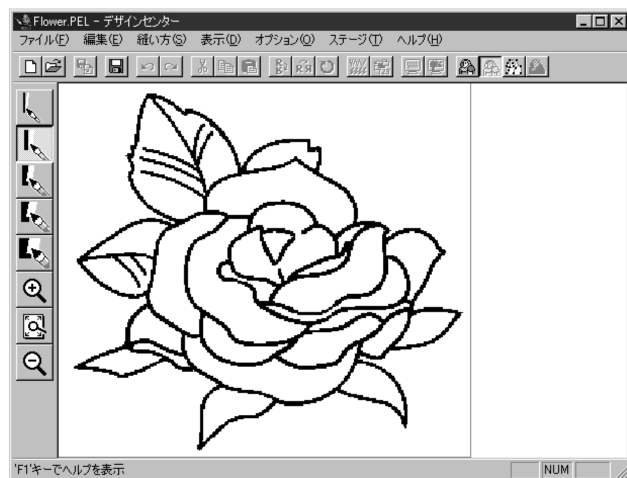
輪郭線の選択ダイアログ内の**原画の調整**ボタンをクリックすると、次のような**原画の調整**ダイアログが表示されます。画像データの色数を減らしたり（ポスタライズ処理）、ノイズを削除したりできます。
この機能でスキャナ等その他の機器で取り込んだ画像データで、輪郭が鮮明ではない原画からも を使って、簡単に色を選択することができるようになります。



- 画像表示領域に作業中の画像処理結果が表示されます。
- **色数**で減色量（ポスタライズの程度）を設定します。スライダを右端（「多い」）へ移動するとオリジナルの画像を表示します。より左端（「少ない」）に設定するほど、より多くの色を減らすことができます。
- **ノイズ除去**のスライダを右へ移動すると小さな領域（微小領域）のノイズが除去されます。
- OK をクリックして確定します。
  デザインページ上、および**輪郭線の選択**ダイアログ上に処理結果画像を反映させ、ダイアログが閉じます。（このダイアログを開く前に**輪郭線の選択**ダイアログで選択されていた色はリセットされます）。
- この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：ここでの処理は、単に**輪郭線の選択**ダイアログ上の作業であり、処理結果は保存できません。

❷ **OK** をクリックすると、原画が白黒の輪郭線画に変換され、ステージ２に移ります。



輪郭線の選択ダイアログで選択した色は、全て黒に変換されます。きれいな輪郭線を作るためには、必要最小限の色だけを選択することをお勧めします。
ステージ２では、ペンツールを使って、輪郭線画を修正することができます。
輪郭線画の結果に満足できないときは、ステージ１に戻りやり直すことができます。



P.107 の「原画ステージ」、P.110 の「輪郭データステージ」、P.111 の「縫い方設定ステージ」

■ 輪郭データステージ

機　能　　　：ステージ３へ移動します。

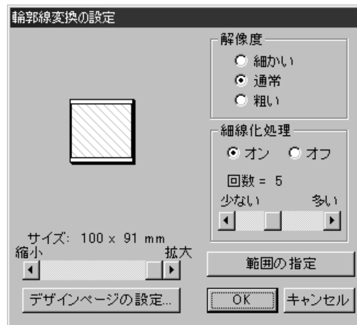
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**ステージ→輪郭データステージ**をクリックします。
ステージ4で作業している場合は、「縫いの設定が変わる可能性があります。」という警告メッセージが表示されます。ステージ4で設定した内容を保存したいときは、**キャンセル**をクリックし、ファイルを保存します。それ以外の場合には、**OK** をクリックしてステージ 3 に戻ります。

ステージ２で作業していた場合は、次のダイアログが表示されます。



◆ 解像度を設定します。詳しくは下記の表を参照してください。

◆ 細線化処理を設定します。詳しくは下記の表を参照してください。

◆ **サイズ**スライダを使って、輪郭データのサイズを設定します。デザインページよりも大きなサイズに拡大することはできません。**デザインページの設定**をクリックしてデザインページのサイズを設定します。
- 行った設定変更がプレビュー画面に反映されます。

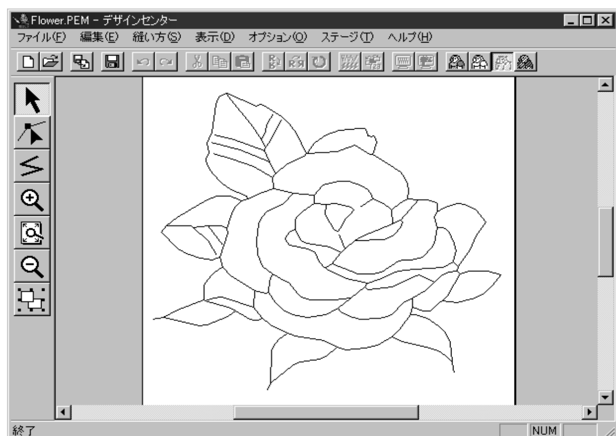
◆ 必要に応じて、**範囲の指定**をクリックします。カーソルが＋に変わりますので、選択したい範囲をドラッグして指定してください。マウスを離すとすぐに元のダイアログに戻ります。原画の一部だけを輪郭データにしたいときに使用します。

◆ 設定が終わったら、**OK** をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

解像度	輪郭データの細かさを設定します。基本的に、原画はポイントとそれらをむすぶ線として輪郭データに変換されます。より細かなデータを作成するには多くのポイントが必要となり、また、データファイル容量もより大きくなります。 通常の画像データの場合は「**普通**」で、ファイル容量をあまり大きくすることなく、適度な解像度になります。「**粗い**」で原画のイメージを損なわず、輪郭データに変換される場合は、ファイル容量をできるだけ小さくするために、「粗い」を選択してください。 原画が非常に細かく、「**普通**」では満足できる結果が得られない場合にのみ、「**細かい**」を選択します。
細線化処理	どのように原画を輪郭データに変換するかを設定します。 **オンの場合：**原画の中心を辿り、輪郭データに変換されます。スライダーで細線化処理の回数を設定できます。（「多い」場合、太い原画も中心線が輪郭データになります。「少ない」場合、太い原画は下記の「オフの場合」と同じ処理がされます。） オン **オフの場合：**原画の周囲をたどり、輪郭データが作成されます。 オフ

❷ OK をクリックすると、輪郭データが表示され、ステージ３になります。



注意： ステージ2からステージ3に移動するとき、輪郭線変換の設定で様々な設定をためしてみてもイメージ通りに輪郭データにならない場合は、ステージ2に戻り、輪郭線画の輪郭線を修正するか、または原画から修正を行ってみてください。

ステージ３では、ポイントを移動、削除、挿入して、輪郭データの編集ができます。

輪郭データを拡大・縮小したいときはズームツールを使用できます。



P.102の「グリッド」、P.106の「デザインページの設定」、P.107の「原画ステージ」と「輪郭線画ステージ」、P.111の「縫い方設定ステージ」

縫い方設定ステージ

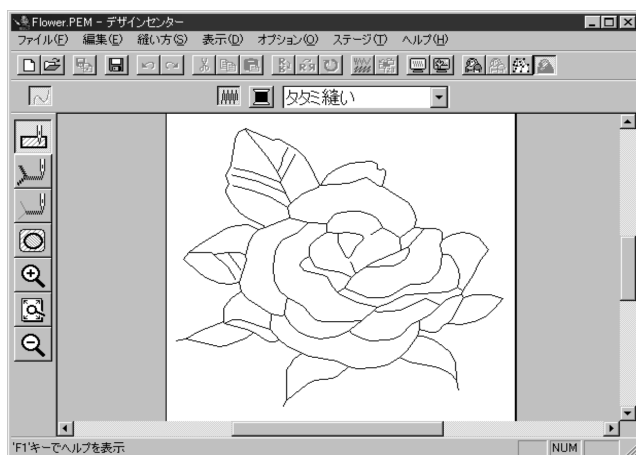
機　能　　　　　**：** ステージ３からステージ４へ移動します。

ショートカットキー： この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　　**：**

操　作

❶ メニューバーの**ステージ→縫い方設定ステージ**をクリックします。
ステージ４になります。



縫い方の設定ができます。刺しゅうデータを拡大・縮小したいときはズームツールを使用できます。



P.107の「原画ステージ」、「輪郭線画ステージ」、P.110の「輪郭データステージ」

ヘルプメニュー

ヘルプシステムが起動します。

メニュー	機　能	参照ページ
目次	このアプリケーションのヘルプを表示します。	P.112
刺しゅう PRO WEB ページ	当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。	P.112
バージョン情報	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	P.112

■ 目次

機　能　　　　：このアプリケーションのヘルプを表示します。

ショートカットキー：F1

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ヘルプ→目次**をクリックします。
ヘルプの目次が表示されます。

■ 刺しゅう PRO WEB ページ

機　能　　　　：当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ヘルプ→刺しゅう PRO WEB ページ**をクリックします。

❷ インストールされているブラウザが起動し、当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページが開きます。

注意： インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続する環境が整っていないと、この機能は使用できません。

■ バージョン情報

機　能　　　　：バージョン、著作権などに関する情報を表示します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

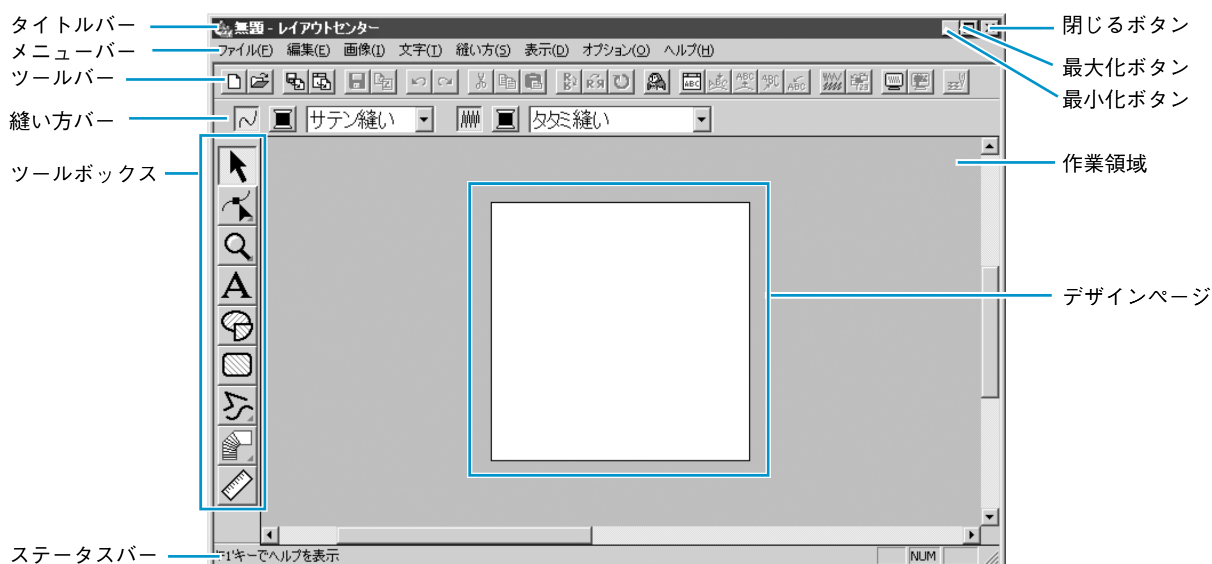
❶ メニューバーの**ヘルプ→バージョン情報**をクリックします。
ダイアログが表示されます。

❷ **OK** をクリックして、ダイアログを閉じます。

レイアウトセンター

レイアウトセンターは、図形データや文字データを作成、編集し、それらを組み合わせて刺しゅうデータを作成するために使用します。
複雑な刺しゅうデータは、デザインセンターで作成し、デザインページに取り込みます。そこに、文字、長方形、円、直線、曲線、マニュアルパンチング等を加えることができます。
希望するレイアウトにするために刺しゅうデータを移動したり、個々の刺しゅうデータにそれぞれ縫い方（糸色や縫い方の種類）の設定をすることが可能です。刺しゅうデータが完成したら、データを保存し、オリジナルカードに書き込みます。そのオリジナルカードをご使用のミシンに差し込めば、刺しゅうすることができます。

画面



メニューバー	各機能を実行します。
ツールバー	各メニュー機能へのショートカットです。
縫い方バー	刺しゅうデータの縫い方（糸色、縫い方）等を設定します。
ツールボックス	各機能のツールを選択します。
ステータスバー	選択されている刺しゅうデータのサイズ等の情報が表示されます。
作業領域	この領域で刺しゅうデータの作成・編集ができます。
デザインページ	作業領域で、実際に縫製が行える部分です。

ツールボックスの使い方

刺しゅうデータはツールボックスと縫い方バーを使って作成します。ツールボックスのボタンをクリックすると、カーソルの形状が変わります。ステータスバーの左側に各ツールで行える操作が表示されます。

選択ツール アプリケーションを起動すると、選択ツールが選択されています。 カーソルが に変わります。	P.115
ポイント編集ツール カーソルが に変わります。	P.118
ズームツール カーソルが または に変わります。	P.124
文字入力ツール カーソルが に変わります。	P.125
円・円弧描画ツール カーソルが に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.126
長方形描画ツール カーソルが に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.129
線描画ツール カーソルが に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.129
マニュアルパンチングツール カーソルが に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.131
ものさしツール カーソルが に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.133

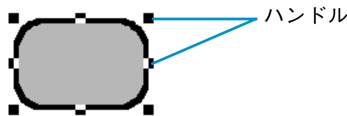
選択ツール

既存の刺しゅうデータに変更を加えるには、まずその刺しゅうデータを選択します。
選択ツールは、1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択するときに使います。刺しゅうデータを選択することにより、移動、拡大・縮小、回転または反転による方向変換ができます。

■ 刺しゅうデータを選択する

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが に変わります。

❷ 選択したい刺しゅうデータをクリックします。
刺しゅうデータが選択されると、ハンドルが表示されます。



刺しゅうデータの上をクリックしないと、選択できません。
ステータスバーに、選択された刺しゅうデータのサイズ（幅と高さ）が表示されます。

❸ 刺しゅうデータの選択を解除するには、他の刺しゅうデータを選択するか、刺しゅうデータが無い部分をクリックするか、ツールボックスのズームツール以外の別のボタンをクリックします。

❹ 複数の刺しゅうデータを選択するには、Ctrl キーを押しながら刺しゅうデータをクリックします。

参考： 選択したい刺しゅうデータ全体を囲むようにカーソルをドラッグしても選択できます。ドラッグすると、点線の長方形が表示されます。マウスボタンを離すと、その長方形内にある刺しゅうデータがすべて選択されます。
選択したくない刺しゅうデータまで選択してしまったときは、刺しゅうデータの無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

■ 刺しゅうデータをデータの入力順で選択する

が選択されているときに、Tab キーを押すと次のデータの入力順の刺しゅうデータが選択されます。Shift キーを押しながら Tab キーを押すと 1 つ前のデータの入力順の刺しゅうデータが選択されます。

Tab キー（または Shift キーと Tab キー）を押した場合に

- 刺しゅうデータが何も選択されていないときは、データの入力順が先頭に設定されている刺しゅうデータ（または最後に設定されている刺しゅうデータ）が選択されます。
- 複数の刺しゅうデータが選択されているときは、その中でデータの入力順が一番前に設定されている刺しゅうデータ（または一番後ろに設定されている刺しゅうデータ）が選択されます。
- データの入力順が最後（または先頭）の刺しゅうデータが選択されているときは、データの入力順が先頭（または最後）の刺しゅうデータが選択されます。

■ 刺しゅうデータを移動する

❶ 選択した刺しゅうデータ上にカーソルを移動します。

カーソルが に変わります。

注意： 刺しゅうデータがない部分にカーソルを移動すると、カーソルは に変わりません。

❷ ドラッグすると移動します。

Shift キーを押しながらドラッグすると、刺しゅうデータは水平方向または垂直方向に移動します。

参考： 矢印キーを押すと、選択した刺しゅうデータを矢印キーの方向に0.5 mm（約0.02インチ）ずつ移動できます。

- **グリッドに固定**が設定されているときは、矢印キーを押すと矢印の方向に1グリッドずつ移動できます。（P.215 の「グリッド」参照）

■ 刺しゅうデータを拡大・縮小する

❶ 選択した刺しゅうデータまたはグループのハンドル上にカーソルを移動します。

ハンドルにより、カーソルが ↔ 、↕ 、⤡ または ⤢ に変わります。

❷ ハンドルを矢印の方向にドラッグして拡大・縮小します。

カーソルの形状により、拡大・縮小する方向が異なります。

↔ は幅を拡大・縮小します。

↕ は高さを拡大・縮小します。

⤡ と ⤢ は、幅と高さを同時に拡大・縮小します。（幅と高さの比率が保たれます。）

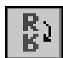
ハンドルをドラッグするとき、ステータスバーでサイズが確認できます。

注意： 刺しゅうカードから読み込んだステッチデータには、拡大・縮小できないものがありますのでご注意ください。
ステッチデータをそのまま拡大・縮小すると、針数は変わらないので刺しゅう品質が落ちることがあります。STB 機能を操作した後、この拡大・縮小を行うと、ステッチデータの品質を維持できます。詳しくはP.210の「STB機能（Stitch to Block機能）」を参照してください。

■ 刺しゅうデータを上下または左右に反転する

❶ 反転したい刺しゅうデータを選択します。

❷ 上下に反転するには、メニューバーの**編集**→**反転**→**上下**をクリックするか、ツールバーの

をクリックします。

左右に反転するには、メニューバーの**編集**→**反転**→**左右**をクリックするか、ツールバーの

をクリックします。

注意： 刺しゅうカードから読み込んだステッチデータには、反転できないものがありますのでご注意ください。

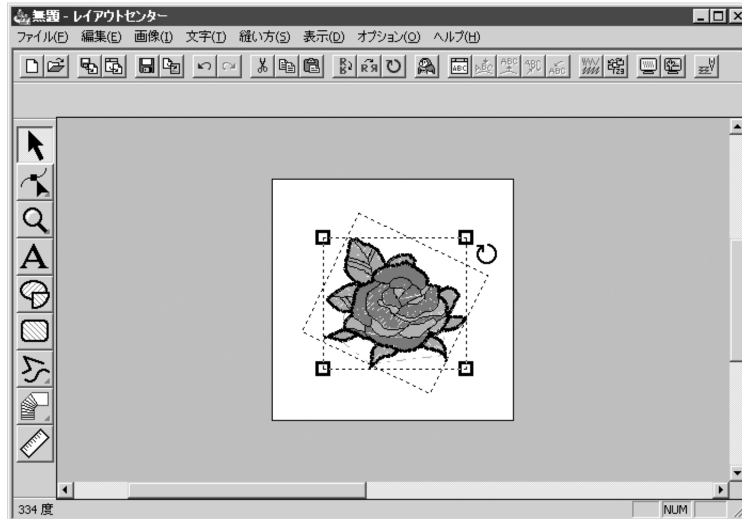
■ 刺しゅうデータを回転する

❶ 回転したい刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**編集**→**回転**をクリックするか、ツールバーの[回転ボタン]をクリックします。選択した刺しゅうデータの四隅のハンドルが、白い四角に変わります。

❸ 刺しゅうデータを回転するには、回転ハンドルをドラッグします。回転ハンドルに触れると、カーソルが[回転カーソル]に変わります。ドラッグすると、右または左に1度単位で回転します。

Shift キーを押しながらドラッグすると 15 度単位で回転します。



ポイント編集ツール

ポイント編集ツールにより次の操作ができます。

◆ 直線、曲線、円弧、扇形、円弧と弦のポイントやマニュアルパンチングのポイントを移動する

◆ 曲線にあるポイントの接線方向を変える

◆ 直線、曲線、マニュアルパンチングデータにポイントを挿入する

◆ 直線、曲線、マニュアルパンチングデータのポイントを削除する

◆ ポイントの両サイドにある直線や曲線を直線化・曲線化する

◆ 文字データの文字を選択、設定する

◆ ステッチデータの針落ち点を移動、挿入、削除する

◆ 図形データの縫い始終点を編集する

■ ポイントを移動する

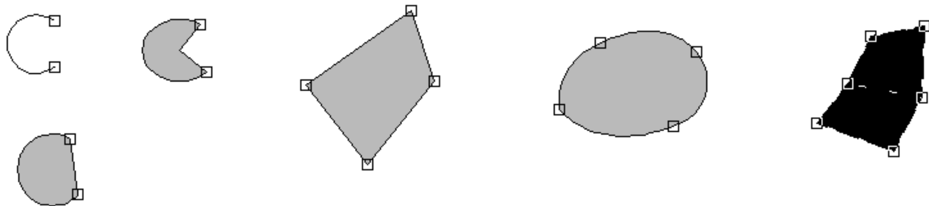
❶ ツールボックスの をクリックします。

3 つのボタン が表示されます。

❷ をクリックします。

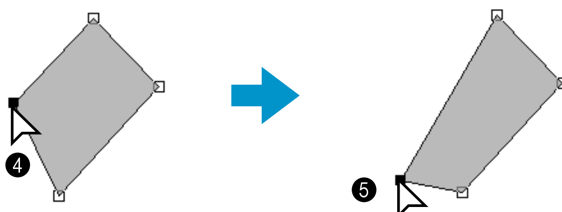
カーソルが に変わります。

❸ 編集したい刺しゅうデータをクリックします。
直線、曲線、円弧、扇形、円弧と弦やマニュアルパンチングデータを選択できます。
刺しゅうデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。



❹ 移動したいポイントをクリックします。
選択されたポイントは黒い四角で表示されます。
複数のポイントを選択するには、 Ctrl キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

❺ ポイントを移動したい場所にドラッグします。
選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。
Shift キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動します。



注意： このとき、必ず、選択したポイントをドラッグしてください。他の場所をドラッグすると、新たなポイントが挿入されたり、選択したポイントの選択が解除されます。

参考： 矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印キーの方向に0.5 mm（約0.02 インチ）ずつ移動できます。

- **グリッドに固定**が設定されているときは、矢印キーを押すと矢印キーの方向に1グリッドずつ移動できます。

■ ポイントの接線方向を変える

❶ ツールボックスの をクリックします。

3 つのボタン が表示されます。

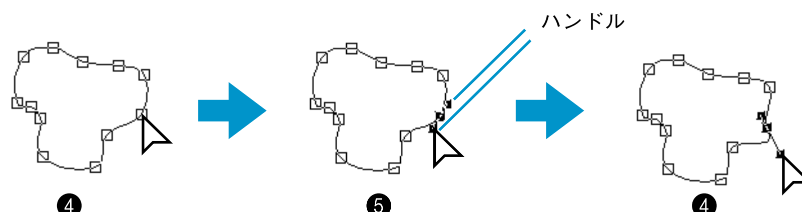
❷ をクリックします。

カーソルが に変わります。

❸ 編集したい刺しゅうデータをクリックします。
線描画ツールで描かれた曲線のみ選択できます。
刺しゅうデータの既存ポイントが小さな四角で表示されます。

❹ 接線方向を変更したいポイントをクリックします。
選択されたポイントがハンドルとともに黒い四角で表示されます。

❺ どちらかのハンドルをドラッグし、接線の方向を調整します。



■ ポイントを挿入する

❶ ツールボックスの をクリックします。

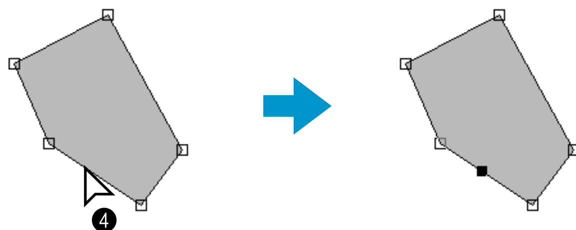
3 つのボタン が表示されます。

❷ をクリックします。

カーソルが に変わります。

❸ 編集したい刺しゅうデータをクリックします。
直線、曲線、マニュアルパンチングデータを選択できます。
刺しゅうデータの既存ポイントが小さな四角で表示されます。

❹ ポイントを挿入したい線上でクリックすると、新たなポイントが表示され、自動的に選択されます。（選択されたポイントは小さな黒い四角で表示されます。曲線の場合は、ハンドルも表示されます。）マニュアルパンチングのブロックツールで作成された刺しゅうデータでは一対の新たなポイントが挿入されます。
挿入されたポイントは、すぐに移動できます。曲線の新たなポイントは、ハンドルを使って接線方向を変えることもできます。



■ ポイントを削除する

❶ ツールボックスの ［ボタン］ をクリックします。

3 つのボタン ［ボタン］［ボタン］［ボタン］ が表示されます。

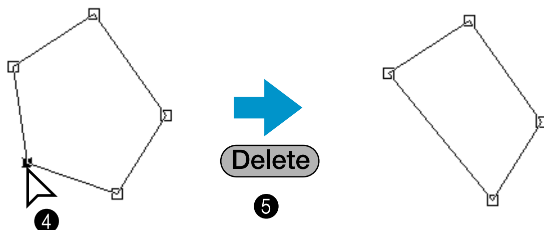
❷ ［ボタン］ をクリックします。

カーソルが ［カーソル］ に変わります。

❸ 編集したい刺しゅうデータをクリックします。
直線、曲線、マニュアルパンチングデータを選択できます。
刺しゅうデータの既存ポイントが小さな四角で表示されます。

❹ 削除したいポイントをクリックします。
選択されたポイントは小さな黒い四角で表示されます。
複数のポイントを選択するには、 Ctrl キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

❺ Delete キーを押し、ポイントを削除します。ブロック型マニュアルパンチングで作成された刺しゅうデータは、一対のポイントが削除されます。



■ 直線化・曲線化する

❶ ツールボックスの ［ボタン］ をクリックします。

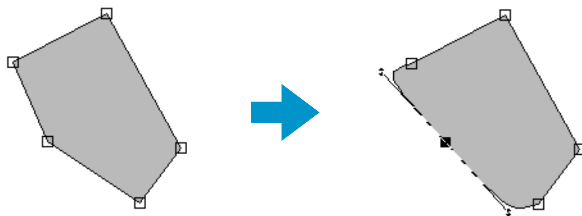
3 つのボタン ［ボタン］［ボタン］［ボタン］ が表示されます。

❷ ［ボタン］ をクリックします。

カーソルが ［カーソル］ に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。

❸ 編集したい刺しゅうデータをクリックします。
直線または曲線を選択できます。
刺しゅうデータの既存ポイントが小さな四角で表示されます。

❹ 直線化・曲線化したいポイントをクリックします。
ポイントが曲線部分にある場合は直線となり、直線部分にある場合は曲線になります。



注意：ポイントが曲線部分にある場合は、ハンドルを使って接線方向の変更が可能です。
P.119 の「ポイントの接線方向を変える」を参照してください。

■ 文字データで文字を選択する

❶ ツールボックスの をクリックします。

3 つのボタン が表示されます。

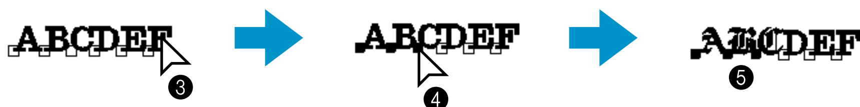
❷ をクリックします。

カーソルが に変わります。

❸ 編集したい文字データをクリックします。
各文字の左下にポイントが小さな四角で表示されます。

❹ 選択したい文字のポイントをクリックします。
選択された文字のポイントは黒い四角で表示されます。
複数の文字を選択するには、 Ctrl キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

❺ 選択された文字に、他の文字とは異なる書体、サイズ、色、縫い方、その他の内容を設定することができます。



■ ステッチデータの針落ち点を編集する

❶ ツールボックスの をクリックします。

3 つのボタン が表示されます。

❷ をクリックします。

カーソルが に変わります。

❸ 編集したいステッチデータをクリックします。
ステッチデータの針落ち点が白い四角で表示されます。

注意：ステッチデータは、破線の四角で囲まれて表示されます。
破線の四角で囲まれていない刺しゅうデータは、そのままでは編集できませんので、**縫い方→ステッチデータに変換**でステッチデータに変換してください。

❹ 針落ち点を選択します。
選択したい針落ち点をクリックするか、囲むようにドラッグします。
選択された針落ち点は黒い四角で表示されます。

その他の選択方法

- Ctrl キーを押しながらクリックまたはドラッグすると、追加選択できます。
- Shift キーを押しながらクリックすると、先に選択した針落ち点と今回選択した針落ち点にはさまれた（縫い順として）針落ち点がすべて選択されます。
- Shift キーを押しながら→キーまたは↓キーを押すと縫い順の方向の、Shift キーを押しながら←キーまたは↑キーを押すと縫い順とは逆方向の針落ち点が、現在選択されている針落ち点に追加選択されます。
- Ctrl キーを押しながら→キーまたは↓キーを押すと縫い順の方向の、Ctrl キーを押しながら←キーまたは↑キーを押すと縫い順とは逆方向の針落ち点に選択が移動します。
- Tab キーを押すと、次の色のすべての針落ち点が選択されます。Shift キーを押しながら Tab キーを押すと、前の色のすべての針落ち点が選択されます。

針落ち点を移動する

選択した針落ち点をドラッグすると、移動したい場所に移動できます。
Shift キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動します。
参考：矢印キーを押すと、矢印キーの方向に 0.1mm ずつ移動できます。

針落ち点を挿入する

針落ち点と針落ち点の間の線上でクリックすると、その場所に新たな針落ち点が挿入されます。

針落ち点を削除する

Delete キーを押すと、選択した針落ち点が削除されます。

■ 刺しゅうデータの縫い始終点を編集する

❶ ツールボックスの をクリックします。

3 つのボタン が表示されます。

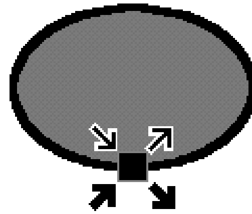
❷ をクリックします。

カーソルが に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。

注意：メニューの**縫い方→縫い始終点の最適化**にチェックマークが付いている場合（モードがオン状態）は、このボタンは選択できません。このツールで縫い始終点を手動で編集するときは、**縫い始終点の最適化**モードをオフにしてください。

❸ 編集したい刺しゅうデータをクリックします。
刺しゅうデータの始終点が次のように表示されます。

注意：ステッチデータは始終点の編集はできませんので、その始終点は表示されません。



上記は、4つの点が重なっている状態で、それぞれの意味は次のとおりです。

: 線部の縫い始めの点です。前のデータからこの位置へ接続されます。

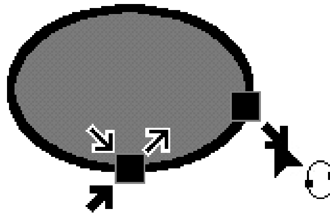
: 線部の縫い終りの点です。この位置から次のデータへ接続されます。

: 面部の縫い始めの点です。前のデータからこの位置へ接続されます。

: 面部の縫い終りの点です。この位置から次のデータへ接続されます。

縫い設定がオフになっている面部や線部は、その始終点は表示されません。

❹ 編集したい点の矢印マークをドラッグすると、アウトラインに沿って移動します。



この操作を目的に応じて、繰り返します。

注意：
- 円・円弧描画ツール、長方形描画ツール、線描画ツールで描かれた図形データのみ編集できます。文字データ、マニュアルパンチングデータ、ステッチデータは編集できません。
- メニューの**縫い方→縫い始終点の最適化**でモードをオンにすると、それまでの始終点の編集内容は破棄され、自動的に最適化されます。

ズームツール

ズームツールは画面の表示を拡大・縮小するときに使用します。ズームインは、刺しゅうデータの細部を大きく表示するので細かい部分の編集をするのに便利です。ズームアウトでは、画面を縮小表示して、デザインページ全体を見ることができます。

■ ズームインを行う

❶ をクリックします。

5 つのボタン 1:1 が表示されます。

❷ をクリックします。

カーソルが に変わります。

❸ 拡大したい部分をクリック、または、拡大したい領域を囲むようにドラッグします。マウスを離すと同時にドラッグした領域が拡大表示されます。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

■ ズームアウトを行う

❶ をクリックします。

5 つのボタン 1:1 が表示されます。

❷ をクリックします。

カーソルが に変わります。

❸ 縮小したい部分をクリックします。クリックした部分を中心に縮小表示されます。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

■ 実縫製サイズにズームする

❶ をクリックします。

5 つのボタン 1:1 が表示されます。

❷ 1:1 をクリックします。

作業しているデザインページが、ほぼ実際のサイズで表示されます。

■ 選択された刺しゅうデータを画面サイズに拡大する

❶ 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。

❷ をクリックします。

5 つのボタン 1:1 が表示されます。

❸ をクリックします。

選択された刺しゅうデータが、利用可能な画面スペースいっぱいに表示されます。

■ デザインページ全体を表示する

❶ をクリックします。

5 つのボタン が表示されます。

❷ をクリックします。
デザインページが縮小または拡大され、デザインページ全体を表示します。

文字入力ツール

文字入力ツールは、デザインページに文字データを入力するときに使います。
文字データの基本設定には、書体とサイズが含まれます。

■ 文字を入力する

❶ をクリックします。

カーソルが に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。

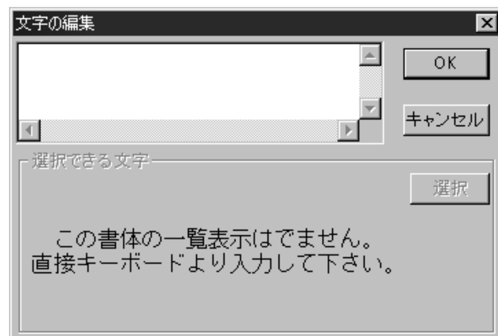


この縫い方バーで、文字の色、書体、サイズ、縫い方を選択します。P.142 の「糸色」、P.137 の「書体」、P.138 の「文字サイズ」を参照してください。
縫い方メニューを使って縫い方の設定（P.200 の「縫い方の設定」参照）、および**文字**メニューを使って文字属性（P.194 の「書式設定」参照）が設定できます。

❷ 文字データを入力したい位置でクリックします。
文字の編集ダイアログが表示されます。（内蔵フォント 01 ～ 35、行書、楷書の場合）



楷書、行書の場合



◆ 希望の文字を入力します。Enter を押すと、改行します。
01～35のアルファベットの書体では、英数半角で入力してください。また、**楷書、行書の書体を選択したときは、全角で入力してください。**半角文字は受け付けません。

◆ **選択できる文字**の中の文字をクリックし、**選択**をクリックしても入力できます。
書体によっては**選択できる文字**は表示されませんので、キーボードから直接入力してください。

◆ **OK** をクリックするとデザインページに文字データが表示されます。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意： 入力した文字が選択されているフォントにない場合は、エラーメッセージが表示されます。ダイアログの **OK** をクリックして、**文字の編集**ダイアログに戻り、入力し直してください。

True Type フォントが選択されている場合は、次のようなダイアログが表示されます。

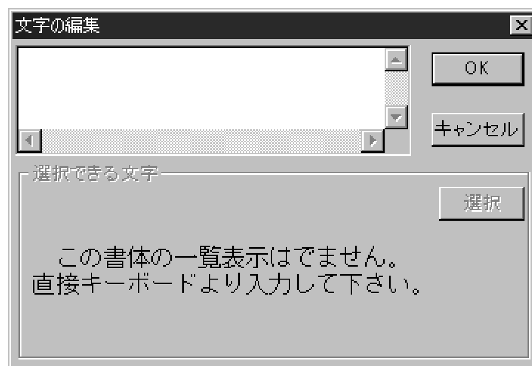
欧文フォントの場合



欧文フォントの場合、選択できる文字欄には、選択されているフォントのイメージで文字等が表示されます。

入力、または選択された文字は、選択されているフォントのイメージで上欄部分に表示されます。

日本語フォントの場合



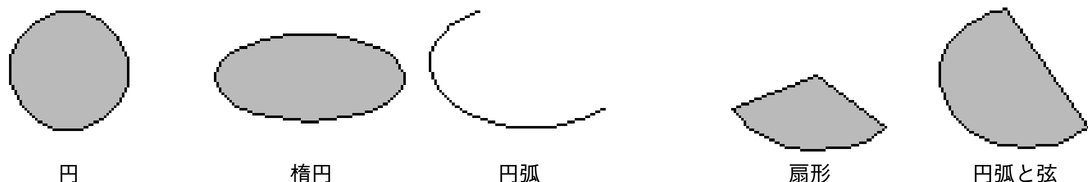
◆ 前述の内蔵フォントと同じように文字を入力、または選択します。
日本語フォントの場合は、**選択できる文字**一覧が表示されませんのでキーボードから直接入力してください。

注意：True Type のフォントの中には、フォーマットやデザインの形状により、きれいな刺しゅうデータに変換できないもの、また縫いあがりがきれいにならないものがあります。実際に縫う前に、試し縫いを行ってください。（例：明朝体、教科書体等のフォントは、文字の線が非常に細い部分がありますので、刺しゅうの模様には適しません。ゴシック体のような、すべての線がある程度太い書体をお選びください。）True Type のフォントの中には刺しゅうデータに変換できないものがあります。この場合、変換後の文字は表示されず、エラーメッセージが表示されます。

参考： 入力した文字データの編集をしたい場合は、メニューバーの**文字→文字の編集**を選択し、**文字の編集**ダイアログで編集します。

円・円弧描画ツール

円・円弧描画ツールでは、真円、楕円、円弧、扇形、円弧と弦などを描画できます。



円弧以外のデータにはすべて、輪郭線と面部があり、それぞれに縫い方を設定できます。円弧は輪郭線となります。

注意： 必ず描く前に形状を選択してください。例えば、円を描いた後に、それを円弧に変更することはできません。

■ 円または楕円を描く

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが、 に変わり、小さな楕円とともに表示されます。

縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、刺しゅうデータの色と縫い方を選択します。P.142 の「糸色」、P.144 の「縫い方」を参照してください。
縫い方 メニューを使って、縫い方の設定もできます。（P.200の「縫い方の設定」を参照）

❷ **円弧の種類**セレクタをクリックし、**円**をクリックします。

❸ カーソルを始点へ移動し、ドラッグします。
ドラッグした始点と終点を結ぶ線を対角線とした長方形に内接する楕円が作成されます。
(Shift) キーを押しながらドラッグすると、真円が描けます。

■ 円弧を描く

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが、 に変わり、小さな楕円とともに表示されます。

縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、刺しゅうデータの色と縫い方を選択します。P.142 の「糸色」、P.144 の「縫い方」を参照してください。
縫い方 メニューを使って、縫い方の設定もできます。（P.200 の「縫い方の設定」参照）

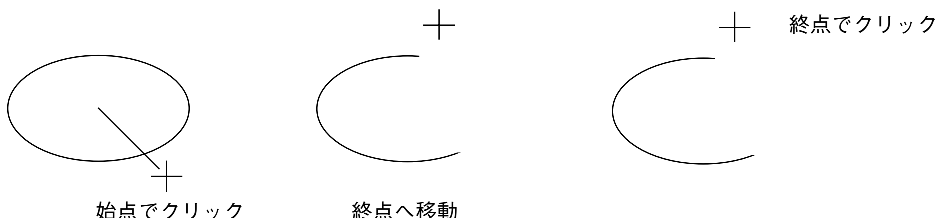
❷ **円弧の種類**セレクタをクリックし、**円弧**をクリックします。



❸ 「円または楕円を描く」の手順 3 と同様の方法で円を描きます。
マウスボタンを離すと円上に放射状の線が表示されます。

❹ カーソルを弧の始点に移動し（ここではドラッグしません）、クリックします。
放射状の線が消えます。

❺ カーソルを弧の終点に移動し（ここではドラッグしません）、クリックします。



■ 扇形を描く

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが、 ＋ に変わり、小さな楕円とともに表示されます。

縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、刺しゅうデータの色と縫い方を選択します。P.142 の「糸色」、P.144 の「縫い方」を参照してください。

縫い方メニューを使って、縫い方の設定もできます。（P.200の「縫い方の設定」を参照）

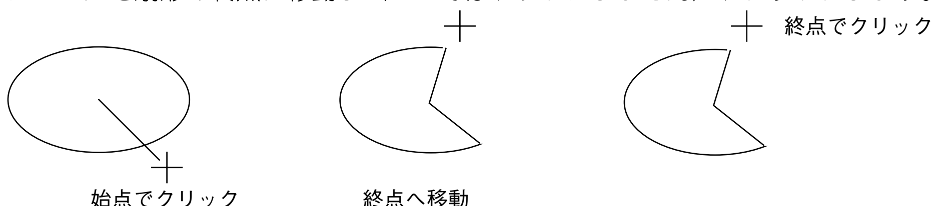
❷ **円弧の種類**セレクタをクリックし、**扇形**をクリックします。



❸ 「円または楕円を描く」の手順 3 と同様の方法で円を描きます。
マウスボタンを離すと円上に放射状の線が表示されます。

❹ カーソルを扇形の始点に移動し（ここではドラッグしません）、クリックします。
放射状の線が消えます。

❺ カーソルを扇形の終点に移動し（ここではドラッグしません）、クリックします。



■ 円弧と弦を描く

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが ＋ に変わり、小さな楕円とともに表示されます。

縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、刺しゅうデータの色と縫い方を選択します。P.142 の「糸色」、P.144 の「縫い方」を参照してください。

縫い方メニューを使って、縫い方の設定もできます。（P.200の「縫い方の設定」を参照）

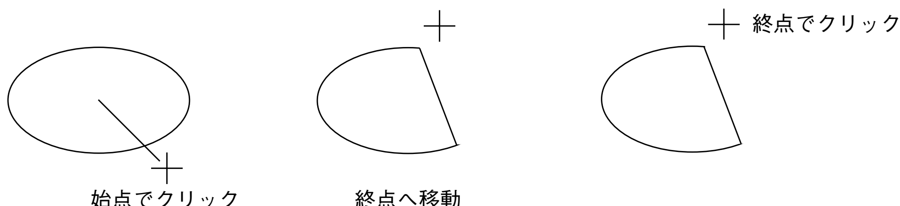
❷ **円弧の種類**セレクタをクリックし、**円弧と弦**をクリックします。



❸ 「円または楕円を描く」の手順 3 と同様の方法で円を描きます。
マウスボタンを離すと円上に放射状の線が表示されます。

❹ カーソルを弧の始点に移動し（ここではドラッグしません）、クリックします。
放射状の線が消えます。

❺ カーソルを弧の終点に移動し（ここではドラッグしません）、クリックします。



長方形描画ツール

長方形描画ツールでは、長方形、正方形、角の丸い長方形などを描くことができます。データにはすべて輪郭線と面部があり、それぞれに縫い方を設定できます。

■ 長方形を描く

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが、 に変わり、小さな長方形とともに表示されます。

縫い方バーは、次のように表示されます。

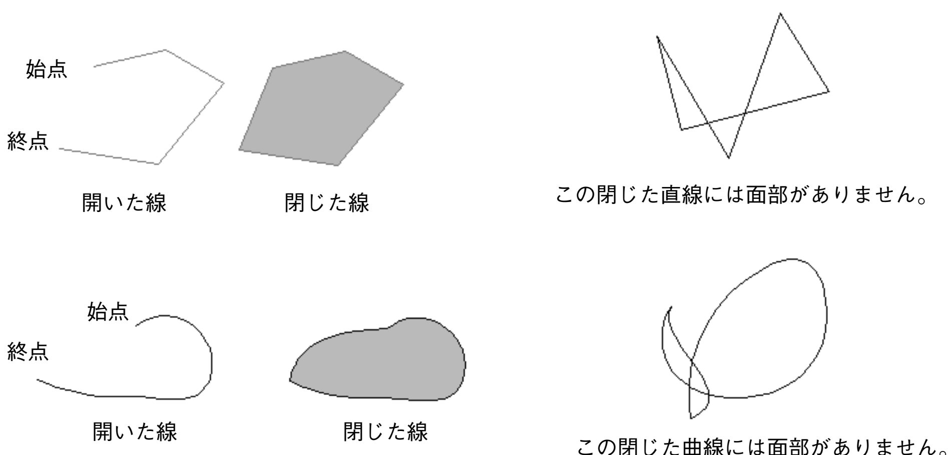


この縫い方バーで、長方形の色と縫い方を選択します。P.142の「糸色」、P.144の「縫い方」、P.135 の「角の丸み」を参照してください。
縫い方メニューを使って、縫い方の設定もできます。（P.200の「縫い方の設定」を参照）

❷ カーソルを始点へ移動し、ドラッグします。
ドラッグした始点と終点を結ぶ線を対角線とした長方形が作成されます。
Shift キーを押しながらドラッグすると、正方形が描けます。

線描画ツール

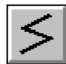
線描画ツールでは、直線、曲線でデータを作成することができます。
両端の処理が開いた線に設定されていると、データは最後の入力点で終了します。その線は面がありませんので、縫い方と色の設定は輪郭線のみとなります。
両端の処理が閉じた線に設定されていると、最後の入力点と最初の点が自動的に繋がります。閉じた線の縫い方と色の設定は輪郭線と面ができます。ただし、線が途中で交差していると面の設定はできません。
入力中は、自由に直線と曲線を切り替えることができます。
この他、画像を下絵として用いる場合は、画像の境界を自動的に抽出するセミオート機能を使って直線を描くこともできます。

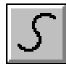


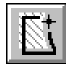
■ 線を描く

❶ ツールボックスの をクリックします。

3 つのボタン が表示されます。

 ：直線を描きます。（ショートカットキー：Z）

 ：曲線を描きます。（ショートカットキー：X）

 ：セミオートを使って曲線を描きます。（ショートカットキー：C）

❷ 描きたい線のボタンをクリックします。カーソルが ＋ と線の種類を示す絵柄に変わります。

縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、線の両端の処理、糸色、縫い方を選択します。P.136 の「両端の処理」、P.142 の「糸色」、P.144 の「縫い方」を参照してください。

縫い方メニューを使って、縫い方の設定もできます。（P.200 の「縫い方の設定」を参照）

❸ 線を描きます。

カーソルを始点へ移動し、クリックします。

カーソルを次の点に移動し、再度クリックします。

参考：マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

❹ 最後の点まで繰り返し、最後の点でダブルクリックします。

注意：
- 描画中は、自由に線の種類を変えることができます。ボタンを選び直すか、ショートカットキーを押します。
- 直線を描画中に Shift キーを押しながらマウスを移動すると、水平または垂直方向に線が描けます。
- セミオートを選択して描画する場合は、下絵となる画像が必要です。画像がない場合は、直線と同じ動作になります。

マニュアルパンチングツール

このツールは、手縫い刺しゅうのような外観の刺しゅうデータを作成するときに使用します。面縫いに標準的なタタミ縫いやサテン縫いを設定すると、面全体の縫い角度は同一方向になってしまいます。しかし、形によっては、刺しゅうデータの中心からの放射方向に縫い角度を設定すると、見栄えが良くなることがあります。

マニュアルパンチングツールにより、このような縫い方を設定することができます。ご自分でデザインした文字などは、マニュアルパンチングツールを使うと見栄えが良くなります。

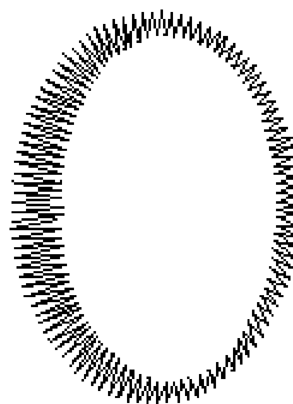
以下に示すイラストは、「O」の文字の 2 種の縫い方のプレビューを示しています。左側の文字は輪郭線を縫わないように設定した 2 個の同心円を使ってデザインしたもので、大きな円にはタタミ縫いを使い、小さな円の面部を縫わない設定にしたものです。さらに、この刺しゅうデータにはドーナツ縫いの設定がされています。

右側の文字はマニュアルパンチングツールを使って描いたものです。左側の文字を複製し、それぞれの円の面部を縫わない設定に変更し、それぞれの円の輪郭線をガイドに利用して、マニュアルパンチングデータを作成したものです。ガイドとして利用した 2 つの円はその後削除してあります。

この例ではその違いがプレビュー画面でよりはっきりするよう、両方の糸密度は最低値に設定されています。



タタミ縫い
（糸方向は同じ）



マニュアルパンチング
（糸方向は曲線に従う）

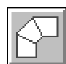
マニュアルパンチングデータを作成するとき、背景に何かをガイドとして使うと作業が簡単になります。上の例では、2 つの円を使用し、マニュアルパンチングデータが完成した後に削除しました。下絵として画像を取り込み、マニュアルパンチングデータを描画する方法もあります。（P.172 の「入力ーファイルから」、P.172 の「入力ー TWAIN 機器から」、P.173 の「入力ーモンタージュから」、P.174 の「入力ークリップボードから」参照）

■ マニュアルパンチングデータを作成する

❶ ガイドとして使う原画を開くか、データを用意します。

❷ ツールボックスの をクリックします。

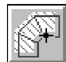
5 つのボタン が表示されます。

 : 直線のブロック型パンチングデータの作成に使用します。

（ショートカットキー: Z）

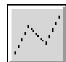
 : 曲線のブロック型パンチングデータの作成に使用します。

（ショートカットキー: X）

 : セミオートを使った直線ブロック型パンチングデータの作成に使用します。

（ショートカットキー: C）

 : 走り型パンチングデータの作成に使用します。（ショートカットキー: V）

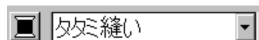
 : 送り型パンチングデータの作成に使用します。（ショートカットキー: B）

マニュアルパンチングデータを作成中、上記の種類を変更できます。例えば、ブロック型データから開始し、後から走り型に切り替えてブロック型の周囲に輪郭線を描き、さらに送り型に切り替えて次のブロック型データに移行できます。異なるものからなるデータ全体が、単一の刺しゅうデータ（すべての部分が同じ縫い方と同じ糸色）とみなされます。次の例では、直線のブロック型データで開始し、送り型を使ってカーソルを移動し、走り型データを作成しました。

❸ をクリックし、直線のブロック型データの作成を開始します。

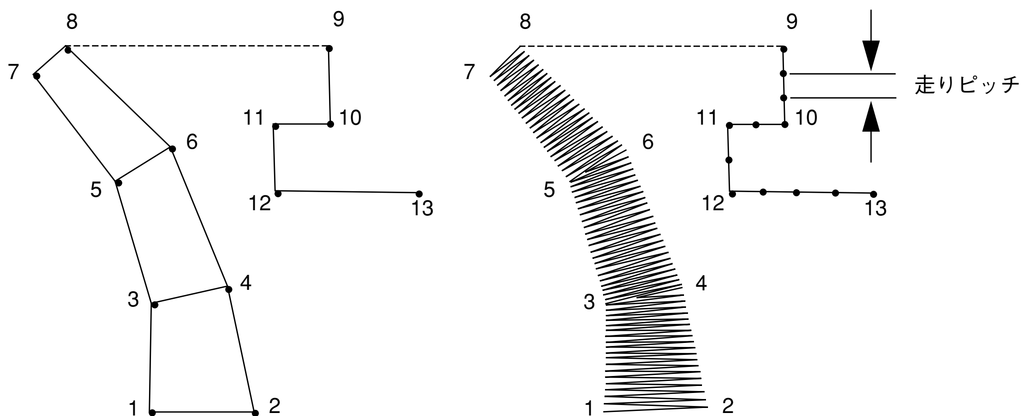
カーソルが、 ┼ に変わり、直線のブロック型ボタンの絵柄とともに表示されます。

縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、縫い方を選択します。P.142の「糸色」、P.144の「縫い方」を参照してください。
縫い方 メニューを使って、縫い方の設定もできます。（P.200の「縫い方の設定」を参照）

❹ デザインページのポイント 1 をクリックします。（始点）
下のイラストを参考に、ポイント 2 以降をクリックしていきます。



マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

❺ ポイント 8（上のブロック型データの最終ポイント）をクリックした後、 （送り型データボタン）をクリックし、ポイント 9（走り型データの始点）でクリックします。

❻ をクリックして走り型パンチングを選択し、上の図のようにポイント 10、11、12 をクリックします。

❼ ポイント 13（データの最終点）でダブルクリックしてデータを完成させます。

参考： 直線のブロック型と曲線のブロック型は、ポイント編集ツールで自由に切り替えることができます。
入力中は、ショートカットキーで自由にパンチングの種類を変えることができます。
セミオートを選択して描画する場合は、下絵となる画像が必要です。画像がない場合は、直線のブロック型パンチングデータと同じ動作になります。

ものさしツール

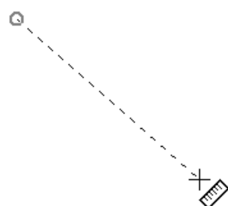
ものさしツールでは、任意の 2 点間の距離を測ることができます。

■ 2 点間の距離を測る

❶ ツールボックスの をクリックします。

カーソルが ＋ に変わり、ものさしの絵柄とともに表示されます。

❷ 距離を測りたいところの一方でクリックします。その場所に、測定の起点としての小さい丸が表示されます。
ドラッグすると、起点とカーソルの間の距離がステータスバーに表示されます。



縫い方バーの使い方

縫い方バーで、次のような刺しゅうデータの属性を設定できます。

- ◆ 幾何学的属性（円弧の種類、角の丸み、両端の処理）
- ◆ 文字属性（書体、サイズ、変形の度合）
- ◆ 刺しゅう属性（糸色と縫い方、輪郭線と面部のオン／オフ）

表示される属性は、選択されたツールと刺しゅうデータの種類によって異なります。

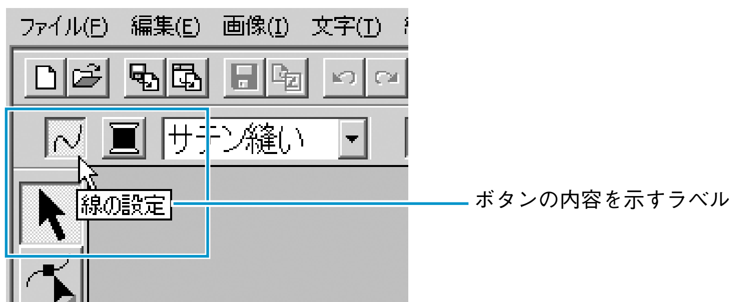
例 1 ：選択ツールで、まだ何も選択されていない場合



例 2：選択ツールで文字が選択された状態か文字入力ツールの場合



カーソルを縫い方バーの各ボタン上に置くと、ボタンの機能を示すラベルが表示されます。以下の説明では、縫い方バーの各構成要素を、これらのラベルに表示される名前で呼びます。



原則として、作成する刺しゅうデータに設定できる各属性は、データ作成の直前またはデータ作成後に設定できます。例えば、長方形を描くとき、長方形描画ツールを起動直後に、糸色と角の丸みを設定できます。長方形が作成されていれば、それを選択し、その属性を変更することもできます。

ただし、円・円弧描画ツールの場合は例外で、どのデータ（円、弧、その他）を作成したいのかを、実際に作成する前に決めなければなりません。データを作成した後でデータの種類を変更することはできません。

幾何学的属性

表　示	機　能	参照ページ
円	円弧の種類：円・円弧の種類を選択します。	P.135
0.0 mm	角の丸み：長方形の角を丸める大きさを設定します。	P.135
閉じた線	両端の処理：直線や曲線で書かれたデータを開いた線にするか閉じた線にするかを設定します。	P.136

文字属性

表　示	機　能	参照ページ
01 ABC	書体：文字の書体を選択します。	P.137
10.0 mm	文字サイズ：文字サイズを選択します。	P.138
50 %	変形の度合い：変形の度合いを選択します。	P.139

刺しゅう属性

表　示	機　能	参照ページ
	線の設定ボタン：輪郭線縫いのオン／オフを切り替えます。オフのときは縫製しません。したがって糸色や縫い方の設定もできません。	P.140
	面の設定ボタン：面縫いのオン／オフを切り替えます。オフのときは縫製しません。したがって糸色や縫い方の設定もできません。	P.141
	糸色の設定ボタン：輪郭線、面、文字、マニュアルパンチングデータの糸色を設定します。	P.142
	特別色	P.143
走り縫い	線の縫い方：輪郭線の縫い方を設定します。	P.144
タタミ縫い	面の縫い方：輪郭線、面部、文字、マニュアルパンチングデータ、（STB機能が操作された後の）ステッチデータの縫い方を設定します。	

幾何学的属性を設定する

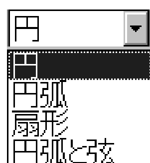
■ 円弧の種類 円

機　能　　：円弧の種類を選択します。

条　件　　：ツールボックスのをクリックし、円・円弧描画ツールを起動しているとき。

操　作

❶ 円弧の種類セレクタをクリックします。
円弧の種類が表示されます。



❷ 種類を選択します。
再び設定を変更するまで、この設定が円・円弧描画ツールで作成するすべてのデータに適用されます。



P.126の「円・円弧描画ツール」

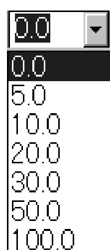
■ 角の丸み 0.0 mm

機　能　　：長方形の角の丸みを設定します。

条　件　　：ツールボックスのをクリックし、長方形描画ツールを起動しているとき。
選択ツールのカーソルで既存の長方形を選択しているとき。

操　作

❶ **角の丸み**セレクタに、値（0～100 ｍｍまたは0～3.93インチ）を入力し、Enter を押します。または**角の丸み**セレクタをクリックし、表示されるリストから値を選択します。



再び設定を変更するまで、この設定が長方形描画ツールで作成するすべてのデータに適用されます。
長方形が選択されていると、その長方形にも設定が適用されます。



P.129 の「長方形描画ツール」

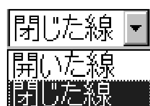
■ 両端の処理

機　能　：直線や曲線の両端を開いたり閉じたりします。

条　件　：ツールボックスの をクリックし、線描画ツールを起動しているとき。
選択ツールのカーソルで既存の直線や曲線を選択しているとき。

操　作

❶ 両端の処理セレクタをクリックします。
2 つの処理状態が表示されます。



❷ 処理状態を選択します。
再び設定を変更するまで、この設定が直線・曲線描画ツールで作成するすべてのデータに適用されます。
直線または曲線が選択されていると、その直線や曲線にも設定が適用されます。



P.129 の「線描画ツール」

文字属性を設定する

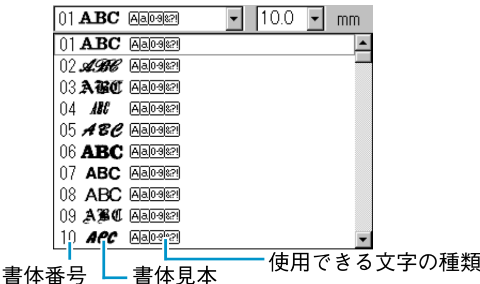
■ 書体 01 ABC Aa0-9&?!

機　能　：文字の書体を選択します。

条　件　：ツールボックスの A をクリックし、文字入力ツールが起動しているとき。
選択ツールのカーソルで既存の文字を選択しているとき。
ポイント編集ツールのカーソルで既存の文字を選択しているとき。

操　作

❶ **書体**セレクタをクリックします。
書体の一覧が表示されます。

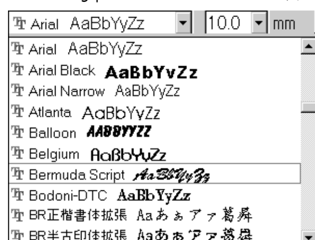


❷ 書体を選択します。
再び設定を変更をするまで、この書体が文字入力ツールで作成するすべての文字データに適用されます。
文字データ、または文字データ内の文字が選択されていると、その文字にも設定が適用されます。
以下のイラストは、使用できる書体と、各書体で使用できる文字の種類を示します。

01	ABC	A a 0-9 &?!	14	ABC	A a 0-9 &?!	27	ABC	A
02	ABC	A a 0-9 &?!	15	ABC	A a 0-9 &?!	28	ABC	A
03	ABC	A a 0-9 &?!	16	ABC	A a 0-9 &?!	29	ABC	A 0-9
04	ABC	A a 0-9 &?!	17	ABC	A a 0-9 &?!	30	ABC	A a 0-9 &?!
05	ABC	A a 0-9 &?!	18	ABC	A	31	ABC	A a 0-9 &?!
06	ABC	A a 0-9 &?!	19	ABC	A	32	ABC	A a 0-9 &?!
07	ABC	A a 0-9 &?!	20	ABC	A a 0-9 &?!	33	ABG	A a 0-9 &?!
08	ABC	A a 0-9 &?!	21	ABC	A	34	ABC	A a 0-9 &?!
09	ABC	A a 0-9 &?!	22	ABC	A a	35	ABC	A a 0-9 &?!
10	ABC	A a 0-9 &?!	23	A.B.C.	A		楷書	あ カ 漢
11	ABC	A a 0-9 &?!	24	ABC	A		行書	あ カ 漢
12	ABC	A a 0-9 &?!	25	ABC	A			
13	ABC	A a 0-9 &?!	26	ABC	A			

A　英語アルファベットの大文字
a　英語アルファベットの小文字
0-9　数字
&?!　ピリオド、括弧、その他の記号
あ　ひらがな
カ　カタカナ
漢　漢字

さらに、前ページに一覧表示されている書体の後に、システムにインストールされている TrueType フォントの書体名が、その書体の表示例とともに表示されます。



TrueType フォントのいずれかを選択すると、その書体データから刺しゅうデータが自動的に作成されます。

TrueType フォントの詳細設定は、メニューバーの**文字→ TrueType フォントの設定**を選択すると表示される **TrueType フォントの設定**ダイアログで変更できます。

注意： True Type フォントの中には、フォーマットやデザインの形状により、きれいな刺しゅうデータに変換できないもの、また縫いあがりがきれいにならないものがあります。実際に縫う前に、試し縫いを行ってください。
（例：明朝体、教科書体等のフォントは、文字の線が非常に細い部分がありますので、刺しゅうの模様には適しません。ゴシック体のような、すべての線がある程度太い書体をお選びください。）



P.125 の「文字入力ツール」、P.118 の「ポイント編集ツール」、P.198 の「True Type フォントの設定」

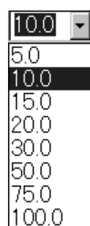
■ 文字サイズ 10.0 mm

機　能　：文字サイズを選択します。

条　件　：ツールボックスの A をクリックし、文字入力ツールを起動しているとき。
選択ツールのカーソルで既存の文字を選択しているとき。
ポイント編集ツールのカーソルで既存の文字を選択しているとき。

操　作

❶ **文字サイズ**セレクタに、値（5～100 mmまたは0.20～3.93インチ）を入力し、Enter キーを押します。または**文字サイズ**セレクタをクリックし、表示されるリストから値を選択します。



再び設定を変更するまで、この設定が文字入力ツールで作成するすべての文字データに適用されます。
文字データまたは文字データ内部の文字が選択されていると、その文字にも設定が適用されます。

注意： 刺しゅう文字は、書体によってあまり小さなサイズになるときれいに縫製できない場合がありますので、日本語書体は 15 mm以上、アルファベット書体は 10 mm以上での設定をおすすめします。



P.125 の「文字入力ツール」、P.118 の「ポイント編集ツール」

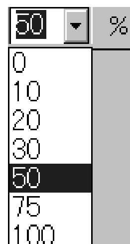
■ 変形の度合い 50 ▼ %

機　能　：変形の度合いを選択します。

条　件　：選択ツールのカーソルで既存の変形文字が選択されているとき。

操　作

❶ **変形の度合い**セレクタで、値（0 ～ 100%）を入力し、 Enter キーを押します。
または**変形の度合い**セレクタをクリックし、表示されるリストから値を選択します。



再び設定を変更するまで、この設定が文字入力ツールで作成するすべての文字データに適用されます。

AAAAA　　AAAAA

50%　　100%



P.125 の「文字入力ツール」、P.197 の「文字の変形」

糸色と縫い方を設定する

すべての刺しゅうデータに対し、色を設定できます。輪郭線や面部がある刺しゅうデータには、それぞれ異なる糸色を設定できます。文字データには、各文字に対して糸色を設定できます。
すべての刺しゅうデータに対し、縫い方の種類を設定できます。輪郭線や面部がある刺しゅうデータにはそれぞれに縫い方を設定できます。
輪郭線や面部がある刺しゅうデータとは、True Type フォントから変換された文字、円弧、扇形、円弧と弦、長方形、閉じた直線、閉じた曲線のことをいい、これらの刺しゅうデータには、輪郭線と面部の縫う・縫わないの設定ができます。
輪郭線だけの刺しゅうデータとは、円弧、開いた直線、開いた曲線をいい、輪郭線の縫う・縫わないの設定ができます。
面だけの刺しゅうデータとは、本アプリケーションに内蔵の文字、マニュアルパンチングデータ、変換されたステッチデータ（STB 機能を操作したもの）です。
マニュアルパンチングデータでは、3 種類のマニュアルパンチングデータ（ブロック型、走り型、送り型）すべてに糸色を設定できますが、縫い方の設定はブロック型に限られます。STB 機能で変換されたステッチデータも同様です。

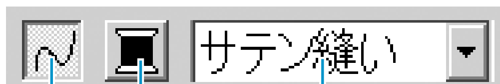
■ 線の設定

機　能　：輪郭線縫いのオン／オフを切り替えます。
オフのときは、縫製は行われず、その糸色や縫い方の設定はできません。

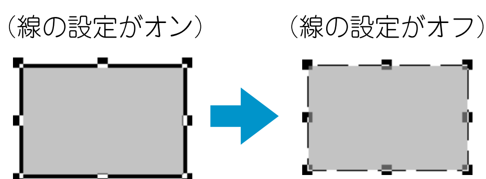
条　件　：選択ツールで何も選択されていないとき。
輪郭線（TrueType フォントから変換された文字、円、円弧、扇形、円弧と弦、長方形、直線、曲線）のあるデータが選択されているとき。
ツールボックスの、、、のいずれかをクリックして、データの描画を開始するとき。

操　作

❶ **線の設定**ボタンをクリックします。
オン／オフにより、表示が変わります。
オン： **線の色**ボタンと**線の縫い方**セレクタが表示されます。
オフ： **線の色**ボタンと**線の縫い方**セレクタが表示されません。
ボタンをクリックするごとに、オン／オフが交互に切り替わります。



再び設定を変更するまで、この設定が作成するすべての輪郭線がある刺しゅうデータに適用されます。
刺しゅうデータが選択されていると、その刺しゅうデータにも設定が適用されます。



❷ 輪郭線を元の状態に戻すには、**線の設定**ボタンを再度クリックします。

注意： アプリケーションに内蔵されている書体（書体番号01～35、行書、楷書）が選択されているときは、線の設定はできません。



P.142 の「糸色」、P.144 の「縫い方」

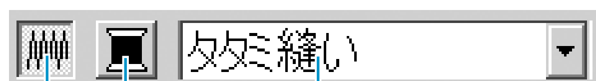
■ 面の設定

機　能　：面縫いのオン／オフを切り替えます。
オフのときは、縫製は行われず、その糸色や縫い方の設定はできません。

条　件　：選択ツールで何も選択されていないとき。
面部がある刺しゅうデータ（TrueType Font から変換された文字、円、扇形、弓形、長方形、閉じた直線と曲線）が選択されているとき。
ツールボックスの　、　、　、　のいずれかをクリックして、その刺しゅうデータの描画を開始するとき。

操　作

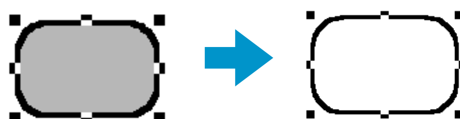
❶ **面の設定**ボタンをクリックします。
オン／オフにより、表示が変わります。
オン： **面の色**ボタンと**面の縫い方**セレクタが表示されます。
オフ： **面の色**ボタンと**面の縫い方**セレクタが表示されません。
ボタンをクリックするごとに、オン／オフが交互に切り替わります。



面の設定
面の色
面の縫い方の種類

再び設定を変更するまで、この設定が作成するすべての面部がある刺しゅうデータに適用されます。
刺しゅうデータが選択されていると、その刺しゅうデータにも設定が適用されます。

（面の設定がオン）　　（面の設定がオフ）



❷ 面部を元の状態に戻すには、**面の設定**ボタンを再度クリックします。



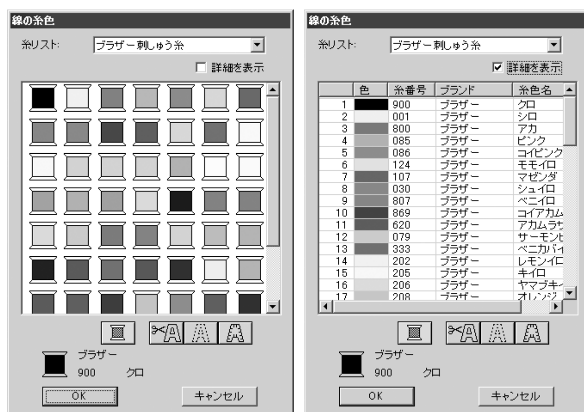
P.142 の「糸色」、P.144 の「縫い方」

■ 糸色

機　能	：輪郭線、面部、文字、マニュアルパンチングデータ、ステッチデータ（STB　変換されたもの）の糸色を設定します。
条　件	：カーソルが選択ツールで何も選択されておらず、**線の色**または**面の色**ボタンが表示されているとき（**線の設定**ボタンまたは**面の設定**ボタンがオフになっていないとき）。描画ツールの１つまたは文字入力ツールを開始するとき、あるいは既存の刺しゅうデータを選択しているとき。

操　作

❶ 糸色ボタンをクリックします。
次のような**糸色**ダイアログが表示されます。
詳細を表示にチェックすると、糸色の情報表示一覧に切り替わり、糸番号、ブランド、糸色名を確認できます。



◆ **糸リスト**セレクタのリストボックスに表示されるシステム糸リストまたはユーザー糸リストから、リスト名を選択します。

◆ 選択した糸リストの糸色一覧から糸色を選択し、クリックします。
選択された色は、ダイアログの下方に表示されます。
- 糸色一覧の下の4つのボタンには特別な機能があります。P.143の「特別色」を参照してください。

◆ **OK**をクリックして、色を設定します。糸色を、ダブルクリックしても設定できます。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

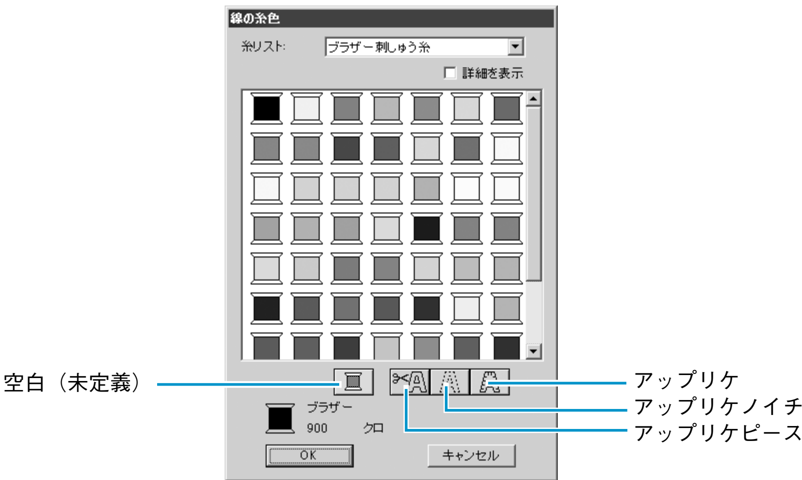
再び設定を変更するまで、この設定が同じ種類のすべての刺しゅうデータに適用されます。線と面の糸色ボタンが現在の色を表示します。
刺しゅうデータが選択されていると、その刺しゅうデータにも適用されます。

参考：ユーザー糸リストの設定方法や、ミシンでの糸色の扱いについては、P.222の「ユーザー糸リストの編集」を参照してください。



P.140 の「線の設定」、P.141 の「面の設定」

特別色



- **空白**：糸色表示機能のあるミシンでは、自動的に指定された糸色を表示しますが、実際にミシンを使って縫製する際、そのときに応じて色を決めたいときに、「**空白**」を指定します。
- 次の 3 つの特別色を使って、アップリケを作成できます。

アップリケピース：アップリケにする布などを切り取るための輪郭線を縫います。
アップリケノイチ：上記の作業で作成されたアップリケを縫い付ける布に、アップリケ位置のガイド線を縫います。
アップリケ：アップリケを縫い付けます。

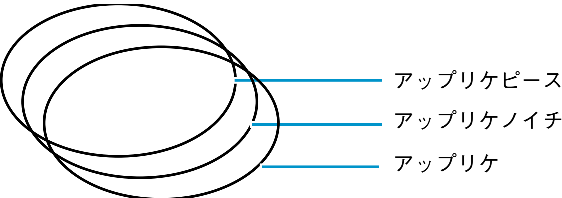
例：

❶ 円を作成します。

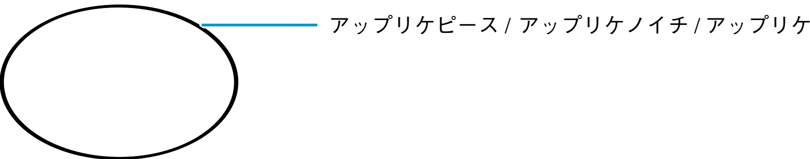
❷ 円を複製し、最初の円から離れた位置に移動します。これを繰り返し、同一の円を全部で 3 つ作成します。

❸ それぞれの円に対して、以下の設定を適用します。

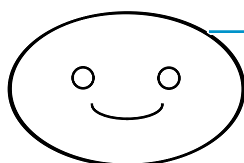
円	縫い方バー			縫い方
	面の設定ボタン	線の色	線の縫い方	
1	オフ	アップリケピース	走り縫い	走り回数＝ 1
2	オフ	アップリケノイチ	走り縫い	走り回数＝ 1
3	オフ	アップリケ	サテン縫い	ー



❹ **アップリケピース**の円に、**アップリケノイチ**の円、**アップリケ**の円の順番で同じ位置に重ねます。グリッドを使うとこの操作がより容易になります。プレビュー機能を使って、アップリケの位置を確認できます。（P.216 の「プレビュー」を参照）



❺ 普通の刺しゅう絵で、アップリケにお好みの刺しゅうデータを加えます。



アップリケピース / アップリケノイチ / アップリケ

注意： 縫い順が**アップリケピース→アップリケノイチ→アップリケ**の順になるように設定してください。

縫製は、以下の手順で行ってください。

❶ アップリケになる布をミシンにセットし、縫います。**アップリケになる部分**の輪郭線が縫製されます。

❷ アップリケになる布をミシンから取り除き、縫い目に沿って切り取ります。

❸ アップリケを縫い付ける布をミシンにセットし、縫います。**アップリケをつける位置**を示す輪郭線が縫製されます。

❹ 少量の糊を使って、アップリケを前の手順で示された位置に貼り付けます。

❺ 続きを縫います。アップリケのまわりの輪郭線が縫製されます。

❻ アップリケ内に加えた刺しゅうデータを縫います。

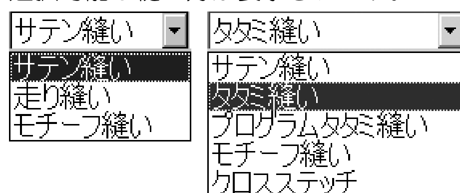
■ 縫い方 走り縫い タタミ縫い

機　能　：輪郭線、面部、文字、マニュアルパンチングデータ、ステッチデータ（STB変換されたもの）の縫い方を設定します。

条　件　：カーソルが選択ツールで何も選択されていない状態で、線の設定と面の設定ボタンが表示されているとき。（線の設定ボタンまたは面の設定ボタンがオフになっていないとき）
描画ツールの１つまたは文字入力ツールを開始するとき、あるいは既存の刺しゅうデータを選択しているとき。

操　作

❶ 縫い方の種類セレクタをクリックします。
選択可能な縫い方が表示されます。



輪郭線は、サテン縫い、走り縫い、モチーフ縫いが選択できます。
面部は、サテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫い、モチーフ縫い、クロスステッチが選択できます。
文字データとマニュアルパンチングデータは、サテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫いが選択できます。

❷ 縫い方を選択します。
再び設定を変更するまで、この設定が作成するすべての同じ種類の刺しゅうデータに適用されます。
刺しゅうデータが選択されていると、その刺しゅうデータにも設定が適用されます。

注意： パターンを用いる縫い方の**プログラムタタミ縫い**または**モチーフ縫い**を選択するときは、**縫い方の設定**ダイアログでパターンも選択してください。

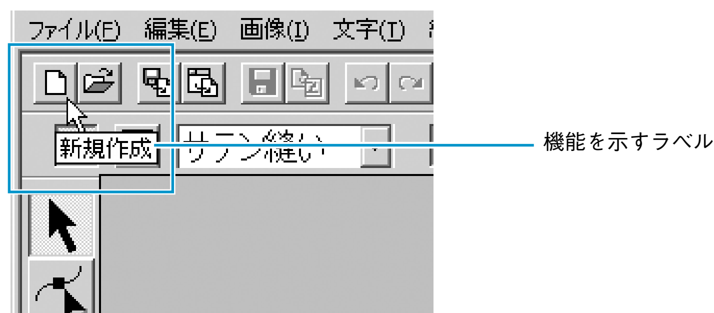


P.140 の「線の設定」、P.141 の「面の設定」、P.200 の「縫い方の設定」

メニューバーとツールバーの使い方

メニュー	機　能	参照ページ
ファイル	開く、保存、印刷などのファイルの入力／出力を処理します。	P.146
編集	切り取りや貼り付けなど、選択された刺しゅうデータに編集操作を行います。	P.162
画像	画像データの入出力や、画像データから刺しゅうデータの作成を行います。	P.171
文字	曲線に文字を配列するなど、文字データについての操作を行います。	P.193
縫い方	各刺しゅうデータの縫い方などを設定します。	P.200
表示	画面の表示内容を変更します。	P.215
オプション	他アプリケーションを起動したり、デザインページのサイズや単位等の設定ができます。	P.219
ヘルプ	ヘルプシステムが起動します。	P.227

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタンをクリックしたり、ショートカットキーやキーの組み合せにより操作することができます。
カーソルをツールバーの各ボタン上に置くと、ボタンの機能を示すラベルが表示されます。



ファイルメニュー

開く、保存、印刷などのファイルの入力／出力を処理します。

メニュー		機　能	参照ページ
新規作成		新規デザインページを作成します。	P.146
開く		以前に保存したデザインページのファイル（pes ファイル）を開きます。	P.147
データ取り込み	ファイルから	刺しゅうカードから読み込んだファイル（*.pec）、以前に保存したデザインページのファイル（*.pes）や、Tajima（*.dst）、Melco（*.exp）、Pfaff（*.pcs）、Husqvarna（*.hus）の各形式で作成されたファイルから刺しゅうデータを取り込み、それを作業中のデザインページに加えます。	P.148
	デザインセンターから	デザインセンターからステッチデータを取り込みます。	P.150
	カードから	刺しゅうカードからステッチデータを取り込みます。	P.150
上書き保存		作業中のデザインページを .pes ファイル（Ver. 5.0）として上書き保存します。	P.152
名前を付けて保存		作業中のデザインページを新しい名前で保存します。	P.152
データ書き出し		デザインページに表示されているデータを、異なるファイル形式（.dst、.hus、.exp、.pcs）に変換して出力します。	P.153
カード書き込み	デザインページのデータ	作業中のデザインページをオリジナルカードに書き込みます。	P.153
	複数 PES ファイル	複数の .pes ファイルを一度にオリジナルカードに書き込みます。	P.154
ファイルプロパティー		保存する .pes ファイルにコメントを入力します。	P.157
印刷の設定		印刷設定を変更します。	P.158
印刷プレビュー		印刷前に、印刷のイメージが確認できます。	P.159
印刷		作業中のデザインページと情報を印刷します。	P.160
終了		アプリケーションを終了します。	P.161

■ 新規作成

機　能　　　　：新規デザインページを作成します。

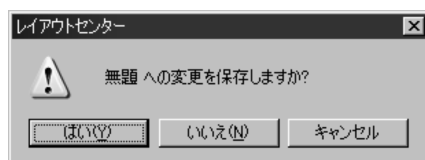
ショートカットキー：Ctrl ＋ N

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→新規作成**をクリックします。
作業中のデザインページがなければ、空白の新規デザインページが表示されます。

❷ 作業中のデザインページがある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



◆ 作業中のデザインページを保存する場合は、**はい**をクリックします。

◆ 作業中のデザインページを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。（作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など）



P.147 の「開く」、P.152 の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

■ 開く

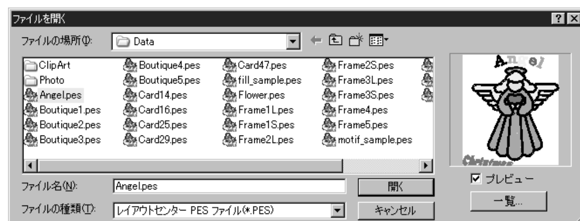
機　能　　　：以前に保存したデザインページのファイル（pes ファイル）を開きます。

ショートカットキー：Ctrl ＋ O

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→開く**をクリックします。
ファイルを開くダイアログが表示されます。



◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。
- 必ず pes ファイルの入っているフォルダを選択してください。
- **プレビュー**チェックボックスをクリックし、✔が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。

◆ ファイル名をクリックしてから**開く**をクリックするか、ファイル名をダブルクリックします。デザインページ上にファイルが表示されます。

◆ **一覧**をクリックすると、選択されたフォルダ内の使用可能な pes ファイルのすべてが表示されます。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

❷ **一覧**を選択すると、**一覧**ダイアログが表示されます。



◆ アイコンをクリックして選択します。

◆ **開く**をクリックするか、アイコンをダブルクリックしてファイルを開きます。

◆ **データ確認**をクリックすると、詳細なイメージを見ることができます。

◆ **ファイルを開く**ダイアログに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

❸ **データ確認**を選択すると、**プレビュー**ダイアログが表示されます。

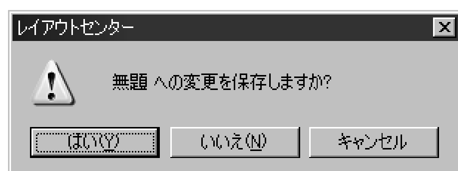


◆ **開く**をクリックしてファイルを開きます。

◆ **一覧**ダイアログに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：データがデザインページをはみ出した状態、または、データの針数や色数がデザインページの制限を越えた状態で保存された pes ファイルの場合は、プレビューのイメージが表示されません。

❹ 作業中のデザインページが無い場合は、選択されたファイルが表示されます。
作業中のデザインページがある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



◆ 作業中のデザインページを保存する場合は、**はい**をクリックします。

◆ 作業中のデザインページを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。（作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など）



P.146 の「新規作成」、P.152 の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

■ データ取り込み−ファイルから

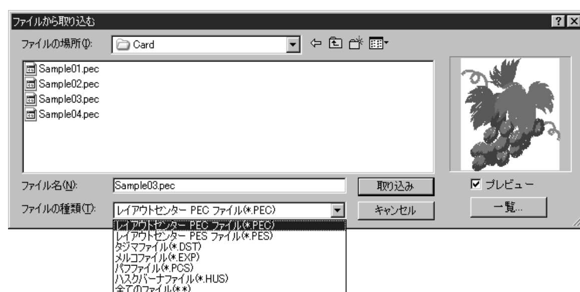
機　能　　　　：刺しゅうカードから読み込んだファイル（*.pec）、以前に保存したデザインページのファイル（*.pes）や、Tajima（*.dst）、Melco（*.exp）、Pfaff（*.pcs）、Husqvarna（*.hus）の各形式で作成されたファイルから刺しゅうデータを取り込み、それを作業中のデザインページに加えます。

ショートカットキー：F8

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→データ取り込み→ファイルから**をクリックします。
ファイルから取り込むダイアログが表示されます。



◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。
- 必ず**ファイルの種類**のリストボックスから目的のファイル拡張子を選択してください。
- **プレビュー**チェックボックスをクリックし、✔が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。

◆ ファイル名をクリックしてから**取り込み**をクリックするか、ファイル名をダブルクリックします。デザインページ上にファイルを取り込みます。

◆ **一覧**をクリックすると、選択されたフォルダ内の使用可能なファイルが表示されます。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

❷ **一覧**を選択すると、**一覧**ダイアログが表示されます。



- ◆ アイコンをクリックして、選択します。
- ◆ **取り込み**をクリックするか、アイコンをダブルクリックしてファイルを取り込みます。
- ◆ **データ確認**をクリックすると、詳細なイメージを見ることができます。
- ◆ **ファイルから取りこむ**ダイアログに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

❸ **データ確認**を選択すると、**プレビュー**ダイアログが表示されます。



- ◆ **取り込み**をクリックして、ファイルを取り込みます。
- ◆ **一覧**ダイアログに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

ファイルを取り込むと、その内容が作業中のデザインページに追加されます。この操作を繰り返していくと、作成した刺しゅうデータのライブラリからデザインページを組み立てることができます。

注意： 他社の市販データから刺しゅうデータを取り込むときは、サイズがデザインページに合っているかを確認してください。
本アプリケーションに変換すると、**.dst**（Tajima）、**.exp**（Melco）、**.pcs**（Pfaff）、**.hus**（Husqvarna）から取り込まれた刺しゅうデータの色がわずかに変化することもあります。そのときは、**縫い方**をクリックし、**刺しゅうデータの糸色変更**を選択して色を調整してください。

❹ 別売の刺しゅうカードから読み込んだ**pec**ファイルを取り込む場合、**取り込みサイズ**ダイアログが表示される場合があります。そのときは、ラジオボタンをクリックして取り込みサイズを選択し、**OK** をクリックします。



P.152 の「名前を付けて保存」、P.211 の「ステッチデータの糸色変更」

■ データ取り込み－デザインセンターから

機　能　　　：デザインセンターからステッチデータを取り込みます。

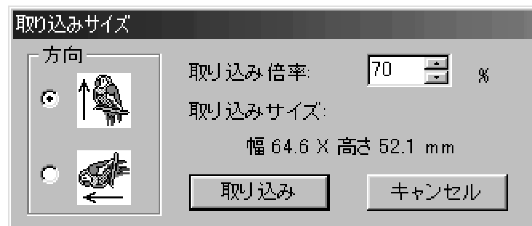
ショートカットキー：F7

ツールバー　　：

操　作

❶ デザインセンターを起動し、レイアウトセンターに取り込みたいファイルを開きます。

❷ メニューバーの**ファイル**→**データ取り込み**→**デザインセンターから**をクリックします。
取り込みサイズダイアログが表示されます。



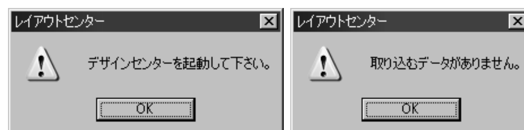
◆ **取り込み倍率**を選択します。直接数値を入力するか、矢印をクリックして取り込み倍率を選択します。
- デザインページのサイズより大きなサイズとなる倍率を指定することはできません。

◆ アイコンの横にある**方向**ラジオボタンをクリックして、方向を選択します。

◆ **取り込み**をクリックしてデータを取り込みます。

◆ この操作を中止したい場合は、**キャンセル**をクリックします。

❸ デザインセンターを起動していないときや、デザインセンターの画面がステージ4 ではないときは、次のいずれかのメッセージが表示されます。



◆ **OK**をクリックしてダイアログを閉じます。



P.61 の「デザインセンター」

■ データ取り込み－カードから

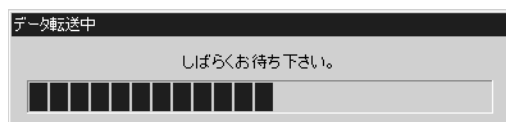
機　能　　　：刺しゅうカードからステッチデータを取り込みます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

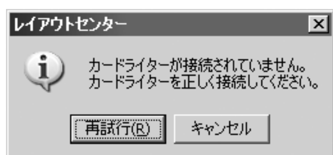
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

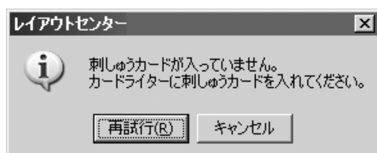
操　作

❶ メニューバーの**ファイル**→**データ取り込み**→**カードから**をクリックします。
カードライターを接続し、刺しゅうカードを挿入しているときは、次のようなメッセージが表示され、ステッチデータを刺しゅうカードから読み込みます。



カードライターを接続していないときや、刺しゅうカードを挿入していないときは、次のいずれかのメッセージが表示されます。





- ◆ 問題を確認し、**再試行**をクリックします。
- ◆ この操作を中止したい場合は、**キャンセル**をクリックします。

❷ データ読み込みが終了すると、次のような**データ取り込み**ダイアログが表示されます。



- ◆ アイコンをクリックまたは囲むようにドラッグして選択します。
- ◆ **取り込み**をクリックするか、アイコンをダブルクリックしてステッチデータを取り込みます。
- ◆ **データ確認**をクリックすると、詳細なイメージを見ることができます。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

❸ **データ確認**を選択すると、次のような**プレビュー**ダイアログが表示されます。



- ◆ **取り込み**をクリックしてステッチデータを取り込みます。
- ◆ **データ取り込み**ダイアログに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

❹ データを取り込んでいるとき、**取り込みサイズ**ダイアログが表示される場合があります。そのときは、ラジオボタンをクリックして取り込みサイズを選択し、OK をクリックします。

注意：著作権法上、この機能は使用できない刺しゅうカードがあります。

■ 上書き保存

機　能　　　　：作業中のデザインページを .pes ファイル（Ver. 5.0）として上書き保存します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ S

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→上書き保存**をクリックします。
ファイルが既にディスクにあれば（少なくとも一度は保存されていれば）、直ちに上書き保存されます。

❷ ファイル名が**無題**のときやファイルがディスク上に見つからないときは、自動的に**名前を付けて保存**ダイアログに切り替わります。



P.152 の「名前を付けて保存」、P.154 の「カード書き込みー複数 PES ファイル」

■ 名前を付けて保存

機　能　　　　：作業中のデザインページを新しい名前で保存します。

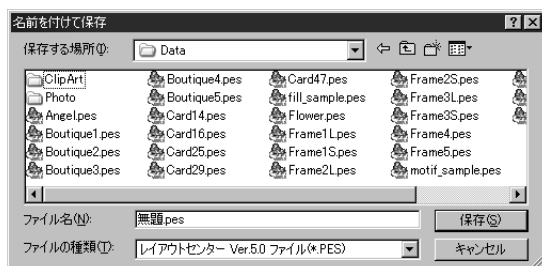
参考：ファイルの種類で旧バージョンを選択すると、保存された **.pes** ファイルを旧バージョンのソフトウェアで開くことができます。ただし、データの情報の一部が失われる場合がありますのでご注意ください。（Readme ファイルを参照してください。）

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→名前を付けて保存**をクリックします。
次のような**名前を付けて保存**ダイアログが表示されます。

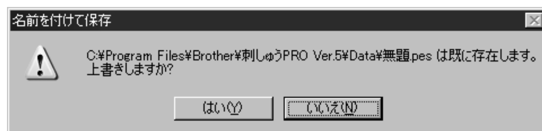


◆ ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。

◆ **保存**をクリックして保存します。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

❷ 同じ名前のファイルが既にある場合は、次のダイアログが表示されます。



◆ 上書きする場合は、**はい**をクリックします。

◆ 上書きしたくない場合は、**いいえ**をクリックします。

新しい名前がレイアウトセンター画面のタイトルバーに表示されます。

注意：データがデザインページをはみ出した状態、または、データの針数や色数がデザインページの制限を越えた状態で保存された pes ファイルは、オリジナルカードにデータを書き込むことはできません。また、フロッピーディスクでミシンに持っていっても一切表示されません。



P.152 の「上書き保存」、P.153 の「カード書き込みーデザインページのデータ」

■ データ書き出し

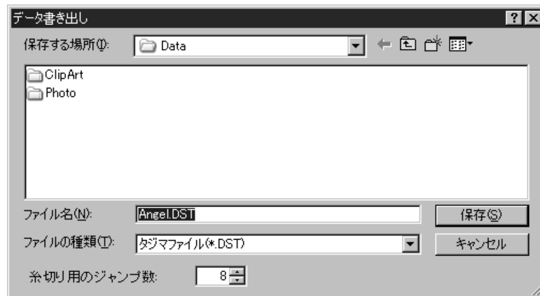
機　能　　　　：デザインページに表示されているデータを、異なるファイル形式（.dst、.hus、.exp、.pcs）に変換して出力します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→データ書き出し**をクリックします。
データ書き出しダイアログが表示されます。



◆ ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。

◆ 出力したいファイル形式（.dst、.hus、.exp、.pcs）を選択します。

◆ 糸切り用のジャンプ回数：
DST形式では、糸色の変更に必要な糸切り時期を指示するためにジャンプコードが使用されています。ジャンプ回数はご使用のミシンによって異なりますが、この設定で任意の値を選択できます。（この設定はDST形式が選ばれている場合のみ有効です。）

注意：別売の刺しゅうカードから読み込んだステッチデータには出力できないものもあります。

■ カード書き込み－デザインページのデータ

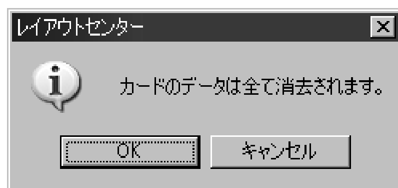
機　能　　　　：作業中のデザインページをオリジナルカードに書き込みます。

ショートカットキー：F4

ツールバー　　：

操　作

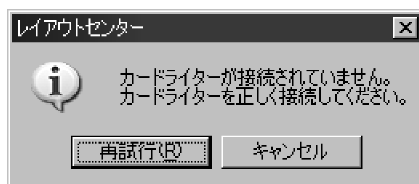
❶ メニューバーの**ファイル→カード書き込み→デザインページのデータ**をクリックします。
次のメッセージが表示されます。



◆ オリジナルカードに既に刺しゅうデータが保存してある場合、刺しゅうデータを消去するかどうか確認してきます。すべて消去してもよければ、**OK**をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

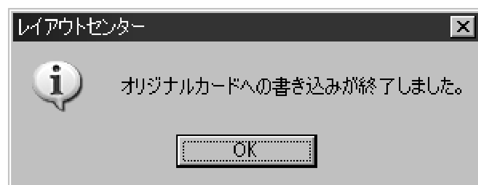
カードライターが正しく接続されていないと、次のダイアログが表示されます。



◆ 正しく接続しなおして、**再試行**をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

❷ **OK** をクリックすると、作業中の刺しゅうデータがオリジナルカードに書き込まれます。データがオリジナルカードに転送されている間、**書き込み中**メッセージが表示されます。しばらくすると、次のメッセージが表示されます。



◆ **OK** をクリックします。



P.152 の「上書き保存」、「名前を付けて保存」

■ カード書き込み－複数 PES ファイル

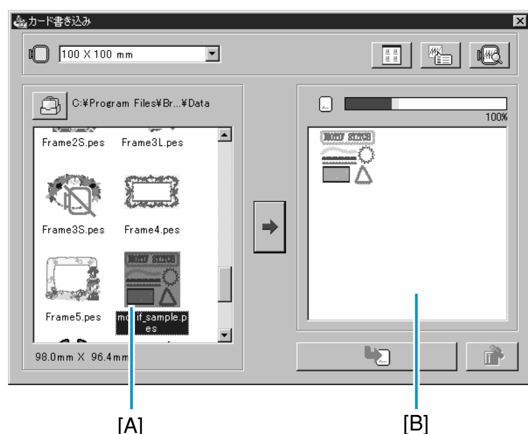
機　能　　　：複数の .pes ファイルを一度にオリジナルカードに書き込みます。

ショートカットキー：Shift ＋ F4

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル**→**カード書き込み**→ **複数 PES ファイル**をクリックします。次のような**カード書き込み**ダイアログが表示されます。



◆ 130 X 180 mm のリストボックスから、ご使用のミシンで使用可能な刺しゅう枠のサイズを選択します。
注意：
ご使用のミシンの刺しゅう枠より大きいサイズを選択しないでください。枠サイズより大きいサイズで作成したカードは、ミシンで正しく動作しません。

◆ をクリックして、刺しゅうデータ（.pes ファイル）が保存されているフォルダを選択します。

◆ をクリックすると、候補データリスト[A]または書き込みデータリスト[B]に表示する刺しゅうデータのアイコンサイズの大／小を切り替えることができます。

◆ をクリックすると、候補データリスト [A] または書き込みデータリスト [B] の中で選択されている刺しゅうデータの情報（サイズ、針数、色）を表示します。1 つの刺しゅうデータが選択されているときのみ有効です。

◆ をクリックすると、候補データリスト [A] または書き込みデータリスト [B] の中で選択されている刺しゅうデータをリアルプレビュー表示します。

◆ 100% は、書き込みデータリスト [B] に選択されている刺しゅうデータの容量を表示します。

◆ 候補データリスト [A] には、 をクリックして選択されたフォルダに保存されている刺しゅうデータ（.pes ファイル）が一覧で表示されます。ファイル名は刺しゅうデータのアイコンの下に表示されます。

- 刺しゅう枠セレクタで指定されている刺しゅう枠のサイズよりも、サイズや針数の大きい刺しゅうデータには、赤色の が付きます。
- 大型枠用の刺しゅうデータには、左上に マークが付きます。

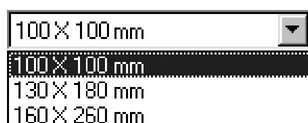
◆ 書き込みデータリスト [B] には、 をクリックして追加した刺しゅうデータが表示されます。表示されている順番で、データがカードに書き込まれます。

◆ をクリックして、候補データリスト [A] で選択されている刺しゅうデータを書き込みデータリスト [B] に追加します。

◆ をクリックして、書き込みデータリスト [B] に表示されている刺しゅうデータをカードに書き込みます。

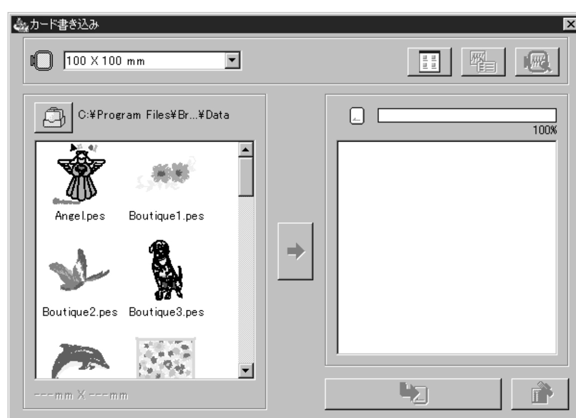
◆ をクリックすると、書き込みデータリスト [B] で選択されている刺しゅうデータを取り消します。

❷ 刺しゅうサイズセレクタで、ご使用のミシンの刺しゅう縫製サイズ（枠サイズ）を選択します。



注意： ご使用のミシンの刺しゅう枠より大きいサイズを選択しないでください。枠サイズより大きいサイズで作成したカードは、ミシンで正しく動作しません。

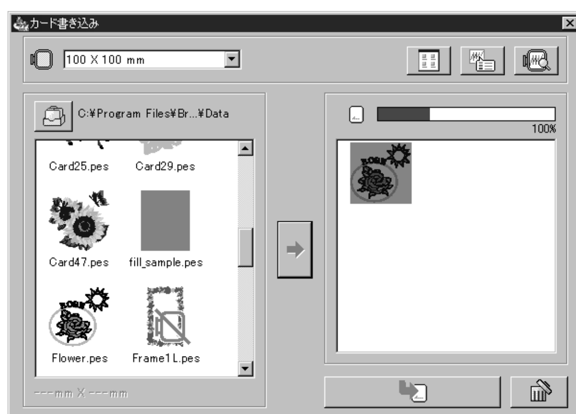
❸ をクリックします。**参照**ダイアログが表示されます。刺しゅうデータ（.pes ファイル）が保存されているフォルダを選択し、OK をクリックします。
選択したフォルダに保存されている刺しゅうデータのアイコンとファイル名が、候補データリスト [A] に表示されます。



- フォルダでカード を選択すると、カードライターに挿入されているオリジナルカードのデータを見ることができます。

❹ オリジナルカードに書き込みたい刺しゅうデータを、候補データリスト〔A〕から選択しクリックします。クリックした刺しゅうデータは反転表示になります。

をクリックして、選択した刺しゅうデータを書き込みデータリスト [B] に追加します。



❺ オリジナルカードに書き込みたい刺しゅうデータについて、❹ の操作を繰り返します。この操作をしながら、カード容量インジケータで刺しゅうデータの容量とオリジナルカードの空き容量を確認できます。

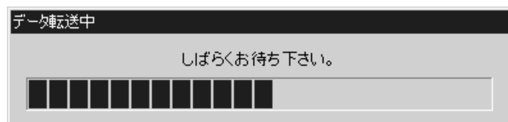
カード容量インジケータの見方 :

選択済みの刺しゅうデータの部分は青色で、選択中の刺しゅうデータの部分は水色で表示されます。

選択中の刺しゅうデータの部分が赤色で表示されている場合は、カードの容量を超えてしまうことを表しています。



❻ オリジナルカードに書き込む刺しゅうデータが選択できたら、 をクリックして、データの書き込みを始めます。データの書き込みは、オリジナルカードの中のデータをすべて消去してから行います。



しばらくすると、書き込みが終了します。書き込みし終わったオリジナルカードは、ミシンで扱うことができます。

- オリジナルカードの中に消去したくない刺しゅうデータがあるときは、フォルダ選択でカードを選択し、消去したくない刺しゅうデータを書き込みデータリスト [B] に追加しておいてください。
- オリジナルカードにデータを書き込んでいる最中（LED 表示が点滅中）は、オリジナルカードや USB コネクタを抜かないでください。

ファイルプロパティー

機　能　　　　：保存する .pes ファイルにコメントを入力します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→ファイルプロパティー**をクリックします。
ファイルプロパティーダイアログが表示されます。

ファイルプロパティー
ファイル名:　無題
ファイルバージョン:　5.0
幅:　98.10 mm
高さ:　77.90 mm
針数:　7177
色数:　4
最終更新日:
デザイン名:
分類:
作者:
キーワード:
コメント:
OK　キャンセル

◆ 必要な項目にテキストを入力、または修正してください。
◆ **OK**をクリックすると、入力データを確認し、終了します。
入力したデータは、次に保存するときのファイルに保存されます。
◆ **キャンセル**をクリックすると、すべての入力データを無効にして終了します。

■ 印刷の設定

機　能　　　：印刷設定を変更します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→印刷の設定**をクリックします。
印刷の設定ダイアログが表示されます。



- **プロパティー**をクリックするとプリンタのプロパティが表示され、プリンタの詳細な設定が行えます。
- **用紙**と**印刷の向き**を選択します。
- **印刷サイズ**と**印刷オプション**を選択します。
- **OK** をクリックして設定を確定します。
- この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

印刷サイズでは、1 つの刺しゅうデータまたは、1 つの部分刺しゅうデータの内容を 1 ページに印刷するか、あるいは 2 ページに印刷するかを選択できます。

原寸印刷では刺しゅうデータのイメージを1ページ目に実寸で印刷します。2ページ目には刺しゅう寸法、刺しゅう色順、針数が印刷されます。ファイル名は両方のページに印刷されます。
縮小印刷では、刺しゅうデータのイメージと上記項目が 1 ページに印刷されます。

参考： デザインページに大型刺しゅう枠（130 × 300 mm、300 × 130 mm、100 × 172 mm、または 172 × 100 mm）が選択されている場合、1 つの部分刺しゅうデータが 1 ページもしくは 2 ページに印刷するように変わります。
よって、この場合のページ数は刺しゅうデータの内容で決まります。

縫製範囲と中心線を印刷する

縫製範囲と中心線を印刷するを選択すると、刺しゅうデータの最大外形（P.212の「縫製範囲の設定」参照）とその中心軸を黒色で印刷します。この設定は、**原寸**印刷が選択されているときにのみ使用できます。

グリッドを印刷する

グリッドを印刷するを選択すると、刺しゅう枠に添付の刺しゅうシートに印刷されているグリッドと同様のグリッド線を緑色で印刷します。

注意： 一部のミシンの刺しゅうシートとはグリッドのサイズがわずかに異なる場合があります。

印刷イメージを**ノーマル**に設定すると、刺しゅうデータはプレビュー画面のイメージで印刷されます。
印刷イメージを**リアル**に設定すると、刺しゅうデータはリアルプレビュー画面のイメージで印刷されます。

注意： リアルの設定の詳細を変更するには、**設定**をクリックします。
詳しくは、「リアルプレビューの設定」を参照してください。
ここでの設定は、リアルプレビューの設定とは別々に保存されます。



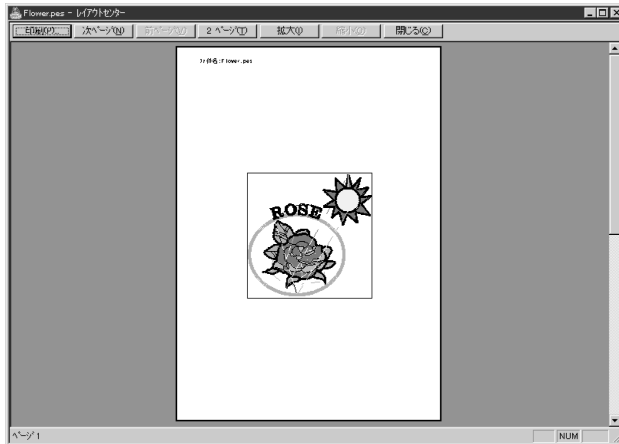
P.216 の「リアルプレビュー」

■ 印刷プレビュー

機　能　　　　：印刷前に、印刷のイメージが確認できます。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→印刷プレビュー**をクリックします。
印刷の設定ダイアログで**原寸**印刷が選択されていると、**レイアウトセンター**の画面は次のように表示されます。



選択可能なボタンは黒く、それ以外のボタンはグレーで表示されます。

- ◆ **印刷**をクリックすると、**印刷**ダイアログが開き、印刷できます。
- ◆ **次ページ**をクリックすると、次ページが表示されます。
- ◆ **前ページ**をクリックすると、前ページが表示されます。
- ◆ **2 ページ**をクリックすると、2つのページが同時に表示されます。
- ◆ **拡大**または**縮小**をクリックすると、イメージが拡大または縮小されます。
- ◆ **閉じる**をクリックすると、デザインページに戻ります。

❷ **拡大**をクリックするか、拡大したい部分をクリックすると、イメージが拡大されます。必要に応じて、ページをスクロールし、隠れた部分を確認します。
いっぱいまでズームインされると、**拡大**ボタンが無効になり、**縮小**ボタンが有効になります。**縮小**ボタンかイメージをクリックすると、イメージが縮小されます。

❸ **次ページ**をクリックすると、縫い方設定情報のある2ページ目が表示されます。（**印刷の設定**ダイアログで**縮小**印刷が選択されていると、この機能は使用できません。）
このボタンは無効になり、**前ページ**ボタンが有効になります。

❹ **前ページ**をクリックすると、デザインページ画面に戻ります。（**印刷の設定**ダイアログで**縮小**印刷が設定されていると、この機能は使用できません。）
このボタンが無効になり、**次ページ**ボタンが有効になります。

❺ **2 ページ**をクリックすると、2 ページが同時に表示されます。**2ページ**ボタンが**1ページ**ボタンに替わります。**次ページ**ボタンと**前ページ**ボタンは無効になります。
1 ページボタンをクリックすると 1 ページで表示されます。



P.158 の「印刷の設定」、P.160 の「印刷」、P.220 の「デザインのプロパティー」

印刷

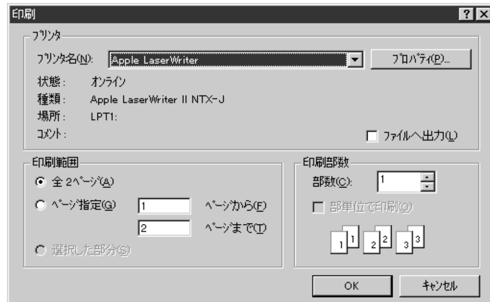
機　能　　　：作業中のデザインページと情報を印刷します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ P

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→印刷**をクリックします。
印刷ダイアログが表示されます。



◆ 必要な設定を行います。
◆ **OK** をクリックして、印刷します。
◆ 操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。
◆ プリンタの標準設定を変更する場合は、**プロパティ**をクリックします。

❷ 以降の操作については、ご使用の Windows マニュアルとプリンタマニュアルの指示に従ってください。

印刷の設定の中の**印刷サイズ**の設定によって、1 つの刺しゅうデータまたは、1 つの部分刺しゅうデータの内容が 1 ページまたは 2 ページに印刷されます。

デザインページに別売の大型枠（130 × 300 mm、300 × 130 mm、100 × 172 mm、172 × 100 mm）が選択されている場合の印刷

デザインページに大型枠が選択されている場合には、刺しゅうデータを複数の部分データに分けて印刷します。

- 130 × 300 mm または 300 × 130 mm のデザインページが選択されている場合、130 × 180 mm または 180 × 130 mm を 1 つの部分データとして複数枚に分けて印刷します。
- 100 × 172 mm または 172 × 100 mm のデザインページが選択されている場合、100 × 100 mm を 1 つの部分データとして複数枚に分けて印刷します。

大型枠デザインの印刷順序は次のようになります。

原寸印刷が選択されている場合

❶ デザインページ全体の原寸大で印刷します。
（ただし、130 × 300 mm または 300 × 130 mm が選択されている場合はデザインページの全体の縮小印刷となります。）

❷ 1 番目の部分データの縫製イメージを印刷します。

❸ 1 番目の部分データの色順リストを印刷します。

❹ 2 番目の部分データの縫製イメージを印刷します。

❺ 2 番目の部分データの色順リストを印刷します。

:

以降、すべての刺しゅうデータが印刷されるまで続きます。

縮小印刷が選択されている場合

❶ デザインページ全体の実寸大で印刷します。
（ただし、130 × 300 mm または 300 × 130 mm が選択されている場合はデザインページの全体の縮小印刷となります。

❷ 1 番目の部分データの縫製イメージと色順リストを印刷します。

❸ 2 番目の部分データの縫製イメージと色順リストを印刷します。

:

以降、すべての刺しゅうデータが印刷されるまで続きます。

参考： メニューバーの**ファイル→印刷プレビュー**のプレビュー表示も、上記のようになります。

■ 終了

機　能　　　：アプリケーションを終了します。

ショートカットキー：Alt ＋ F4

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→終了**をクリックします。
作業中のデザインページが編集されていない場合は、アプリケーションは直ちに終了します。

❷ 作業中のデザインページが編集されている場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。P.147 の「開く」を参照してください。



P.152 の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

編集メニュー

切り取りや貼り付けなど、選択された刺しゅうデータに編集操作を行います。

メニュー		機　能	参照ページ
元に戻す		直前の操作を元の状態に戻します。	P.162
やり直し		最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	P.162
グループ化		選択された複数の刺しゅうデータをグループ化して1つの刺しゅうデータにします。	P.163
グループ化解除		刺しゅうデータのグループ化を解除します。	P.163
切り取り		選択された刺しゅうデータを画面から削除し、クリップボードにコピーします。	P.164
コピー		選択された刺しゅうデータを画面から削除しないで、クリップボードにコピーします。	P.164
複製		選択された刺しゅうデータを複製します。	P.164
貼り付け		クリップボードの内容をデザインページに貼り付けます。	P.165
削除		選択された刺しゅうデータをデザインページから削除します。	P.165
反転	上下	選択された刺しゅうデータを上下に反転します。	P.165
	左右	選択された刺しゅうデータを左右に反転します。	P.166
回転		選択された刺しゅうデータを任意の角度で回転します。	P.166
数値設定	サイズ	選択された刺しゅうデータを任意のサイズにします。	P.167
	回転	選択された刺しゅうデータを任意の角度で回転させます。	P.168
中央へ移動		選択された刺しゅうデータをデザインページの中央へ移動します。	P.169
整列		選択された刺しゅうデータの上下左右方向の位置を揃えます。	P.169
すべて選択		すべての刺しゅうデータを選択します。	P.170

■ 元に戻す

機　能　　　　：直前の操作を元の状態に戻します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ Z

ツールバー　　　：

操　作

❶ メニューバーの**編集**→**元に戻す**をクリックします。
直前の操作を行う前の状態に戻します。例えば、刺しゅうデータを間違えて削除しても、この機能を使うと復元することができます。

参照 P.162 の「やり直し」

■ やり直し

機　能　　　　：最後に行った「**元に戻す**」の操作を解除します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ A

ツールバー　　　：

操　作

❶ メニューバーの**編集→やり直し**をクリックします。
最後に行った**元に戻す**の操作を解除します。例えば、円を描いた直後に**元に戻す**を使うと円が消去されますが、**やり直し**を使うと円が再び表示されます。


P.162 の「元に戻す」

■ グループ化

機　能　　　：選択された複数の刺しゅうデータをグループ化して 1 つの刺しゅうデータにします。

ショートカットキー：Ctrl ＋ G

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 複数の刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**編集→グループ化**をクリックします。
選択された複数の刺しゅうデータが 1 つの刺しゅうデータになります。
（グループ化された）刺しゅうデータは、他のすべての編集機能で 1 つの刺しゅうデータとして処理されます。

注意：パス上に配列された文字列の場合
パス（直線や曲線など）とそれに配列されているテキストのいずれかが選択されている場合、その両方がグループ化されます。

ドーナツ縫いが設定されている刺しゅうデータの場合
ドーナツ縫い設定されている刺しゅうデータの一部が選択されている場合、ドーナツ縫い設定がされているすべての刺しゅうデータがグループ化されます。


P.163 の「グループ化解除」

■ グループ化解除

機　能　　　：刺しゅうデータのグループ化を解除します。

ショートカットキー：Shift ＋ G

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ グループ化された刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**編集→グループ化解除**をクリックします。
選択された刺しゅうデータのグループ化が解除されます。
この操作の後は、各刺しゅうデータを個別に編集することができます。


P.163 の「グループ化」

切り取り

機　能　：選択された刺しゅうデータを画面から削除し、クリップボードにコピーします。

ショートカットキー：Ctrl ＋ X

ツールバー　：

操　作

❶ 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**編集→切り取り**をクリックします。
選択された刺しゅうデータが削除されます。データはクリップボードにコピーされるので、**編集→貼り付け**を使って、貼り付けることができます。



P.164 の「コピー」、P.165 の「貼り付け」と「削除」

コピー

機　能　：選択された刺しゅうデータを画面から削除しないで、クリップボードにコピーします。

ショートカットキー：Ctrl ＋ C

ツールバー　：

操　作

❶ 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**編集→コピー**をクリックします。
刺しゅうデータがクリップボードに保存され、**編集→貼り付け**を使って、貼り付けることができます。



P.164 の「切り取り」と「複製」、P.165 の「貼り付け」

複製

機　能　：選択された刺しゅうデータを複製します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ D

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**編集→複製**をクリックします。
選択された刺しゅうデータが複製され、デザインページに表示されます。



P.164 の「コピー」、P.165 の「貼り付け」

貼り付け

機　能　　　　：クリップボードの内容をデザインページに貼り付けます。

ショートカットキー：Ctrl ＋ V

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**編集→貼り付け**をクリックします。
切り取りや**コピー**でクリップボードに保存された刺しゅうデータが、デザインページに貼り付けられます。



P.164 の「切り取り」と「コピー」と「複製」

削除

機　能　　　　：選択された刺しゅうデータをデザインページから削除します。

ショートカットキー：Delete

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**編集→削除**をクリックします。
選択された刺しゅうデータがデザインページから削除されます。クリップボードに保存されないので、再び表示させたい場合は、次の操作をする前に**編集→元に戻す**を使ってください。



P.162 の「元に戻す」、P.164 の「切り取り」

反転ー上下

機　能　　　　：選択された刺しゅうデータを上下に反転します。

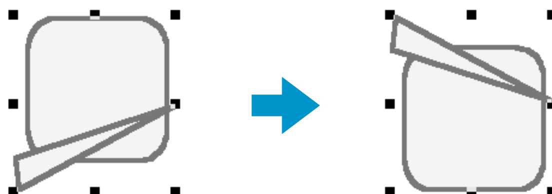
ショートカットキー：Ctrl ＋ H

ツールバー　　：

操　作

❶ 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**編集→反転→上下**をクリックします。
選択された刺しゅうデータが上下に反転します。 この操作を連続して 2 度行うと、元の刺しゅうデータに戻ります。



刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅうデータには、反転できないものがありますのでご注意ください。



P.166 の「反転ー左右」と「回転」

■ 反転ー左右

機　能　　　：選択された刺しゅうデータを左右に反転します。

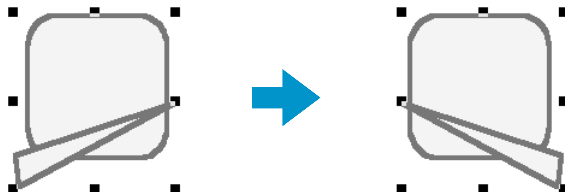
ショートカットキー：Ctrl ＋ J

ツールバー　：

操　作

❶ 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**編集**→**反転**→**左右**をクリックします。
選択された刺しゅうデータが左右に反転します。この操作を連続して 2 度行うと、元の刺しゅうデータに戻ります。



刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅうデータには、反転できないものもありますのでご注意ください。



P.165 の「反転ー上下」、P.166 の「回転」

■ 回転

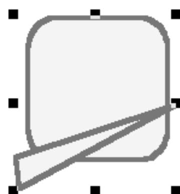
機　能　　　：選択された刺しゅうデータを任意の角度で回転します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ Y

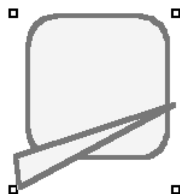
ツールバー　：

操　作

❶ 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。

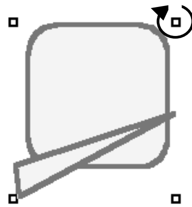


❷ メニューバーの**編集**→**回転**をクリックします。
ハンドルが白い四角に変わります。

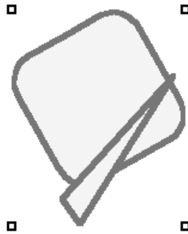


❸ カーソルをハンドルの 1 つに移動します。

カーソルが に変わります。



❹ ハンドルをドラッグし、希望する角度に回転させて、マウスボタンを離します。



ドラッグすると、右または左に 1 度単位で回転します。 Shift キーを押しながらドラッグすると 15 度単位で回転します。



P.165 の「反転ー上下」、P.166 の「反転ー左右」、P.168 の「数値設定ー回転」

■ 数値設定ーサイズ

機　能　　　　：選択された刺しゅうデータを任意のサイズにします。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**編集**→**数値設定**→**サイズ**をクリックします。
サイズダイアログが表示されます。



◆ 縦横比を固定して幅と高さを変更するときは、**縦横比を保持**をチェックします。

◆ **幅**と**高さ**の単位（%または、mm／インチ）を選択します。

◆ **幅**と**高さ**の数値を入力するか、矢印をクリックして選択します。
縦横比を保持をチェックすると、幅と高さの比が固定され、一方の数値を変更するともう一方も自動的に変更されます。
指定された大きさは、面に適用されます。刺しゅうデータに線がある場合は、ダイアログの下側の**面と線の大きさ**で全体の大きさを確認してください。

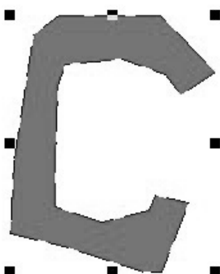
◆ **OK** をクリックして、設定を確定し終了します。

◆ **プレビュー**をクリックすると変更後の大きさをデザインページ上で確認できます。

◆ 変更しないで終了する場合は、**キャンセル**をクリックします。

面（線なし）





面＋線





注意： 入力可能な最大値は、刺しゅうデータがデザインページのサイズを超えない値となります。
入力可能な最小値は、1 mm（0.04 インチ）です。



P.226 の「単位の設定」

■ 数値設定ー回転

機　能　：選択された刺しゅうデータを任意の角度で回転させます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**編集**→**数値設定**→**回転**をクリックします。
回転ダイアログが表示されます。



◆ 回転角度の数値を入力するか、矢印をクリックして選択します。

◆ **OK** をクリックして設定を確定し、終了します。

◆ **プレビュー**をクリックすると、変更後の刺しゅうデータをデザインページ上で確認できます。

◆ 変更しないで終了する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意： 入力可能な数値の範囲は、0 から 359 度までで、1 度単位です。

■ 中央へ移動

機　能　　　：選択された刺しゅうデータをデザインページの中央へ移動します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ M

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**編集**→**中央へ移動**をクリックします。
選択された刺しゅうデータ全体がデザインページの中央に移動します。

注意：パス上に配列された文字列の場合
パス（直線や曲線など）とそれに配列されているテキストのいずれかが選択されている場合、選択されている刺しゅうデータがデザインページの中央に移動するように、その両方が移動します。

ドーナツ縫いが設定されている刺しゅうデータの場合
ドーナツ縫い設定されている刺しゅうデータの一部が選択されている場合、選択されている刺しゅうデータがデザインページの中央に移動するように、ドーナツ縫い設定されているすべての刺しゅうデータが移動します。

■ 整列

機　能　　　：選択された刺しゅうデータの上下左右方向の位置を揃えます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

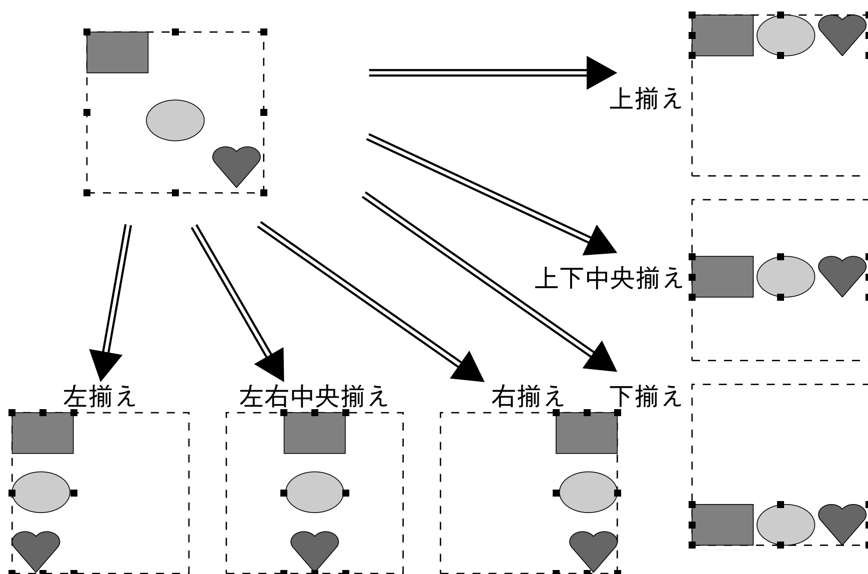
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 複数の刺しゅうデータを選択します。

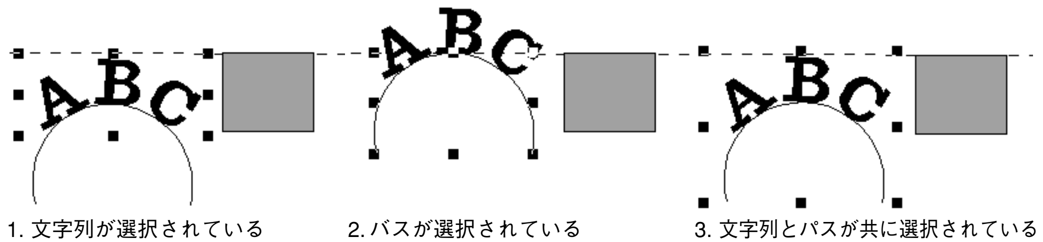
❷ メニューバーの**編集**→**整列**をクリックし、次に刺しゅうデータの整列方向、**左揃え**、**左右中央揃え**、**右揃え**、**上揃え**、**上下中央揃え**、**下揃え**のいずれかを選択します。
選択された刺しゅうデータは、次のように整列します。

❸ 別の整列方向を選択するには、**元に戻す**をクリックし、❷ の操作を繰り返します。



パス上の文字列：

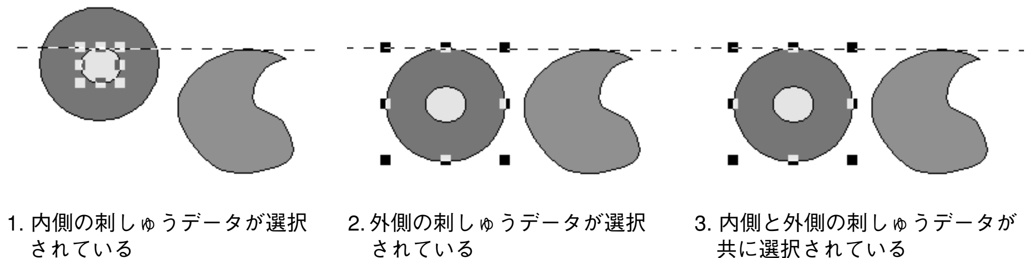
パス上に配列された文字列の選択の仕方は次の3通りがあります。それぞれ、選択されている刺しゅうデータの外形を基準にして、この操作を行います。



1. 文字列が選択されている　　2. バスが選択されている　　3. 文字列とパスが共に選択されている

ドーナツ縫いが設定されている刺しゅうデータ：

内側の刺しゅうデータのみを選択している場合は内側の刺しゅうデータの外形を基準にして、外側の刺しゅうデータのみ、または内側と外側の刺しゅうデータをともに選択している場合は外側の刺しゅうデータの外形を基準にして、この操作を行います。



1. 内側の刺しゅうデータが選択されている　　2. 外側の刺しゅうデータが選択されている　　3. 内側と外側の刺しゅうデータが共に選択されている

■ すべて選択

機　能　　：すべての刺しゅうデータを選択します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ E

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ カーソルが選択ツールになっているかを確認します。

❷ メニューバーの**編集**→**すべて選択**をクリックします。

画像メニュー

画像データの入出力や、画像データから刺しゅうデータの作成を行います。

メニュー		機　能	参照ページ
入力	ファイルから	画像ファイル〔Windows ビットマップ (*.bmp), Exif (*.tif, .jpg), ZsoftPCX (*.pcx), Windows メタファイル (*.wmf), Portable Network Graphics (*.png), Encapsulated PostScript (*.eps), Kodak PhotoCD (*.pcd), FlashPix (*.fpx), JPEG2000 (*.j2k)〕を取り込み、それを作業中のデザインページに加えます。	P.172
	TWAIN 機器から	TWAIN 規格対応のスキャナ等を操作し、画像を取り込みます。	P.172
	モンタージュから	髪型、目、鼻、口などのパーツを組み合わせて独自の似顔絵を作成し、その画像を取り込みます。	P.173
	クリップボードから	クリップボードにコピーされている画像データを取り込みます。	P.174
出力	ファイルへ	デザインページの画像データを、Windows ビットマップ (*.bmp) または JPEG (*.jpg) ファイルで保存します。	P.175
	クリップボードへ	デザインページの画像データを、クリップボードにコピーします。	P.175
TWAIN 機器の選択		コンピュータにインストールされている TWAIN 機器から使用するデバイスを選択します。	P.175
サイズと位置の変更		取り込んだ画像データのサイズや位置を調整します。	P.176
ステッチウィザードの起動		ステッチウィザードに沿って、原画（画像データ）から刺しゅうデータを作成します。	P.177
表示設定	表示／薄く表示／表示しない	下絵となる画像データの表示／薄く表示／表示しないを切り替えます。	P.192

■ 入力ーファイルから

機　能　　　：画像ファイル〔Windows ビットマップ (*.bmp), Exif (*.tif, .jpg), ZsoftPCX (*.pcx), Windows メタファイル (*.wmf), Portable Network Graphics (*.png), Encapsulated PostScript (*.eps), Kodak PhotoCD (*.pcd), FlashPix (*.fpx), JPEG2000 (*.j2k)〕を取り込み、それを作業中のデザインページに加えます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**画像→入力→ファイルから**をクリックします。
次のようなダイアログが表示されます。



◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。
- プレビューのチェックボックスをチェックすると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。

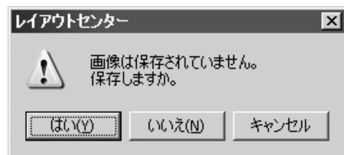
◆ ファイル名をクリックしてから**開く**をクリックするか、ファイル名をダブルクリックしてファイルを開きます。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：複数のページで保存した .pcd ファイルと .fpx ファイルについては、最初のページのみを開くことができます。LZW で圧縮された.tifファイルは開くことができません。

参考：以前編集した画像データを開く場合は、以前編集したサイズ、位置に画像データを修正して開くこともできます。

❷ デザインページに作業中の画像がない場合は、選択されたファイルが表示されます。
デザインページに作業中の画像がある場合は、その画像を保存するかどうかを尋ねてきます。



◆ 画像を保存する場合は、**はい**をクリックします。

◆ 画像を保存しないで新しい画像を取り込む場合は、**いいえ**をクリックします。

◆ 新しい画像の取り込みをやめる場合は、**キャンセル**をクリックします。

■ 入力ー TWAIN 機器から

機　能　　　：TWAIN 規格対応のスキャナ等を操作し、画像を取り込みます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

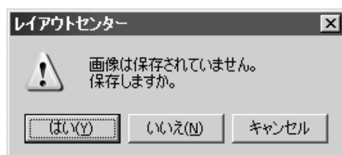
操　作

❶ スキャナ等の機器が、正しく接続されているかを確認します。

❷ メニューバーの**画像→入力→ TWAIN 機器**からをクリックします。
TWAIN 機器の選択ダイアログで設定したドライバのインターフェイスが表示されます。そのインターフェイスを操作し、画像の取り込み設定を行い、画像を取り込みます。

注意：インターフェイスの使い方については、インターフェイスのヘルプマニュアルをご覧になるか、インターフェイスのメーカーにお問い合わせください。

❸ スキャナやその他の機器とドライバとの間の画像転送が完了すると、デザインページに作業中の画像がない場合は、取り込んだ画像が表示されます。
デザインページに作業中の画像がある場合は、その画像を保存するかどうかを尋ねてきます。



- ◆ 画像を保存する場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ 画像を保存しないで新しい画像を取り込む場合は、**いいえ**をクリックします。
- ◆ 新しい画像の取り込みをやめる場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意： TWAINとは、スキャナ等を制御するソフトウェアのためのアプリケーションインターフェイス（API）の標準規格です。取り込みのソフトウェア自体もTWAINと呼ばれます。
本ソフトウェアではTWAIN規格準拠の機器をサポートしているので、スキャナ等の機器を直接制御し、イメージをそのまま取り込むことができます。
この機能を使用する前に、必ず、TWAIN機器を選択ダイアログを表示させてTWAIN機器を選択してください。

■ 入力ーモンタージュから

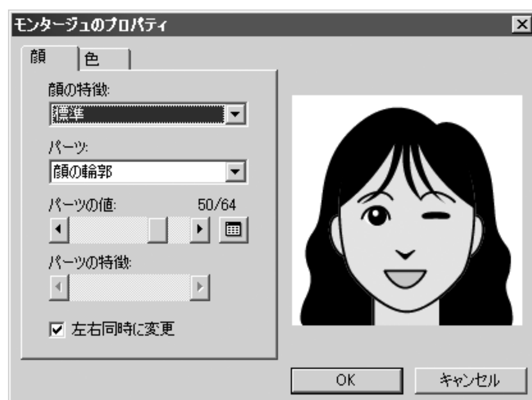
機　能　　　　　：髪型、目、鼻、口などのパーツを組み合わせて独自の似顔絵を作成し、その画像を取り込みます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

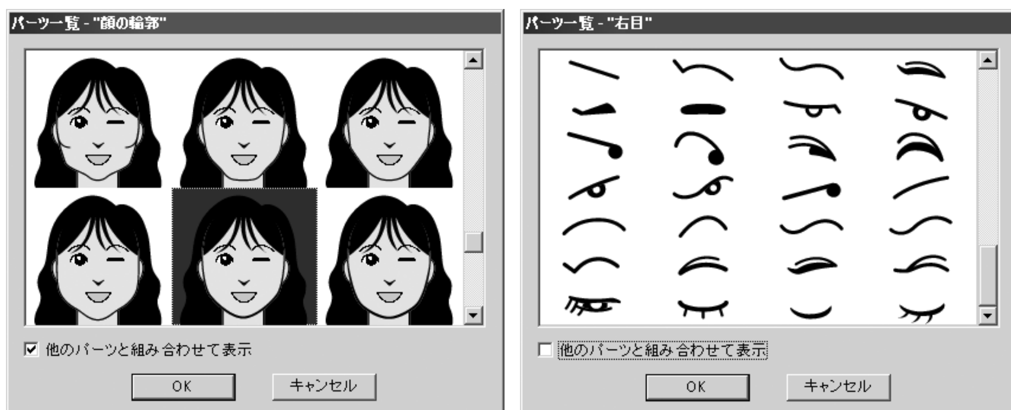
❶ メニューバーの**画像→入力→モンタージュから** をクリックします。
次のダイアログが表示されます。



❷ 右のサンプルイメージを見ながら各パーツを変更していきます。

- ◆ **顔の特徴**から、似顔絵の全体的なイメージ（雰囲気）を選択します。
細め、太め、子供などがあります。
- ◆ **パーツ**から、似顔絵を作成するためのパーツを選択します。
サンプルイメージの各パーツをクリックしても選択することができます。
- ◆ **パーツの値**スライダを動かして、パーツの形を選択します。サンプルイメージに変更の結果がすぐ反映されます。
左右同時に変更をチェックすると、目、耳は左右が同じパーツになります。

◆ をクリックすると、そのパーツの一覧が表示されます。

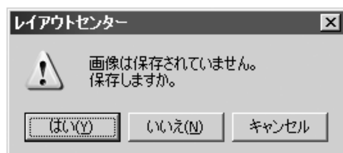


他のパーツと組み合わせて表示をチェックすると他のパーツと組み合わせた形で、チェックを外すとそのパーツが単独で、一覧表示されます。
目的のパーツをクリックして選択し、**OK** をクリックします。

◆ **パーツの特徴**スライダを動かすと、パーツの特徴を変更します。
左から順に、標準／やや大／やや小／横長／縦長、と特徴が変化します。

◆ **色**タブをクリックして、パーツの色を変更します。

❸ 似顔絵が作成できたら、**OK** をクリックします。
デザインページに作業中の画像がない場合は、似顔絵の画像が表示されます。
デザインページに作業中の画像がある場合は、その画像を保存するかどうかを尋ねてきます。



◆ 画像を保存する場合は、**はい**をクリックします。
◆ 画像を保存しないで新しい画像を取り込む場合は、**いいえ**をクリックします。
◆ 新しい画像の取り込みをやめる場合は、**キャンセル**をクリックします。

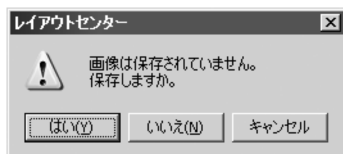
■ 入力−クリップボードから

機　能　　　　：クリップボードにコピーされている画像データを取り込みます。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**画像→入力→クリップボード**からをクリックします。（この操作は、クリップボード上に画像がコピーされているときにのみ可能です。）

❷ デザインページに作業中の画像がない場合は、クリップボードにコピーされている画像が表示されます。
デザインページに作業中の画像がある場合は、その画像を保存するかどうかを尋ねてきます。



◆ 画像を保存する場合は、**はい**をクリックします。
◆ 画像を保存しないで新しい画像を取り込む場合は、**いいえ**をクリックします。
◆ 新しい画像の取り込みをやめる場合は、**キャンセル**をクリックします。

出力ーファイルへ

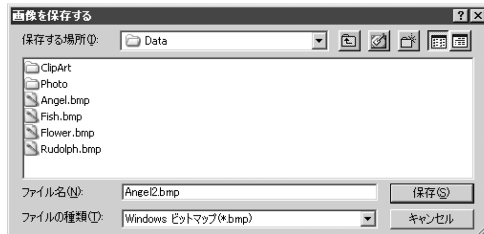
機　能　：デザインページの画像データを、Windows ビットマップ (*.bmp) または JPEG (*.jpg) ファイルで保存します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**画像**→**出力**→**ファイルへ**をクリックします。
次のようなダイアログが表示されます。



◆ ドライブ、フォルダ、保存したいファイルの種類を選択します。

◆ ファイル名を入力します。
- 拡張子は自動的に付きます。
- 画像データは、Windows ビットマップ (*.bmp) または JPEG (*.jpg) のどちらかで保存することができます。

◆ **保存**をクリックしてデータを保存します。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

出力ークリップボードへ

機　能　：デザインページの画像データを、クリップボードにコピーします。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**画像**→**出力**→**クリップボードへ**をクリックします。
デザインページの画像データがクリップボードにコピーされます。

TWAIN 機器の選択

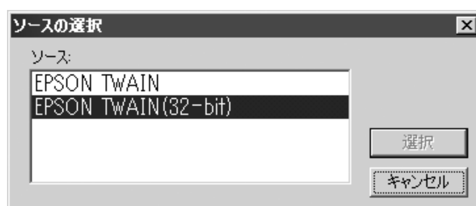
機　能　：コンピュータにインストールされている TWAIN 機器から使用するデバイスを選択します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**画像**→ **TWAIN 機器の選択**をクリックします。
次のダイアログが表示されます。



❷ ソースリストから使用するデバイスを選択します。

◆ デバイスをクリックし反転表示させ、**選択**をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

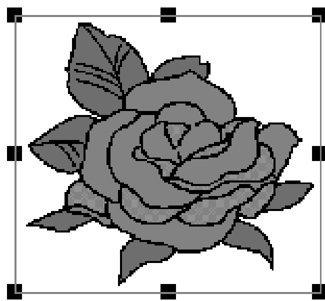
注意： TWAIN 機器が何もインストールされていないときは、ソースリストに何も表示されません。この機能は、使用したい TWAIN 機器のドライバをインストールした後に使用してください。

■ サイズと位置の変更

機　能　　　　：取り込んだ画像データのサイズや位置を調整します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**画像**→**サイズと位置の変更**をクリックします。
編集対象になっている画像データは、赤い線とハンドルで囲まれて表示されます。
また、ステータスバーにはサイズが表示されます。



画像データを移動する：

画像データの上にカーソルを移動します。カーソルが ✥ に変わります。
ドラッグすると移動します。

画像データを拡大・縮小する：

ハンドルの上にカーソルを移動します。ハンドルにより、カーソルが ↔ 、 ↕ 、 ⤡ または ⤢ に変わります。
ハンドルを矢印の方向にドラッグして拡大・縮小します。
↔ は幅を拡大・縮小します。
↕ は高さを拡大・縮小します。
⤡ と ⤢ は、幅と高さを同時に拡大・縮小します。（幅と高さの比は保たれます。）

画像データを削除する：

Delete キーを押します。画像データはデザインページから削除されます。

■ ステッチウィザードの起動

機　能　：ステッチウィザードに沿って、原画（画像データ）から刺しゅうデータを作成します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：

操　作

❶ メニューバーの**画像**→**入力**を使い、刺しゅうデータを作成する原画を用意します。

❷ メニューバーの**画像**→**サイズと位置の変更**を使い、原画を作成する刺しゅうデータの大きさ、位置に調整します。

❸ メニューバーの**画像**→**ステッチウィザードの起動**をクリックします。
次のダイアログが表示されます。（画像がデザインページに無い場合は、原画（画像データ）をファイルから取り込んだ後、表示されます。）



◆ **オートパンチ**
オートパンチ機能を使用し、自動的に画像の境界を抽出して、刺しゅうデータを作成します。

◆ **フォトステッチ 1**
写実風の写真刺しゅうを作成します。カラーとモノクロが選択できます。

◆ **フォトステッチ 2**
カラー（4 色）またはモノクロ（1 色）で表現する写真刺しゅうを作成します。

◆ **クロスステッチ**
クロスステッチを作成します。

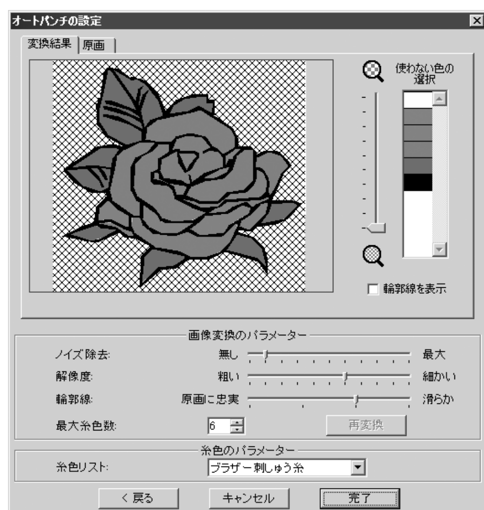
◆ **デザインセンター**
デザインページに画像が貼り付けられて、デザインセンターが起動します。

◆ どの刺しゅうを作成するかラジオボタンをクリックし、**次へ**をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

オートパンチを選択した場合

❶ 原画の特徴を解析し、しばらくすると次のようなダイアログが表示されます。



◆ **変換結果**タグをクリックすると、原画を画像解析した結果のイメージが表示されます。このイメージで刺しゅうデータが作成されます。

◆ **原画**タグをクリックすると、原画を表示します。

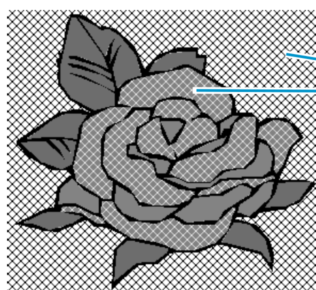
◆ ズームの のスライダを操作すると、イメージの表示倍率を調整できます。

◆ **輪郭線を表示**をチェックすると、原画を画像解析して抽出した輪郭線が表示されます。

◆ **画像変換のパラメーター**で、画像解析するための設定を行います。
ノイズ除去：原画に含まれるゴミを排除する程度を設定します。
解像度：画像解析する際の解像度を設定します。
輪郭線:抽出する輪郭線の滑らかさを設定します。
最大糸色数：使用する色数を設定します。
設定内容を変更したら、**再変換**をクリックし、解析をし直します。**再変換**をクリックしないと、設定内容は反映されません。

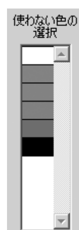
◆ **糸色リスト**で糸色を選択するための糸リストを選択します。選択した糸リストから最適な糸色が選択されます。ユーザー糸リストも選択できます。

❷ 縫う領域を決定します。
変換結果のイメージで、X マークで埋められた領域は、面縫いがオフ（縫われない）に設定されていることを示しています。



面縫いのオン／オフの設定は、その領域をクリックすると変更できます。

❸ また、ダイアログ右端の**使わない糸の選択**リストで、色単位での面縫いのオン／オフの設定ができます。



X マークが付いた色は、その色のすべての領域の面縫いがオフ（縫われない）に設定されていることを示しています。
色単位での面縫いのオン／オフの設定は、その色の部分をクリックして変更できます。

❹ 設定が終了したら、**完了**をクリックします。
画像から解析されたイメージに、最適な糸色、縫い方が設定された刺しゅうデータが作成され、デザインページに表示されます。

作成された刺しゅうデータは、他の刺しゅうデータと同様に、後から縫い方の設定を変更することができます。

フォトステッチ 1（カラー）を選択した場合

❶ 次のような**範囲の設定**ダイアログが表示されます。



◆ **原画の調整**をクリックすると、**原画の調整**ダイアログが表示され、画像調整ができます。（P.180を参照してください。）

◆ **次へ**をクリックすると、次のダイアログに進みます。

◆ **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログに戻ります。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

このダイアログで、フォトステッチ機能で刺しゅうデータにする範囲を指定し、原画の調整を行います。

◆ 必要に応じて、ズームスライダで原画をズームします。

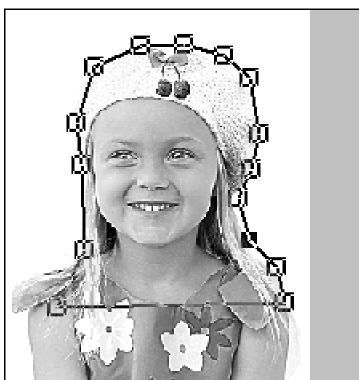
◆ ダイアログの下にあるマスクの種類で、トリミングしたい形状のマスクを選択し、希望のサイズにマスクを編集します。デフォルトでは、四角のマスクが選択されています。

マスクの外形にあるハンドルをドラッグすると、マスクの大きさを変更できます。

任意多角形のマスク を選択すると、デフォルトでは四隅に白い四角のハンドルがある四角形のマスクが表示されます。

この四角形を、ポイント編集ツール（P.118 参照）の要領で、点の移動、挿入、削除を行い、好みの形状にマスクを編集します。


（丸いマスクで編集した場合）


（任意多角形のマスクで編集した場合）

注意：マスクを指定できるサイズは、64 × 64 ドットから原画の大きさまでです。

[輪郭強調処理]

範囲の設定ダイアログで、**原画の調整**をクリックすると、次のような**原画の調整**ダイアログが表示されます。このダイアログで原画の明暗の境目を際立たせる処理（輪郭強調処理―アンシャープマスク処理）を行うことができます。



- ◆ ダイアログに処理結果イメージが表示されます。
- ◆ **原画**―**輪郭強調**で輪郭強調処理を調整します。スライダを**輪郭強調**に近づけるほど原画の明暗の境目が際立ちます。
- ◆ **暗い**―**明るい**で、原画の明るさを調整します。
- ◆ **コントラスト低**―**コントラスト高**で、原画のコントラストを調整します。
- ◆ **OK** をクリックすると、デザインページ上と範囲の設定ダイアログ上に処理した原画を反映させ、ダイアログが閉じます。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

❷ **範囲の設定**ダイアログで**次へ**をクリックすると、次のような**フォトステッチ 1 の設定**ダイアログが表示されます。

- ◆ 刺しゅうデータを作成するための設定を選択します。
- ◆ **次へ**をクリックすると、刺しゅうデータの各設定が確定され、次のダイアログが表示されます。
- ◆ **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログに戻ります。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

縫い方 :

糸密度	刺しゅうデータを作成する細かさを設定します。**細かい**に設定するほど、細かい表現が可能となりますが、ステッチ数は多くなります。
走りピッチ	縫いピッチを設定します。この設定値を最低の長さとしてデータを作成します。 範囲 : 2.0 ～ 10.0 mm（0.08 ～ 0.39 インチ） 標準 : 3.0 mm（0.12 インチ）

優先項目 :

縫い品質／渡り糸削減	刺しゅうデータに変換する際の優先項目を選択します。 **縫い品質 :** 縫い上がりの品質を優先してデータを作成します。ただし、渡り糸が多く発生します。 **渡り糸削減 :** 縫製時のわずらわしさを低減するため、渡り糸が少なくなるようにデータを作成します。ただし、縫い上がり時の品質が若干落ちます。

原画の種類 :

写真／イラスト	**写真**を選択すると、糸色を混ぜ合わせ、より自然なデータを作成します。 **イラスト**を選択すると、糸色を混ぜ合わせないで、データを作成します。 写真などの画像データは**写真**を、イラストなどの画像データには**イラスト**を選択します。

デザインページの色 :

ページの色も縫う	この項目にチェックを入れると、デザインページと同色の部分に縫い目データを作成します。布地の色をそのまま生かすときはチェックを外してください。標準設定ではチェック（オン）されています。

自動選択の設定 :

糸リスト	自動選択により糸色を選択する際の、糸リストを選択します。 選択された糸リストの中から最適な糸色を選択します。 糸リストには、独自に編集したユーザー糸リスト も選択できます。
最大糸色数	自動設定で選び出す色数の値を設定します。 範囲 : 1 ～ 50 色 標準 : 10 色

自動選択 :
このボタンを押すと、原画から写真刺しゅうのデータを作成するのに最適な糸色を、選択されている**糸リスト**の中から**最大糸色数**に設定した色数内で選択します。
選択された糸色は、下の使用色の一覧 に表示されます。
自動選択の設定の内容を変更すると、このボタンを押すことが可能になります。

使用色の一覧 :
選択された糸色の確認、編集を行います。

使用色の一覧	データ作成用に選択された糸色を、明度の高い順に並べています。この並び順が縫い順になります。この並び順は変更できません。最大色数は、50色です。
色の変更	このボタンをクリックすると、データ作成用に選択された糸色を手動で設定するための色の変更ダイアログが表示されます。（下記参照）

[手動色指定]

フォトステッチ1の設定ダイアログで、**色の変更**ボタンをクリックすると、次のダイアログが表示され、フォトステッチに使用する糸色を手動で設定できます。



◆ **追加**をクリックすると、**選択できる色**リストで選択されている糸色が**使用する色**リストに追加されます。糸色が選択されていない場合やすでに 50 色が選択されている場合は、このボタンは無効となります。

◆ **削除**をクリックすると、**使用する色**リストで選択されている糸色が削除されます。糸色が選択されていない場合は、このボタンは無効となります。

◆ **OK** をクリックすると、リストの変更内容を確定し、このダイアログを閉じます。変更内容は、**フォトステッチ 1 の設定**ダイアログに反映されます。**使用する色**リストが空のとき、このボタンはクリックできません。

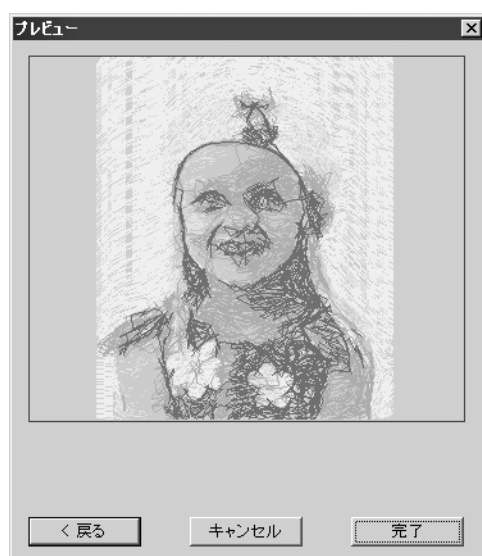
◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。リストの編集内容を無効にし、このダイアログを閉じます。

選択できる色リストには、選択されている糸リストの糸色が、明度の高い順に並んでいます。（ただし、使用する色リストに表示されている糸色は表示されません。）

使用する色リストには、フォトステッチデータ用に選択された糸色が、明度の高い順に並んでいます。この順番が縫い順となります。順番は変更できません。このリストに登録可能な最大色数は 50 色です。

これらのリストにある糸色はクリックで選択できます。また **Shift** キーまたは **Ctrl** キーを押しながらクリックすると、複数の糸色を選択することもできます。

❸ **フォトステッチ1の設定**ダイアログで**次へ**をクリックすると、次のような**プレビュー**ダイアログが表示されます。
作成される刺しゅうデータをこのダイアログで確認できます。
各設定値は、前のダイアログに戻って変更することができます。



◆ **完了**をクリックすると、作成された刺しゅうデータがデザインページ上に貼り付けられます。

◆ **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログに戻ります。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

フォトステッチ 1（モノクロ）を選択した場合

❶ 次のような**範囲の設定**ダイアログが表示されます。

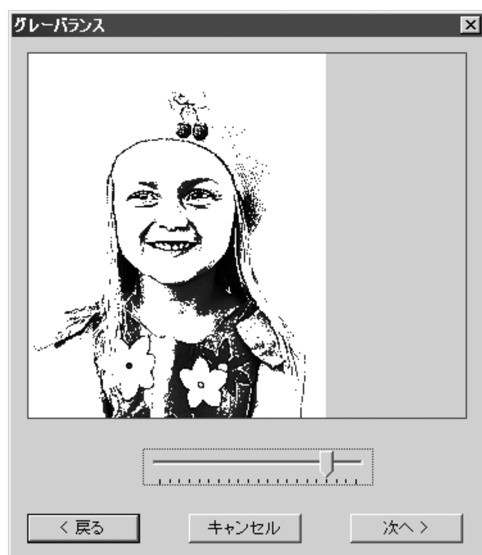


ここでの設定は、P.179 のフォトステッチ 1 (カラー) の ❶ を参照してください。
このダイアログで、フォトステッチ機能で刺しゅうデータにする範囲を指定し、画像イメージの調整を行います。

❷ **範囲の設定**ダイアログで**次へ**をクリックすると、次のような**グレーバランス**ダイアログが表示されます。



スライダを操作して、どの部分を縫う刺しゅうデータにするか設定します。
黒く残っているところに縫われる刺しゅうデータが作成されます。



- ◆ **次へ**をクリックすると、次のダイアログに進みます。
- ◆ **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアログに戻ります。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

❸ **グレーバランス**ダイアログで**次へ**をクリックすると、次のような**フォトステッチ1の設定**ダイアログが表示されます。

◆ 刺しゅうデータを作成するための設定を選択します。

◆ **次へ**をクリックすると、刺しゅうデータの各設定が確定され、次のダイアログが表示されます。

◆ **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログに戻ります。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

縫い方 :

糸密度	刺しゅうデータを作成する細かさを設定します。細かいに設定するほど、細かい表現が可能となりますが、ステッチ数は多くなります。
走りピッチ	縫いピッチを設定します。この設定値を最低の長さとしてデータを作成します。 範囲 : 2.0 ～ 10.0 mm（0.08 ～ 0.39 インチ） 標準 : 3.0 mm（0.12 インチ）

優先項目 :

縫い品質／渡り糸削減	刺しゅうデータに変換する際の優先項目を選択します。 **縫い品質 :** 縫い上がりの品質を優先してデータを作成します。ただし、渡り糸が多く発生します。 **渡り糸削減 :** 縫製時のわずらわしさを低減するため、渡り糸が少なくなるようにデータを作成します。ただし、縫い上がり時の品質が若干落ちます。

原画の種類 :

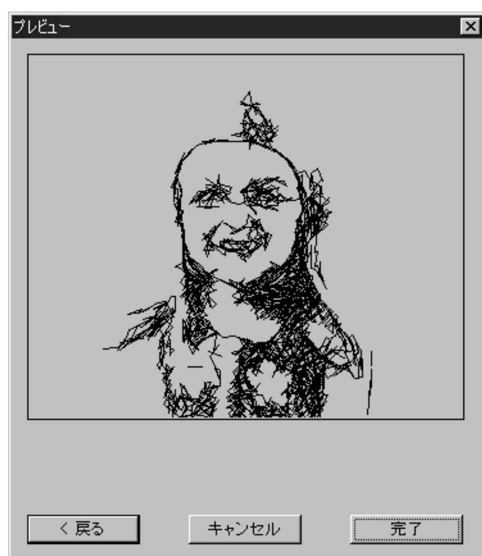
写真／イラスト	**写真**を選択すると、糸色を混ぜ合わせ、より自然なデータを作成します。 **イラスト**を選択すると、糸色を混ぜ合わせないで、データを作成します。 **写真**などの画像データは写真を、イラストなどの画像データには**イラスト**を選択します。

使用色 :

刺しゅうデータを作成する糸色を設定します。
デフォルトの設定では、現在の糸リストの中で一番暗い色が設定されています。

色の変更	このボタンを押すと、糸色ダイアログが表示され、刺しゅうデータにする糸色を変更することができます。

❹ **フォトステッチ1の設定**ダイアログで**次へ**をクリックすると、次のような**プレビュー**ダイアログが表示されます。
作成される刺しゅうデータをこのダイアログで確認できます。
各設定値は、前のダイアログに戻って変更することができます。



- ◆ **完了**をクリックすると、作成された刺しゅうデータがデザインページ上に貼り付けられます。
- ◆ **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログに戻ります。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

フォトステッチ 2（カラー）を選択した場合

❶ 次のような**範囲の設定**ダイアログが表示されます。



ここでの設定は、P.179 のフォトステッチ 1 (カラー) の ❶ を参照してください。
このダイアログで、フォトステッチ機能で刺しゅうデータにする範囲を指定し、原画の調整を行います。

❷ **範囲の設定**ダイアログで**次へ**をクリックすると、次のような**フォトステッチ2の設定**ダイアログが表示されます。

◆ 刺しゅうデータを作成するための設定を選択します。

◆ **次へ**をクリックすると、刺しゅうデータの各設定が確定され、次のダイアログが表示されます。

◆ **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログに戻ります。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

縫い方:

縫いの間隔	刺しゅうデータを作成する平行線の間隔を設定します。 範囲 : 1.2 ～ 5.0 mm (0.05 ～ 0.2 インチ) 標準 : 2.0 mm (0.08 インチ) 線の間隔
縫い密度	作成する刺しゅうデータのジグザグ部分の最大の糸密度を設定します。刺しゅうデータは、この設定値より小さい密度で作成されます。 範囲 : 2.5 ～ 5 本／ mm (64 ～ 127 本／インチ) 標準 : 3 本／ mm (76 本／インチ)

自動選択の設定:

糸リスト	自動選択により糸色を選択する際の、糸リストを選択します。 選択された糸リストの中から最適な糸色を選択します。 糸リストには、独自に編集したユーザー糸リスト も選択できます。
糸セット	刺しゅうデータ作成に用いる 4 色の組合せを選択します。 選択肢の色は、C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)、K(ブラック)、R(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー) です。原画に良く使われている色を次の組合せの中から選択します。 色の組合せ**：**CMYK, RGBK, CRYK, BMYK

自動選択:

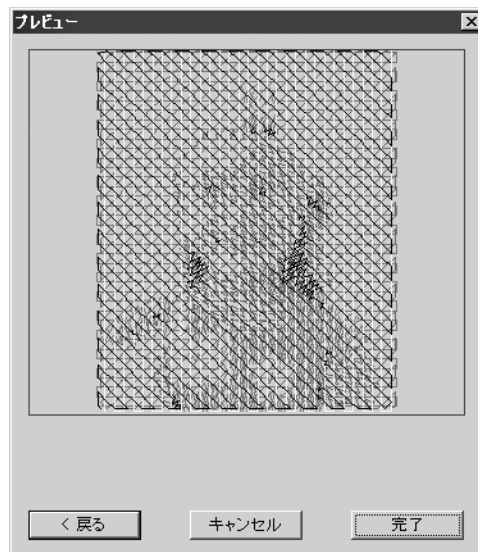
このボタンを押すと、選択されている**糸リスト**の中から、**糸セット**に選択されている 4 つの色に一番近い糸色を選択します。選択された糸色は、下の使用色の一覧に表示されます。**自動選択の設定**の内容を変更すると、このボタンを押すことが可能になります。

使用色の一覧:

選択された糸色の確認、編集を行います。

使用色の一覧	選択された 4 つの糸色を表示します。
色の変更	変更したい糸色をリストで選択し、このボタンを押すと、糸色ダイアログが表示され、刺しゅうデータにする糸色を変更することができます。

❸ **フォトステッチ 2 の設定**ダイアログで**次へ**をクリックすると、次のような**プレビュー**ダイアログが表示されます。
作成される刺しゅうデータをこのダイアログで確認できます。
各設定値は、前のダイアログに戻って変更することが可能です。



- ◆ **完了**をクリックすると、作成された刺しゅうデータがデザインページ上に貼り付けられます。
- ◆ **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアログに戻ります。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

フォトステッチ 2 (モノクロ) を選択した場合

❶ 次のような**範囲の設定**ダイアログが表示されます。

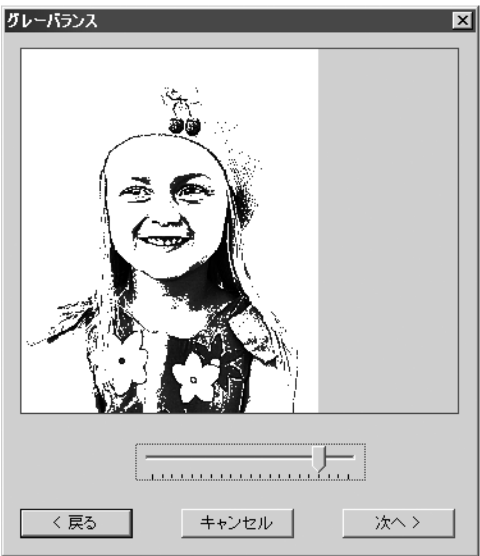


ここでの設定は、P.179 のフォトステッチ 1 (カラー) の ❶ を参照してください。
このダイアログで、フォトステッチ機能で刺しゅうデータにする範囲を指定し、原画の調整を行います。

❷ **範囲の設定**ダイアログで**次へ**をクリックすると、次のような**グレーバランス**ダイアログが表示されます。

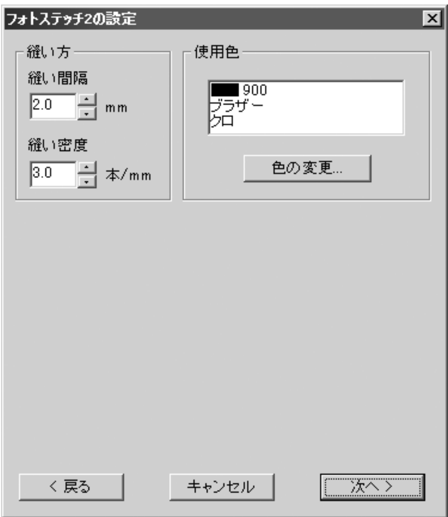


スライダを操作して、どの部分を縫う刺しゅうデータにするか設定します。
黒く残っているところが縫われる刺しゅうデータが作成されます。



- ◆ **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログに戻ります。
- ◆ **次へ**をクリックすると、次のダイアログに進みます。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

❸ **グレーバランス**ダイアログで**次へ**をクリックすると、次のような**フォトステッチ 2 の設定**ダイアログが表示されます。



- ◆ 刺しゅうデータを作成するための設定を選択します。
- ◆ **次へ**をクリックすると、刺しゅうデータの各設定が確定され、次のダイアログが表示されます。
- ◆ **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログに戻ります。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

縫い方 :

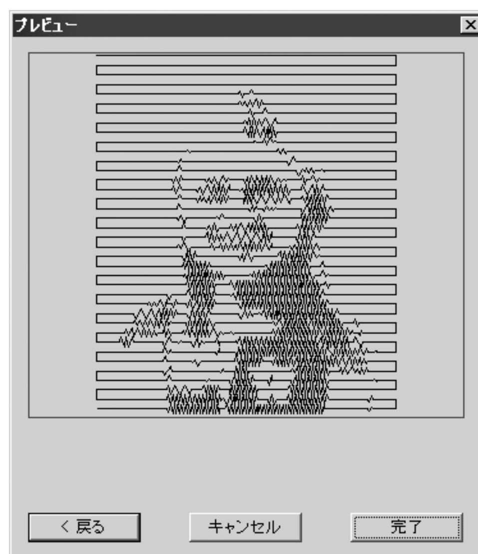
縫い間隔	刺しゅうデータを作成する平行線の間隔を設定します。 範囲 : 1.2 〜 5.0 mm (0.05 〜 0.2 インチ) 標準 : 2.0 mm (0.08 インチ) ↕ 線の間隔
縫い密度	作成する刺しゅうデータのジグザグ部分の最大の糸密度を設定します。 刺しゅうデータは、この設定値より小さい密度で作成されます。 範囲 : 2.5 〜 5 本／ mm (64 〜 127 本／インチ) 標準 : 3 本／ mm (76 本／インチ)

使用色：

刺しゅうデータを作成する糸色を設定します。
デフォルトの設定では、現在の 糸リストの中で一番暗い色が設定されています。

色の変更	このボタンを押すと、糸色ダイアログが表示され、刺しゅうデータにする糸色を変更することができます。

❹ **フォトステッチ2の設定**ダイアログで**次へ**をクリックすると、次のような**プレビュー**ダイアログが表示されます。
作成される刺しゅうデータをこのダイアログで確認できます。
各設定値は、前のダイアログに戻って変更することが可能です。



◆ **完了**をクリックすると、作成された刺しゅうデータがデザインページ上に貼り付けられます。

◆ **戻る**をクリックすると、1 つ前のダイアログに戻ります。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

クロスステッチを選択した場合

❶ 次の**クロスステッチの設定**ダイアログが表示されます。

クロスステッチの設定
クロスステッチのサイズ: 2.5 mm
クロスステッチの縫い方: 2重縫い
糸リスト: ブラザー刺しゅう糸
最大糸色数: 8
< 戻る　キャンセル　完了

◆ 刺しゅうデータを作成するための設定を選択します。
◆ **完了**をクリックすると、作成された刺しゅうデータがデザインページ上に貼り付けられます。
◆ **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログに戻ります。
◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

クロスステッチのサイズ	格子の縦横のサイズを設定します。 範囲 : 1.5 ～ 5 mm (0.04 ～ 0.39 インチ) 標準 : 2.5 mm (0.08 インチ)
クロスステッチの縫い方	縫い回数を設定します。 範囲 : 2 重縫い、4 重縫い、6 重縫い 標準 : 2 重縫い
糸リスト	糸色を選択する際の、糸リストを選択します。選択された糸リストの中から最適な糸色を選択します。 糸リストには、独自に編集したユーザー糸リストも選択できます。
最大糸色数	作成するデータに使用する色数を設定します。 設定された色数内で刺しゅうデータを作成します。 範囲 : 2 ～ 15 色 標準 : 8 色

■ 表示設定ー表示／薄く表示／表示しない

機　能　　　：下絵となる画像データの表示／薄く表示／表示しないを切り替えます。

ショートカットキー：F6

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**画像**→**表示設定**をクリックし、次に設定を選択します。

◆ **表示**をクリックして、オリジナルのイメージを表示させます。

◆ **薄く表示**をクリックして、画像データを薄く表示させます。

◆ **表示しない**をクリックして、画像データを隠します。
この機能は、画像データが開いていないと使用できません。

ショートカットキー（F6）を押すと、下絵の表示／薄く表示／表示しないが切り替わります。

文字メニュー

曲線に文字を配列するなど、文字データについての操作を行います。

メニュー	機　能	参照ページ
文字の編集	入力済みの文字データを編集します。	P.193
書式設定	文字の書式を設定します。	P.194
文字の配列	パス（曲線、直線データなど）に沿って文字データを配列します。	P.195
文字配列の解除	パスから文字データを切り離します。	P.197
文字の変形	文字データを変形します。	P.197
変形の解除	変形した文字を元の形に戻します。	P.198
True Type フォントの設定	刺しゅうデータに変換されるTrueType フォントの属性（スタイル等）を設定します。	P.198
図形データに変換	True Typeフォントから変換された文字データを図形データに変換します。	P.199

■ 文字の編集

機　能　　　　：入力済みの文字データを編集します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ L

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 編集したい文字データを選択します。一度に複数の文字データは編集できません。

❷ メニューバーの**文字**→**文字の編集**をクリックします。
文字の編集ダイアログが表示されます。



◆ 不要な文字を削除したり、新たな文字を入力したりして、文字列を編集します。

◆ **OK** をクリックして編集結果を確定します。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。
- 入力した文字が、選択されているフォントにない場合は、警告メッセージが表示されます。ダイアログの **OK** をクリックして、**文字の編集**ダイアログに戻り、入力し直してください。

注意：TrueType フォントから変換された文字が選択されている場合、表示される文字リストはカーソルの位置の文字に設定されている文字フォントになります。



P.125 の「文字を入力する」

書式設定

機　能　：文字の書式を設定します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ K

ツールバー　：

操　作

❶ 1 つまたは複数の文字データを選択します。または、ポイント編集ツールで、文字データ中の文字を選択します。

❷ メニューバーの**文字→書式設定**をクリックします。
書式設定ダイアログが表示されます。



◆ 各項目に、値を直接入力するか、矢印をクリックして選択します。

◆ 設定値を標準に戻すには、各項目の**標準**ボタンをクリックします。

◆ **設定**をクリックして、設定します。

◆ **閉じる**をクリックして、ダイアログを閉じます。

文字の設定	**文字間**	文字間隔を設定します。 1 文字単位で設定できます。 範囲：-100 ～ 100 mm（-3.94 ～3.94 インチ） 標準：0 mm	0.0 mm Abcdef	5.0 mm （A と b の間） A bcdef
	基準線からのオフセット	文字の基準線からの位置を設定します。 1 文字単位で設定できます。 範囲：-100 ～ 100 mm（-3.94 ～3.94 インチ） 標準：0 mm	0.0 mm Abcdef	2.0 mm Abcdef
	回転	文字を回転します。 1 文字単位で設定できます。 範囲：0 ～ 359 度 標準：0 度	0 度 Abcdef	20 度 Abcdef
文字列の設定	文字間	選択した文字列すべての文字間隔を設定します。 範囲：-100 ～ 100 mm（-3.94 ～3.94 インチ） 標準：0 mm	0.0 mm Abcdef	2.0 mm A b c d e f
	行間	選択した文字列すべての行間隔を文字の高さとの比率で設定します。 範囲：0 ～ 1000% 標準：0%	100% A b c d e f g h i j k l	150% A b c d e f g h i j k l

揃え方	文字列を左、中央、右に揃えます。	中央 Abcdef ghijkl	右 Abcdef ghijkl
縦書き／横書き	縦書き／横書きの設定をします。	横書き A B C	縦書き A B C

注意： 縦書きでは一部の文字で完全に縦書きに対応していない文字があります。

参考： **文字の設定**の文字間と**文字列の設定**の文字間は、ともに文字の間隔を設定します。この2つの違いは、**文字列の設定**の文字間は、常に文字データの全体に適用されるのに対し、**文字の設定**の文字間は、個々の文字に適用される点です。データ全体に**文字の設定**の文字間を適用すると、**文字列の設定**の文字間と全く同じように機能します。文字データの個別書体選択についての詳細は、P.121の「文字データで文字を選択する」を参照してください。



P.195 の「文字の配列」と P.197 の「文字の変形」

■ 文字の配列

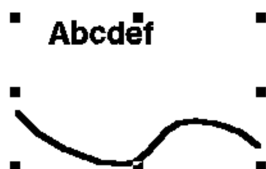
機　能　　　：パス（曲線、直線データなど）に沿って文字データを配列します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ T

ツールバー　：

操　作

❶ 文字データとパスを選択します。



❷ メニューバーの**文字**→**文字の配列**をクリックします。



- ◆ **横位置**、**縦位置**、**向き**セレクタをクリックして、どのように配置するか選択します。
- ◆ 文字を線の反対側に配置したい場合は、**反対側**をチェックします。
- ◆ **OK** をクリックして、設定を確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意： 文字の配列を行った場合、文字の変形は解除されます。１つのパスに対して配列できる文字データは１つだけです。

横位置	線に沿うときの文字の分布を設定します。	
縦位置	文字と線との間隔を設定します。	
向き	線に対する文字の傾きを設定します。	
反対側	文字を反対側に沿わせます。	



P.197の「文字配列の解除」

■ 文字配列の解除

機　能　　　：パスから文字データを切り離します。

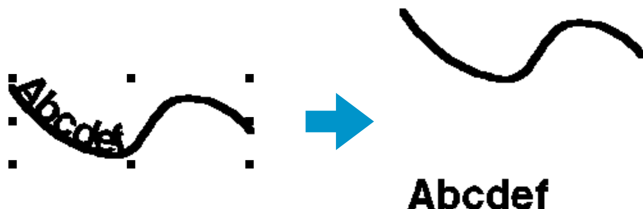
ショートカットキー：Ctrl ＋ Q

ツールバー　　：

操　作

❶ パスに配列されている文字データを選択します。

❷ メニューバーの**文字→文字配列の解除**をクリックします。





P.195 の「文字の配列」

■ 文字の変形

機　能　　　：文字データを変形します。

ショートカットキー：F2

ツールバー　　：

操　作

❶ 文字データを選択します。

❷ メニューバーの**文字→文字の変形**をクリックします。
文字の変形ダイアログが表示されます。



◆ 変形の種類を選んでそのボタンをクリックします。

◆ **OK** をクリックして、変形を適用します。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

参考：変形の度合いも設定できます。P.139 の「変形の度合い」を参照してください。

注意：TrueType フォントから変換した文字データには線縫いと面縫いの両方のデータが含まれていますので、この機能を使用すると、TrueType フォントの形状によって文字の線と面部にわずかな隙間が生じることがあります。

注意：文字の変形を行った後にその文字の配列を行うと文字の変形は解除されます。



P.198 の「変形の解除」

■ 変形の解除

機　能　　　　：変形した文字を元の形に戻します。

ショートカットキー：F3

ツールバー　　　：

操　作

❶ 変形した文字を選択します。

❷ メニューバーの**文字**→**変形の解除**をクリックします。

ABCDE → ABCDE



P.197 の「文字の変形」

■ True Type フォントの設定

機　能　　　　：刺しゅうデータに変換される TrueTypeフォントの属性（スタイル等）を設定します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットはありません。

ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**文字**→ **True Type フォントの設定**をクリックします。
True Type フォントの設定ダイアログが表示されます。



TrueType フォントから変換した文字が選択されていると、選択された文字の属性が表示されます。

◆ **フォント名**は選択されている書体名を示します。

◆ **サンプル**ボックスは、選択されているフォントのサンプルを示します。

◆ **スタイル**で、希望する字体を選択します。

◆ **書体の種類**で、希望する書体を選択します。

◆ **OK** をクリックすると、設定を確定し、ダイアログを閉じます。
これ以降入力した TrueType フォント文字は､設定された属性の内容で刺しゅうデータに変換されます。
TrueTypeフォントから変換された文字が選択されていた場合は新たな属性設定の内容で刺しゅうデータに変換されます。

◆ この操作を中止する場合は､**キャンセル**をクリックします。設定を無効にし、ダイアログを閉じます。

文字入力について、詳しくは P.125 の「文字入力ツール」を参照してください。

注意：スタイルと**書体の種類**の内容は、選択された TrueType フォントによって異なります。

注意：複数の TrueTypeフォントで作成されている文字列が選択されると、このダイアログは表示されません。更に、同じフォントでもスタイルか書体の種類が異なる文字列が選択されると、文字列の最初の文字の属性設定がダイアログに表示されます。
どちらの場合も、１文字のみを選択している場合は、ダイアログは、その文字に設定されている属性を表示します。



P.125 の「文字入力ツール」、P.137 の「文字属性を設定する」

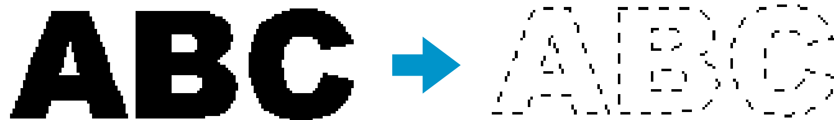
■ 図形データに変換

機　能　　　：True Type フォントから変換された文字データを図形データに変換します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットはありません。
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 1つまたは複数の True Type フォントから変換された文字データを選択します。

❷ メニューバーの**文字→図形データに変換**をクリックします。
選択されていた文字データが、図形データに変換されます。



変換された図形データは、縫い設定が一切されていませんので、破線で表示されます。
目的に応じて、縫い設定をしてください。

参考：グループ化やドーナツ縫いを設定すると、形状崩れを防ぐことができます。

縫い方メニュー

各刺しゅうデータの縫い方などを設定します。

メニュー	機　能	参照ページ
縫い方の設定	刺しゅうデータの線と面の縫い方を設定します。	P.200
縫い順	刺しゅうデータの縫い順の確認、変更ができます。	P.207
ドーナツ縫いの設定	1つの刺しゅうデータが他の刺しゅうデータを完全に包含しているとき、同じ場所を二重に縫わないように、一対の刺しゅうデータにドーナツ縫いの設定を行います。	P.208
ドーナツ縫いの解除	ドーナツ縫いの設定を解除します。	P.209
STB 機能（Stitch to Block 機能）	ステッチデータをブロック（マニュアルパンチングデータ）に変換して、縫い方の設定や、拡大・縮小したときの縫製品質の維持ができるようになります。	P.210
ステッチデータに変換	図形データ、文字データ、パンチングデータをステッチデータに変換します。	P.211
ステッチデータの糸色変更	ステッチデータの糸色を変更します。	P.211
縫製範囲の設定	縫製範囲を設定します。	P.212
枠の最適化	デザインページに大型枠（100×172 mm、172×100 mm、130×300 mm、または 300×130 mm）が選択されている場合、そのデータの縫い順を最適化するかどうか設定します。	P.213
縫い始終点の最適化	刺しゅうデータの縫い始終点の位置を最適化します。	P.214

■ 縫い方の設定

機　能　：刺しゅうデータの線と面の縫い方を設定します。

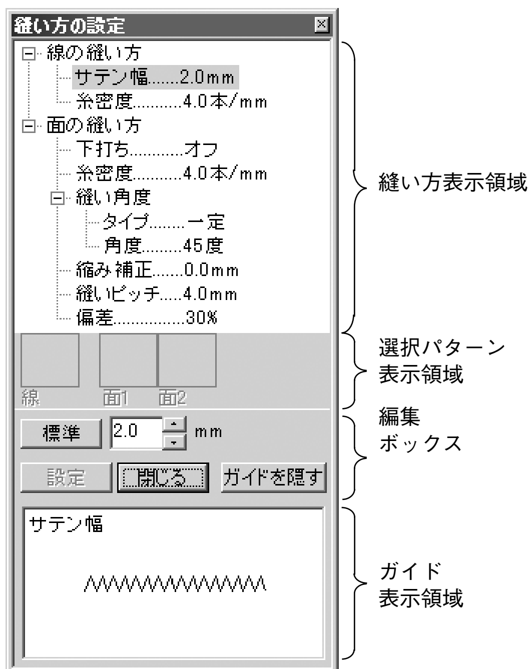
ショートカットキー：Ctrl ＋ W

ツールバー　：

操　作

❶ ツールボックスボタンでカーソルを描画ツールにするか、既存の刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**縫い方→縫い方の設定**をクリックします。
縫い方の設定ダイアログが表示されます。
このダイアログの大きさはダイアログの端をドラッグすることで自由に変更できます。



◆ 縫い方表示領域で、設定したい項目を選択し、編集ボックスで変更や設定を入力します。

◆ 入力の方法は、項目によって異なります。数値の場合は、直接数値を入力するか、矢印をクリックして値を選択します。
標準ボタンが編集ボックスに表示されている場合は、そのボタンをクリックすると、標準設定値が設定項目に入力されます。

◆ **設定**をクリックして、設定を確定します。

◆ 終了するには、**閉じる**をクリックします。

◆ **ガイドを隠す**を押すと、ガイドが非表示になります。**ガイドを表示**を押すと、ガイドが再度表示されます。

縫い方表示領域	：現在設定されている縫製属性が項目ごとに表示されます。
選択パターン表示領域	：プログラムタタミ縫いやモチーフ縫いが選択されているとき、そのパターンが表示されます。
編集ボックス	：縫い方表示領域で選択された項目を変更します。
ガイド表示領域	：ガイドを表示するように設定されているとき、編集ボックスで設定する内容のガイドが表示されます。

線の縫い方

選択された縫い方による設定項目

サテン縫い
線の縫い方
├ サテン幅
└ 糸密度

走り縫い
線の縫い方
├ 走りピッチ
└ 走り回数

マニュアルパンチング
線の縫い方
└ 走りピッチ

モチーフ縫い
線の縫い方
├ 走りピッチ
└ モチーフ
　├ パターン
　├ パターンのサイズ
　│├ 幅
　│└ 高さ
　├ アレンジ 1
　└ アレンジ 2

サテン幅	サテン幅を設定します。 範囲：1 ～ 10 mm（0.04 ～ 0.39 インチ） 標準：2 mm（0.08 インチ）
糸密度	1 mm（1 インチ）当たりの糸数を設定します。 範囲：1 ～ 7 本／mm（25 ～ 178 本／インチ） 標準：4 本／ mm（102 本／インチ）

走りピッチ	輪郭線縫いのピッチを設定します。 範囲：1 ～10 mm（0.04 ～ 0.39 インチ） 標準：2 mm（0.08 インチ）
走り回数	輪郭として縫われる回数を設定します。 範囲：1 ～5 回 標準：1 回

モチーフ縫いのみ：

パターン		モチーフ縫いのパターンを選択します。 **パターンの選択**をクリックすると、**一覧**ダイアログが表示されます。開きたい **pmf** ファイルのあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンでダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから **OK** をクリックしてパターンを選択します。
パターンのサイズ	**幅**	パターンの幅（線に沿った方向）を設定します。 範囲：2 ～ 10 mm（0.08 ～ 0.39 インチ） 標準：5 mm（0.20 インチ）
	高さ	パターンの高さ（線と垂直な方向）を設定します。 範囲：2 ～ 10 mm（0.08 ～ 0.39 インチ） 標準：5 mm（0.20 インチ）
アレンジ 1（横配列）		パターンの横配列を設定します。 ◇ のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。 標準 ◇◇◇◇◇◇ 反転 交互
アレンジ 2（縦配列）		パターンの縦配列を設定します。 ▷ のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。 標準 ▷▷▷▷▷▷ 反転 ◁◁◁◁◁◁ 交互 ▷◁▷◁▷

面の縫い方

選択された縫い方による設定項目

サテン縫い

面の縫い方
- 下打ち
- 糸密度
- 縫い角度
  - タイプ
  - 角度
- 縮み補正

クロスステッチ
- サイズ
- 縫い方

タタミ縫い

面の縫い方
- 下打ち
- 糸密度
- 縫い角度
  - タイプ
  - 角度
- 縮み補正
- 縫いピッチ
- 偏差

プログラムタタミ縫い

面の縫い方
- 下打ち
- 糸密度
- 縫い角度
  - タイプ
  - 角度
- 縮み補正
- プログラムタタミ
  - パターン
  - パターンのサイズ
    - 幅
    - 高さ
  - オフセット
    - オフセット方向
    - オフセット値
  - パターン角度

モチーフ縫い

面の縫い方
- モチーフ
  - 使うパターン
  - パターン 1
    - パターン
    - パターンのサイズ
      - 幅
      - 高さ
    - アレンジ 1
    - アレンジ 2
  - パターン 2
    - パターン
    - パターンのサイズ
      - 幅
      - 高さ
    - アレンジ 1
    - アレンジ 2
  - オフセット量
  - パターン角度
  - 走りピッチ

文字のサテン縫い
面の縫い方
- 糸密度
- 縮み補正

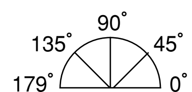
文字のタタミ縫い
面の縫い方
- 糸密度
- 縮み補正
- 縫いピッチ
- 偏差

文字のプログラムタタミ
面の縫い方
- 糸密度
- 縮み補正
- プログラムタタミ
  - パターン
  - パターンのサイズ
    - 幅
    - 高さ
  - オフセット
    - オフセット方向
    - オフセット値
  - パターン角度

マニュアルパンチングのサテン縫い
面の縫い方
- 糸密度
- 縮み補正
- ぼかし縫い
  - ぼかす側
  - 上側
    - パターン
    - 最大幅
  - 下側
    - パターン
    - 最大幅

マニュアルパンチングのタタミ縫い
面の縫い方
- 糸密度
- 縮み補正
- 縫いピッチ
- 偏差
- ぼかし縫い
  - ぼかす側
  - 上側
    - パターン
    - 最大幅
  - 下側
    - パターン
    - 最大幅

マニュアルパンチングのプログラムタタミ縫い
面の縫い方
- 糸密度
- 縮み補正
- プログラムタタミ
  - パターン
  - パターンのサイズ
    - 幅
    - 高さ
  - オフセット
    - オフセット方向
    - オフセット値
  - パターン角度
- ぼかし縫い
  - ぼかす側
  - 上側
    - パターン
    - 最大幅
  - 下側
    - パターン
    - 最大幅

下打ち		下打ちをする／しないを切り替えます。広い面積を縫う場合、縫い縮みを防ぐために下打ちをしてください。 面の形状により、この設定が使用できない場合もあります。 オン：下打ちを行う オフ：下打ちを行わない
糸密度		1 mm（1 インチ）当たりの糸数を設定します。 範囲：1 ～ 7 本／ mm（25 ～ 178 本／インチ） 標準：4 本／ mm（102 本／インチ）
縫い角度	タイプ	縫い方向の種類を設定します。 一定 : 一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 可変 : オブジェクトの形状に合わせて縫い方向を可変します。
	角度	縫い方向の角度を設定します。 （上記のタイプで可変を指定した場合は、この設定は表示されません。） 範囲 : 0 ～ 179 度 標準 : 45 度 
縮み補正		縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲：0 ～ 2 mm（0.00 ～0.08 インチ） 標準：0 mm（0.00 インチ）

タタミ縫いのみ：

縫いピッチ	縫いピッチを設定します。 範囲：1 ～ 10 mm（0.04 ～ 0.39 インチ） 標準：4 mm（0.16 インチ） 縫いピッチ
偏差	縫い目のずらし具合を設定します。 範囲：0 ～ 99％ 標準：30％ 0% 30%

プログラムタタミ縫いのみ：

パターン		プログラムタタミのパターンを選択します。 **パターンの選択**をクリックすると、一覧ダイアログが表示されます。開きたい pas ファイルのあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから OK をクリックしてパターンを選択します。
パターンのサイズ	幅	縫いパターン幅を設定します。 範囲：5 ～ 10 mm（0.20 ～ 0.39 インチ） 標準：7.5 mm（0.30 インチ）
	高さ	縫いパターン高さを設定します。 範囲：5 ～ 10 mm（0.20 ～ 0.39 インチ） 標準：7.5 mm（0.30 インチ）
オフセット	オフセット方向	パターン配列の横／縦のオフセット方向を設定します。
	オフセット値	パターン配列のオフセット（ずらし）量を設定します。 範囲：0 ～ 99％ 標準：0％
パターン角度		パターン配列の角度を変更します。 範囲：0 ～ 359 度 標準：0 度

モチーフ縫いのみ：

使うパターン		モチーフにパターン 1 とパターン 2 のいずれを使うのかを選択します。パターン 1 と 2 を選んだ場合は、各列で交互に縫製されるようにプログラムされます。 パターン 1 のみ：パターン 1 のみを使います。（標準） パターン 2 のみ：パターン 2 のみを使います。 パターン 1 と 2：パターン 1 と 2 の両方を使います。
パターン		モチーフ縫いのパターンを選択します。 **パターンの選択**をクリックすると、一覧ダイアログが表示されます。開きたい **pmf** ファイルのあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから **OK** をクリックしてパターンを選択します。
パターンのサイズ	幅	パターンの幅（線に沿った方向）を設定します。 範囲：2 ～ 10 mm（0.08 ～ 0.39 インチ） 標準：5 mm（0.20 インチ）
	高さ	パターンの高さ（線と垂直な方向）を設定します。 範囲：2 ～ 10 mm（0.08 ～ 0.39 インチ） 標準：5 mm（0.20 インチ）

アレンジ 1（横配列）	パターンの横配列を設定します。 ◇のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。 標準 / 反転 / 交互
アレンジ 2（縦配列）	パターンの縦配列を設定します。 ▷のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。 標準 / 反転 / 交互
オフセット量	パターン配列の各列のオフセット（ずらし）量を設定します。 範囲：0 ～ 10 mm（0.00 ～ 0.39 インチ） 標準：0 mm（0.00 インチ）
パターン角度	モチーフパターンの角度を設定します。 範囲：0 ～ 359 度 標準：0 度
走りピッチ	走りピッチを設定します。 範囲：1 ～ 10 mm（0.04 ～ 0.39 インチ） 標準：2 mm（0.08 インチ）

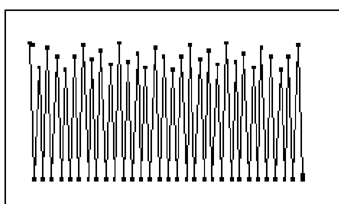
クロスステッチのみ :

サイズ	格子の縦横のサイズを設定します。 範囲 : 1.5 ～ 5.0 mm (0.06 ～ 0.20 インチ) 標準 : 2.5 mm (0.10 インチ)
縫い方	縫い回数を設定します。 範囲 : 2 重縫い、4 重縫い、6 重縫い 標準 : 2 重縫い

マニュアルパンチングのみ：

ぼかす側	ぼかし縫いを縫い方向に対してどちら側に適用するのかを設定します。 マニュアルパンチングツールでデータを作成すると、構成点 1-3 が上側、構成点 2-4 が下側になります。 上面：上側にぼかし縫いを行います。 下側：下側にぼかし縫いを行います。 1 3 2 4
パターン	ぼかし縫いに使用するパターンを選択します。 パターンの選択ボタンを押すと、一覧ダイアログが開きます。使用可能なぼかし縫いパターンの一覧から希望するパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから OK をクリックしてパターンを選択します。
最大幅	ぼかし縫いの幅を設定します。 範囲：0.2 ～ 100 mm（0.01 ～ 3.94 インチ） 標準：3 mm（0.12 インチ）

（ぼかし縫いパターンの例）

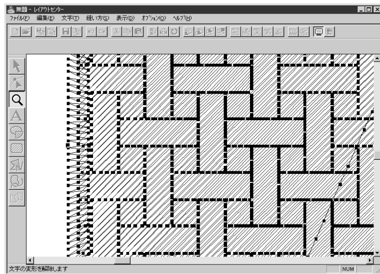


[プログラムタタミ縫いについて]

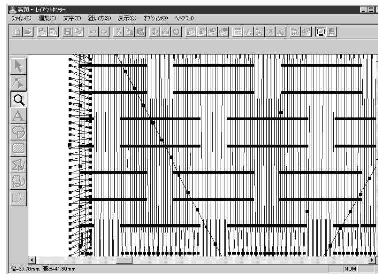
プログラムタタミ縫いの場合、縫い角度とパターン角度の設定によっては、パターンの効果が十分に現れない場合があります。これは、パターンのデータと縫い角度が交わる所に針落ちデータを作成するためです。（下図参照）

したがって、プログラムタタミ縫いを設定する場合は、必ずプレビュー機能を使って縫い角度、パターン角度が正しいか確認してください。

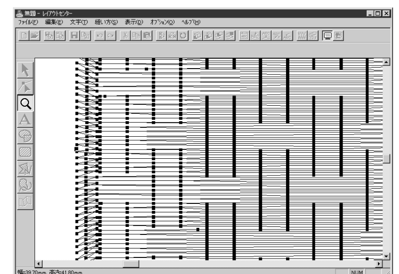
例１：
縫い角度：標準：45 度



例２：
縫い角度：90 度



例３：
縫い角度：0 度





P.216 の「プレビュー」、P.229 の「ステッチクリエイター」

■ 縫い順

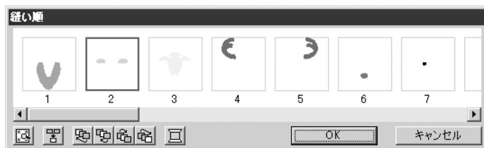
機　能　：刺しゅうデータの縫い順の確認、変更ができます。

ショートカットキー：F10

ツールバー　：

操　作

❶ メニューバーの**縫い方**→**縫い順**をクリックします。
次のようなダイアログが表示されます。このダイアログは横方向に大きくすることができます。



◆ ボタンを押すと、それぞれのデータがコマいっぱいに拡大表示されます。

◆ ボタンを押すと、連続する同色のデータが 1つのコマに表示されます。複数のデータをまとめて表示しているコマは、その番号の横に (+) マークがつきます。

◆ 操作の内容を確定し、このダイアログを閉じる場合は、**OK** をクリックします。

◆ 操作の内容を破棄し、このダイアログを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

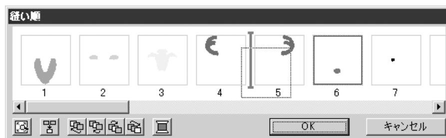
データの選択：

選択したいデータをクリックします。選択されたデータのコマが太線に変わり、デザインページ上の対応する部分が赤い破線で囲まれます。

複数のデータを選択するときは、 Shift キーまたは Ctrl キーを押しながらクリックします。コマを囲むようにドラッグしても選択できます。ドラッグして触れたデータがすべて選択されます。

縫い順の変更：

データを選択しドラッグすると、縫い順が変更できます。ドラッグしている間は、新しい縫い順の移動先が赤の太線で表示され、ドラッグを停止すると、その位置に選択されていたデータが移動します。
また、データを選択した後、次のボタンをクリックしても、縫い順を変更できます。



◆ をクリックすると、縫い順を先頭に移動します。

◆ をクリックすると、縫い順を 1 つ前に移動します。

◆ をクリックすると、縫い順を 1 つ後に移動します。

◆ をクリックすると、縫い順を最後に移動します。

色の変更：

データを選択し、■をクリックすると、糸色ダイアログが表示され、糸色を変更することができます。

注意：縫い設定がされてない刺しゅうデータのコマは、点線になります。また、枠の下の縫い順番号は表示されません。（他のデータとドーナツ縫い設定がされている場合は表示されません。）

■ ドーナツ縫いの設定

機　能　　　　：1 つの刺しゅうデータが他の刺しゅうデータを完全に包含しているとき、同じ場所を二重に縫わないように、一対の刺しゅうデータにドーナツ縫いの設定を行います。

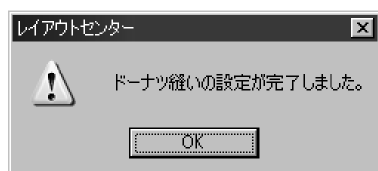
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

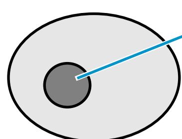
❶ 一対の刺しゅうデータを選択します。ここの例では、まず 1 つの円をクリックし、Ctrl キーを押しながらもう一方の円をクリックするか、2 つの円を囲むようにドラッグして選択します。

❷ メニューバーの**縫い方→ドーナツ縫いの設定**をクリックします。
メッセージが表示されます。

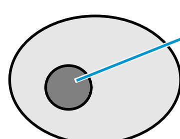


◆ **OK** をクリックしてダイアログを閉じます。

❸ 一対の刺しゅうデータにドーナツ縫い設定が行われると、グループ化されます。そのため、1 つの刺しゅうデータを動かそうとすると、2 つの刺しゅうデータが一緒に移動します。刺しゅうデータを別々に移動するには、ドーナツ縫いを解除してください。

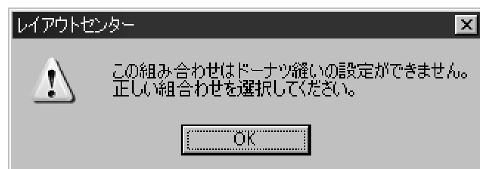

2 度縫製される

ドーナツ縫い設定がされていない場合


1 度縫製される

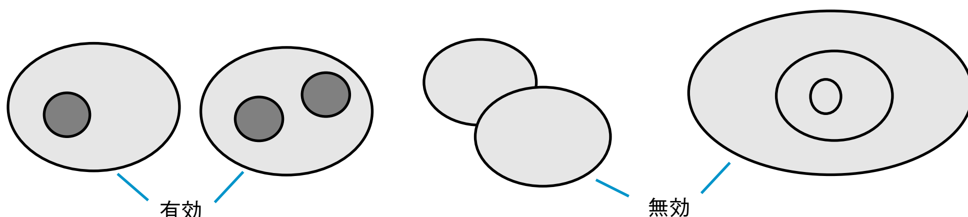
ドーナツ縫い設定がされている場合

設定された一対の刺しゅうデータにドーナツ縫いが設定できないときは、次のメッセージが表示されます。



◆ **OK** をクリックしてダイアログを閉じます。

ドーナツ縫いを設定するためには、1 つの刺しゅうデータの内側に、もう 1 つの刺しゅうデータが完全に包含されていなければなりません。また一度に三重にした刺しゅうデータに設定することはできません。



注意： ドーナツ縫いの設定の前後にプレビュー機能を使うと、ドーナツ縫いの効果を確認できます。（P.216 の「プレビュー」を参照）



P.209 の「ドーナツ縫いの解除」

■ ドーナツ縫いの解除

機　能 ：ドーナツ縫いの設定を解除します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー ：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ ドーナツ縫いが設定されている一対の刺しゅうデータを選択します。

❷ メニューバーの**縫い方**→**ドーナツ縫いの解除**をクリックします。
ドーナツ縫いの設定が解除されます。この操作の後は、2 つの刺しゅうデータが別々に移動することができます。



P.208 の「ドーナツ縫いの設定」

STB機能（Stitch to Block 機能）

機　能　　：ステッチデータをブロック（マニュアルパンチングデータ）に変換して、縫い方の設定や、拡大・縮小したときの縫製品質の維持ができるようになります。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ ステッチデータの中から、設定を行いたいものを選択します。

❷ メニューバーの**縫い方**→ **STB 機能**をクリックします。
次のダイアログが表示されます。



◆ スライダをドラッグして感度を調整します。
- 通常は**普通**に設定します。ステッチデータの複雑さにより、必要に応じて**粗い**または**細かい**を設定します。

◆ **OK** をクリックして、確定します。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：操作終了直後に、ブロックのデータはグループ化され、１個のステッチデータになります。個別に編集が必要な場合は、グループ化の解除を行ってください。

注意：この機能を設定すると、一部の刺しゅうデータ の形状に影響が出る場合があります。必要に応じて、**ポイント編集ツール**を利用して修正してください。

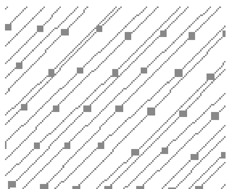
❸ この機能を設定した後に、縫い方バーが次のように表示されます。



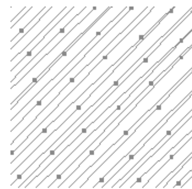
同一色のブロックを選択し、その設定を変更することができます。
変更したいブロックを選択します。その色のすべてのブロックが選択されると、そのブロックの色と縫い方が縫い方バーに表示されます。

注意：縫い方の設定変更は、同一色のすべてすべてのブロックに適用されます。

❹ 選択カーソルで変換された刺しゅうデータを拡大または縮小すると、サイズが変更された後のステッチデータの針数が変更されるので、元の縫製品質が維持できます。



STB 機能なし



STB 機能あり

参考：選択された各色のブロックは個別に移動または拡大・縮小することができます。変換された刺しゅうデータ全体を一度に移動したいときは、必ず、その全体を選択するかグループ化してください。

注意：刺しゅうカードから取り込んだステッチデータの中には STB 機能が使えないものがあります。



P.200の「縫い方の設定」、P.116の「刺しゅうデータを拡大・縮小する」、P.118の「ポイント編集ツール」

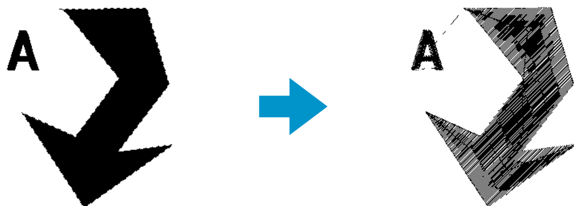
■ ステッチデータに変換

機　能　　　：図形データ、文字データ、パンチングデータをステッチデータに変換します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 1つもしくは複数の図形データ、文字データ、パンチングデータを選択します。

❷ メニューバーの**縫い方**→**ステッチデータ**に変換をクリックします。
選択されていたデータが、ステッチデータに変換されます。



オブジェクトを囲む破線の四角は、そのデータがステッチデータであることを示します。
変換されたデータは、ポイント編集ツールで針落ち点の編集ができます。

- 円・円弧描画、長方形描画、線描画、マニュアルパンチング、文字入力ツールで作成された刺しゅうデータのみ、ステッチデータに変換できます。
- パス上に配列された文字列やドーナツ縫いが設定されている刺しゅうデータは、刺しゅうデータのどこか一部が選択されると、組み合わされているすべての刺しゅうデータがステッチデータに変換されます。
- 縫い設定がオフの刺しゅうデータを変換すると、その刺しゅうデータは削除されます。

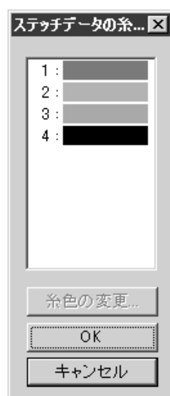
■ ステッチデータの糸色変更

機　能　　　：ステッチデータの糸色を変更します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ ステッチデータを選択します。

❷ メニューバーの**縫い方**→**ステッチデータの糸色変更**をクリックします。
ステッチデータの糸色変更ダイアログが表示され、選択されたステッチデータに使用されている糸色が、一覧表で表示されます。



- ◆ 変更したい色をクリックします。
- ◆ **糸色の変更**ボタンをクリックします。
- ◆ 表示されている**糸色**ダイアログから色を選択し、**OK** をクリックします。
  ステッチデータの糸色変更ダイアログに選択した色が表示され、その色でステッチデータが表示されます。
  この操作を、変更したい色ごとに繰り返します。
- ◆ **OK** をクリックして、確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。



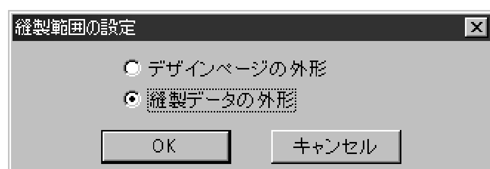
P.142 の「糸色」

■ 縫製範囲の設定

機　能　　　　：縫製範囲を設定します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

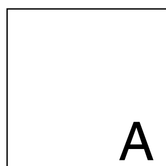
操　作

❶ メニューバーの**縫い方**→**縫製範囲の設定**をクリックします。
縫製範囲の設定ダイアログが表示されます。



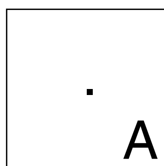
- ◆ **デザインページの外形**または**縫製データの外形**を選択します。
- ◆ **OK** をクリックして、確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

デザインページの外形では、縫製開始時に、針の位置が作業中のデザインページの中心になるように、刺しゅうデータが作成されます。
参考：デザインページの外形を選択すると、刺しゅうデータのサイズがデザインページの大きさになります。
縫製データの外形では、縫製開始時に、針の位置が刺しゅうデータの中心になるように、刺しゅうデータが作成されます。



デザインページ（作業中画面）





縫製範囲＝デザインページの外形



縫製範囲＝縫製データの外形



P.221 の「デザインページの設定」

■ 枠の最適化

機　能　　：デザインページに大型枠（100 × 172 mm、172 × 100 mm、130 × 300 mm、または 300 × 130 mm）が選択されている場合、そのデータの縫い順を最適化するかどうか設定します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**縫い方→枠の最適化**をクリックします。

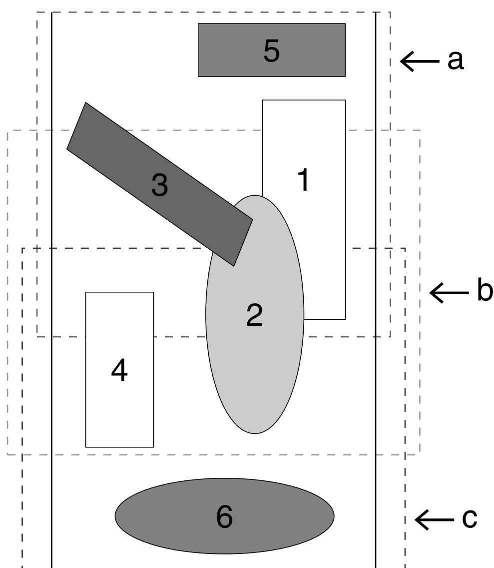
枠の最適化のオン／オフを切り替えることができます。枠の最適化をオンに設定すると、メニューにチェックマークが付きます。オフに設定するには、再度、メニューバーの**縫い方→枠の最適化**をクリックします。（オフに設定するとチェックマークが消えます）。

枠の最適化がオンの場合：

設定した縫い順を、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数が最も少なくなるように縫い順／枠の位置順を最適化したデータを作成します。

右の例では、縫い順は次のようになります。

a（刺しゅうデータ 1）→ b（刺しゅうデータ 2）→ a（刺しゅうデータ 3、刺しゅうデータ 5）→ c（刺しゅうデータ 4、刺しゅうデータ 6）



枠の最適化がオフの場合：

設定した縫い順通りに、各刺しゅうデータを縫います。

最適化されていませんので、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数は、刺しゅうデータによってはオンの場合より多くなる場合があります。

右の例では、縫い順は次のようになります。

a（刺しゅうデータ 1）→ b（刺しゅうデータ 2）→a（刺しゅうデータ3）→c（刺しゅうデータ 4）→a（刺しゅうデータ 5）→c（刺しゅうデータ 6）

参考：刺しゅうデータによっては、枠の最適化を行うと、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数を減らすことができます。その結果、頻繁な付け替えによる布の縫い弛みや刺しゅうデータの縫いズレ等を最小限に抑えることができます。

■ 縫い始終点の最適化

機　能　　　　：刺しゅうデータの縫い始終点の位置を最適化します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**縫い方→縫い始終点の最適化**を選択します。
縫い始終点の最適化のオン／オフを切り替えることができます。オンに設定すると、メニューにチェックマークが付きます。オフに設定すると、チェックマークが消えます。

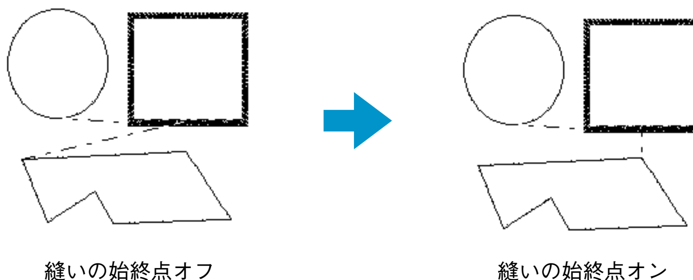
縫い始終点の最適化がオンのとき：

連続する同色のオブジェクトについて、縫いデータの始点、終点を最適化（最短距離を結ぶように）します。

- 円・円弧描画、長方形描画、線描画ツールで作成されたオブジェクトのみ縫い始終点の最適化を行うことができです。
- オンのときは、ポイント編集ツールで始点、終点の編集はできません。

縫い始終点の最適化がオフのとき：

最適化を行いません。オンからオフに変更した場合は、最後の始点、終点を保持します。ただし、ポイント編集ツールで始点、終点を手動で自由に編集することができます。



表示メニュー

画面の表示内容を変更します。

グリッド	グリッドの内容を設定し、グリッドの表示／非表示を切り替えます。	P.215
プレビュー	画面表示の通常表示／縫製イメージを切り替えます。	P.216
リアルプレビュー	刺しゅうデータの縫製後の仕上がりイメージをリアルに表示します。	P.216
リアルプレビューの設定	リアルプレビューの設定を行います。	P.216
画面の再描画	画面を更新します。	P.217
ステッチシミュレーター	ミシンでどのように縫われていくか、縫製の様子を画面上で確認できます。	P.217
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。	P.218
ステータスバー	ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。	P.218

■ グリッド

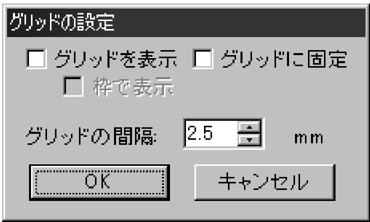
機　能　　　：グリッドの内容を設定し、グリッドの表示／非表示を切り替えます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示→グリッド**をクリックします。
グリッドの設定ダイアログが表示されます。



◆ 同じ大きさの刺しゅうデータを作成したり、等間隔に刺しゅうデータを並べたいときは、**グリッドに固定**をチェックします。
- 固定機能はグリッドの表示／非表示に関わらず有効です。

◆ 作業中のデザインページにグリッドを表示したいときは、**グリッドを表示**をチェックします。

◆ **グリッドの間隔**の数値を入力するか、矢印をクリックして選択します。
グリッド間隔の範囲：1 ～ 10 mm（0.04 ～ 0.39 インチ）

◆ **枠で表示**で、グリッドの縦線と横線の表示／非表示を切り替えます。
- チェックすると、線が表示されます。
- チェックを外すと、グリッドの交点のみが表示されます。

◆ **OK** をクリックして、確定します。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。



P.226 の「単位の設定」

■ プレビュー

機　能　：画面表示の通常表示／縫製イメージを切り替えます。

ショートカットキー：（F9）

ツールバー　：

操　作

❶ メニューバーの表示→プレビューをクリックします。
作成した刺しゅうデータの縫製イメージが表示されます。
プレビュー中でも、編集を行うことができます。

❷ 通常表示に戻るには、再度**表示→プレビュー**をクリックするか、（Esc）キーを押します。



P.207 の「縫い順」

■ リアルプレビュー

機　能　：刺しゅうデータの縫製後の仕上がりイメージをリアルに表示します。

ショートカットキー：（Shift）＋（F9）

ツールバー　：

操　作

❶ メニューバーの**表示→リアルプレビュー**をクリックします。
リアルプレビューの設定ダイアログの設定内容でデザインページの刺しゅうデータがリアルに表示されます。

❷ 通常の作業画面に戻るには、再度**表示→リアルプレビュー**をクリックするか、（Esc）キーを押します。

注意： モニタの設定が 256 色以下の場合、正確な色を表示できません。16 ビットハイカラー（65536 色）以上の設定で使用してください。



P.216 の「リアルプレビューの設定」

■ リアルプレビューの設定

機　能　：リアルプレビューの設定を行います。

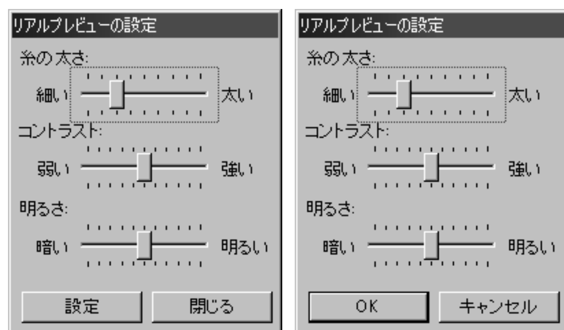
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示→リアルプレビューの設定**をクリックします。

次のダイアログが表示されます。



- ◆ **糸の太さ**で、糸の太さを設定します。
- ◆ **コントラスト**で、コントラストを設定します。
- ◆ **明るさ**で、明るさを設定します。
- ◆ リアルプレビューが表示されているときは、**設定**をクリックし、新たな設定でリアルプレビューを表示させます。リアルプレビューが表示されていないときは、**OK** をクリックして、次回以降の表示のためにその設定を保存します。
- ◆ **閉じる**または**キャンセル**をクリックして、ダイアログを閉じます。



P.216 の「リアルプレビュー」

■ 画面の再描画

機　能　　　：画面を更新します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ R

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示**→**画面の再描画**をクリックします。
画面が更新されていないと思われるとき、この機能を使用します。

■ ステッチシミュレーター

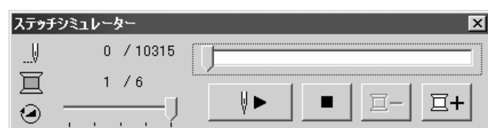
機　能　　　：ミシンでどのように縫われていくか、縫製の様子を画面上で確認できます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**表示**→ **ステッチシミュレーター**をクリックします。
次のダイアログが表示され、デザインページの刺しゅうデータの表示が消えます。



- ◆ をクリックして、シミュレーションを開始します。シミュレーション中は、一時停止ボタン（　）に切り替わります。
- ◆ をクリックすると、次の色の先頭まで早送りします。
- ◆ をクリックすると、前の色の先頭まで戻ります。
- ◆ をクリックすると、シミュレーションを停止し、開始前の状態に戻ります。

◆ スライダはシミュレーションの進行状況を示しています。また、スライダをドラッグすると、シミュレーションを進めたり、戻したりすることができます。



◆ のスライダをドラッグすると、シミュレーションのスピードを速くしたり、遅くしたり調整できます。

◆ の数字は、描画中のステッチ数／全体のステッチ数、の数字は、描画中の色数／全体の色数を表しています。

◆ ダイアログを閉じるときは、右上の をクリックします。

参考： 刺しゅうデータの一部を選択した後でこの機能を操作すると、選択した刺しゅうデータのみのシミュレーションが表示されます。

■ ツールバー

機　能　　　：ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示**→**ツールバー**をクリックします。
ツールバーの表示と非表示が交互に切り替わります。



P.218の「ステータスバー」

■ ステータスバー

機　能　　　：ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示**→**ステータスバー**をクリックします。
ステータスバーの表示と非表示が、交互に切り替わります。



P.218の「ツールバー」

オプションメニュー

他アプリケーションを起動したり、デザインページのサイズや単位等の設定ができます。

メニュー	機　能	参照ページ
デザインセンターの起動	デザインセンターを起動し、前面に表示します。	P.219
ステッチクリエイターの起動	ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。	P.219
デザインのプロパティー	作成している刺しゅうデータの情報を表示します。	P.220
デザインページの設定	デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。	P.221
ユーザー糸リストの編集	ユーザー糸リストの作成、編集を行います。	P.222
単位の設定	長さの単位（mm またはインチ）を選択します。	P.226

■ デザインセンターの起動

機　能　　　　：デザインセンターを起動し、前面に表示します。

ショートカットキー：F5

ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**オプション→デザインセンターの起動**をクリックします。
デザインセンターを起動し、前面に表示します。
デザインセンターで刺しゅうデータを作成した後、刺しゅうデータをレイアウトセンターのデザインページに取り込むことができます。



P.150 の「データ取り込みーデザインセンターから」

■ ステッチクリエイターの起動

機　能　　　　：ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**オプション→ステッチクリエイターの起動**をクリックします。
ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。

■ デザインのプロパティー

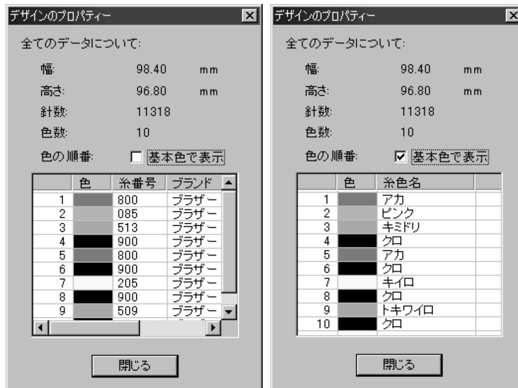
機　能　　　　：作成している刺しゅうデータの情報を表示します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**オプション→デザインのプロパティー**をクリックします。
デザインのプロパティーダイアログが表示されます。



◆ **基本色で表示**チェックボックスをチェックすると、ミシンで表示される糸色名に切り替わります。

◆ **閉じる**をクリックして、画面を閉じます。

このダイアログでは、選択されている刺しゅうデータの幅、高さ、針数、色数、色の順番が確認できます。

刺しゅうデータを構成する個々の刺しゅうデータを選択しデザインのプロパティーダイアログを表示すると、選択した刺しゅうデータのプロパティーを確認できます。
刺しゅうデータが選択されていない場合は、デザインページ全体の情報が確認できます。

デザインページに大型枠（130 × 300 mm、300 × 130 mm、100 × 172 mm、または 172 × 100 mm）が選択されている場合：
刺しゅうデータが何も選択されていないと、次のようなダイアログが表示されます。



◆ ダイアログの最上行は、現在表示されているデザイン（部分デザインシート）の枠の位置番号と、部分デザインシートの総取付け位置数を表示しています。
  • このとき、デザインページの表示では、ダイアログに表示されている枠の位置番号に対応するデザインのみが表示され、また、対応する刺しゅう枠の取り付け位置の外形は赤線で囲まれて表示されます。

◆ **前**ボタンと**次**ボタンをクリックして、表示内容を現在表示されている取り付け位置から対応するデザインに切り替えます。

このダイアログが表示されると同時に、デザインページは自動的にページ全体表示に切り替わります。

注意：最初の枠の位置番号に対応する部分デザインシート、または、最後の枠の位置番号に対応する部分デザインシートが表示されているときは、**前**ボタンまたは**次**ボタンはいずれも、クリックできません。

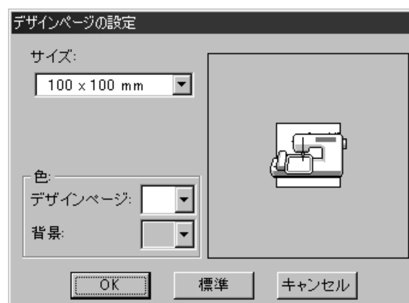
注意： どの部分デザインシートにも入らないデータがあるとき（部分デザインシートのサイズより大きい場合、デザインがどの部分デザインシートにも内包されていない位置にある場合）には、このダイアログの代わりに、「データのサイズか位置を変更してください」というエラーメッセージが表示されます。
そのエラーの表示後、エラーに該当する刺しゅうデータが選択状態になりますので、刺しゅうデータのサイズまたはその位置を調整してください（エラーに該当する刺しゅうデータが複数ある場合は、縫い順が一番早い刺しゅうデータが選択状態になります）。

■ デザインページの設定

機　能　　　　：デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**オプション→デザインページの設定**をクリックします。
デザインページの設定ダイアログが表示されます。



◆ サイズセレクタをクリックして、サイズを選択します。デザインページセレクタや背景セレクタをクリックして、デザインページの色と背景色を選択します。
- プレビュー領域で設定内容が確認できます。ミシンの絵が、ミシン上のデザインページ（枠）の方向を示します。

◆ **OK** をクリックして、確定します。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意： 大型刺しゅう枠サイズ（130 × 300 mm、300 × 130 mm、100 × 172 mm、172 × 100 mm）は、数字の前に * の表示が付いています。3ヶ所でミシンに取り付ける特殊な刺しゅう枠を使用しますので、ご使用のミシン、刺しゅう枠を確認してから選択してください。

注意： ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲を越えるサイズを選択しないでください。



P.226 の「単位の設定」

■ ユーザー糸リストの編集

機　能　　　　：ユーザー糸リストの作成、編集を行います。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**オプション→ユーザー糸リストの編集**をクリックします。
次のようなダイアログが表示されます。

ユーザー糸リストの編集

ユーザー糸リスト:　マイリスト

	色	糸番号	ブランド	糸色名
*1		001		クロ
*2		002		シロ

リスト作成...　リスト削除　上へ　下へ　糸色作成...　糸色削除　糸色編集...

糸色追加

システム糸リスト:　ブラザー刺しゅう糸

	色	糸番号	ブランド	糸色名
1		900	ブラザー	クロ
2		001	ブラザー	シロ
3		800	ブラザー	アカ
4		085	ブラザー	ピンク
5		086	ブラザー	コイピンク
6		124	ブラザー	モモイロ
7		107	ブラザー	[illegible]

OK　キャンセル

ユーザー糸リストとは、よく使う糸やお手持ちの糸を登録するなど独自に作成、編集することができるリストです。システム糸リストからの糸データを組み合わせたり、新規の糸データを作成することもできます。

[新しい糸リストの作成]

リスト作成をクリックすると、次のようなダイアログが表示されます。
リスト名を入力し **OK** をクリックすると、その名前のリストが登録されます。

リスト作成

リスト名:

OK　キャンセル

登録されたリストは、**ユーザー糸リスト**のリストボックスから選択し、内容を編集することができます。

[糸リストの削除]

ユーザー糸リストのリストボックスから削除したいリストを選択し、クリックします。

ユーザー糸リスト:　マイリスト

リスト削除 をクリックすると、そのリストが削除されます。

[糸リストの編集]

ユーザー糸リストのリストボックスから編集したいリストを選択し、クリックします。
ユーザー糸リストが何も選択されていない状態では編集作業は行えません。

[システム糸リストから糸色を追加する]

システム糸リストのリストボックスから追加したい糸のブランドを選択し、クリックします。
下の糸色一覧の追加したい糸色をクリックします。（Shift キーまたは Ctrl キーを押しながらクリックすると、複数の糸を選択できます。）
糸色追加をクリックすると、選択した糸色が**ユーザー糸リスト**の糸色一覧に追加されます。

[新しい糸色を追加する]

糸色作成をクリックすると、次のようなダイアログが表示されます。

色を登録します。**色の作成**をクリックすると、次のような**色の設定**ダイアログが表示されます。設定したい色を選択し、**OK** をクリックします。**糸色の編集**ダイアログの**色**にその色が表示されます。

必要に応じて、**糸番号**、**ブランド**、**糸色名**のボックスに、数字や文字を入力します。
糸番号は、数字のみ入力できます。
OK をクリックすると、新しい糸色が**ユーザー糸リスト**に追加されます。

新しく追加された糸色は、行の左端に（＊）マークが付きます。

[糸色を削除する]

ユーザー糸リストに登録されている糸色を削除する場合は、**ユーザー糸リスト**の糸色一覧の削除したい糸色をクリックし、**糸色削除**をクリックします。

[糸色を編集する]

ユーザー糸リストに登録されている糸色は、色や糸番号等を変更することができます。**ユーザー糸リスト**の糸色一覧の編集したい糸色をクリックし、**糸色編集**をクリックします。次のようなダイアログが表示されます。新しい糸色の追加と同様に、糸色の情報を編集します。



編集された糸色は、新しく追加された糸色と同様に、行の左端に（＊）マークが付きます。

[糸色の順序を変更する]

ユーザー糸リストに登録されている糸色の順序を変更する場合は、**ユーザー糸リスト**の糸色一覧の変更したい糸色をクリックし、**上へ**または**下へ**をクリックします。

注意： 本プログラムで作成した刺しゅうデータをミシン上で扱う場合、ミシン上での糸色に関する表示は、ミシンにより異なります。

1. <u>糸色の情報を表示する機能がないミシン</u>
   設定された糸色の情報は、一切ミシンには表示されません。
2. <u>糸色を表示する機能があるミシン</u>
   各刺しゅうデータに設定された糸色の情報のうち、糸色のみがミシン上に表示されます。
   ただし、表示される糸色名はミシンが内蔵している糸色名に限られます。そのため、刺しゅうデータに設定された糸色に一番近い糸色をミシンに内蔵している糸色名から選択し、ミシンに表示されます。
3. <u>データ糸色優先機能があるミシン</u>
   ミシンの中には、本プログラムで設定された糸色の情報を表示できる機種があります。そのミシンでは、刺しゅうデータに設定された糸色の情報のうち、糸色、ブランド名、糸番号が表示されます。
   ただし、編集もしくは追加した糸色（行の左端に＊マークがついている糸色）は、糸番号のみが表示されます。

■ 単位の設定

機　能　　　　**：**長さの単位（mm またはインチ）を選択します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　**：**この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**オプション→単位の設定**をクリックします。
単位の設定ダイアログが表示されます。



◆ 単位（**mm** または**インチ**）を選択します。

◆ **OK** をクリックして、確定します。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。



P.215 の「グリッド」、P.221 の「デザインページの設定」

ヘルプメニュー

ヘルプシステムが起動します。

メニュー	機　能	参照ページ
目次	このアプリケーションのヘルプを表示します。	P.227
刺しゅう PRO WEB ページ	当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。	P.227
オンライン登録	当社ホームページの「オンライン登録」のページを開きます。	P.227
バージョン情報	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	P.228

■ 目次

機　能　：このアプリケーションのヘルプを表示します。

ショートカットキー：F1

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ヘルプ→目次**をクリックします。
ヘルプの目次が表示されます。

■ 刺しゅう PRO WEB ページ

機　能　：当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ヘルプ→刺しゅう PRO WEB ページ**をクリックします。

❷ インストールされているブラウザが起動し、当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページが開きます。

注意：インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続する環境が整っていないと、この機能は使用できません。

■ オンライン登録

機　能　：当社ホームページの「オンライン登録」のページを開きます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ヘルプ→オンライン登録**をクリックします。

❷ インストールされているブラウザが起動し、当社ホームページの「オンライン登録」のページが開きます。

注意：インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続する環境が整っていないと、この機能は使用できません。

■ バージョン情報

機　能　　　：バージョン、著作権などに関する情報を表示します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

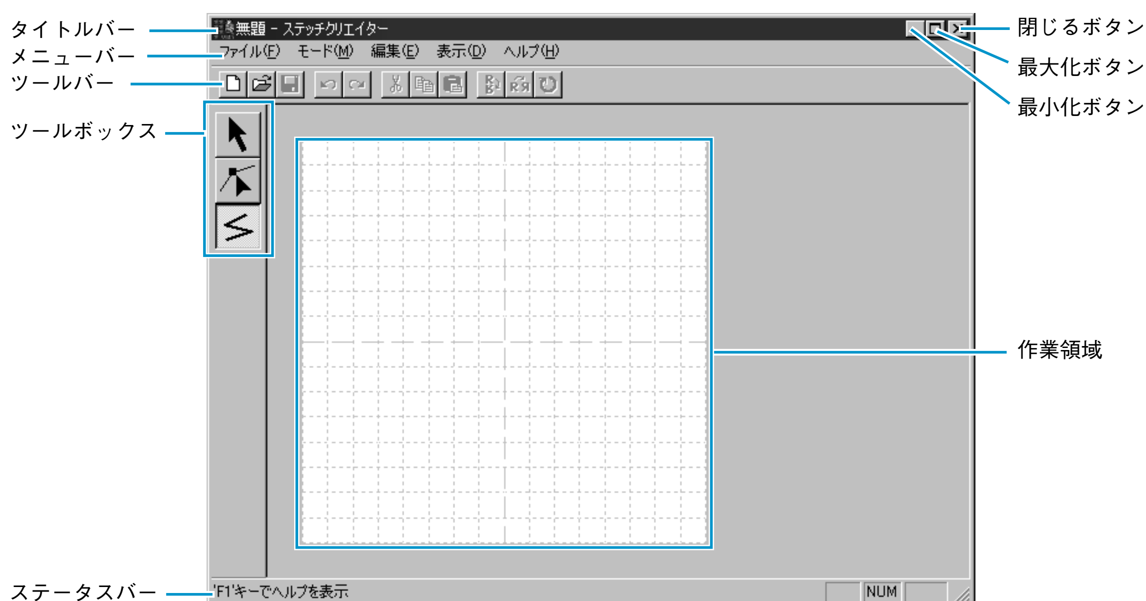
❶ メニューバーの**ヘルプ→バージョン情報**をクリックします。
レイアウトセンターについてダイアログが表示されます。

❷ **OK** をクリックして、ダイアログを閉じます。

ステッチクリエイター

本アプリケーションでは、デザインセンターとレイアウトセンターでの、プログラムタタミ縫い、モチーフ縫いに用いるパターンを作成することができます。それぞれのパターンは、モードを切り替えてパターンを作成していきます。
プログラムタタミ縫い、モチーフ縫いは、線あるいは面をタイル状にパターンを並べるようにデータを作成しますので、より装飾的な刺しゅうデータ、オリジナルな刺しゅうデータが作成することが可能となります。

画面



メニューバー	各機能を実行します。
ツールバー	各メニュー機能へのショートカットです。
ツールボックス	各機能のツールを選択します。
ステータスバー	簡単な情報を表示します。
作業領域	この領域でパターンの作成・編集ができます。

次ページ以降の説明は、モードにプログラムタタミを指定している場合です。
モチーフを指定している場合は、画面の状態、操作などが若干違ってきます。

ツールボックスの使い方

	選択ツール カーソルが に変わります。	P.230
	ポイント編集ツール カーソルが に変わります。	P.231
	直線描画ツール アプリケーションを起動すると、直線描画ツールが選択されています。 カーソルが に変わり、 機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.233

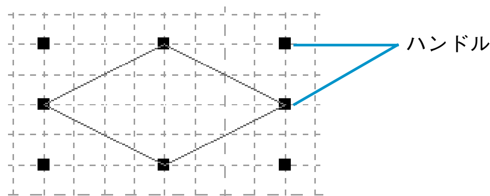
選択ツール

選択ツールは、1 つまたは複数の線を選択するときに使います。選択された線は移動、回転による方向変更、反転ができます。

■ パターンを選択する

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが に変わります。

❷ 選択したいパターンをクリックします。
選択されると、ハンドルが表示されます。



注意： パターンの上をクリックしないと、選択できません。

❸ パターンの選択を解除するには、他のパターンを選択するか、パターンが無い部分をクリックするか、ツールボックスの直線描画ボタンをクリックします。

❹ 複数のパターンを選択するには、 Ctrl キーを押しながらパターンをクリックします。

参考： パターンは、作業領域を囲むようにドラッグしても選択できます。ドラッグすると、点線の長方形が表示されます。マウスボタンを離すと、その長方形内にあるパターンと、触れたパターンのすべてが選択されます。
選択したくないパターンまで選択してしまったときは、パターンの無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

■ パターンを移動する

❶ 選択したパターン上にカーソルを移動します。

カーソルが に変わります。

❷ ドラッグすると移動します。

❸ Shift キーを押しながらドラッグすると、パターンが水平方向または垂直方向に移動します。

参考： 矢印キーを押すと、選択したパターンを矢印キーの方向に1グリッドずつ移動できます。グリッドが表示されていないときは、小ピッチで移動します。

■ パターンを拡大・縮小する

❶ 選択されたパターンまたはグループのハンドル上にカーソルを移動します。

ハンドルにより、カーソルが ⟷ 、↕ 、⤡ または ⤢ に変わります。

❷ ハンドルを矢印の方向にドラッグして拡大、縮小します。
カーソルの形状により拡大、縮小する方向が異なります。

⟷ は、幅を拡大・縮小します。

↕ は、高さを拡大・縮小します。

⤡ と ⤢ は、幅と高さを同時に拡大、縮小します。（幅と高さの比率が保たれます。）

■ パターンを削除する

❶ 削除したいパターンを選択します。

❷ Delete キーを押すか、**編集→削除**をクリックしてパターンを削除します。

注意： モチーフモードでは削除できません。

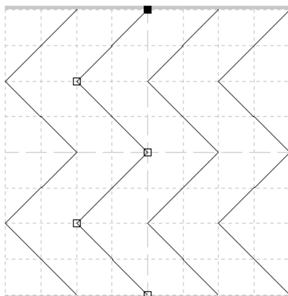
ポイント編集ツール

ポイント編集ツールにより、パターンのポイントの移動、挿入、削除ができます。移動または挿入したポイントは、グリッドが表示されているときは、グリッドの縦線と横線が交差する位置におかれます。したがって、ポイントをどこに移動、また挿入しても、最も近い交差点に移動、挿入されます。描きたいパターンによって、グリッドを選択してください。グリッドとその選択方法について、詳しくは、P.244 の「グリッド」を参照してください。

■ ポイントを移動する

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが に変わります。

❷ 編集したいパターンをクリックします。
一度に1本のパターンだけを選択できます。パターンの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。



❸ 移動したいポイントをクリックします。

選択されたポイントは黒い四角で表示されます。複数のポイントを選択するには、Ctrl キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

参考： パターンの線上でクリックすると、新しいポイントが挿入されます。
Ctrl キーを押しながら、左右の矢印キーを押すと、選択された状態を示す黒の四角マークが1つ前または1つ後のポイントに移動します。

❹ ポイントを移動したい場所にドラッグします。選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。

Shift キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動します。

注意： 矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印キーの方向に1グリッドずつ移動できます。グリッドが表示されていないときは、小ピッチで移動します。
モチーフモードでは、始点（青い四角）または終点（赤い四角）を上下に移動すると、もう一方の点も共に移動します。なお、始点と終点は、一定の距離以下に近づくことはできません。

■ ポイントを挿入する

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが に変わります。

❷ 編集したいパターンをクリックします。
パターンの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。

❸ ポイントを挿入したい線上でクリックします。
新たなポイントが表示され、自動的に選択されます。挿入されたポイントは、すぐに編集できます。

参考： モチーフモードでは、このポイント挿入と先のポイント移動の操作によりパターンを作成・編集します。
すなわち、始点（青い四角）と終点（赤い四角）の間にポイントを挿入し、そのポイントを移動するという操作を繰り返し一筆書きのようなパターンを作成します。
（P.239の「モチーフモード」参照）

■ ポイントを削除する

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが に変わります。

❷ 削除したいパターンをクリックします。
一度に1本のパターンだけを選択できます。パターンの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。

❸ 削除したいポイントをクリックします。
選択されたポイントは小さな黒い四角で表示されます。複数のポイントを選択するには、Ctrl キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

❹ Delete キーを押し、ポイントを削除します。削除後のポイントが1つ以下になるときは、線が削除されます。

注意： モチーフモードでは、始点（青い四角）と終点（赤い四角）は削除できません。

直線描画ツール

直線描画ツールでは、パターンの線または折線を描くことができます。作業領域に水平線または垂直線を引くと、グリッド線と重なって引かれます。マウスをクリックして作成したポイントは、グリッドが表示されている場合、グリッドの垂直線と水平線の交差するポイントに挿入され、対角線を引くこともできます。どこでクリックしても、最も近くのグリッドが交差する点に挿入されます。描きたいパターンによってグリッドの種類を選択します。グリッドとその設定について、詳しくは、P.244 の「グリッド」を参照してください。

■ 直線を描く

❶ ツールボックスの をクリックします。カーソルが、 に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。

❷ カーソルを線の始点へ移動し、クリックします。

❸ カーソルを次の点に移動し、再度クリックします。

注意：マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

❹ 最後の点まで繰り返し、最後の点でダブルクリックします。
パターンに、これ以外にも線を加えたい場合は、同じ手順を繰り返してください。

注意：このツールは、プログラムタタミモードでのみ使用できます。

メニューバーの使い方

ファイルメニュー

開く、保存などのファイルの入力／出力を処理します。

メニュー	機　能	参照ページ
新規作成	新規のファイルを作成します。	P.234
開く	以前に保存したパターンファイルを開きます。	P.234
下絵を開く	データ作成用の下絵として使用可能な背景画像〔Windows ビットマップ (***.bmp**)、Exif (***.tif**, ***.jpg**)、 ZSoftPCX (***.pcx**)、Windows メタファイル (***.wmf**)、 Portable Network Graphics (***.png**)、 Encapsulated PostScript (***.eps**)、 Kodak PhotoCD (***.pcd**)、 FlashPix (***.fpx**)、JPEG2000 (***.j2k**)〕を、作業領域上に開きます。	P.236
上書き保存	作業中のパターンファイルを上書き保存します。	P.236
名前を付けて保存	作業中のパターンファイルを新しい名前で保存します。	P.237
終了	アプリケーションを終了します。	P.237

■ 新規作成

機　能　　　　：新規のファイルを作成します。

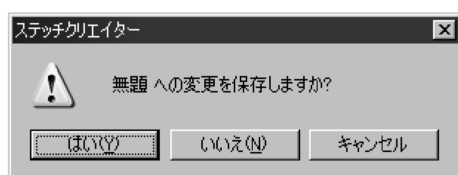
ショートカットキー：Ctrl ＋ N

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→新規作成**をクリックします。
作業中のファイルがなければ、空白の新規ファイルが表示されます。

❷ 作業中のファイルがある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



◆ 作業中のファイルを保存する場合は、**はい**をクリックします。

◆ 作業中のファイルを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。（作業中のファイルを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など）



P.234 の「開く」、P.236 の「上書き保存」、P.237 の「名前を付けて保存」

■ 開く

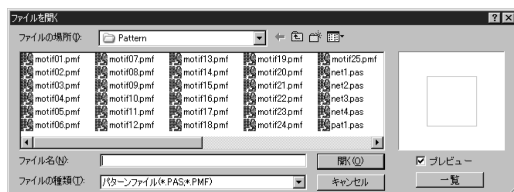
機　能　　　　：以前に保存したパターンファイルを開きます。

ショートカットキー：Ctrl ＋ O

ツールバー　　：

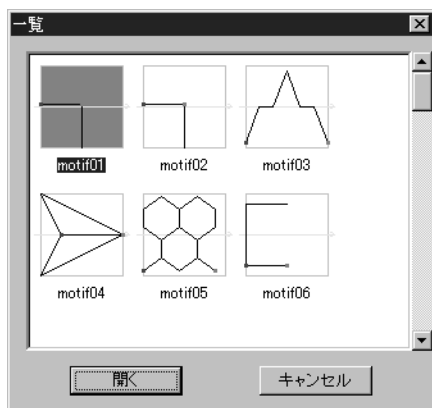
操　作

❶ メニューバーの**ファイル→開く**をクリックします。
ファイルを開くダイアログが表示されます。



- ◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。
  - • 必ず **pas** ファイルまたは **pmf** ファイルの入っているフォルダを選択してください。
  - • **プレビュー**チェックボックスをクリックし、✔が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。
- ◆ ファイル名をクリックしてから**開く**をクリックするか、ファイル名をダブルクリックします。作業領域にファイルが表示されます。
- ◆ **一覧**をクリックすると、選択されたフォルダ内の使用可能な **pas** または **pmf** ファイルすべて表示されます。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

❷ **一覧**を選択すると、**一覧**ダイアログが表示されます。



- ◆ スクロールバーを利用して、ファイルをさがします。
  パターンの表示領域中央にある緑色の→は、データがモチーフ用データ（***.pmf**）であることを示しています。→が無い場合は、プログラムタタミ用データ（***.pas**）です。
- ◆ パターンをクリックして選択します。
  選択されたパターンが反転表示になります。
- ◆ **開く**をクリックするか、パターンをダブルクリックします。ファイルを開くと、**開く**ダイアログと**一覧**ダイアログの両方が閉じます。モードが、選択された **.pmf** または **.pas** ファイルに適したものに自動的に切り替わります。
- ◆ **開く**ダイアログに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

❸ 作業中のファイルが無い場合は、選択されたファイルが表示されます。作業中のファイルがある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



- ◆ 作業中のファイルを保存する場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ 作業中のファイルを廃棄する場合は、**いいえ**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。（作業中のファイルを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など）



P.234 の「新規作成」、P.236 の「上書き保存」、P.237 の「名前を付けて保存」

■ 下絵を開く

機　能　　　：データ作成用の下絵として使用可能な背景画像〔Windows ビットマップ (***.bmp**)、Exif (***.tif**, ***.jpg**)、 ZSoftPCX (***.pcx**)、Windows メタファイル (***.wmf**)、 Portable Network Graphics (***.png**)、 Encapsulated PostScript (***.eps**)、 Kodak PhotoCD (***.pcd**)、FlashPix (***.fpx**)、JPEG2000 (***.j2k**)〕を、作業領域上に開きます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→下絵を開く**をクリックします。
下絵を開くダイアログが表示されます。



◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。
- **プレビュー**チェックボックスをクリックし、✔が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。

◆ ファイル名をクリックしてから**開く**をクリックするか、ファイル名をダブルクリックしてファイルを開きます。

◆ この操作を中止したい場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意： 複数のページで保存した **.pcd** ファイルと **.fpx** ファイルについては、最初のページのみを開くことができます。 LZW で圧縮された**.tif**ファイルは開くことができません。



P.245 の「下絵」

■ 上書き保存

機　能　　　：作業中のパターンファイルを上書き保存します。

ショートカットキー：Ctrl + S

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→上書き保存**をクリックします。
ファイルがすでにディスクにあれば（少なくとも一度は保存されていれば）、直ちに上書き保存されます。

❷ ファイル名が**無題**のとき、**.pmf** ファイルまたは **.pas** ファイルが「読み取り専用」となっているとき、または、ディスク上にファイルが見つからないときは、自動的に**名前を付けて保存**ダイアログに切り替わります。



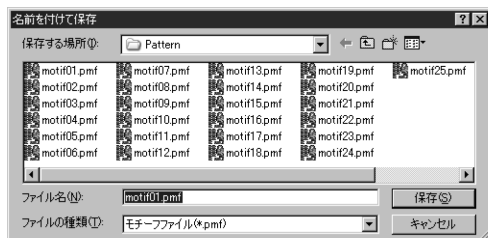
P.237 の「名前を付けて保存」

名前を付けて保存

機　能　　　　：作業中のパターンファイルを新しい名前で保存します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→名前を付けて保存**をクリックします。
次のような**名前を付けて保存**ダイアログが表示されます。



◆ ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。
- 拡張子が、モード設定に合わせて自動的に付けられます。
  プログラムタタミモード時＝ *.pas
  モチーフモード時＝ *.pmf

◆ **保存**をクリックして保存します。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

❷ 同じ名前のファイルがすでにある場合は、次のダイアログが表示されます。



◆ 上書きする場合は、**はい**をクリックします。

◆ 上書きしたくない場合は、**いいえ**をクリックします。



P.236 の「上書き保存」

終了

機　能　　　　：アプリケーションを終了します。
ショートカットキー：Alt ＋ F4
ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ファイル→終了**をクリックします。
作業中のパターンが編集されていない場合は、アプリケーションは直ちに終了します。

❷ 作業中のパターンが編集されている場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。
P.234 の「開く」を参照してください。



P.236 の「上書き保存」、P.237 の「名前を付けて保存」

モードメニュー

ステッチクリエイターを使用して、プログラムタタミ用パターンとモチーフ用パターンを作成できます。方法と作業領域はそれぞれ異なります。このモード機能によって、どちらのパターンを作成するか設定します。

機　能　　　　：データ作成モードを変更します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

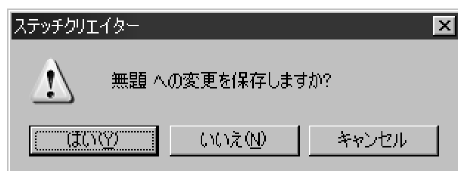
操　作

❶ メニューバーの**モード**をクリックし、サブメニューから作成したいパターンのメニューを選択します。

◆ **プログラムタタミ**をクリックすると、モードが変わって、プログラムタタミのパターンを作成します。

◆ **モチーフ**をクリックすると、モードが変わって、モチーフのパターンを作成します。

❷ 作業中の作業領域が編集されていると、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



◆ **はい**をクリックして、作業領域のパターンを保存します。

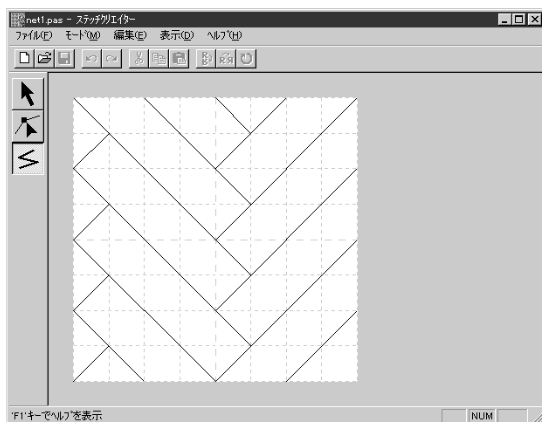
◆ 作業領域のパターンを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。（作業中の作業領域を修正したり、別の名前を付けて保存する場合など）

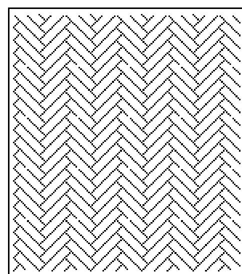
プログラムタタミモード

プログラムタタミモードでは、1 本の線または複数の線からなるパターンを作成することができます。

ツールボックスには、選択ツール、ポイント編集ツール、直線描画ツールがあります。これらのツールを使って、作業領域で自由に線の挿入や編集をし、パターンを作成することができます。プログラムタタミ縫いでは、通常のタタミ縫いとは異なり、作成したパターンが浮きでるようにパターンの線上に針が落ちるようにデータが作成されます。



（パターン例）



モチーフモード

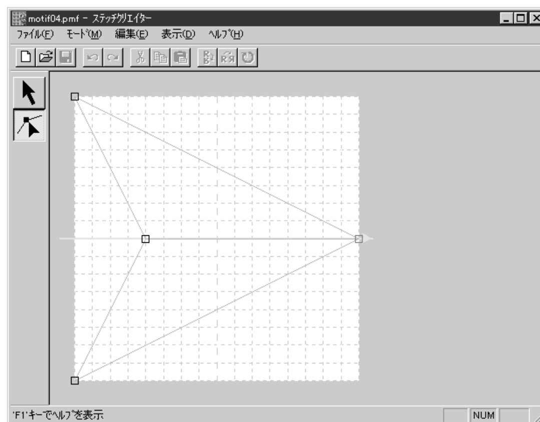
モチーフモードでは、一本の線を使用して、一筆書きの要領でパターンを作成します。作業領域の中央に、緑の矢印（→）が表示され、刺しゅうが行われる方向が示されています。
ボックスの左端中央に、始点が青の長方形で表示され、右端中央には終点が赤の長方形で表示されています。これらの点は線で繋がっています。

ツールボックスには、選択ツールとポイント編集ツールがあります。既に表示されている線に対して、ポイントの挿入、移動、その他の方法で編集してパターンを作成していきます。始点と終点は削除できません。始点と終点は同一の上下位置になければならないので、1 点を上下させると、他の点も同じように自動で移動します。

これらのパターンは、一筆書きの要領で縫われます。

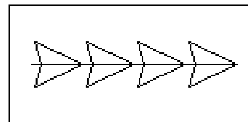
（ Ctrl と左右（←、→）の矢印キーを使用して、ポイントの順序を確認できます。）

ここで作成したパターンを利用するモチーフ縫いは、レイアウトセンターでは線と面の縫い方に使用でき、またデザインセンターでは面の縫い方に使用できます。
（詳しくは、それぞれの「縫い方の設定」を参照してください。）

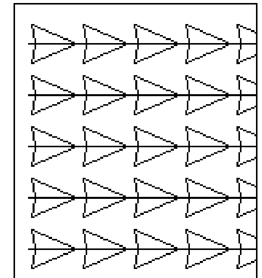


（パターン例）

線縫い



面縫い



編集メニュー

メニュー		機　能	参照ページ
元に戻す		直前の操作を元の状態に戻します。	P.240
やり直し		最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	P.240
切り取り		選択されたパターンを画面から削除し、クリップボードにコピーします。	P.241
コピー		選択されたパターンを画面から削除しないで、クリップボードにコピーします。	P.241
複製		選択されたパターンを複製します。	P.241
貼り付け		クリップボードにコピーされているパターンを作業領域に貼り付けます。	P.242
削除		選択されたパターンまたはポイントを画面から削除します。	P.242
反転	上下	選択されたパターンを上下に反転します。	P.242
	左右	選択されたパターンを左右に反転します。	P.242
回転		選択されたパターンを任意の角度で回転します。	P.243
すべて選択		すべてのパターンを選択します。	P.243

■ 元に戻す

機　能　　　　：直前の操作を元の状態に戻します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ Z

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**編集**→**元に戻す**をクリックします。
直前の操作を行う前の状態に戻します。例えば、パターンを間違えて削除しても、この機能を使うと復元することができます。



P.240 の「やり直し」

■ やり直し

機　能　　　　：最後に行った「**元に戻す**」の操作を解除します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ A

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**編集**→**やり直し**をクリックします。
最後に行った「**元に戻す**」の操作を解除します。例えば、パターンを引いた直後に**元に戻す**を使うとパターンが消去されますが、**やり直し**を使うとパターンが再び表示されます。



P.240 の「元に戻す」

■ 切り取り

機　能　　　：選択されたパターンを画面から削除し、クリップボードにコピーします。

ショートカットキー：Ctrl ＋ X

ツールバー　　：

操　作

❶ 1つまたは複数のパターンを選択します。

❷ メニューバーの**編集→切り取り**をクリックします。
選択されたパターンが削除されます。データはクリップボードにコピーされるので、**編集→貼り付け**を使って、貼り付けることができます。

注意：この操作はプログラムタタミモードでのみ行えます。



P.241の「コピー」、P.242の「貼り付け」と「削除」

■ コピー

機　能　　　：選択されたパターンを画面から削除しないで、クリップボードにコピーします。

ショートカットキー：Ctrl ＋ C

ツールバー　　：

操　作

❶ 1つまたは複数のパターンを選択します。

❷ メニューバーの**編集→コピー**をクリックします。
パターンがクリップボードにコピーされ、**編集→貼り付け**を使って、貼り付けることができます。

注意：この操作はプログラムタタミモードでのみ行えます。



P.241の「切り取り」と「複製」、P.242の「貼り付け」

■ 複製

機　能　　　：選択されたパターンを複製します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ D

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 1つまたは複数のパターンを選択します。

❷ メニューバーの**編集→複製**をクリックします。
選択されたパターンが複製され、作業領域に表示されます。

注意：この操作はプログラムタタミモードでのみ行えます。



P.241の「コピー」、P.242の「貼り付け」

■ 貼り付け

機　能　　　：クリップボードにコピーされているパターンを作業領域に貼り付けます。

ショートカットキー：Ctrl ＋ V

ツールバー　　：

操　作

❶ メニューバーの**編集**→**貼り付け**をクリックします。
切り取りや**コピー**でクリップボードにコピーされているパターンが、作業領域に貼り付けられます。
注意：この操作はプログラムタタミモードでのみ行えます。



P.241 の「切り取り」と「コピー」

■ 削除

機　能　　　：選択されたパターンまたはポイントを画面から削除します。

ショートカットキー：Delete

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ 1 つまたは複数のパターンまたはポイントを選択します。

❷ メニューバーの**編集**→**削除**をクリックします。
選択されたパターンまたはポイントが画面から削除されます。クリップボードに保存されないので、再び表示させせたい場合は、次の操作をする前に**編集**→**元に戻す**を使ってください。



P.240 の「元に戻す」、P.241 の「切り取り」

■ 反転ー上下

機　能　　　：選択されたパターンを上下に反転します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ H

ツールバー　　：

操　作

❶ 1 つまたは複数のパターンを選択します。

❷ メニューバーの**編集**→**反転**→**上下**をクリックします。
選択されたパターンが上下に反転します。この操作を連続して2度行うと、元のパターンに戻ります。



P.242 の「反転ー左右」、P.243 の「回転」

■ 反転ー左右

機　能　　　：選択されたパターンを左右に反転します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ J

ツールバー　　：

操　作

❶ 1 つまたは複数のパターンを選択します。

❷ メニューバーの**編集**→**反転**→**左右**をクリックします。
選択されたパターンが左右に反転します。この操作を連続して２度行うと、元のパターンに戻ります。



P.242 の「反転ー上下」、P.243 の「回転」

■ 回転

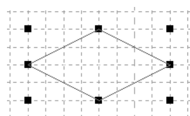
機　能　　　　：選択されたパターンを任意の角度で回転します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ Y

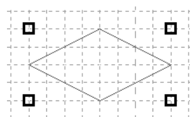
ツールバー　　：

操　作

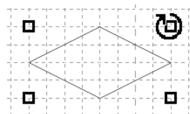
❶ 1 つまたは複数のパターンを選択します。



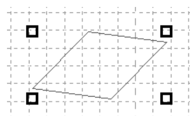
❷ メニューバーの**編集**→**回転**をクリックします。
ハンドルが白い四角に変わります。



❸ カーソルをハンドルの 1 つに移動します。カーソルが に変わります。



❹ ハンドルをドラッグし、希望する角度に回転させて、マウスボタンを離します。



ドラッグすると、右または左に 1 度単位で回転します。 Shift キーを押しながらドラッグすると 15 度単位で回転します。
注意：この操作はプログラムタタミモードでのみ行えます。

■ すべて選択

機　能　　　　：すべてのパターンを選択します。

ショートカットキー：Ctrl ＋ E

ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ カーソルが選択ツールになっているかを確認します。

❷ メニューバーの**編集**→**すべて選択**をクリックします。
注意：この操作はプログラムタタミモードでのみ行えます。

表示メニュー

画面の表示内容を変更します。

メニュー		機　能	参照ページ
グリッド		グリッドの設定をします。	P.244
下絵	表示	下絵になる画像ファイルの、表示／薄く表示／表示しないを切り替えます。	P.245
	薄く表示		
	表示しない		
プレビュー		パターンの縫製イメージの表示／非表示を切り替えます。	P.245
ツールバー		ツールバーの表示／非表示を切り替えます。	P.246
ステータスバー		ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。	P.246

■ グリッド

機　能　　　　**：**グリッドの設定をします。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　　**：**この機能に対応するボタンはありません。

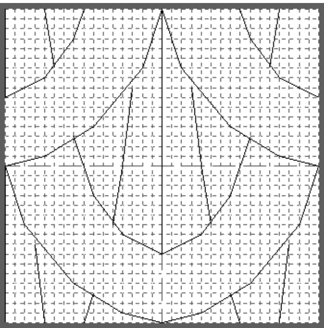
操　作

❶ メニューバーの**表示→グリッド**をクリックします。

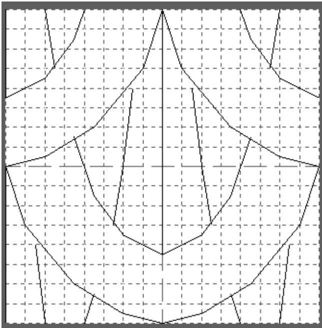
❷ 作成または編集したいパターンに必要な設定をクリックします。作業しながら、グリッドを変更し、描画を続行することができます。
広いをクリックすると、グリッド間隔を作業領域の 1/8 に変更します。
普通をクリックすると、グリッド間隔を作業領域の 1/16 に変更します。
狭いをクリックすると、グリッド間隔を作業領域の 1/32 に変更します。
表示しないをクリックすると、グリッドが消去されます。

グリッドの設定内容はアプリケーション終了時に記憶され、次回起動時にその状態が反映されます。

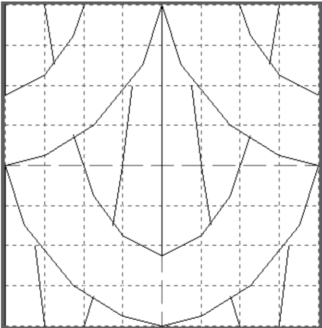
例 1：**狭い**グリッド



例 2：**普通**グリッド



例 3：**広い**グリッド



作業領域で描かれる水平線と垂直線は、常にグリッド線をたどります。移動または挿入したポイントは、グリッドの縦線と横線が交差する位置に置かれます。どこに移動、または挿入しても、ポイントは最も近い交差点に移動、挿入されます。描きたいパターンによって、グリッドを選択してください。細かなパターンを描くときは、より狭いグリッドを選択し、より単純なパターンを描くときはより広いグリッドを選択してください。
表示しないが選択されている場合は作業領域のどこでもポイントの移動、挿入などができます。

■ 下絵

機　能　　：下絵になる画像ファイルの、表示／薄く表示／表示しないを切り替えます。

ショートカットキー：F6

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示**→**下絵**をクリックし、次に設定を選択します。

◆ **表示**をクリックして、オリジナルのイメージを表示させます。

◆ **薄く表示**をクリックして、イメージを薄く表示させます。

◆ **表示しない**をクリックして、イメージを隠します。

この機能は、下絵が開いてないと使用できません。ショートカットキー（F6）を押すと、下絵の、**表示**／**薄く表示**／**表示しない**が順に切り替わります。



P.236 の「下絵を開く」

■ プレビュー

機　能　　：パターンの縫製イメージの表示／非表示を切り替えます。

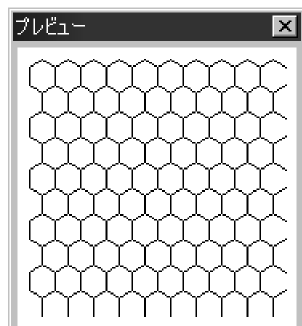
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー　：この機能に対応するボタンはありません。

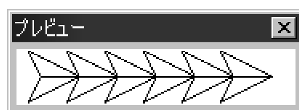
操　作

❶ メニューバーの**表示**→**プレビュー**をクリックします。

プレビューダイアログが表示されていないときは、モード設定に合った次のようなプレビューダイアログが表示されます。



モード：プログラムタタミ



モード：モチーフ

プレビューダイアログの表示／非表示の状態と位置の情報は、アプリケーションの終了時に保存されますので、次回のアプリケーション起動時にその状態が反映されます。

■ ツールバー

機　能　　　　：ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示**→**ツールバー**をクリックします。
ツールバーの表示と非表示が交互に切り替わります。



P.246 の「ステータスバー」

■ ステータスバー

機　能　　　　：ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**表示**→**ステータスバー**をクリックします。
ステータスバーの表示と非表示が交互に切り替わります。



P.246 の「ツールバー」

ヘルプメニュー

ヘルプシステムが起動します。

メニュー	機　能	参照ページ
目次	このアプリケーションのヘルプを表示します。	P.246
刺しゅう PRO WEB ページ	当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。	P.247
バージョン情報	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	P.247

■ 目次

機　能　　　　：このアプリケーションのヘルプを表示します。
ショートカットキー：F1
ツールバー　　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ヘルプ**→**目次**をクリックします。
ヘルプの目次が表示されます。

■ 刺しゅう PRO WEBページ

機　能　　　：当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ヘルプ→刺しゅう PRO WEB ページ**をクリックします。

❷ インストールされているブラウザが起動し、当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページが開きます。

注意：インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続する環境が整っていないと、この機能は使用できません。

■ バージョン情報

機　能　　　：バージョン、著作権などに関する情報を表示します。
ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー　　：この機能に対応するボタンはありません。

操　作

❶ メニューバーの**ヘルプ→バージョン情報**をクリックします。
ダイアログが表示されます。

❷ **OK** をクリックしてダイアログを閉じます。

ショートカット早見表

デザインセンター

メニュー		ショートカットキー	ツールバー	ページ
ファイル	新規作成（輪郭線画）	Ctrl + N		82
	新規作成（輪郭データ）	—	—	83
	ウィザード	F3	—	84
	開く	Ctrl + O		86
	TWAIN 機器の選択	—	—	87
	TWAIN 機器から入力	—	—	87
	クリップボードから入力	—	—	88
	クリップボードに出力	—	—	88
	輪郭データ取り込み	F8		89
	上書き保存	Ctrl + S		89
	名前を付けて保存	—	—	89
	終了	Alt + F4	—	90
編集	元に戻す	Ctrl + Z		91
	やり直し	Ctrl + A		91
	切り取り	Ctrl + X		92
	コピー	Ctrl + C		92
	複製	Ctrl + D	—	92
	貼り付け	Ctrl + V		92
	削除	Delete	—	93
	反転ー上下	Ctrl + H		93
	反転ー左右	Ctrl + J		94
	回転	Ctrl + Y		94
	数値設定ーサイズ	—	—	94

メニュー		ショートカットキー	ツールバー	ページ
編集	数値設定ー回転	—	—	95
	すべて選択	Ctrl + E	—	95
縫い方	縫い方の設定	Ctrl + W		96
	縫い順	F10		100
表示	グリッド	—	—	102
	プレビュー	F9		103
	画面の再描画	Ctrl + R	—	103
	リアルプレビュー	Shift + F9		103
	リアルプレビューの設定	—	—	104
	ツールバー	—	—	104
	ステータスバー	—	—	104
オプション	レイアウトセンターの起動	F5	—	105
	ステッチクリエイターの起動	—	—	105
	デザインページの設定	—	—	106
	単位の設定	—	—	106
ステージ	原画ステージ	—		107
	輪郭線画ステージ	—		108
	輪郭データステージ	—		110
	縫い方設定ステージ	—		111
ヘルプ	目次	F1	—	112
	刺しゅう PRO WEB ページ	—	—	112
	バージョン情報	—	—	112

レイアウトセンター

	メニュー	ショートカットキー	ツールバー	ページ
ファイル	新規作成	Ctrl + N		146
	開く	Ctrl + O		147
	データ取り込み－ファイルから	F8		148
	データ取り込み－デザインセンターから	F7		150
	データ取り込み－カードから	–	–	150
	上書き保存	Ctrl + S		152
	名前を付けて保存	–	–	152
	データ書き出し	–	–	153
	カード書き込み－デザインページのデータ	F4		153
	カード書き込み－複数 PES ファイル	Shift + F4	–	154
	ファイルプロパティー	–	–	157
	印刷の設定	–	–	158
	印刷プレビュー	–	–	159
	印刷	Ctrl + P	–	160
	終了	Alt + F4	–	161
編集	元に戻す	Ctrl + Z		162
	やり直し	Ctrl + A		162
	グループ化	Ctrl + G	–	163
	グループ化解除	Shift + G	–	163
	切り取り	Ctrl + X		164
	コピー	Ctrl + C		164
	複製	Ctrl + D	–	164
	貼り付け	Ctrl + V		165
	削除	Delete	–	165
	反転－上下	Ctrl + H		165
	反転－左右	Ctrl + J		166

	メニュー	ショートカットキー	ツールバー	ページ
編集	回転	Ctrl + Y		166
	数値設定ーサイズ	—	—	167
	数値設定ー回転	—	—	168
	中央へ移動	Ctrl + M	—	169
	整列	—	—	169
	すべて選択	Ctrl + E	—	170
画像	入力ーファイルから	—	—	172
	入力ー TWAIN 機器から	—	—	172
	入力ーモンタージュから	—	—	173
	入力ークリップボードから	—	—	174
	出力ーファイルへ	—	—	175
	出力ークリップボードへ	—	—	175
	TWAIN 機器の選択	—	—	175
	サイズと位置の変更	—	—	176
	ステッチウィザードの起動	—		177
	表示設定ー表示／薄く表示／表示しない	F6	—	192
文字	文字の編集	Ctrl + L	—	193
	書式設定	Ctrl + K		194
	文字の配列	Ctrl + T		195
	文字配列の解除	Ctrl + Q		197
	文字の変形	F2		197
	変形の解除	F3		198
	True Type フォントの設定	—	—	198
	図形データに変換	—	—	199

	メニュー	ショートカットキー	ツールバー	ページ
縫い方	縫い方の設定	Ctrl + W		200
	縫い順	F10		207
	ドーナツ縫いの設定	—	—	208
	ドーナツ縫いの解除	—	—	209
	STB 機能（Stitch to Block 機能）	—	—	210
	ステッチデータに変換	—	—	211
	ステッチデータの糸色変更	—	—	211
	縫製範囲の設定	—	—	212
	枠の最適化	—	—	213
	縫い始終点の最適化	—	—	214
表示	グリッド	—	—	215
	プレビュー	F9		216
	リアルプレビュー	Shift + F9		216
	リアルプレビューの設定	—	—	216
	画面の再描画	Ctrl + R	—	217
	ステッチシミュレーター	—		217
	ツールバー	—	—	218
	ステータスバー	—	—	218
オプション	デザインセンターの起動	F5	—	219
	ステッチクリエイターの起動	—	—	219
	デザインのプロパティー	—	—	220
	デザインページの設定	—	—	221
	ユーザー糸リストの編集	—	—	222
	単位の設定	—	—	226
ヘルプ	目次	F1	—	227
	刺しゅう PRO WEB ページ	—	—	227
	オンライン登録	—	—	227
	バージョン情報	—	—	228

ステッチクリエイター

	メニュー	ショートカットキー	ツールバー	ページ
ファイル	新規作成	Ctrl + N		234
	開く	Ctrl + O		234
	下絵を開く	—	—	236
	上書き保存	Ctrl + S		236
	名前を付けて保存	—	—	237
	終了	Alt + F4	—	237
モード	プログラムタタミ	—	—	238
	モチーフ	—	—	239
編集	元に戻す	Ctrl + Z		240
	やり直し	Ctrl + A		240
	切り取り	Ctrl + X		241
	コピー	Ctrl + C		241
	複製	Ctrl + D	—	241
	貼り付け	Ctrl + V		242
	削除	Delete	—	242
	反転ー上下	Ctrl + H		242
	反転ー左右	Ctrl + J		242
	回転	Ctrl + Y		243
	すべて選択	Ctrl + E	—	243
表示	グリッド	—	—	244
	下絵	F6	—	245
	プレビュー	—	—	245
	ツールバー	—	—	246
	ステータスバー	—	—	246

メニュー		ショートカットキー	ツールバー	ページ
ヘルプ	目次	F1	―	246
	刺しゅう PRO WEB ページ	―	―	247
	バージョン情報	―	―	247

索引

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

な

に

ぬ

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

む

め

も

や

ゆ

よ

り

れ

わ

CD-ROMの包装を開封する前に必ずお読み下さい。

この度は弊社のソフトウエア製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
弊社では本製品に下記契約事項を設けており、お客様のご同意のあった場合のみ本製品をご使用いただいております。本製品のCD-ROMの包装を開封される前に、下記「ソフトウエアにおける契約条項」を充分お読み下さい。本製品の使用条件は、CD-ROMの包装の開封をもって、お客様にご了承いただいたものとさせていただきます。開封後の返品は一切お断りいたします。

ソフトウエアにおける契約条項

1．総則
この条項は、お客様と弊社との間における、本製品の使用に関する取り決めです。

2．本製品の使用
お客様は本製品を１台のコンピュータにインストールして使用することができます。

3．複製
お客様による本製品のバックアップ目的以外の複製は禁止されております。

4．改造等
お客様による本製品の改造、解析等は禁止します。

5．譲渡
お客様は本製品について、第三者に再使用権を設定し、又はその他の方法で第三者に使用させる事ができないものとします。

6．保証
お客様による本製品の選択、使用および使用結果について弊社はいかなる責任も負いません。

7．その他
本製品は著作権法によって保護されています。

本製品の一部はSoftfoundry International Pte.Ltd.の技術を使用して作られています。

アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。（詳しくは保証書をご覧ください。）
  それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。
  性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の〈お客様相談室〉へお問い合わせください。

ミシン119番　フリーダイヤル0120-340-233

◎ ブラザーミシンの使い方やアフターサービスについて、ご不明の場合はお買い上げの販売店、またはミシン119番までお問い合わせください。

◎ ミシン119番ではミシンの使い方のご説明や、トラブルに対するご相談、修理の受付対応をさせていただいております。

お客様相談室

ブラザー販売株式会社

本　社お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号	TEL: (052)824-3125
北海道お客様相談室	〒060-0063	札幌市中央区南三条西3丁目2-2	TEL: (011)261-6631
東　北お客様相談室	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL: (022)227-8877
東　京お客様相談室	〒104-0031	東京都中央区京橋3丁目3-8	TEL: (03)3281-4204
中　部お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号	TEL: (052)824-3193
関　西お客様相談室	〒550-0012	大阪市西区立売堀4丁目4番2号	TEL: (06)6531-4670
中四国お客様相談室	〒730-0021	広島市中区胡町4番28号	TEL: (082)240-3762
九　州お客様相談室	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2丁目3-12	TEL: (092)431-6566

- ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記、最寄りの［お客様相談室］へご連絡ください。
- 最寄りのお客様相談室におかけになったすべての電話は、本社お客様相談室へ転送されますが、転送電話料金は、弊社が負担致します。
- FAXの場合は、すべて本社お客様相談室 (052) 824-3031 でお受け致します。
- 上記の電話番号および住所は、都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社
名古屋市瑞穂区苗代町15-1　〒467-8561

取扱店

122-913
XC4765-001
Printed in Japan
0302